

高槻市市民意識調査報告書

高槻市のイメージ／市の広報／スマートフォンなどの利用／
「将棋のまち 高槻」／スポーツ／自転車の安全利用／地域でのつながりや
支え合いに関する取組／災害への備え／水道／市の財政状況等

令和 7 年度

高 槻 市

目次

I	調査の概要	
1	調査の目的	1
2	調査の内容	1
3	調査の方法	1
4	報告書のみかた	1
II	調査結果の概要	3
III	調査結果	
1	回答者の属性	9
2	高槻市のイメージについて	14
3	市の広報について	21
4	スマートフォンなどの利用について	48
5	「将棋のまち 高槻」について	49
6	スポーツについて	54
7	自転車の安全利用について	79
8	地域でのつながりや支え合いに関する取組について	101
9	災害の備えについて	127
10	水道について	135
11	市の財政状況等について	145
IV	調査票	151

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

市の施策や各部局の行政計画についての市民意識やニーズを把握し、施策へ反映する際の基礎資料とする。

2 調査の内容

- (1) 高槻市のイメージについて
- (2) 市の広報について
- (3) スマートフォンなどの利用について
- (4) 「将棋のまち 高槻」について
- (5) スポーツについて
- (6) 自転車の安全利用について
- (7) 地域でのつながりや支え合いに関する取組について
- (8) 災害への備えについて
- (9) 水道について
- (10) 市の財政状況等について

3 調査の方法

- (1) 調査区域 高槻市全域
- (2) 調査対象者 18 歳以上 85 歳未満の高槻市民 2,000 人
- (3) 抽出法 住民基本台帳からの層化抽出法
- (4) 調査方式 郵送による配付・回収（Web 回答を併用）
- (5) 調査期間 令和 7 年 10 月 22 日（水）～令和 7 年 11 月 14 日（金）
（実質令和 7 年 12 月 1 日（月）到着分まで）
- (6) 発送・回収 発 送 数： 2,000 件
回 収 数： 525 件 （回収率 26.3%、うち無効回答 0 件）
We b 回 答： 585 件 （回答率 29.3%、うち無効回答 2 件）
有効回答数： 1,108 件 （有効回答率 55.4%）

4 報告書のみかた

- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数（回答者数）に対する百分比（%）を表している。1 人の対象者に 2 つ以上の回答を求める設問では、百分比（%）の合計は 100.0%を超えている。
- (2) 百分比（%）は、小数点第 2 位以下を四捨五入して表示している。このため、内訳の合計が 100%にならないことがある。また、感想などを集約した“そう思う”や“満足している”などは、回答数を元に百分比（%）を計算しており、グラフなどの各分類項目の百分比（%）を集計したものと一致しないことがある。
- (3) 分類別の表中の百分比（%）は、すべて各分類項目の該当対象数を 100.0%として算出している。
- (4) グラフ内の「n」は、100%にあたる回答数（基数）である。
- (5) グラフ等の回答・選択肢については、文章・表現などを一部省略している場合がある。

- (6) 各問の性別と年齢別のグラフは男女別が「どちらでもない」と無回答、年代別が無回答をそれぞれ除外しているが、凡例にある「n=〇」の数値は男女別が「どちらでもない」と無回答、年齢別が無回答を含めた数値となっている。

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅱ 調査結果の概要

【あなたご自身について（回答者の属性）】（問１～問６）

- ・性別については、「女性」が 52.3%と最も高く、次いで「男性」が 43.8%、「どちらでもない」が 0.3%となっている。
- ・年代については、「70 歳以上」が 29.1%と最も高く、次いで「50 歳代」が 18.4%、「60 歳代」が 16.6%の順となっている。
- ・家族構成については、「子どもと同居」が 36.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 31.5%、「親と同居」が 13.2%の順となっている。
- ・居住地については、「高槻北地区」が 29.1%と最も高く、次いで「高槻南地区」が 26.4%、「如是・富田地区」が 19.4%の順となっている。
- ・居住年数については、「20 年以上」が 69.4%と最も高く、次いで「15 年以上 20 年未満」が 7.6%、「3 年未満」が 6.7%の順となっている。
- ・職業については、「無職」が 23.2%と最も高く、次いで「事務系の勤め人（管理職、教員、勤務医師などの専門職も含む）」が 18.7%、「技能・労務系の勤め人（販売・サービス、技能・作業職など）」が 18.0%の順となっている。

【高槻市のイメージについて】（問７～問９）

- ・高槻市での今後の居住意向については、「今後も住み続けたい」が 77.2%と最も高く、次いで「今のところわからない」が 13.3%、「現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい」が 7.4%の順となっている。
「今後も住み続けたい」と「現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい」を合わせた“高槻市に住みたい”が 84.6%と 8 割を超えている。
- ・高槻市がにぎわっているかについては、「ややそう思う」が 39.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 23.2%、「そう思う」が 20.9%の順となっている。
「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”は 60.1%と約 6 割となっている。
- ・高槻市がにぎわっていると思う点については、「商店街が人でにぎわっている」が 53.8%と最も高く、次いで「大きな公園などの憩いの空間で過ごす人が増えている」が 48.6%、「お祭りなどの大型イベントが多い」が 43.1%の順となっている。

【市の広報について】（問 10～問 20）

（１）市広報誌について

- ・「たかつき DAYS」を読んでいるかについては、「毎号読んでいる」が 35.4%と最も高く、次いで「読まないことが多い」が 28.6%、「ほとんど毎号読んでいる」が 27.7%の順となっている。
「毎号読んでいる」と「ほとんど毎号読んでいる」を合わせた“読んでいる”は 63.1%となっている。

- ・「たかつきDAYS」の感想については、「良い」が69.3%と最も高く、次いで「とても良い」が14.5%、「あまり良くない」が7.8%の順となっている。
「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”は83.8%と8割を超えている。
- ・「たかつきDAYS」の良いと思う点については、「コーナー分けされていて記事が探しやすい」が46.3%と最も高く、次いで「カラーできれい」が44.3%、「レイアウトが見やすい」が33.6%の順となっている。
- ・「たかつきDAYS」の巻頭特集の感想については、「良い」が67.1%と最も高く、次いで「とても良い」が12.2%、「あまり良くない」が7.6%の順となっている。
「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”は79.3%と約8割となっている。
- ・巻頭特集で良いと思う点については、「市内の新しい魅力を知ることができる」が68.7%と最も高く、次いで「内容や情報が分かりやすい」が49.0%、「写真が魅力的」が30.4%の順となっている。
- ・「たかつきDAYS」でよく読む記事については、「巻頭特集(表紙から続く特集)」が48.7%と最も高く、次いで「イベントナビ」が38.7%、「市政インフォ(市からのお知らせ)」が37.5%の順となっている。

(2)市広報番組について

- ・「情報BOXワイドたかつき」の視聴については、「ケーブルテレビが映らないので、見たことがない」が42.8%と最も高く、次いで「見たことはある」が21.8%、「ケーブルテレビは映るが、見たことはない」が18.0%の順となっている。
「よく見る(週1回以上)」と「ときどき見る(月1回以上)」と「たまに見る(2〜3か月に1回程度)」を合わせた“2〜3か月に1回以上は見る”は14.1%となっている。
- ・「情報BOXワイドたかつき」の感想については、「良い」が78.8%と最も高く、次いで「とても良い」が12.8%、「あまり良くない」が5.1%の順となっている。
「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”は91.6%となっている。
- ・「情報BOXワイドたかつき」で紹介してほしい内容については、「市政や行政サービスに関する情報」が60.3%と最も高く、次いで「高齢者などの福祉に関する情報」が51.9%、「イベントや講座、教室などの案内情報」が41.0%の順となっている。

(3)市政情報の入手方法について

- ・市政情報の入手方法については、「広報誌『たかつきDAYS』」が70.2%と最も高く、次いで「自治会等の回覧や配布文書」が27.2%、「家族や知人」が26.2%の順となっている。
- ・市公式LINEの利用の有無については、「市公式LINEがあることを知らないので、利用していない」が46.8%と最も高く、次いで「スマートフォンは持っているが、LINEアプリ自体を利用していない」が19.9%、「利用している」が15.3%の順となっている。

【スマートフォンなどの利用について】(問21)

- ・スマートフォンやタブレット端末の利用状況については、「利用している」が88.9%、「どちらにも利用していない」が9.4%となっている。

【「将棋のまち 高槻」について】（問 22～問 23）

- ・高槻市が「将棋のまち」と感じる機会については、「ややある」が 41.6%と最も高く、「ある」と「ややある」を合わせた“ある”は 74.2%と約 7 割となっている。
- ・高槻市が「将棋のまち」と感じる取組については、『高槻将棋ライナー』等、ラッピングバスの運行」「関西将棋会館の本市への移転」が同率で 57.4%と最も高く、次いで『王将戦』や『名人戦』等、タイトル戦の開催」が 46.2%、「テレビや新聞、交通広告といったマスメディア等への情報発信」が 23.7%の順になっている。

【スポーツについて】（問 24～問 33）

- ・この 1 年間にしたスポーツについては、「散歩・ウォーキング・ランニング・ジョギング・野外活動（登山・ハイキング等）」が 56.1%と最も高く、次いで「この 1 年間に運動・スポーツはしなかった」が 25.0%、「健康体操（ラジオ体操等）・ダンス・体操・ヨガ等」が 19.7%の順となっている。
- ・スポーツを行う頻度については、「スポーツをしていない」が 28.0%と最も高く、次いで「週 2～4 回」が 22.4%、「週 1 回」が 14.5%の順となっている。
「週 5 回以上」と「週 2～4 回」と「週 1 回」を合わせた“週 1 回以上”は、48.2%と 5 割近くとなっている。
- ・定期的にスポーツを行う理由については、「健康維持・増進のため」が 83.3%と最も高く、次いで「楽しみ・気晴らしとして」が 38.6%、「運動能力向上のため」が 23.0%の順となっている。
- ・普段スポーツをする場所については、「公園・道路・空き地」が 52.6%と最も高く、次いで「自宅」が 28.3%、「民間スポーツ施設」が 24.2%の順となっている。
- ・定期的にスポーツをしていない理由については、「仕事や家事等で時間がない」が 54.0%と最も高く、次いで「病気やケガをしている」が 19.2%、「スポーツが嫌い」が 16.2%の順となっている。
- ・市内スポーツ施設での知っているイベントについては、「高槻シティハーフマラソン」が 75.4%と最も高く、次いで「知っているものはない」が 19.5%、「高槻クロスカントリー大会」が 15.4%の順となっている。
- ・市内のスポーツ施設での参加したイベントについては、「参加したことがない」が 84.8%と最も高く、次いで「高槻シティハーフマラソン」が 5.1%、「高槻市民スポーツ祭」が 3.4%の順となっている。
- ・スポーツ推進委員の認知度については、「知らない」が 85.5%と最も高く、次いで「名前だけ知っている」が 10.9%、「何をしているか知っている」が 1.4%の順となっている。
「関わったことがある」と「何をしているか知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた“知っている”は、12.8%となっている。
- ・スポーツ振興のために力を入れるべき年代については、「子ども（～17 歳）」が 46.2%と最も高く、次いで「成人（18～64 歳）」が 30.1%、「高齢者（65 歳～）」が 19.0%の順となっている。
- ・スポーツ振興のために力を入れるべき施策については、「身近なスポーツ環境（公園等）の整備」が 46.8%と最も高く、次いで「スポーツ施設の整備」が 41.8%、「各種（健康づくり・スポーツ体験等）教室・講演会」が 28.1%の順となっている。

【自転車の安全利用について】（問 34～問 41）

- ・ 自転車を利用する目的については、「買い物」と回答した割合が 50.9%と最も高く、次いで「自転車は利用しない」が 38.0%、「通勤」が 22.0%の順となっている。
- ・ 自転車を利用する時の通行場所については、「車道の左側」と回答した割合が 52.6%と最も高く、次いで「歩道」が 38.0%、「自転車は利用しない」が 29.4%の順となっている。
- ・ 駅前の放置自転車対策に必要なことは、「駐輪場や駐輪ラックを増やす」と回答した割合が 59.1%と最も高く、次いで「駐輪場の利用料金を安くする」が 43.2%、「放置自転車の撤去を徹底する」が 30.5%の順となっている。
- ・ 市内の自転車走行に必要なことについては、「自動車と分離した自転車通行空間の整備」と回答した割合が 56.0%と最も高く、次いで「歩行者と分離した自転車通行空間の整備」が 50.2%、「滑りやすい路面や、側溝の段差など凹凸のある路面の改善」が 28.4%の順となっている。
- ・ 『高槻市自転車安全利用条例』の認知度は、「知っている」が 13.9%、「知らない」が 83.2%となっている。
『たかつき自転車まちづくり向上計画及び実行計画』の認知度では「知っている」が 4.5%、「知らない」が 89.3%となっている。
- ・ 自転車乗車時のヘルメット着用については、「自転車を利用しない」が 36.3%と最も高く、次いで「着用の義務は知っているが、着用していない」が 25.8%、「着用していない」が 24.3%の順となっている。
「着用している」は 5.9%と 1 割以下となっている。
- ・ 自転車に関する保険や共済の加入については、「加入している」と回答した割合が 47.8%と最も高く、次いで「自転車を利用しない」が 33.1%、「加入していない」が 8.9%の順となっている。
- ・ 自転車の安全利用に関する取組への満足度については、「駐輪場の整備・充実や放置自転車対策」は「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた“満足している”が 46.7%、「安全で快適な自転車通行空間の整備状況」は“満足している”が 22.8%、「自転車交通ルール・マナーの周知に向けた取組」は“満足している”が 23.8%、「自転車利用を促進する取組」は“満足している”が 26.1%となっている。

【地域でのつながりや支え合いに関する取組について】（問 42～問 46）

- ・ 住んでいる地域の状況として、「あてはまる」は『普段から隣近所の人とのコミュニケーション・会話がある』が 35.4%と最も高く、次いで『災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる』が 29.7%、『子どもが安心して過ごせる居場所がある』が 17.8%の順となっている。
「あてはまらないがこうなれば良いと思う」は、ほとんどが 20%台で推移しているが、『災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる』と『隣近所の子どもや高齢者などが虐待されていると思ったときにすぐに連絡・相談できる』が 30%を上回っている。
- ・ 地域活動に「参加、協力している」は、『自治会の行事や活動』が 35.7%と最も高く、次いで『文化・スポーツ等のグループ活動』が 6.4%、『PTA活動や子育てサロン活動』が 6.0%となっている。
「参加・協力していないが、今後してみたい」は、『文化・スポーツ等のグループ活動』

が 11.9%と最も高く、次いで『ボランティア活動』が 10.4%、『高齢者・障がい者の見守りや居場所づくりなどの活動』が 9.8%となっている。

- ・地域での活動に参加する際に苦勞すること、参加できない要因になっていることについては、「仕事や家事、育児や介護などのため、活動する時間がない」が 49.5%と最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」が 27.3%、「一緒に参加できる身近な人や仲間がいない」が 25.8%の順となっている。
- ・地域住民、福祉サービス事業者、行政の役割分担のあり方については、「地域住民、福祉サービス事業者、行政が対等な立場で参加し、共同で取組を進める」が 33.0%と最も高く、次いで「住民同士の助け合いを基本としながら、足りない部分を福祉サービス事業者や行政が支援する」が 26.9%、「福祉サービス事業者と行政が主体となって取組を進める」が 19.5%の順となっている。

【災害への備えについて】（問 47～問 51）

- ・災害への備えの有無については、「備えが出来ている」が 30.6%に対し「何をすべきか必要なことは分かっているが、備えは出来ていない」が 59.2%と最も高くなっている。
- ・避難情報が発令された場合の情報の入手については、「入手できると思う」が 64.4%、「入手できないと思う」が 32.2%となっている。
- ・防災ポータルサイト「高槻防災」の利用については、「利用している」が 9.1%にとどまったが、「知っているが、利用したことがない」と合わせると約 4 割は「高槻防災」を認識している。
- ・防災情報の確認のために利用したことがある手段については、「緊急速報メール(エリアメール)」が 48.6%と最も高く、次いで「市ホームページ」が 37.9%、「テレビのテロップ放送」が 31.8%の順となっている。
- ・防災情報の確認のために最も便利だと感じる手段については、「緊急速報メール(エリアメール)」が 36.9%と最も高く、次いで「市ホームページ」が 13.3%、「テレビのテロップ放送」が 10.1%の順となっている。

【水道について】（問 52～問 55）

- ・安全な水道水が安定して供給され安心して利用できているかについては、「そう思う」が 63.5%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 28.2%、「思わない」が 4.1%の順となっている。
「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”は、91.7%と 9 割を超えている。
- ・安心して水道を利用できない理由については、「水質」が 55.6%と最も高く、次いで「味」と「におい」が同率の 28.9%、「水温」が 8.9%の順となっている。
- ・水道水の飲み方については、「そのままではないが飲んでいる（沸騰させて飲む、浄水器を通して飲むなど）」が 58.2%と最も高く、次いで「蛇口等から出た水をそのまま飲んでいる」が 27.3%、「水道水は飲まない」が 12.7%の順となっている。
- ・非常用飲料水確保のための準備については、「市販のボトルウォーター（備蓄水・ミネラルウォーター等）を備えている」が 70.1%と最も高く、次いで「応急給水用の容器（ウォータータンク・給水袋・空のペットボトル等）を備えている」が 20.8%、「準備していない」が 20.1%の順となっている。

【市の財政状況等について】（問 56～問 58）

- ・市の財政状況をどのように感じているかについては「わからない」が 52.2%と最も高く、次いで「現在は、健全な状況を維持している」が 41.0%、「もう既に、健全な状況ではない」が 4.8%の順となっている。
- ・市の行政サービスの在り方と利用者負担についての今後の見通しについては、「現在の施設数や行政サービス水準のままであれば問題ない」が 38.1%と最も高く、次いで「わからない」が 31.4%、「現在より施設を増やしたり、行政サービスを充実させても何ら問題ない」が 16.7%の順となっている。
- ・今後の行政サービスの在り方と利用者負担への考えについては、「施設利用料等の利用者負担が増えてもよいので、現状のサービスを維持すべき」が 44.0%と最も高く、次いで「わからない」が 30.9%、「施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止となっても仕方がない」が 22.9%の順となっている。

Ⅲ 調査結果

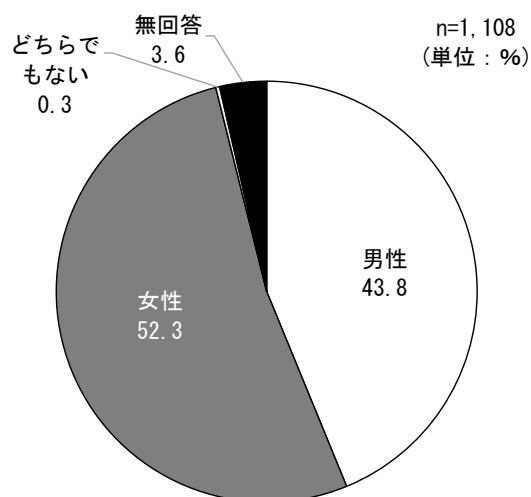
Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

問1 あなたの性別（○は1つだけ）

番号	選択肢	回答数
1	男性	485
2	女性	580
3	どちらでもない	3
	無回答	40
	全体	1,108

■性別

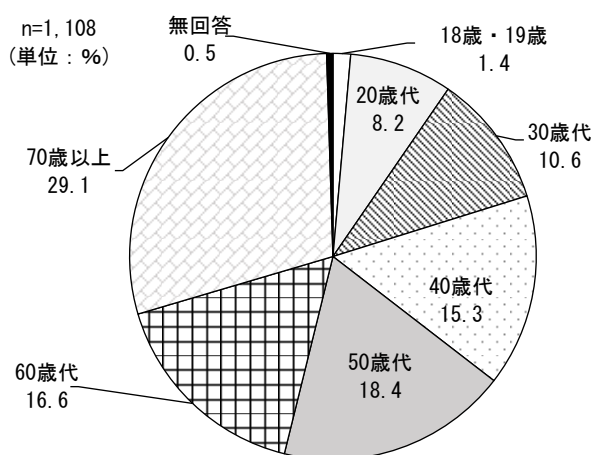


性別については、「女性」が52.3%と最も高く、次いで「男性」が43.8%、「どちらでもない」が0.3%となっている。

問2 令和7年1月1日現在のあなたの年齢（○は1つだけ）

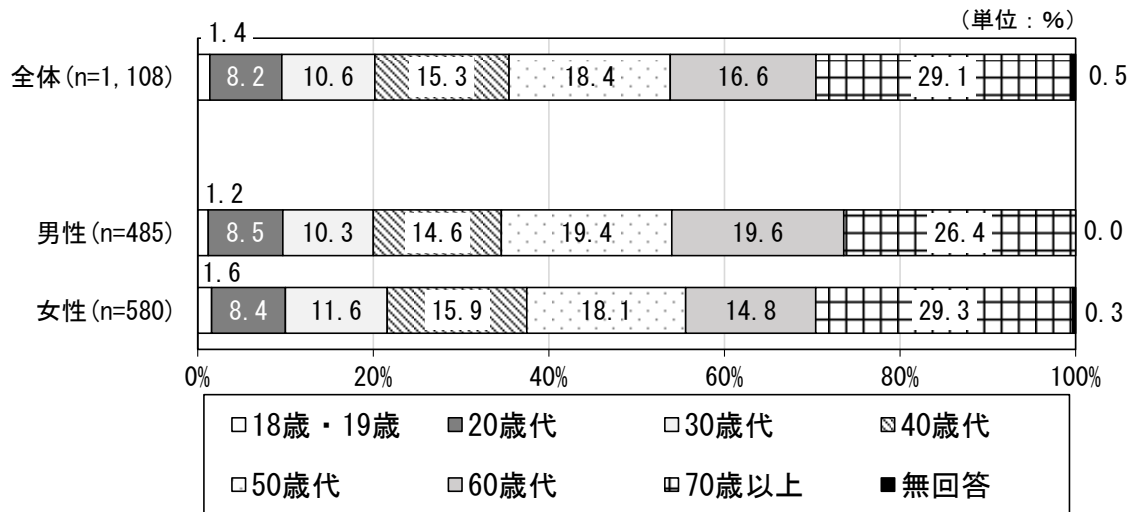
番号	選択肢	回答数
1	18歳・19歳	15
2	20歳代	91
3	30歳代	117
4	40歳代	169
5	50歳代	204
6	60歳代	184
7	70歳以上	322
	無回答	6
	全体	1,108

■年代



年代については、「70歳以上」が29.1%と最も高く、次いで「50歳代」が18.4%、「60歳代」が16.6%の順となっている。

■男女別 年代

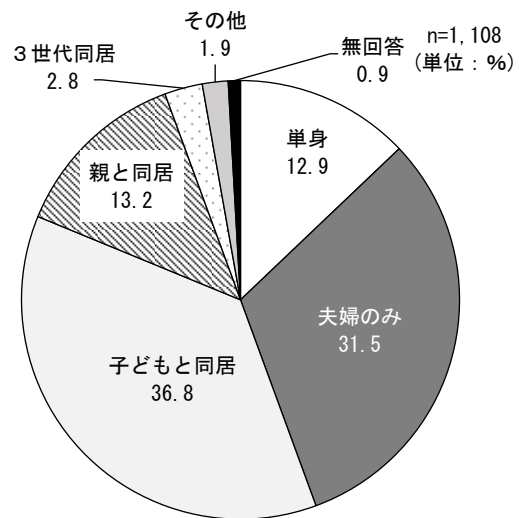


男女別にみると、男性では70歳以上が26.4%、女性では同29.3%といずれも最も高くなっている。

問3 あなたと現在同居されている家族構成 (○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	単身	143
2	夫婦のみ	349
3	子どもと同居	408
4	親と同居	146
5	3世代同居	31
6	その他	21
	無回答	10
全体		1,108

■家族構成

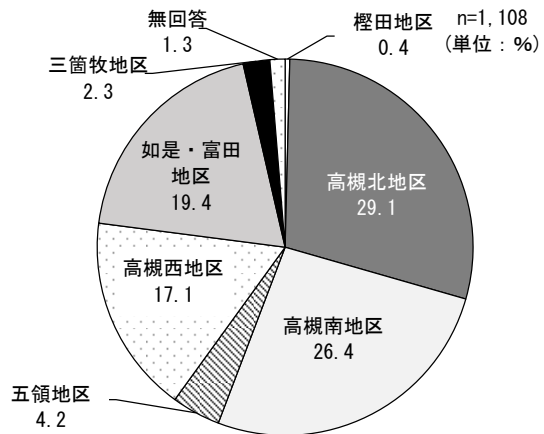


家族構成については、「子どもと同居」が36.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が31.5%、「親と同居」が13.2%の順となっている。

問4 あなたは、どちらの地域にお住まいですか。(○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	檜田地区	4
2	高槻北地区	322
3	高槻南地区	292
4	五領地区	46
5	高槻西地区	189
6	如是・富田地区	215
7	三箇牧地区	26
	無回答	14
全体		1,108

■居住地

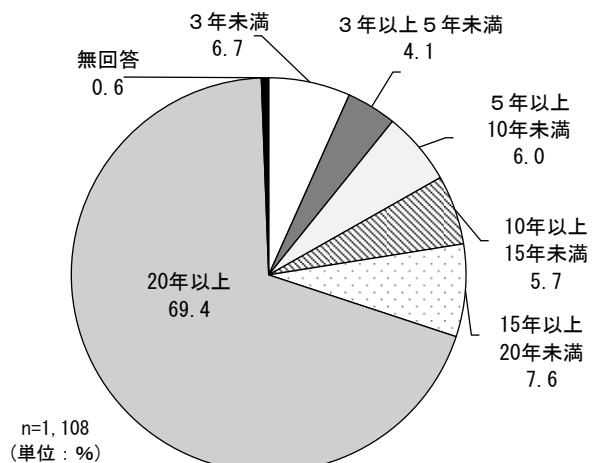


居住地については、「高槻北地区」が29.1%と最も高く、次いで「高槻南地区」が26.4%、「如是・富田地区」が19.4%の順となっている。

問5 あなたは、高槻市内に通算で何年住んでいますか。(○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	3年未満	74
2	3年以上5年未満	45
3	5年以上10年未満	66
4	10年以上15年未満	63
5	15年以上20年未満	84
6	20年以上	769
	無回答	7
全体		1,108

■居住年数

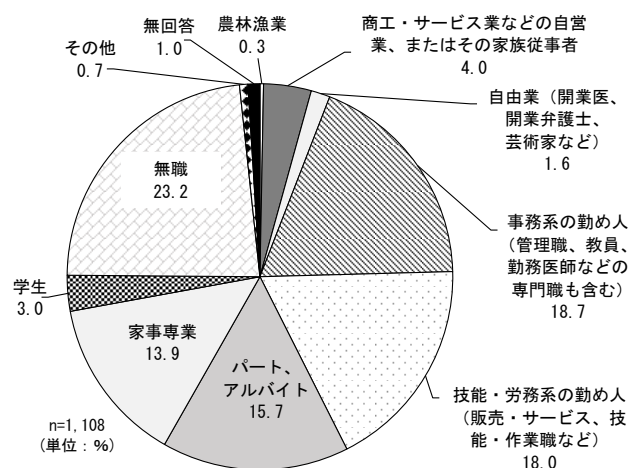


居住年数については、「20年以上」が69.4%と最も高く、次いで「15年以上20年未満」が7.6%、「3年未満」が6.7%の順となっている。

問6 あなたの職業をお聞きします。複数の職業についている場合は、主なものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	農林漁業	3
2	商工・サービス業などの自営業、またはその家族従事者	44
3	自由業（開業医、開業弁護士、芸術家など）	18
4	事務系の勤め人（管理職、教員、勤務医師などの専門職も含む）	207
5	技能・労務系の勤め人（販売・サービス、技能・作業職など）	199
6	パート、アルバイト	174
7	家事専業	154
8	学生	33
9	無職	257
10	その他	8
	無回答	11
全体		1,108

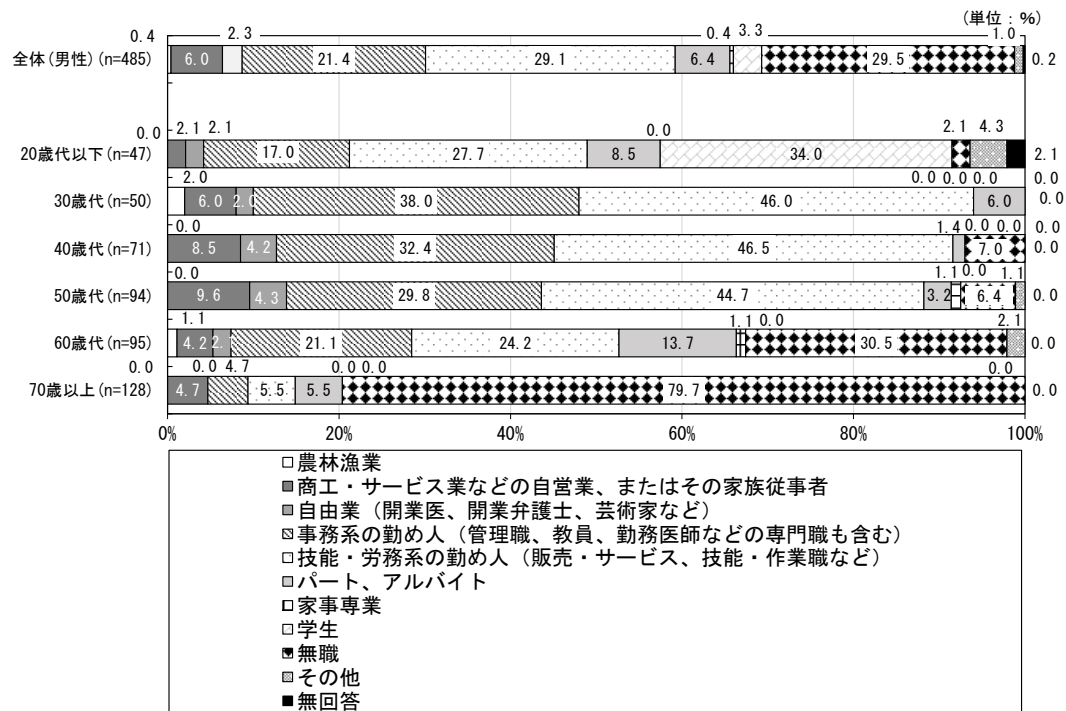
職業



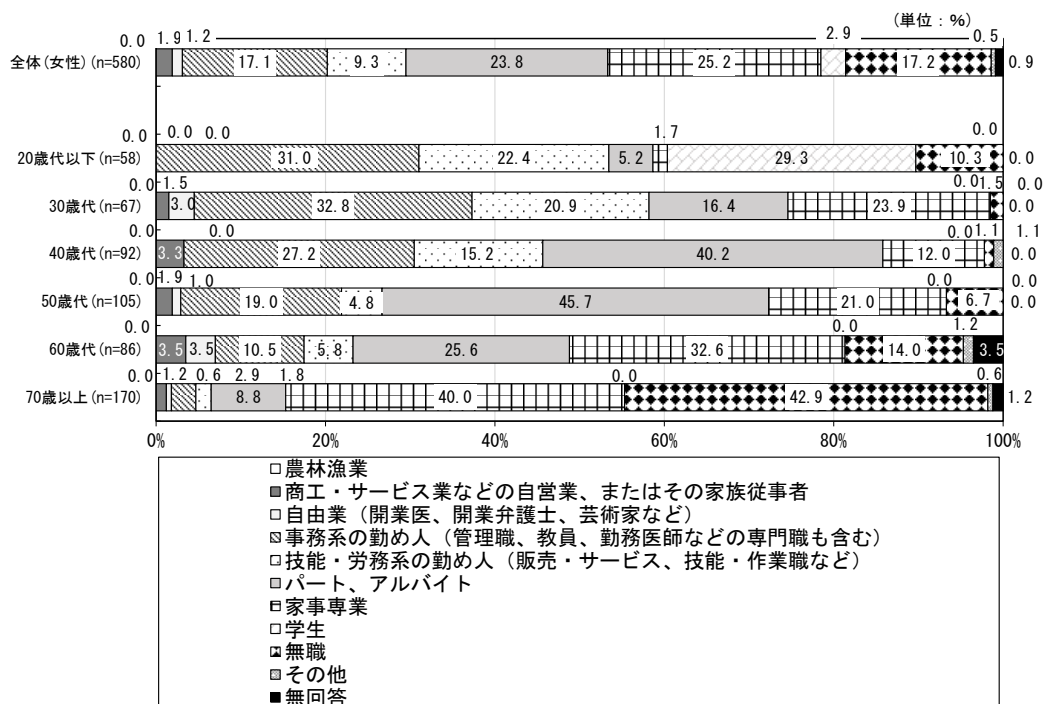
職業については、「無職」が23.2%と最も高く、次いで「事務系の勤め人（管理職、教員、勤務医師などの専門職も含む）」が18.7%、「技能・労務系の勤め人（販売・サービス、技能・作業職など）」が18.0%の順となっている。

■男女別 年代別 職業

・男性



・女性



男女別にみると、男性では「無職」が29.5%と最も高く、女性では「家事専業」が25.2%と最も高くなっている。

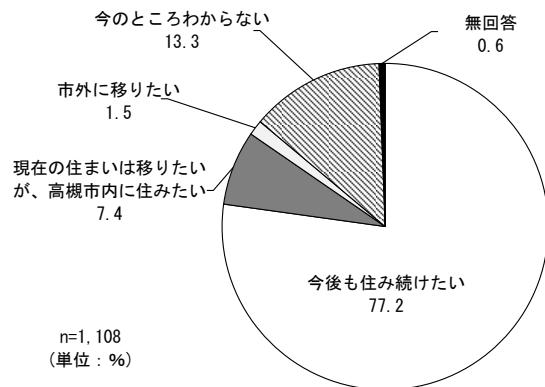
年代別にみると、70歳以上で男女ともに「無職」が最も高くなっている。

2 高槻市のイメージについて

問7 あなたは、今後も高槻市に住み続けたいと思いますか（交通の利便性、住環境、子育て・教育・医療環境、街への愛着などを評価したうえでお答えください）。（○は1つだけ）

番号	選択肢	回答数
1	今後も住み続けたい	855
2	現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい	82
3	市外に移りたい	17
4	今のところわからない	147
	無回答	7
全体		1,108

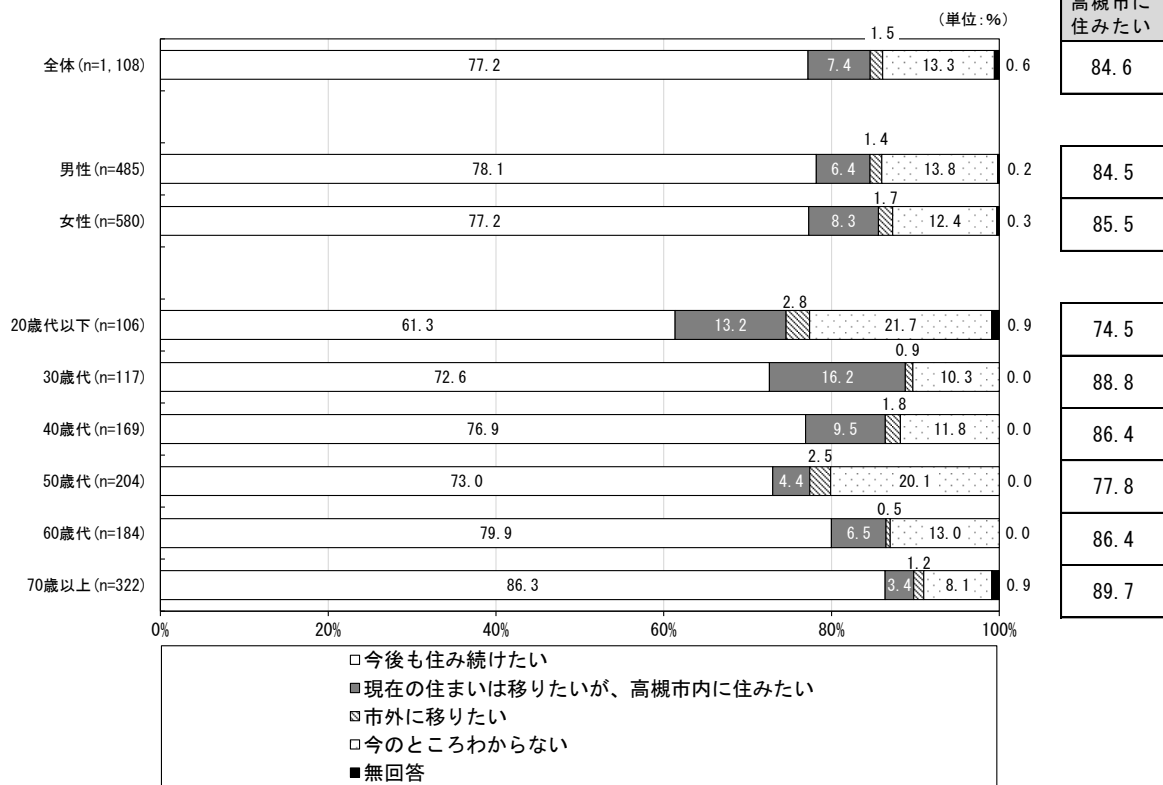
■高槻市での今後の居留意向



高槻市での今後の居留意向については、「今後も住み続けたい」が77.2%と最も高く、次いで「今のところわからない」が13.3%、「現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい」が7.4%の順となっている。

「今後も住み続けたい」と「現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい」を合わせた“高槻市に住みたい”が84.6%と8割を超えている。

■男女別 年代別 高槻市での今後の居住意向



※ “高槻市に住みたい” = 「今後も住みたい」 + 「現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい」

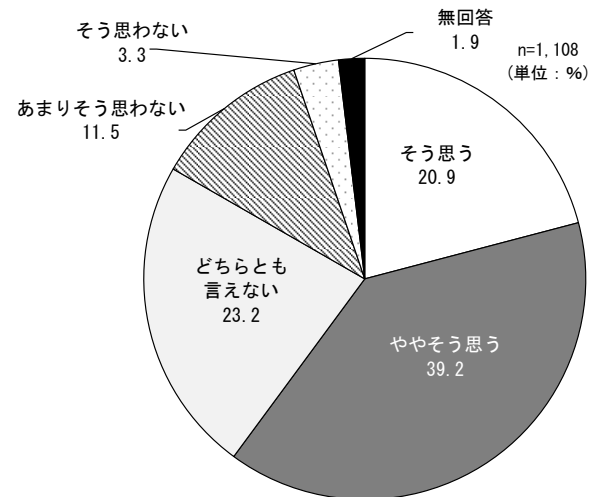
男女別にみると、男性の「今後も住みたい」と「現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい」を合わせた“高槻市に住みたい”が84.5%、女性が85.5%とともに8割を超えている。

年代別にみると、最も高い70歳以上の“高槻市に住みたい”では89.7%と約9割となっている。最も低い20歳代以下でも74.5%となっており、“高槻市に住みたい”と回答した市民の割合はすべての年代で高くなっている。

問 8 あなたは、高槻市の街が商業、工業または観光により「にぎわっている」と
 思いますか。(○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	そう思う	232
2	ややそう思う	434
3	どちらとも言えない	257
4	あまりそう思わない	127
5	そう思わない	37
	無回答	21
全体		1,108

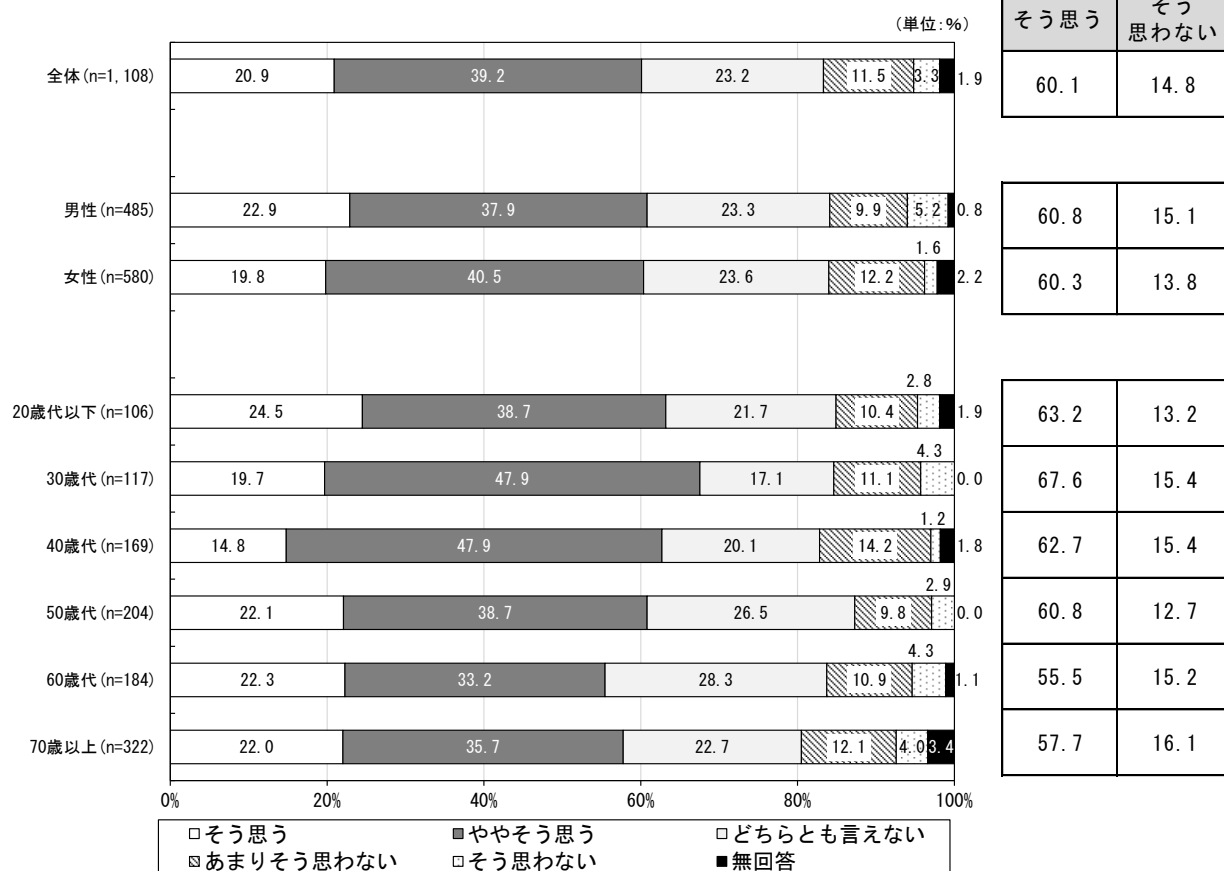
■ 高槻市がにぎわっているか



高槻市がにぎわっているかについては、「ややそう思う」が39.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が23.2%、「そう思う」が20.9%の順となっている。

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”は60.1%と約6割となっている。

■男女別 年代別 高槻市がにぎわっているか



※ “そう思う” = 「そう思う」 + 「ややそう思う」
 “そう思わない” = 「あまりそう思わない」 + 「そう思わない」

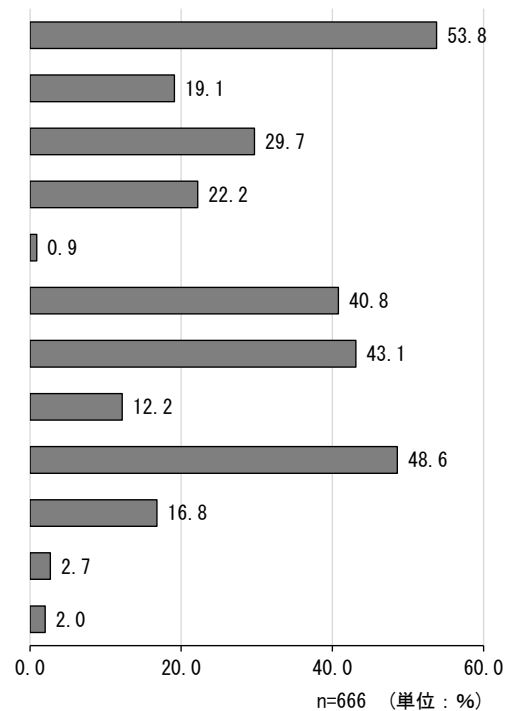
男女別にみると、男女ともに「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”より高くなっている。

年代別にみても、全ての年代で“そう思う”が“そう思わない”より高く、50歳代以下は6割を超えている。

問8で「1. そう思う」「2. ややそう思う」と答えられた方におたずねします。
 問9 どういった点について、にぎわっていると思いますか。(〇はいくつでも)

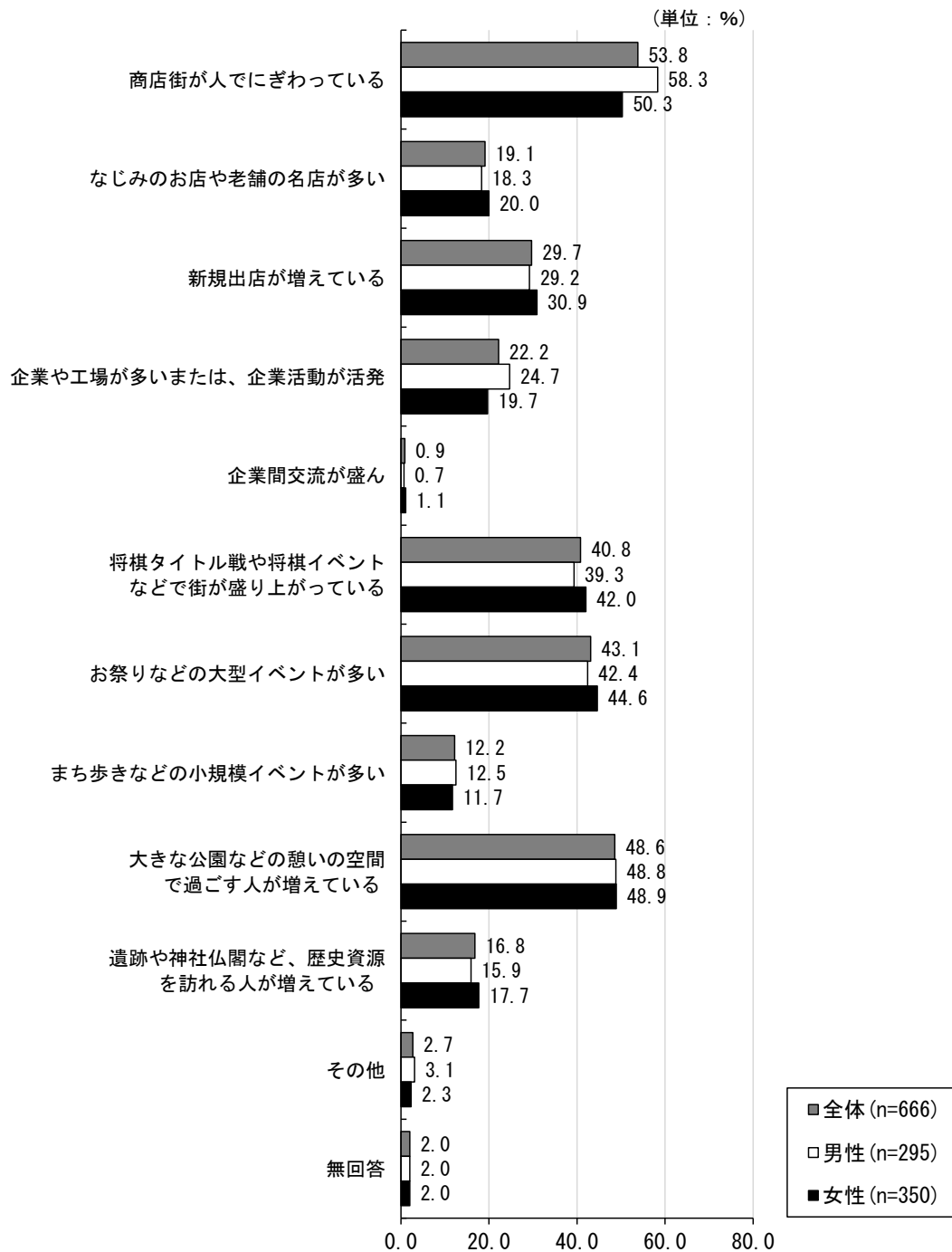
番号	選択肢	回答数
1	商店街が人でにぎわっている	358
2	なじみのお店や老舗の名店が多い	127
3	新規出店が増えている	198
4	企業や工場が多いまたは、企業活動が活発	148
5	企業間交流が盛ん	6
6	将棋タイトル戦や将棋イベントなどで街が盛り上がっている	272
7	お祭りなどの大型イベントが多い	287
8	まち歩きなどの小規模イベントが多い	81
9	大きな公園などの憩いの空間で過ごす人が増えている	324
10	遺跡や神社仏閣など、歴史資源を訪れる人が増えている	112
11	その他	18
	無回答	13
回答総数		1,944
全体		666

■高槻市がにぎわっていると思う点



高槻市がにぎわっていると思う点については、「商店街が人でにぎわっている」が 53.8%と最も高く、次いで「大きな公園などの憩いの空間で過ごす人が増えている」が 48.6%、「お祭りなどの大型イベントが多い」が 43.1%の順となっている。

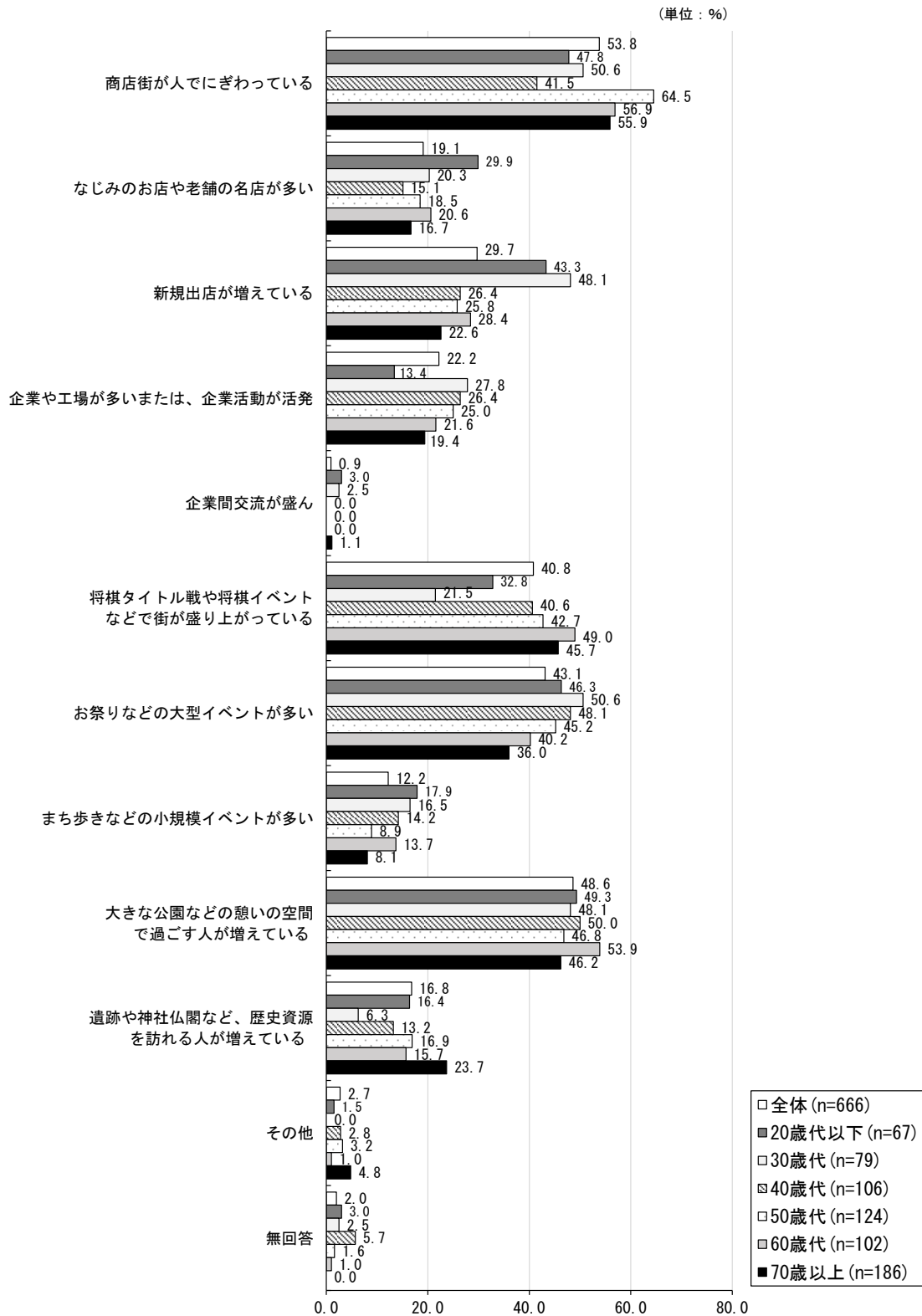
■男女別 高槻市がにぎわっていると思う点



男女別にみると、「大きな公園などの憩いの空間で過ごす人が増えている」は男性が48.8%、女性が48.9%とほぼ同じとなっている。

「商店街が人でにぎわっている」は男性が58.3%、女性は50.3%と男性の方が8.0ポイント高くなっている。

■年代別 高槻市がにぎわっていると思う点



年代別にみると、「商店街が人でにぎわっている」の50歳代が64.5%と6割を超えている。

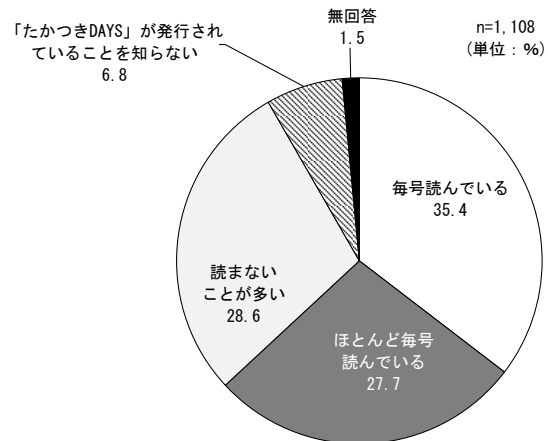
3 市の広報について

1)市広報誌について

問 10 あなたは、市広報誌「広報たかつき（たかつきDAYS）」を読んでいますか。（○は1つだけ）

番号	選択肢	回答数
1	毎号読んでいる	392
2	ほとんど毎号読んでいる	307
3	読まないことが多い	317
4	「たかつきDAYS」が発行されていることを知らない	75
	無回答	17
全体		1,108

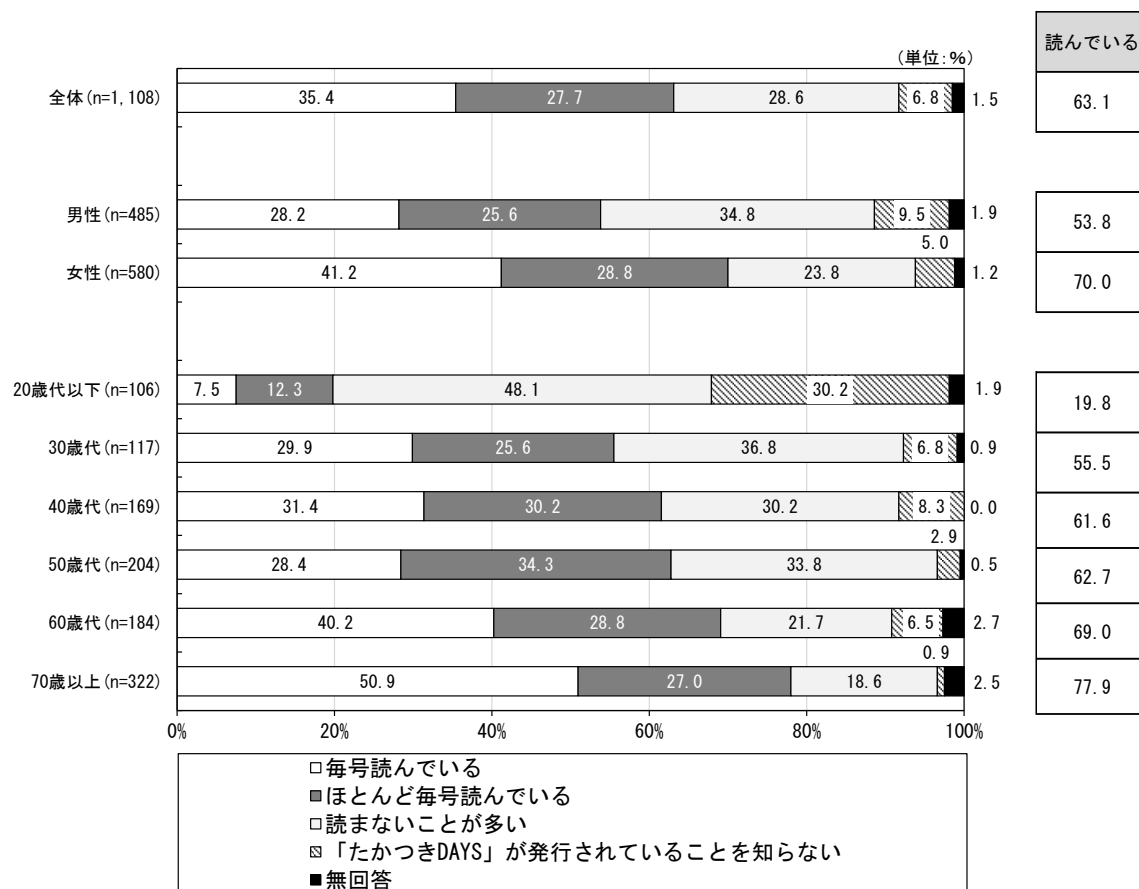
■「たかつきDAYS」を読んでいるか



「たかつきDAYS」を読んでいるかについては、「毎号読んでいる」が35.4%と最も高く、次いで「読まないことが多い」が28.6%、「ほとんど毎号読んでいる」が27.7%の順となっている。

「毎号読んでいる」と「ほとんど毎号読んでいる」を合わせた“読んでいる”は63.1%となっている。

■男女別 年代別「たかつきDAYS」を読んでいるか



※ “読んでいる” = 「毎号読んでいる」 + 「ほとんど毎号読んでいる」

男女別にみると、男性の“読んでいる”が53.8%、女性が70.0%と女性の方が16.2ポイント高くなっている。

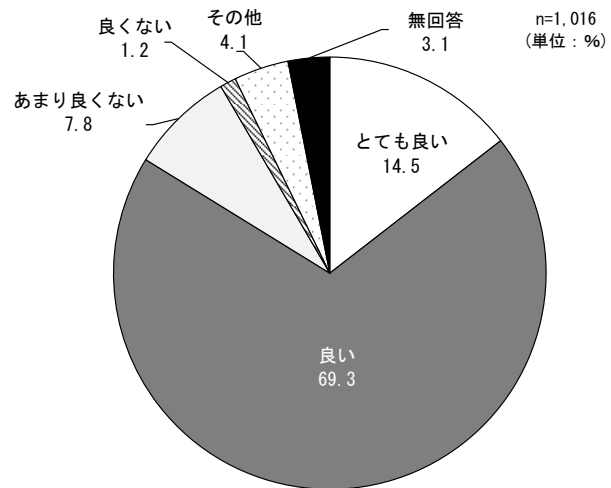
年代別に見ると、“読んでいる”が20歳代以下を除く全ての年代で5割を超えており、70歳以上では77.9%と約8割となっている。

問10で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問11 「たかつきDAYS」について、どのような感想をお持ちになりましたか。
(○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	とても良い	147
2	良い	704
3	あまり良くない	79
4	良くない	12
5	その他	42
	無回答	32
全体		1,016

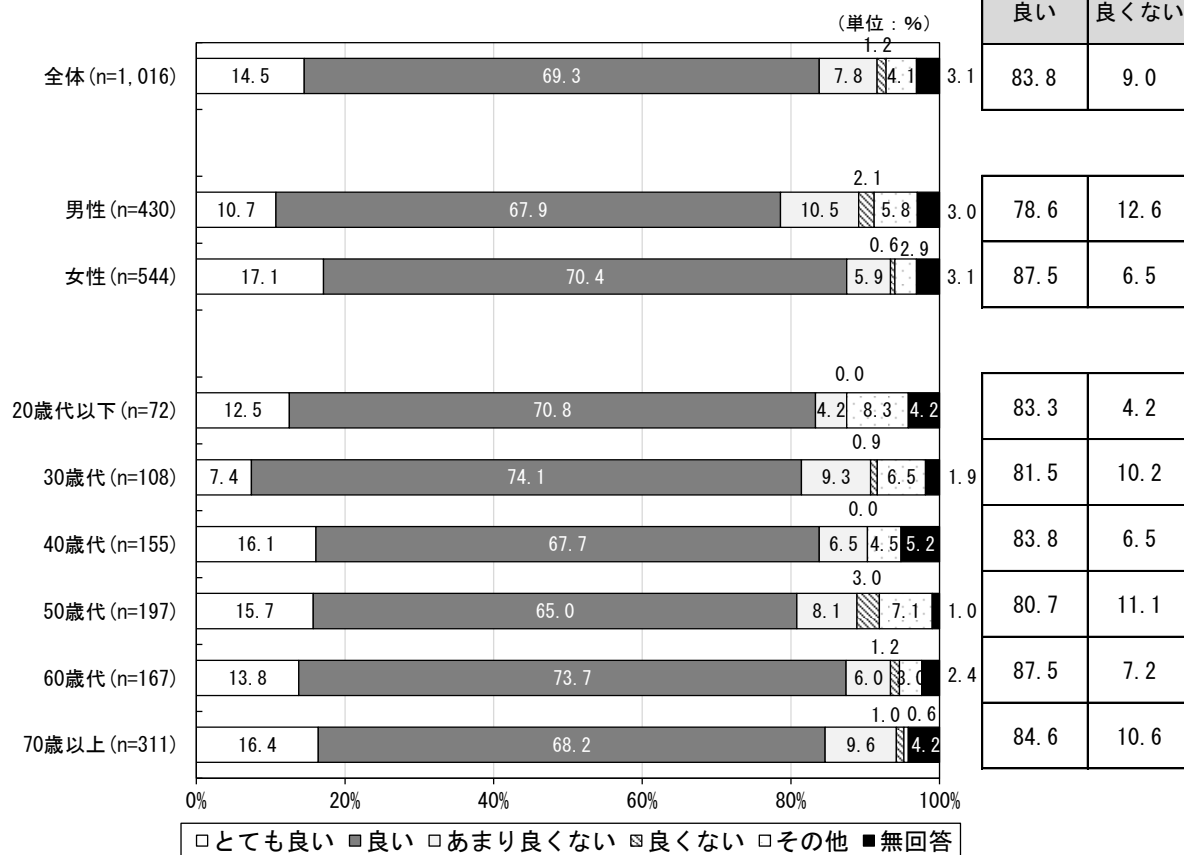
■「たかつきDAYS」の感想



「たかつきDAYS」の感想については、「良い」が69.3%と最も高く、次いで「とても良い」が14.5%、「あまり良くない」が7.8%の順となっている。

「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”は83.8%と8割を超えている。

■男女別 年代別「たかつきDAYS」の感想



※ “良い” = 「とても良い」 + 「良い」 “良くない” = 「あまり良くない」 + 「良くない」

男女別にみると、男性では“良い”が78.6%、女性では“良い”が87.5%で女性が8.9ポイント高くなっている。

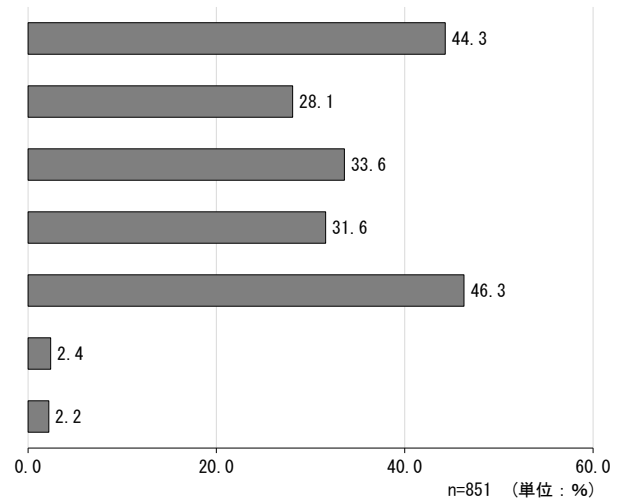
年代別では、“良い”は全ての年代において8割を超えている。

問11で「1. とても良い」「2. 良い」と答えられた方におたずねします。

問12 「たかつきDAYS」について、良いと思う点はどういうところですか。
(○はいくつでも)

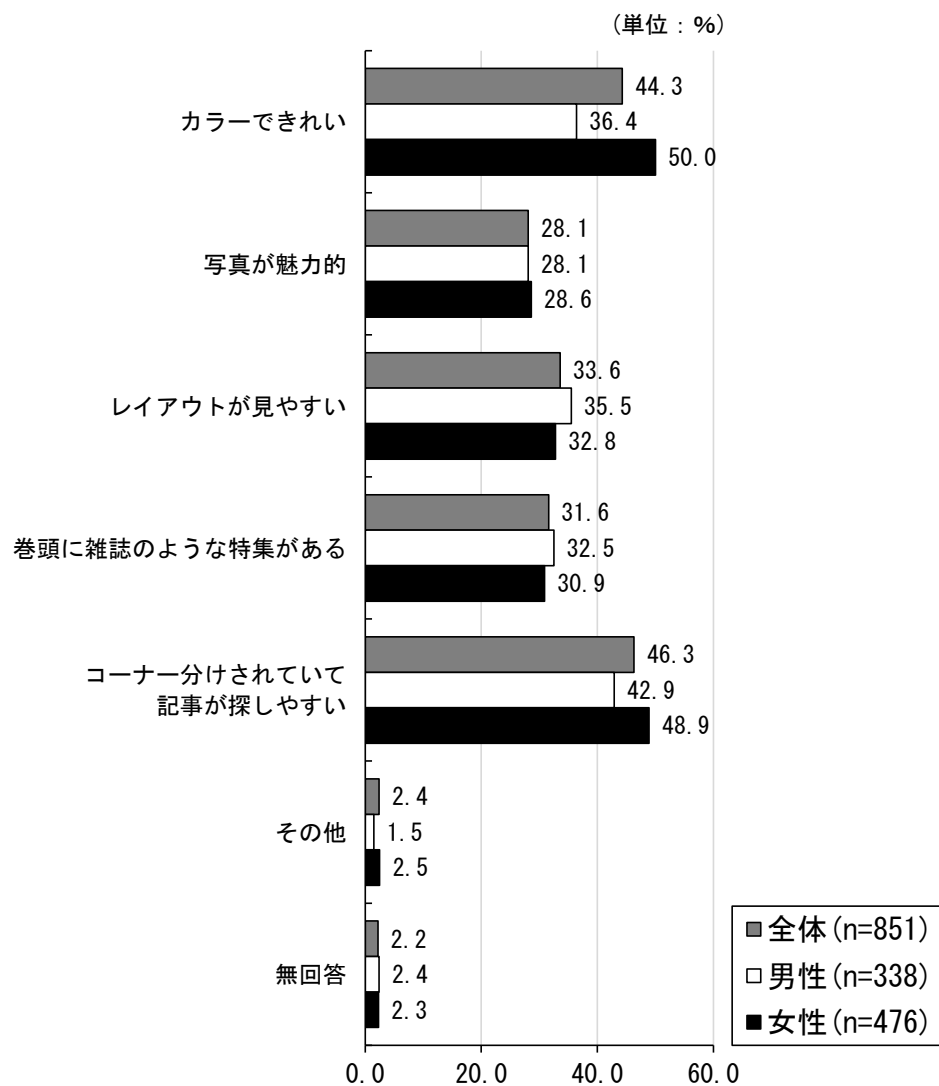
番号	選択肢	回答数
1	カラーできれい	377
2	写真が魅力的	239
3	レイアウトが見やすい	286
4	巻頭に雑誌のような特集がある	269
5	コーナー分けされていて 記事が探しやすい	394
6	その他	20
	無回答	19
回答総数		1,604
全体		851

■「たかつきDAYS」の良いと思う点



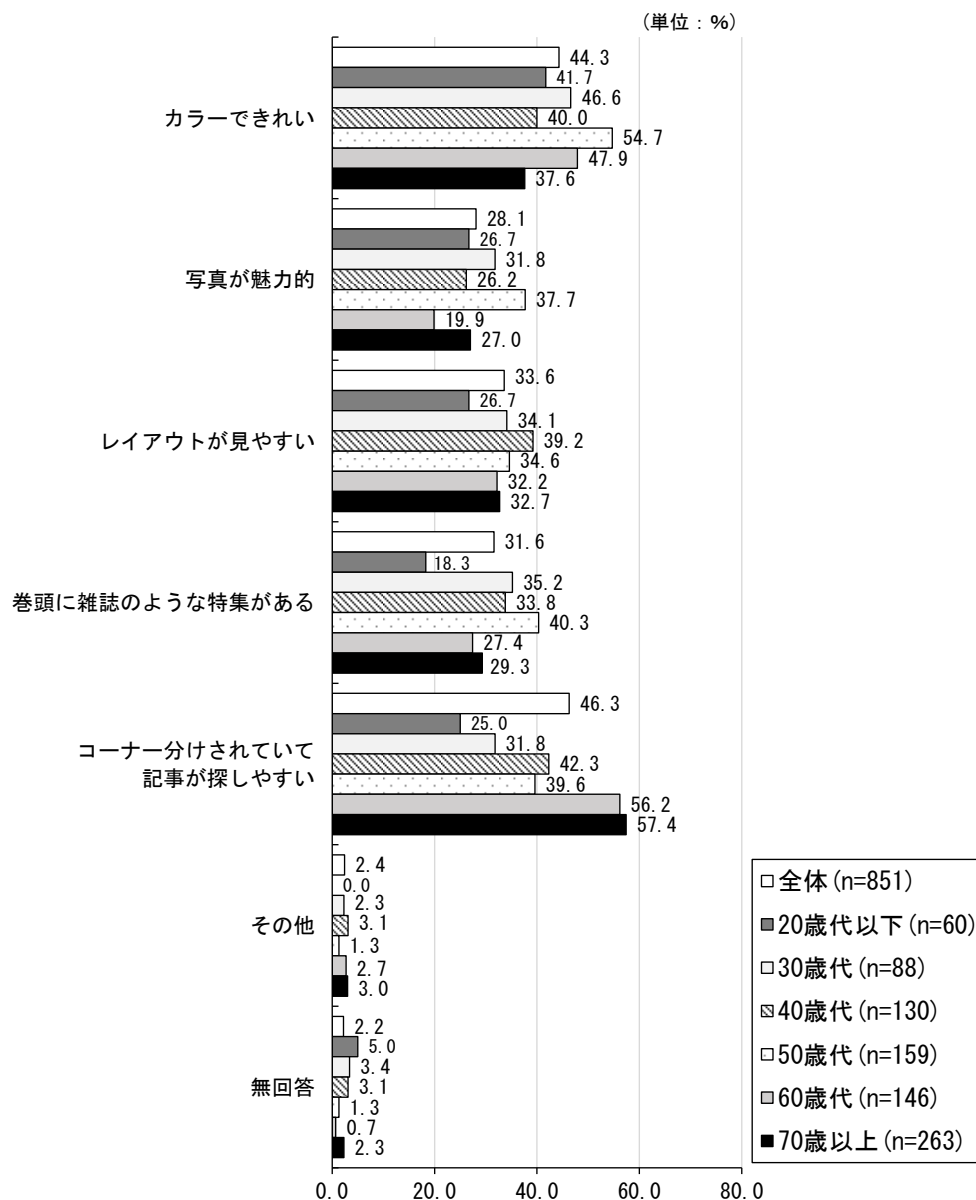
「たかつきDAYS」の良いと思う点については、「コーナー分けされていて記事が探しやすい」が46.3%と最も高く、次いで「カラーできれい」が44.3%、「レイアウトが見やすい」が33.6%の順となっている。

■男女別「たかつきDAYS」の良いと思う点



男女別にみると、「カラーできれい」が男性では 36.4%、女性が 50.0%と女性が 13.6 ポイント高くなっている。

■年代別「たかつきDAYS」の良いと思う点



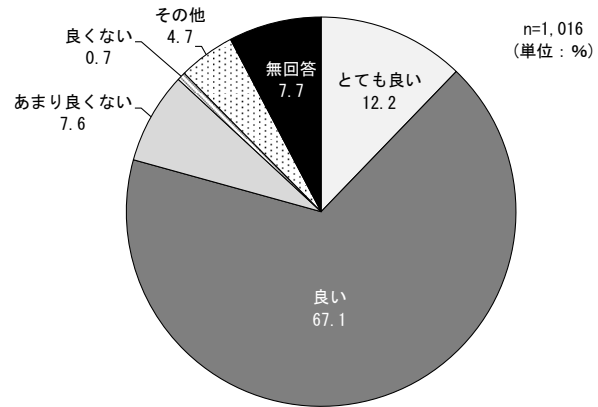
年代別にみると、「カラーできれい」が50歳代で54.7%、「コーナー分けされていて記事が探しやすい」が60歳代で56.2%、70歳以上で57.4%と6割近くなっている。

問10で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問13 巻頭の特集（表紙から続く7ページの特集）について、どのような感想をお持ちになりましたか。（○は1つだけ）

番号	選択肢	回答数
1	とても良い	124
2	良い	682
3	あまり良くない	77
4	良くない	7
5	その他	48
	無回答	78
全体		1,016

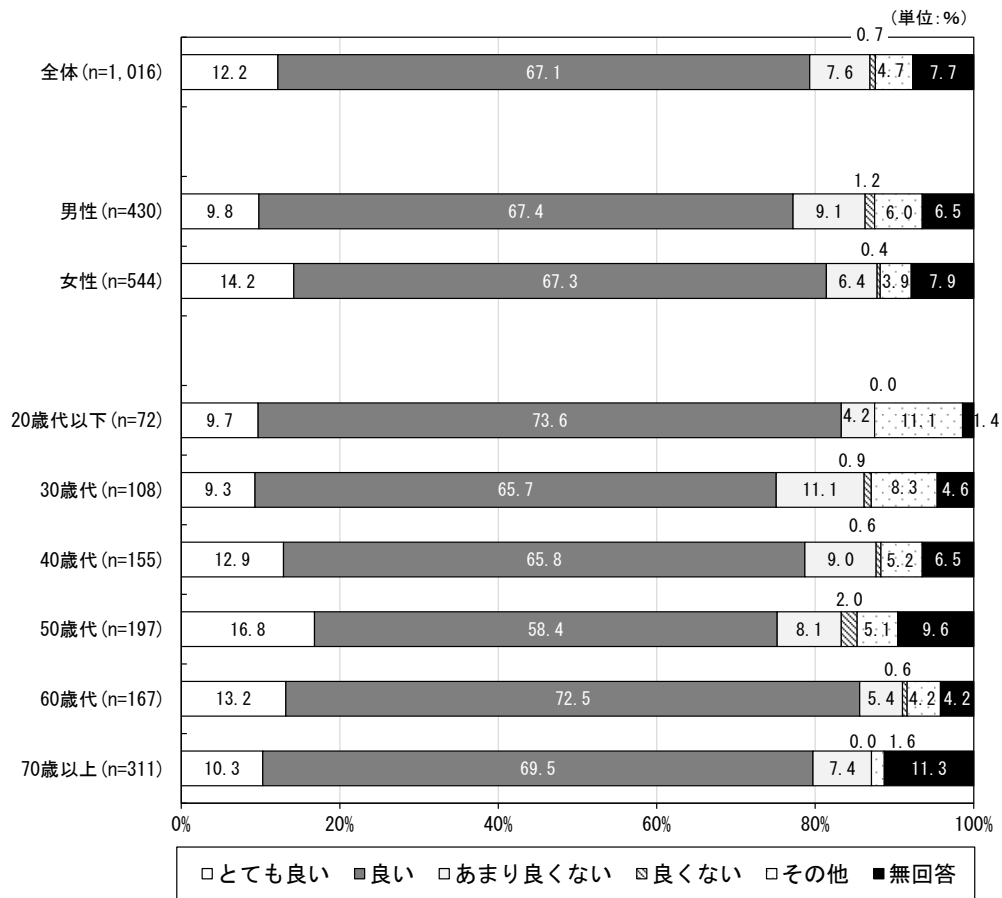
■「たかつきDAYS」の巻頭特集の感想



「たかつきDAYS」の巻頭特集の感想については、「良い」が67.1%と最も高く、次いで「とても良い」が12.2%、「あまり良くない」が7.6%の順となっている。

「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”は、79.3%と約8割となっている。

■男女別 年代別「たかつきDAYS」の巻頭特集の感想



良い	良くない
79.3	8.3

良い	良くない
77.2	10.3
81.5	6.8

良い	良くない
83.3	4.2
75.0	12.0
78.7	9.6
75.2	10.1
85.7	6.0
79.8	7.4

※ “良い” = 「とても良い」 + 「良い」 “良くない” = 「あまり良くない」 + 「良くない」

男女別にみると、「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”が男性で77.2%、女性で81.5%と約8割となっている。

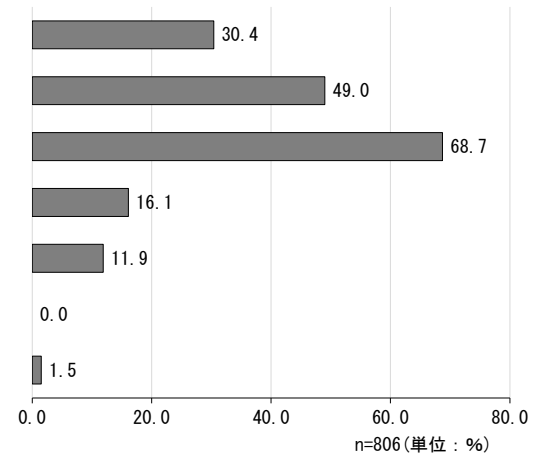
年代別にみると、20歳代以下と60歳代で“良い”が8割を超えている。

問13で「1. とても良い」「2. 良い」と答えられた方におたずねします。

問14 巻頭の特集で、良いと思う点はどういうところですか。
(○はいくつでも)

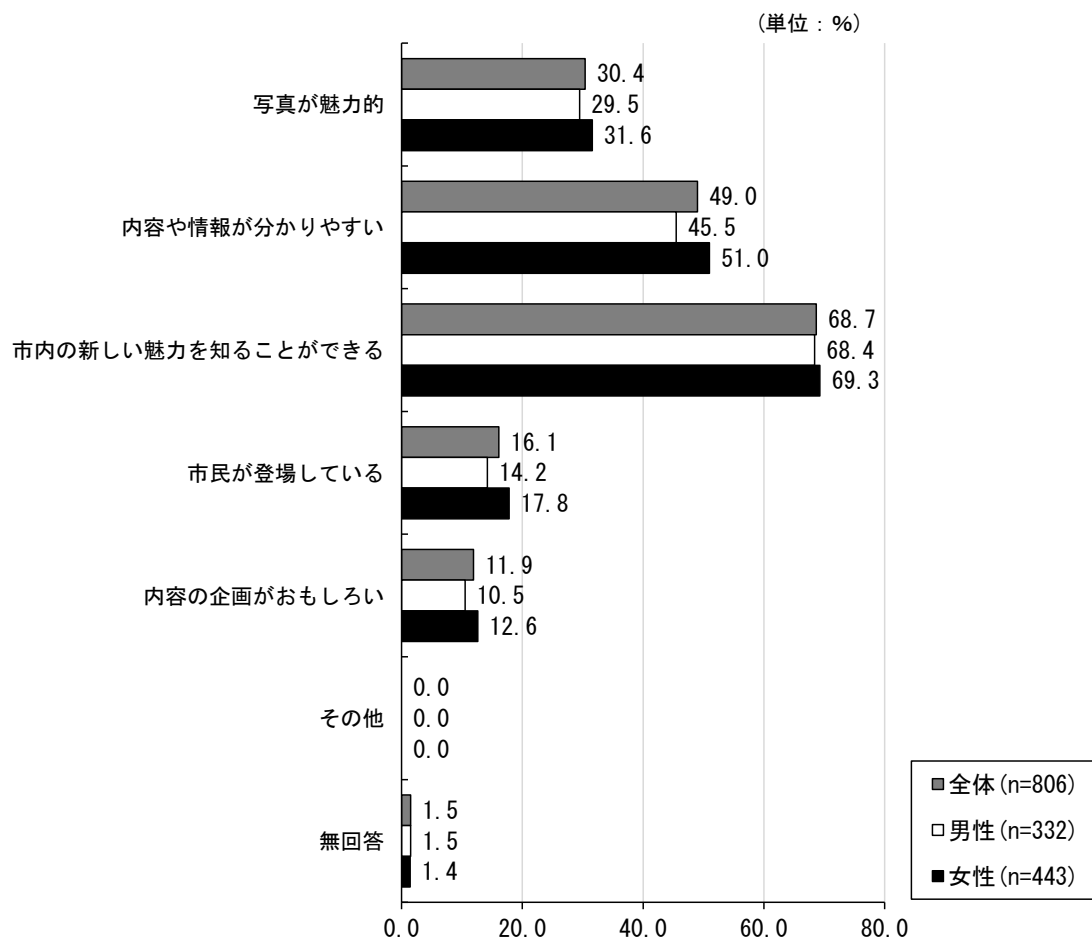
番号	選択肢	回答数
1	写真が魅力的	245
2	内容や情報が分かりやすい	395
3	市内の新しい魅力を知ることができる	554
4	市民が登場している	130
5	内容の企画が面白い	96
6	その他	0
	無回答	12
回答総数		1,432
全体		806

■巻頭特集で良いと思う点



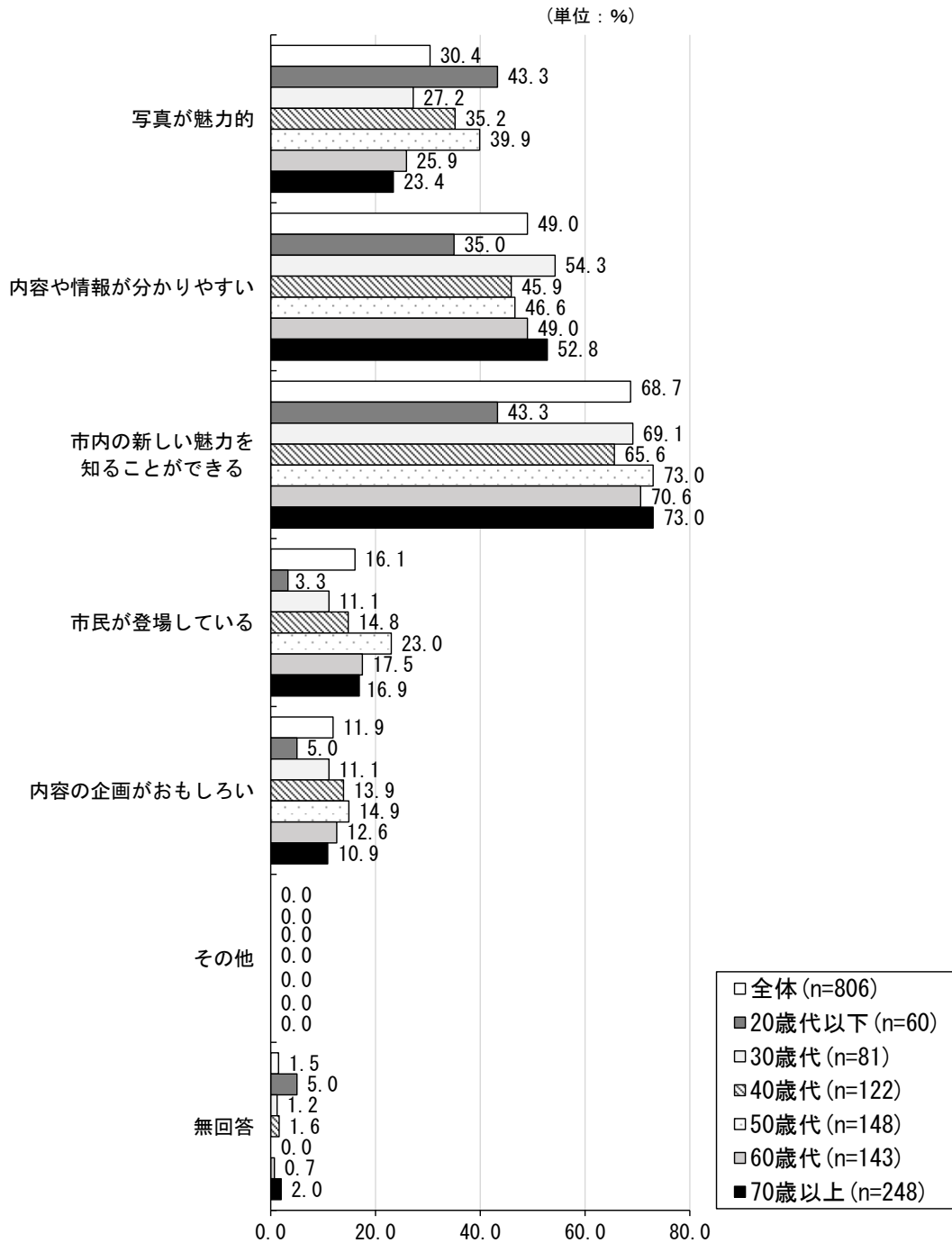
巻頭特集で良いと思う点については、「市内の新しい魅力を知ることができる」が68.7%と最も高く、次いで「内容や情報が分かりやすい」が49.0%、「写真が魅力的」が30.4%の順となっている。

■男女別 巻頭特集で良いと思う点



男女別にみると「内容や情報が分かりやすい」は男性が45.5%、女性が51.0%と女性が5.5ポイント高く、「市内の新しい魅力を知ることができる」は男性が68.4%、女性が69.3%と男女ともに約7割となっている。

■年代別 巻頭特集で良いと思う点



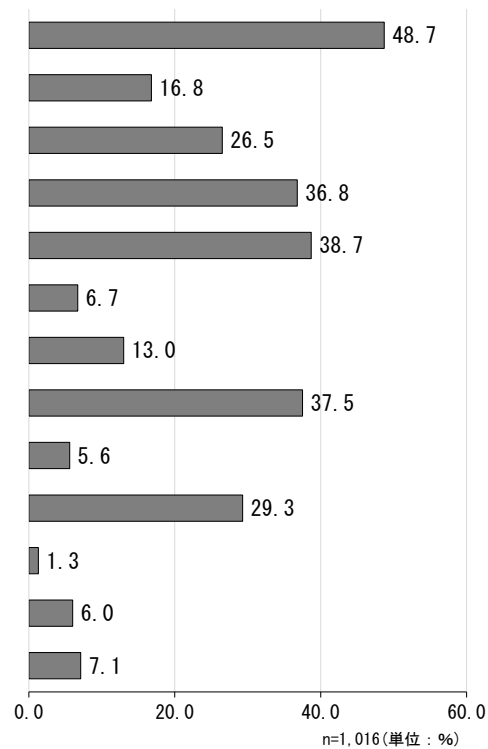
年代別にみると、「市内の新しい魅力を知ることができる」が20歳代以下を除く年代で6割を超えている。また、「写真が魅力的」で20歳代以下が43.3%と一番高い年代となっている。

問10で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問15 「たかつきDAYS」は大きく以下の記事に分けられます。どの記事をよく読んでいますか。(〇はいくつでも)

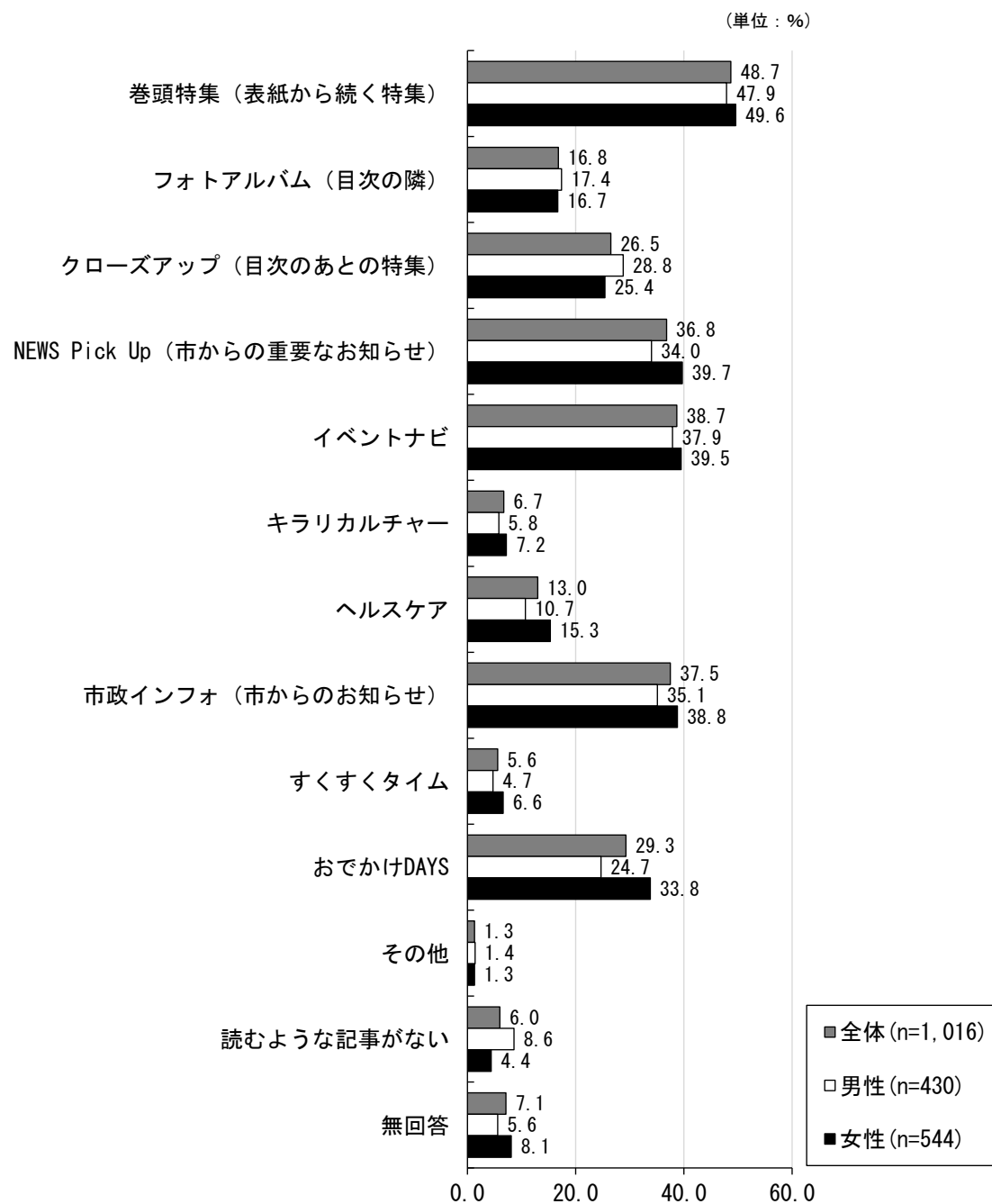
番号	選択肢	回答数
1	巻頭特集（表紙から続く特集）	495
2	フォトアルバム（目次の隣）	171
3	クローズアップ （目次のあとの特集）	269
4	NEWS Pick Up （市からの重要なお知らせ）	374
5	イベントナビ	393
6	キラリカルチャー	68
7	ヘルスケア	132
8	市政インフォ （市からのお知らせ）	381
9	すくすくタイム	57
10	おでかけDAYS	298
11	その他	13
12	読むような記事がない	61
	無回答	72
回答総数		2,784
全体		1,016

■「たかつきDAYS」でよく読む記事



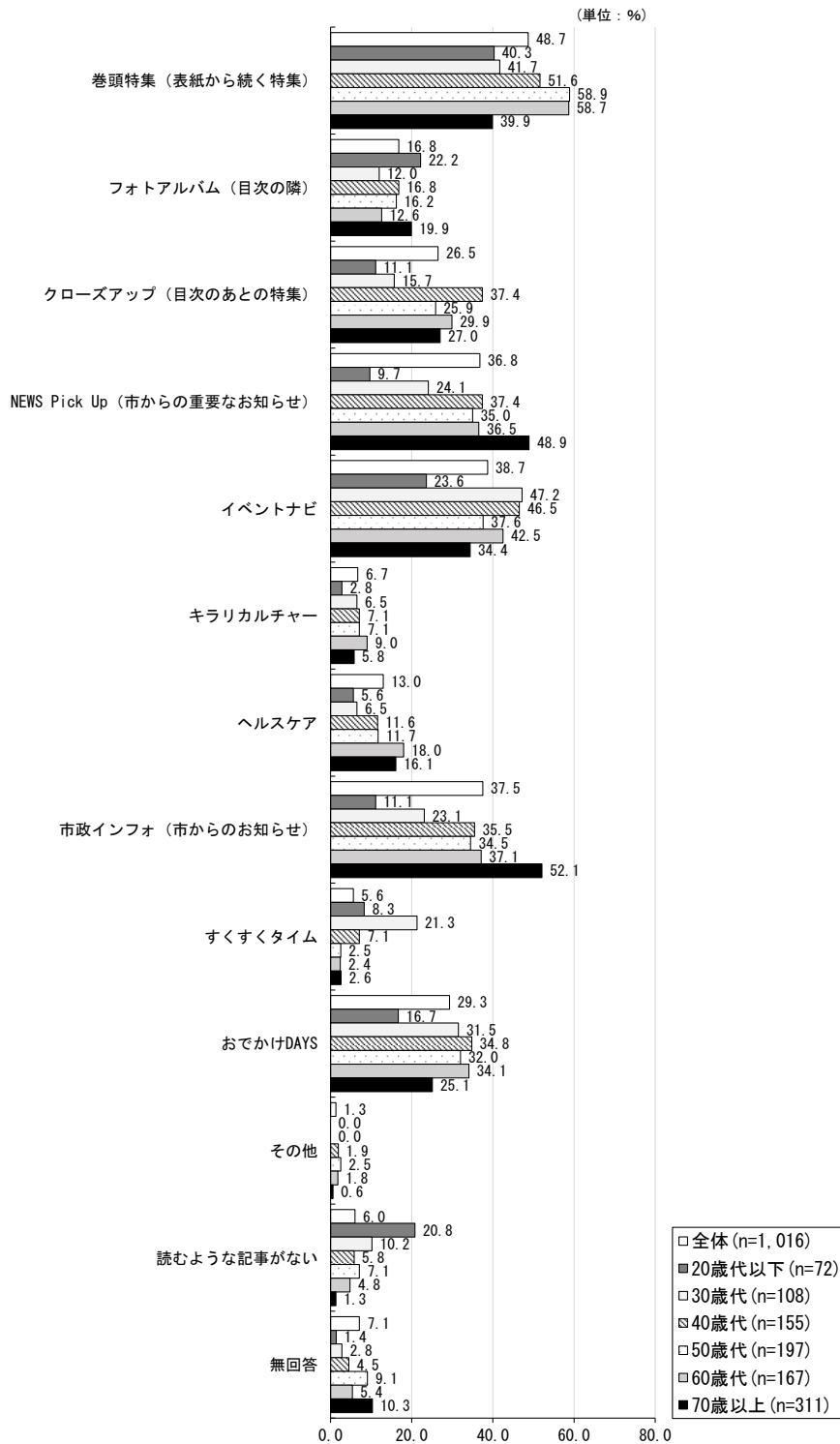
「たかつきDAYS」でよく読む記事については、「巻頭特集（表紙から続く特集）」が48.7%と最も高く、次いで「イベントナビ」が38.7%、「市政インフォ（市からのお知らせ）」が37.5%の順となっている。

■男女別 「たかつきDAYS」でよく読む記事



男女別にみると、「巻頭特集 (表紙から続く特集)」が男性は 47.9%、女性は 49.6%と最も高くなっている。また、「おでかけ DAYS」が男性は 24.7%、女性は 33.8%と女性が 9.1 ポイント高くなっている。

■年代別 「たかつきDAYS」でよく読む記事



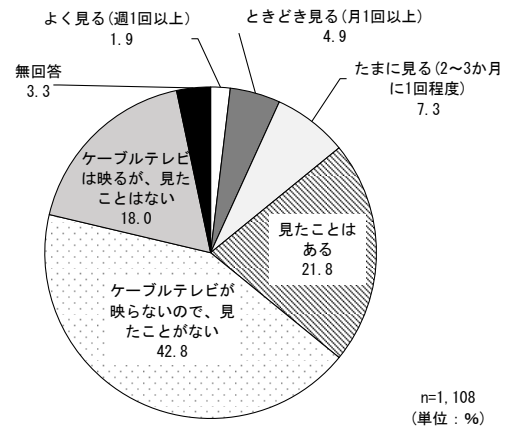
年代別にみると、70歳以上は「市政インフォ（市からのお知らせ）」の52.1%が最も高く、20歳代以下は「巻頭特集（表紙から続く特集）」の40.3%が最も高くなっている。

2)市広報番組について

問 16 あなたは、ケーブルテレビ（J：COM）の広報番組「情報BOXワイドたかつき」を見ていますか。（○は1つだけ）

番号	選択肢	回答数
1	よく見る（週1回以上）	21
2	ときどき見る（月1回以上）	54
3	たまに見る（2～3か月に1回程度）	81
4	見たことはある	242
5	ケーブルテレビが映らないので、見たことがない	474
6	ケーブルテレビは映るが、見たことはない	199
	無回答	37
全体		1,108

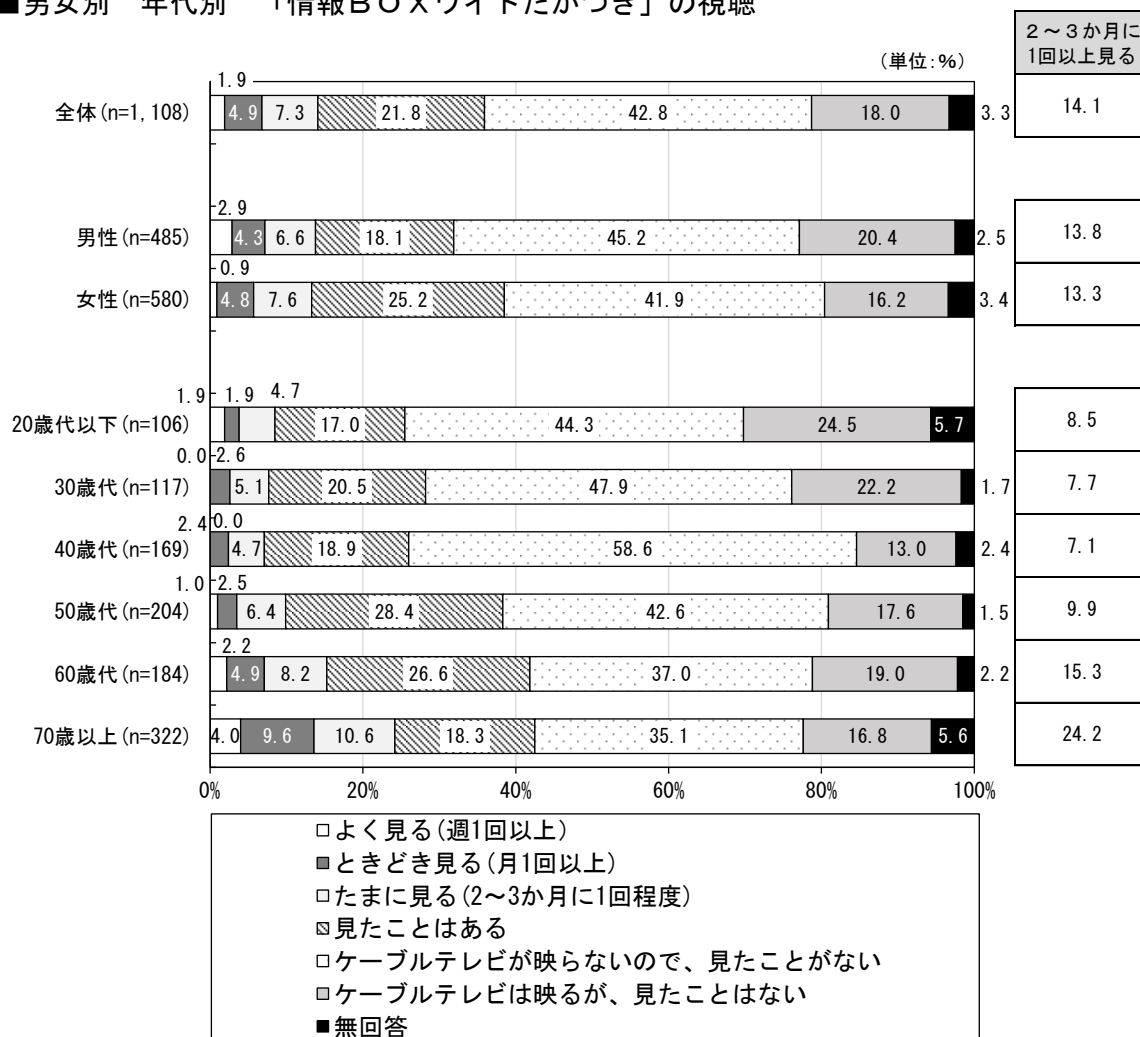
■「情報BOXワイドたかつき」の視聴



「情報BOXワイドたかつき」の視聴については、「ケーブルテレビが映らないので、見たことがない」が42.8%と最も高く、次いで「見たことはある」が21.8%、「ケーブルテレビは映るが、見たことはない」が18.0%の順となっている。

「よく見る（週1回以上）」と「ときどき見る（月1回以上）」と「たまに見る（2～3か月に1回程度）」を合わせた“2～3か月に1回以上は見る”は14.1%となっている。

■男女別 年代別 「情報BOXワイドたかつき」の視聴



※ “2～3か月に1回以上見る” = 「よく見る(週1回以上)」 + 「ときどき見る(月1回以上)」 + 「たまに見る(2～3か月に1回程度)」

男女別にみると、「よく見る(週1回以上)」と「ときどき見る(月1回以上)」と「たまに見る(2～3か月に1回程度)」を合わせた“2～3か月に1回以上は見る”は男性が13.8%、女性が13.3%と男性が0.5ポイント高くなっている。

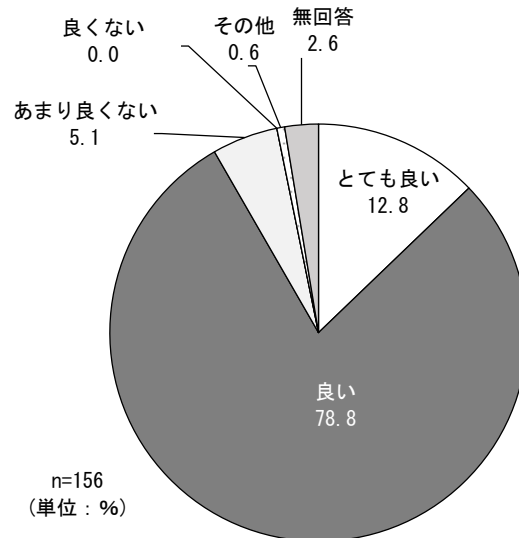
年代別にみると、“2～3か月に1回以上は見る”は70歳以上が24.2%と最も高く、次いで60歳代が15.3%と高くなっている。

問16で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問17 「情報BOXワイドたかつき」について、どのように感じましたか。
(○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	とても良い	20
2	良い	123
3	あまり良くない	8
4	良くない	0
5	その他	1
	無回答	4
全体		156

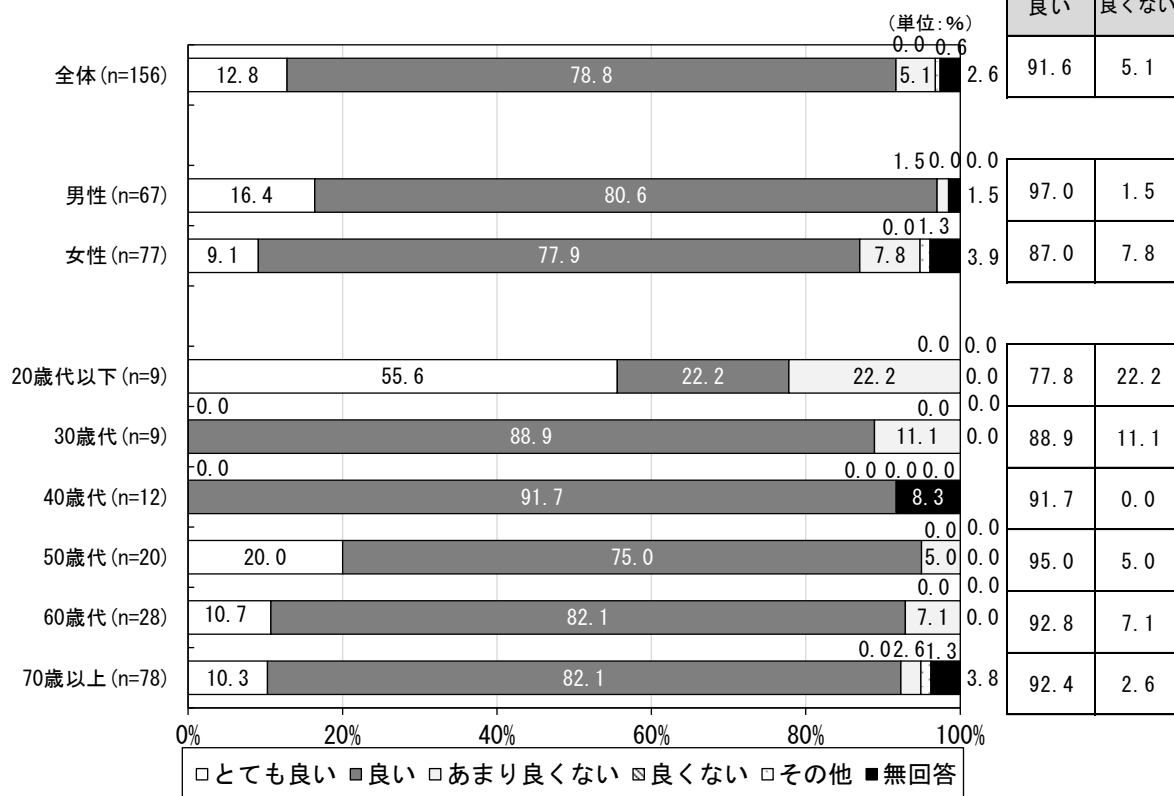
■「情報BOXワイドたかつき」の感想



「情報BOXワイドたかつき」の感想については、「良い」が78.8%と最も高く、次いで「とても良い」が12.8%、「あまり良くない」が5.1%の順となっている。

「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”は91.6%となっている。

■男女別 年代別 「情報BOXワイドたかつき」の感想



※ “良い” = 「とても良い」 + 「良い」 “良くない” = 「あまり良くない」 + 「良くない」

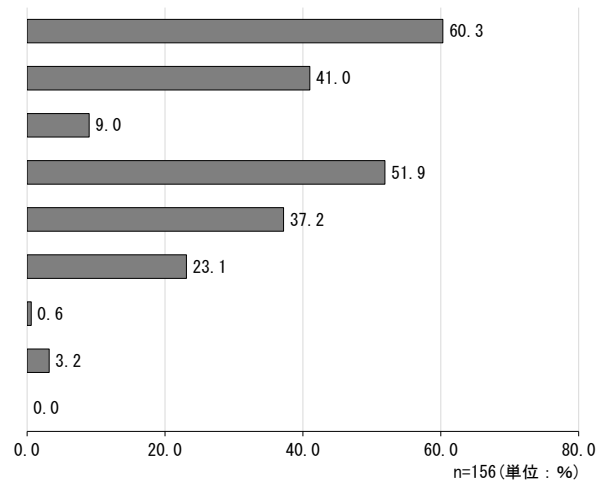
男女別にみると、「とても良い」と「良い」を合わせた“良い”の男性が97.0%、女性が87.0%と8割を超えている。

年代別にみると、“良い”は20歳代以下を除いた全ての年代で8割以上となっている。

問 18 「情報BOXワイドたかつき」の番組でどのような内容を紹介してほしいですか。(〇はいくつでも)

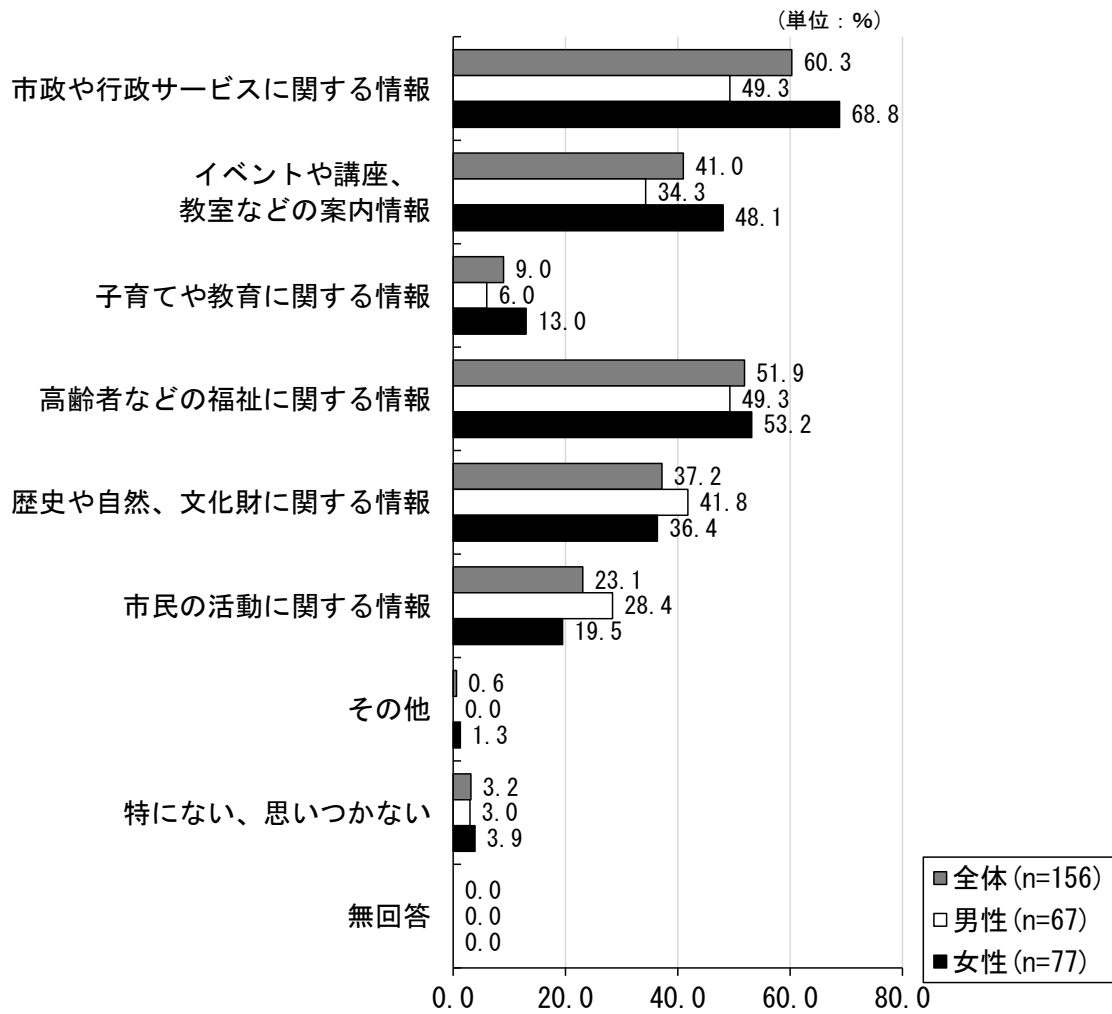
番号	選択肢	回答数
1	市政や行政サービスに関する情報	94
2	イベントや講座、教室などの案内情報	64
3	子育てや教育に関する情報	14
4	高齢者などの福祉に関する情報	81
5	歴史や自然、文化財に関する情報	58
6	市民の活動に関する情報	36
7	その他	1
8	特にない、思いつかない	5
	無回答	0
回答総数		353
全体		156

■「情報BOXワイドたかつき」で紹介してほしい内容



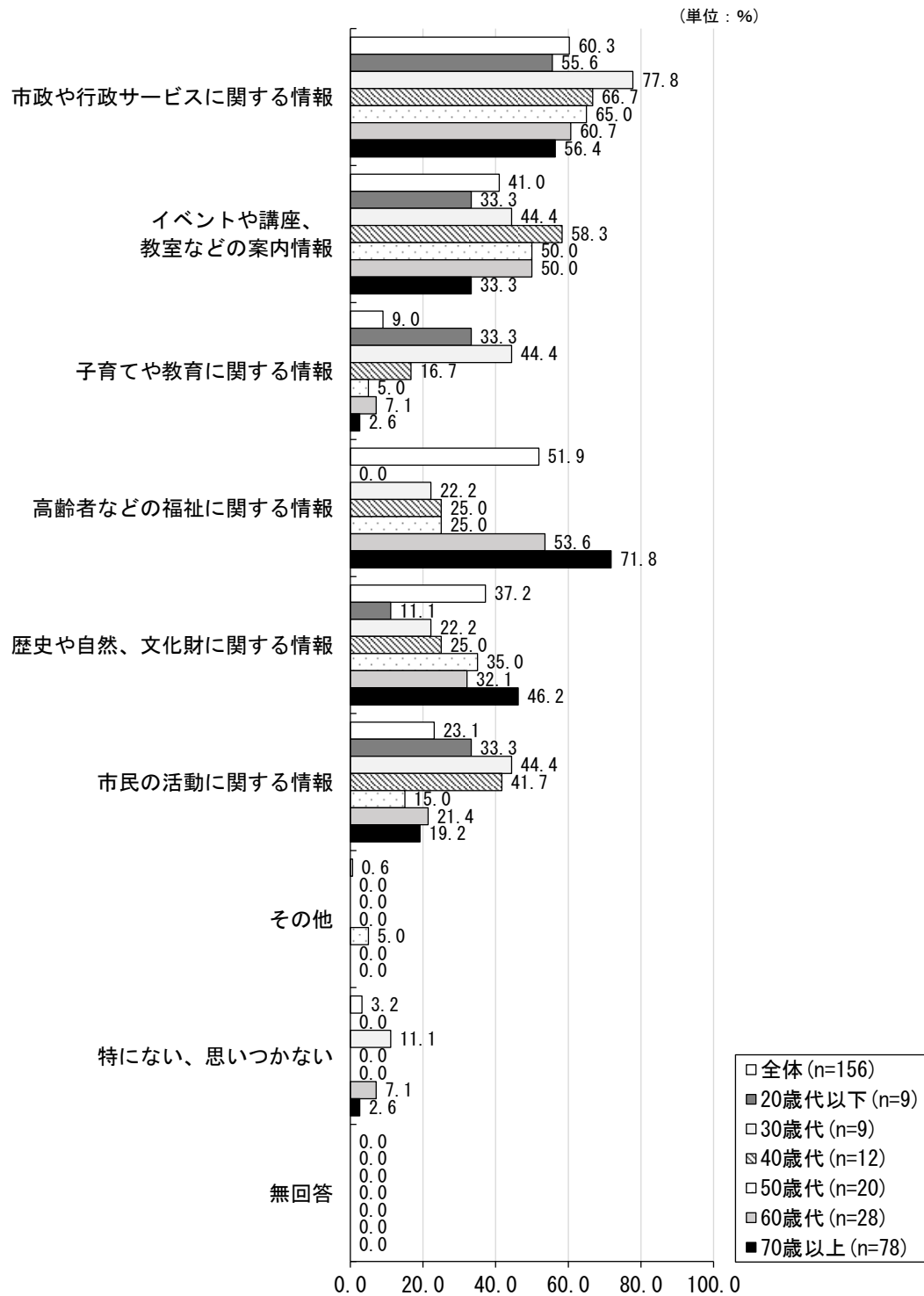
「情報BOXワイドたかつき」で紹介してほしい内容については、「市政や行政サービスに関する情報」が60.3%と最も高く、次いで「高齢者などの福祉に関する情報」が51.9%、「イベントや講座、教室などの案内情報」が41.0%の順となっている。

■男女別 「情報BOXワイドたかつき」で紹介してほしい内容



男女別にみると、「市政や行政サービスに関する情報」は男性が 49.3%、女性が 68.8%と女性が 19.5 ポイント高くなっている。

■年代別 「情報BOXワイドたかつき」で紹介してほしい内容



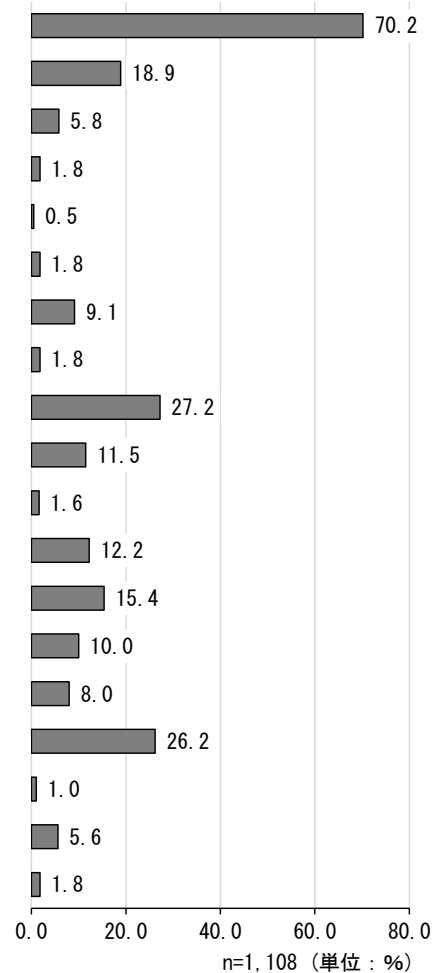
年代別にみると、「市政や行政サービスに関する情報」が30歳代で77.8%と約8割となっている。

3) 市政情報の入手方法について

問 19 あなたは市政の動きや市内のイベント・行事などの情報を何から入手していますか。(〇はいくつでも)

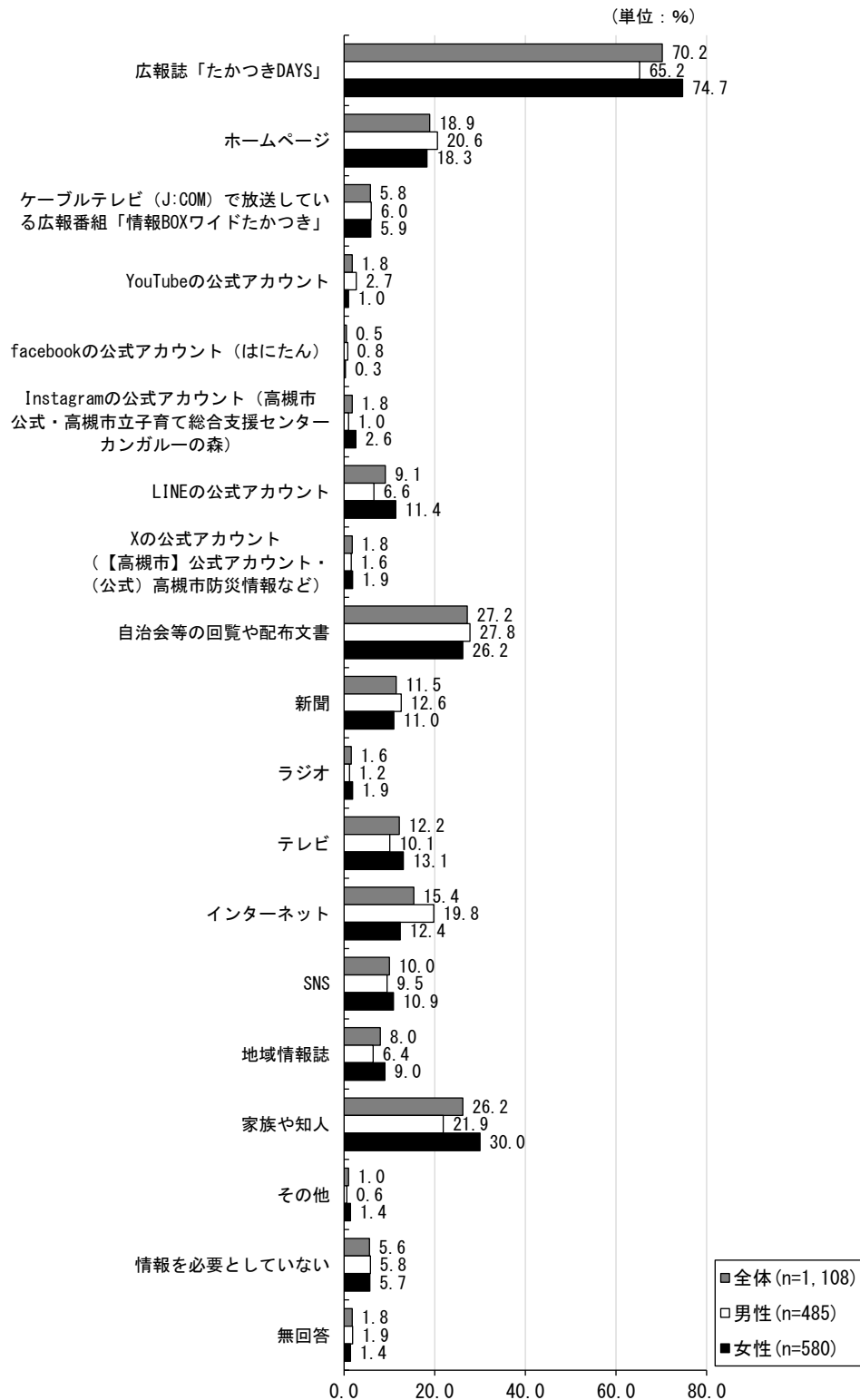
番号	選択肢	回答数
1	広報誌「たかつきDAYS」	778
2	ホームページ	209
3	ケーブルテレビ（J:COM）で放送している広報番組「情報BOXワイドたかつき」	64
4	YouTubeの公式アカウント	20
5	facebookの公式アカウント（はにたん）	6
6	Instagramの公式アカウント（高槻市公式・高槻市立子育て総合支援センターカンガルーの森）	20
7	LINEの公式アカウント	101
8	Xの公式アカウント（【高槻市】公式アカウント・（公式）高槻市防災情報など）	20
9	自治会等の回覧や配布文書	301
10	新聞	127
11	ラジオ	18
12	テレビ	135
13	インターネット	171
14	SNS	111
15	地域情報誌	89
16	家族や知人	290
17	その他	11
18	情報を必要としていない	62
	無回答	20
回答総数		2,553
全体		1,108

■ 市政情報の入手方法



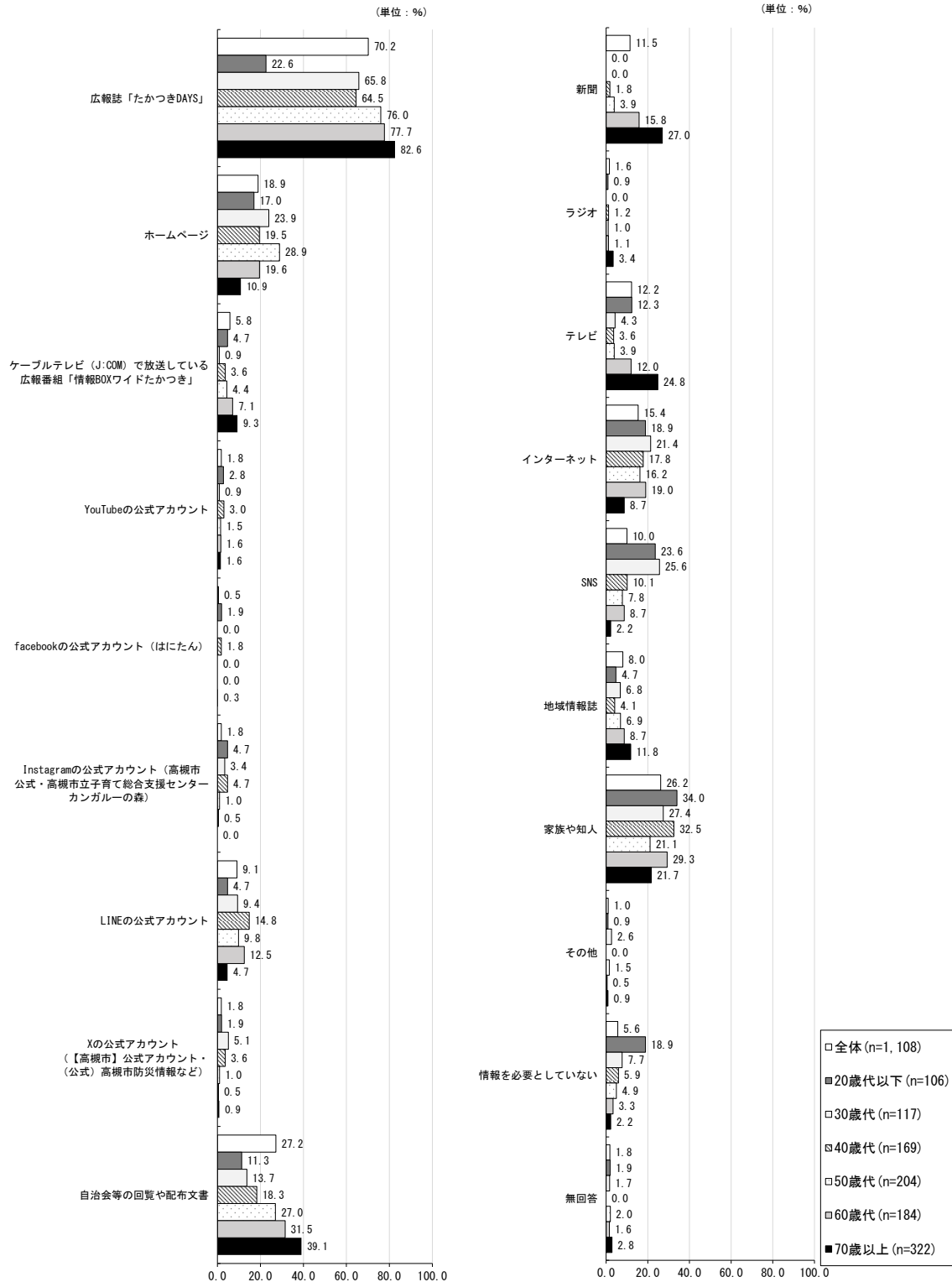
市政情報の入手方法については、「広報誌『たかつきDAYS』」が70.2%と最も高く、次いで「自治会等の回覧や配布文書」が27.2%、「家族や知人」が26.2%の順となっている。

■男女別 市政情報の入手方法



男女別にみると、「広報誌『たかつきDAYS』」は男性が65.2%、女性が74.7%と女性の方が9.5ポイント高くなっている。

■年代別 市政情報の入手方法

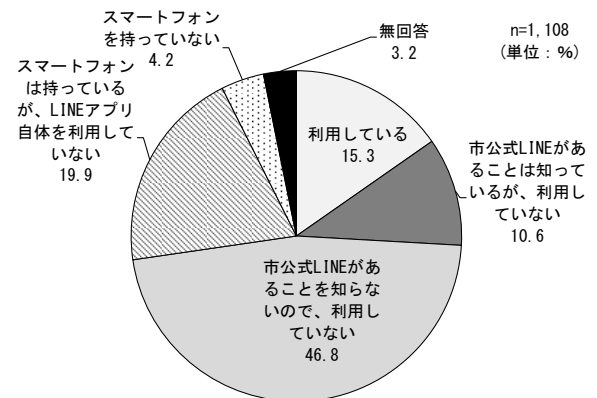


年代別にみると、70歳以上の「広報誌『たかつきDAYS』」が8割を超えている。

問 20 LINE の【高槻市】公式アカウントでは、市の事業・イベントをはじめ災害情報などを発信していますが、あなたは市公式 LINE を利用していますか。
(○は1つだけ)

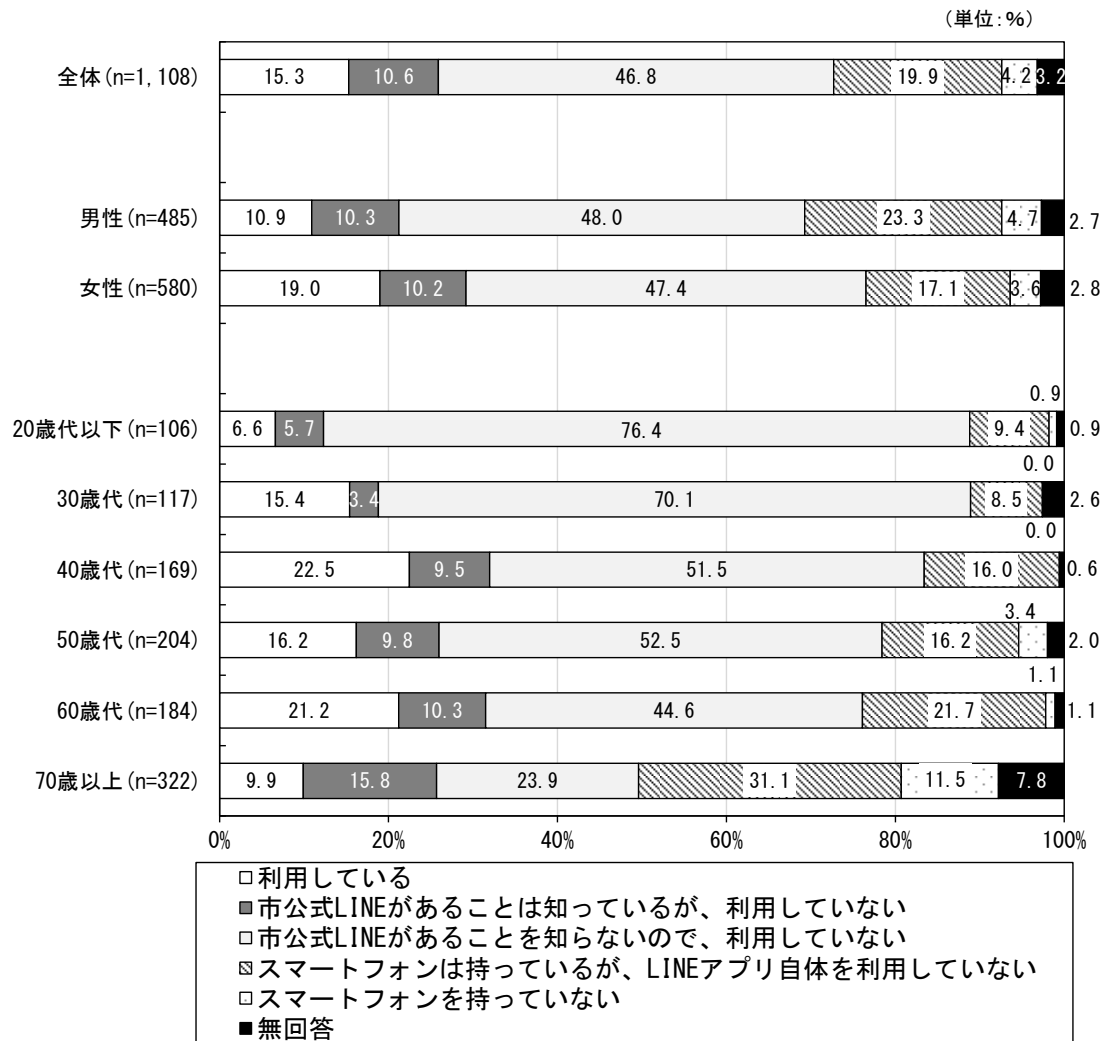
番号	選択肢	回答数
1	利用している	169
2	市公式LINEがあることは知っているが、利用していない	117
3	市公式LINEがあることを知らないのに、利用していない	518
4	スマートフォンは持っているが、LINEアプリ自体を利用していない	221
5	スマートフォンを持っていない	47
	無回答	36
全体		1,108

■市公式 LINE の利用の有無



市公式 LINE の利用の有無については、「市公式 LINE があることを知らないのに、利用していない」が 46.8%と最も高く、次いで「スマートフォンは持っているが、LINE アプリ自体を利用していない」が 19.9%、「利用している」が 15.3%の順となっている。

■男女別 年代別 市公式LINEの利用の有無



男女別にみると、「利用している」は男性が 10.9%、女性が 19.0%と女性の方が 8.1 ポイント高くなっている。

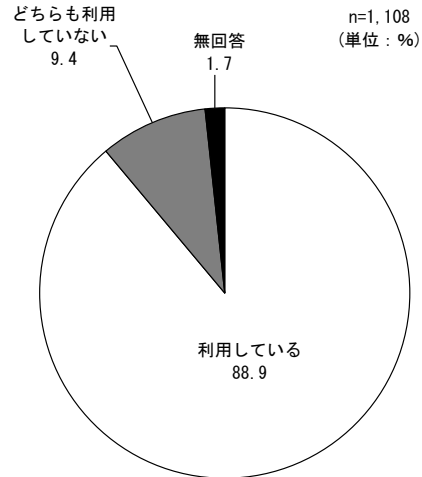
年代別にみると、20 歳代以下の「市公式 LINE があることを知らないの、利用していない」は 76.4%と 8 割近くとなっている。

4 スマートフォンなどの利用について

問 21 あなたは、ふだんスマートフォンやタブレット端末を利用していますか。
(○は1つだけ)

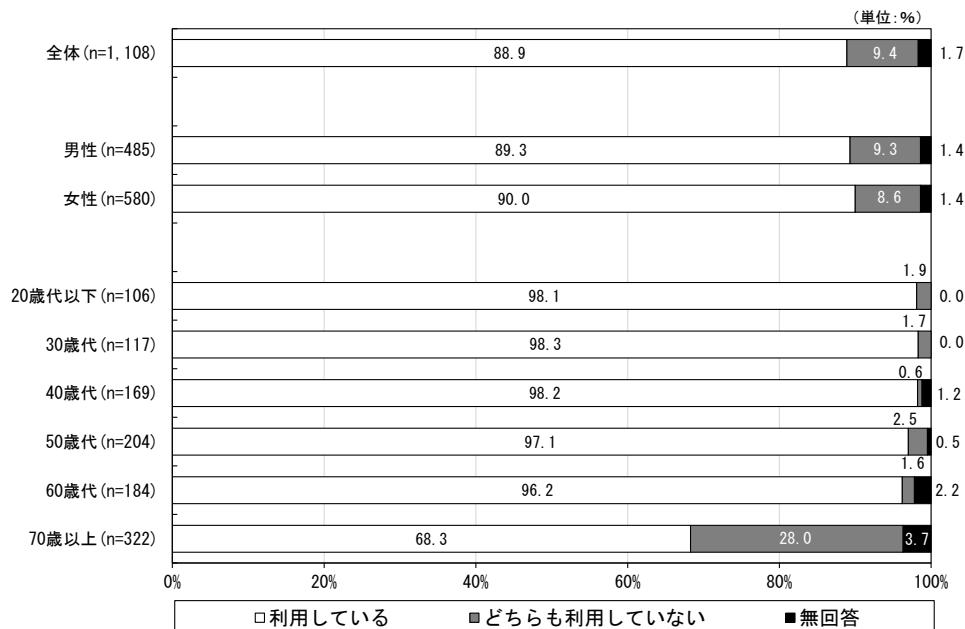
番号	選択肢	回答数
1	利用している	985
2	どちらも利用していない	104
3	無回答	19
全体		1,108

■スマートフォンやタブレット端末の利用状況



スマートフォンやタブレット端末の利用状況については、「利用している」が88.9%、「どちらも利用していない」が9.4%となっている。

■男女別 年代別 スマートフォンやタブレット端末の利用状況



男女別にみると、「利用している」は男性、女性ともに約9割となっている。

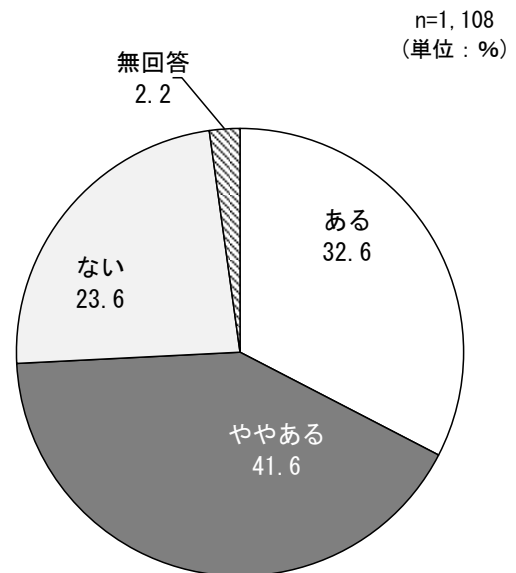
年代別にみると、60歳代以下についてはどの年代も「利用している」が9割以上と非常に高くなっている一方、70歳以上については「利用している」が68.3%と平均より約20ポイント低くなっている。

5 「将棋のまち 高槻」について

問 22 あなたは、高槻市が「将棋のまち」であると感じる機会がありますか。
(○は1つだけ)

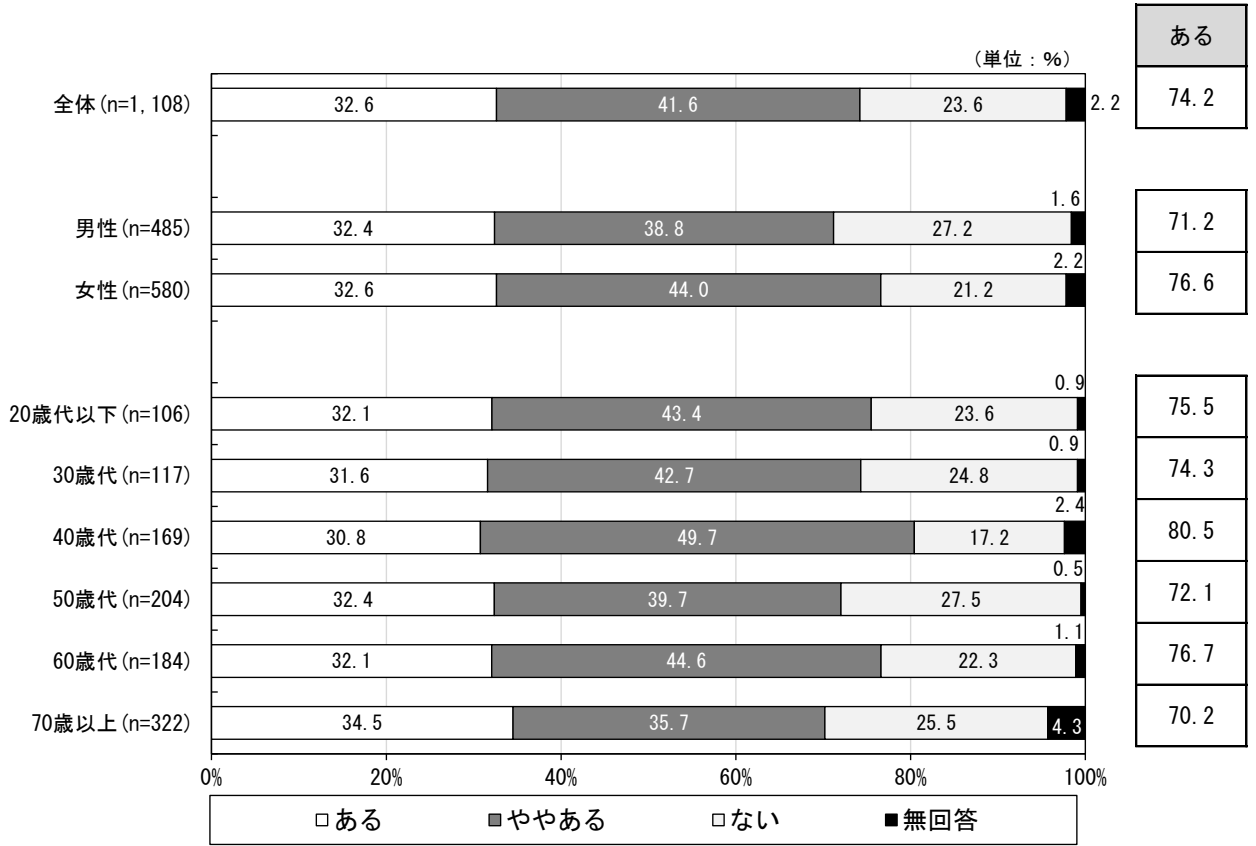
番号	選択肢	回答数
1	ある	361
2	ややある	461
3	ない	262
	無回答	24
全体		1,108

■高槻市が「将棋のまち」と感じる機会



高槻市が「将棋のまち」と感じる機会については、「ややある」が41.6%と最も高く、「ある」と「ややある」を合わせた“ある”は74.2%と約7割となっている。

■男女別 年代別 高槻市が「将棋のまち」と感じる機会



※ “ある” = 「ある」 + 「ややある」

男女別にみると、「ある」と「ややある」を合わせた“ある”は男性が71.2%、女性が76.6%とそれぞれ7割を超えている。

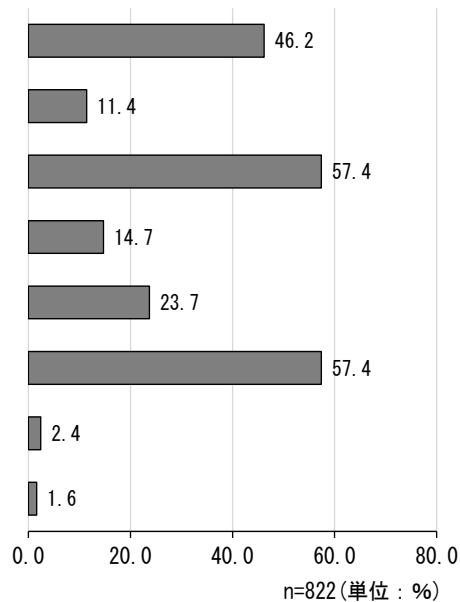
年代別にみると、“ある”はすべての年代において7割を超えている。

問22で「1. ある」「2. ややある」と答えられた方におたずねします。

問23 どのような取組で、高槻市が「将棋のまち」であると感じますか。
(○はいくつでも)

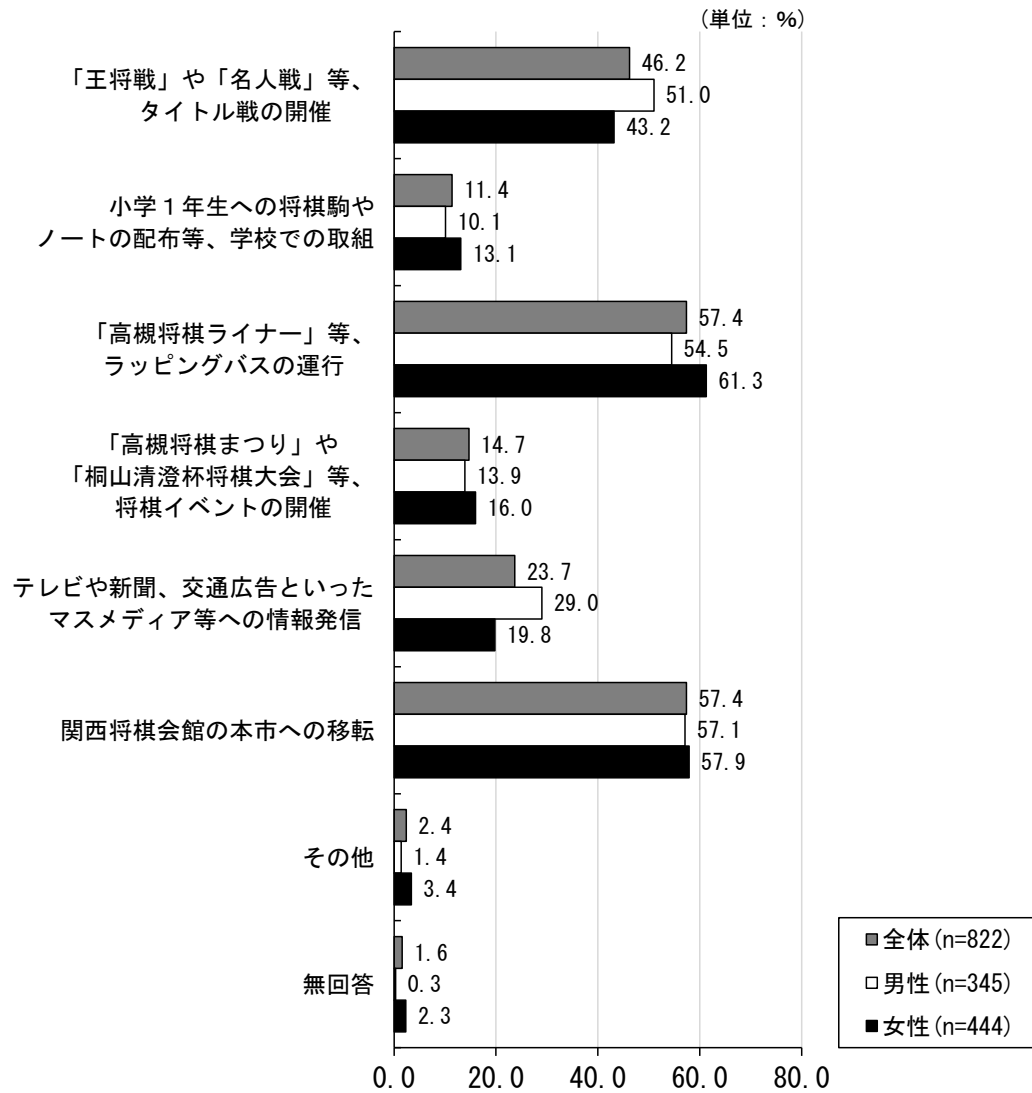
番号	選択肢	回答数
1	「王将戦」や「名人戦」等、タイトル戦の開催	380
2	小学1年生への将棋駒やノートの配布等、学校での取組	94
3	「高槻将棋ライナー」等、ラッピングバスの運行	472
4	「高槻将棋まつり」や「桐山清澄杯将棋大会」等、将棋イベントの開催	121
5	テレビや新聞、交通広告といったマスメディア等への情報発信	195
6	関西将棋会館の本市への移転	472
7	その他	20
	無回答	13
回答総数		1,767
全体		822

■高槻市が「将棋のまち」と感じる取組



高槻市が「将棋のまち」と感じる取組については、『高槻将棋ライナー』等、ラッピングバスの運行」「関西将棋会館の本市への移転」が同率で57.4%と最も高く、次いで『王将戦』や『名人戦』等、タイトル戦の開催」が46.2%、「テレビや新聞、交通広告といったマスメディア等への情報発信」が23.7%の順になっている。

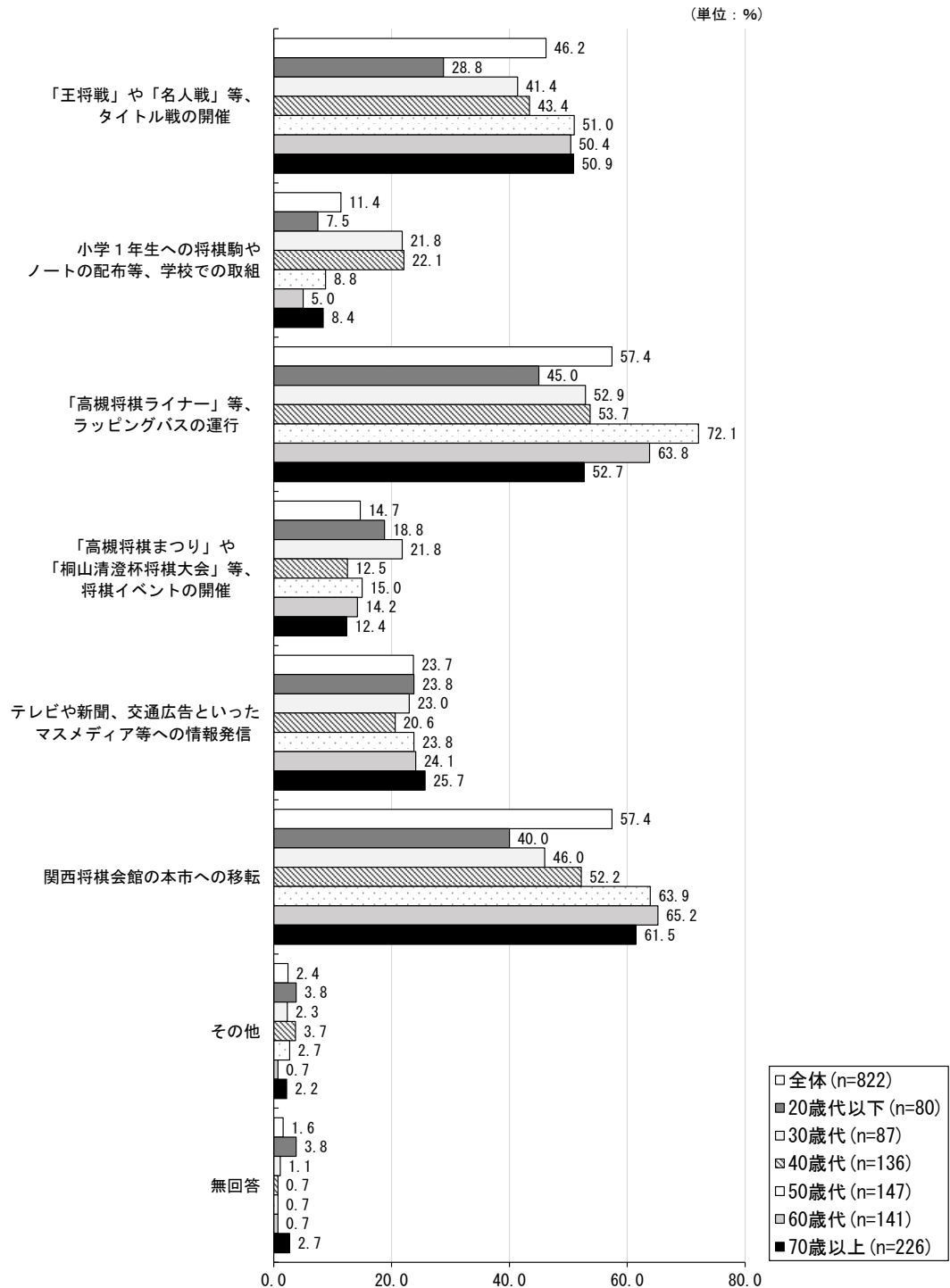
■男女別 高槻市が「将棋のまち」と感じる取組



男女別にみると、『「高槻将棋ライナー」等、ラッピングバスの運行』は男性が54.5%、女性が61.3%と女性が6.8ポイント高くなっている。

また、『「王将戦」や「名人戦」等、タイトル戦の開催』は男性が51.0%、女性が43.2%と男性が7.8ポイント高くなっている。

■年代別 高槻市が「将棋のまち」と感じる取組



年代別にみると、『王将戦』や『名人戦』等、タイトル戦の開催」が50歳代以上で5割を超えている。

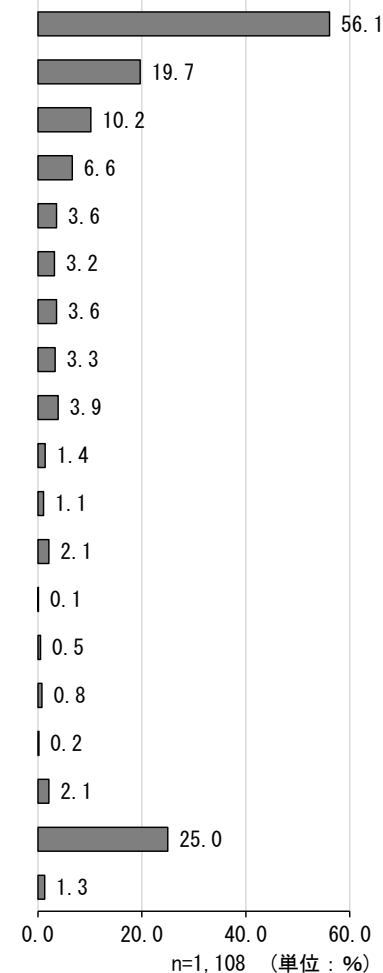
「関西将棋会館の本市への移転」が50歳代以上で6割を超えており、60歳代は65.2%となっている。

6 スポーツについて

問 24 あなたがこの1年間にしたスポーツはどれですか。(〇はいくつでも)

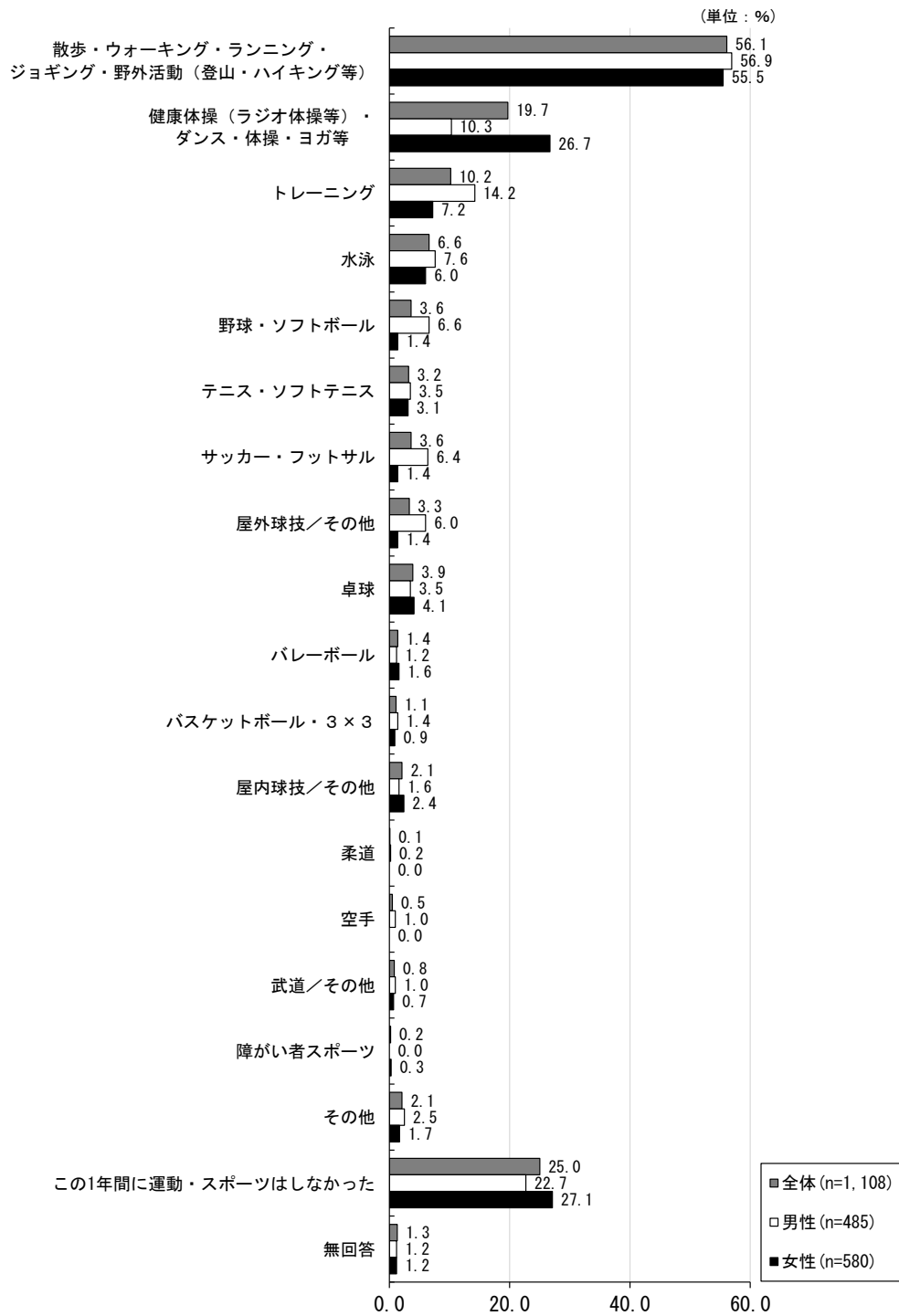
番号	選択肢	回答数
1	散歩・ウォーキング・ランニング・ジョギング・ 野外活動（登山・ハイキング等）	622
2	健康体操（ラジオ体操等）・ダンス・体操・ ヨガ等	218
3	トレーニング	113
4	水泳	73
5	野球・ソフトボール	40
6	テニス・ソフトテニス	36
7	サッカー・フットサル	40
8	屋外球技／その他	37
9	卓球	43
10	バレーボール	15
11	バスケットボール・3×3	12
12	屋内球技／その他	23
13	柔道	1
14	空手	6
15	武道／その他	9
16	障がい者スポーツ	2
18	その他	23
19	この1年間に運動・スポーツはしなかった	277
	無回答	14
回答総数		1,604
全体		1,108

■この1年間にしたスポーツ



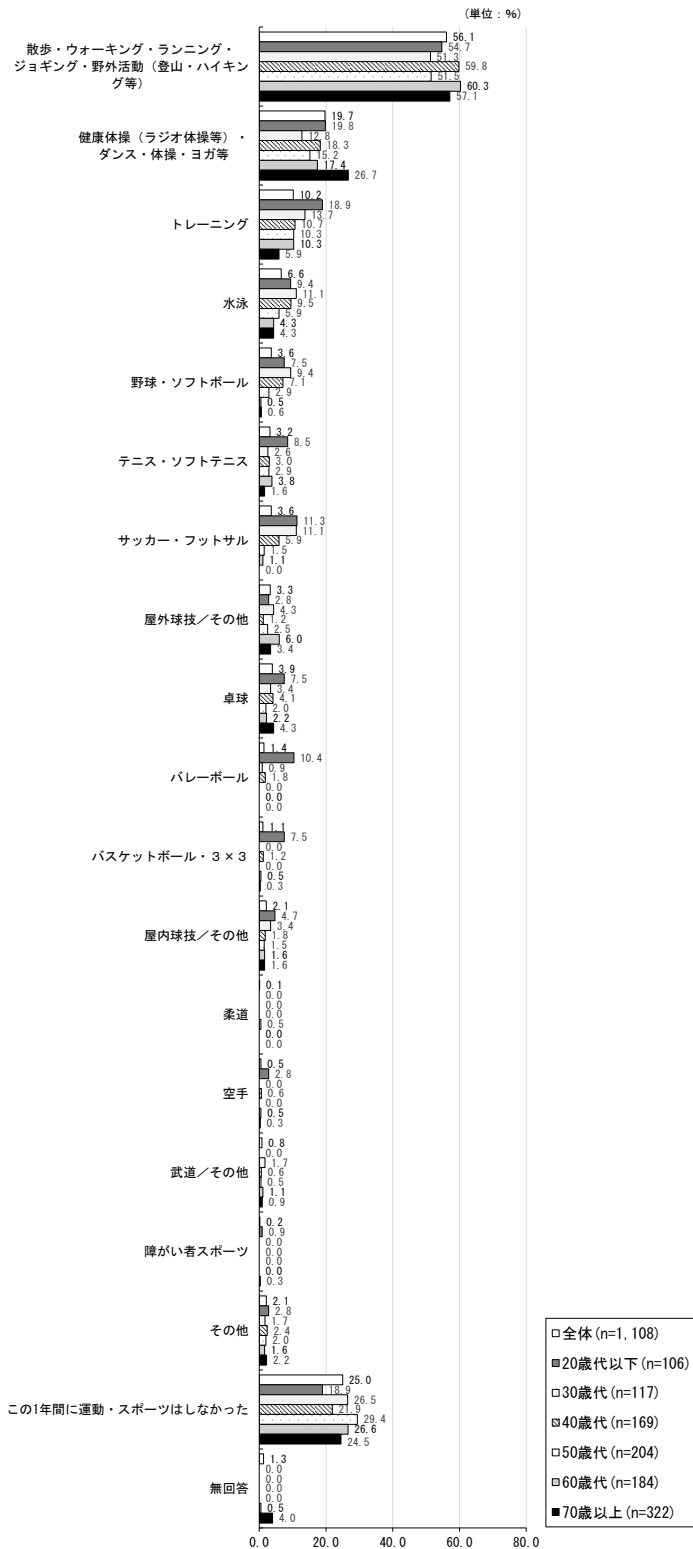
この1年間にしたスポーツについては、「散歩・ウォーキング・ランニング・ジョギング・野外活動（登山・ハイキング等）」が56.1%と最も高く、次いで「この1年間に運動・スポーツはしなかった」が25.0%、「健康体操（ラジオ体操等）・ダンス・体操・ヨガ等」が19.7%の順となっている。

■男女別 この1年間にしたスポーツ



男女別にみると、「散歩・ウォーキング・ランニング・ジョギング・野外活動（登山・ハイキング等）」は男性が56.9%、女性が55.5%と男性の方が1.4ポイント高い一方、「健康体操（ラジオ体操等）・ダンス・体操・ヨガ等」は男性が10.3%、女性が26.7%と女性の方が16.4ポイント高くなっている。

■年代別 この1年間にしたスポーツ

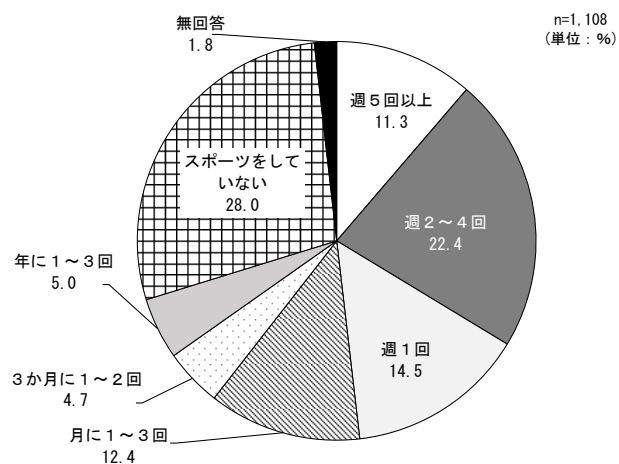


年代別にみると、「散歩・ウォーキング・ランニング・ジョギング・野外活動（登山・ハイキング等）」はすべての年代で5割を超えている。

問 25 あなたは、どれぐらいの頻度でスポーツをしますか。(○は1つだけ)
 ※スポーツには、ウォーキング・登山・ラジオ体操等の体力・健康づくりを目的としたものを含みます。

番号	選択肢	回答数
1	週 5 回以上	125
2	週 2 ～ 4 回	248
3	週 1 回	161
4	月に 1 ～ 3 回	137
5	3 か月に 1 ～ 2 回	52
6	年に 1 ～ 3 回	55
7	スポーツをしていない	310
	無回答	20
全体		1,108

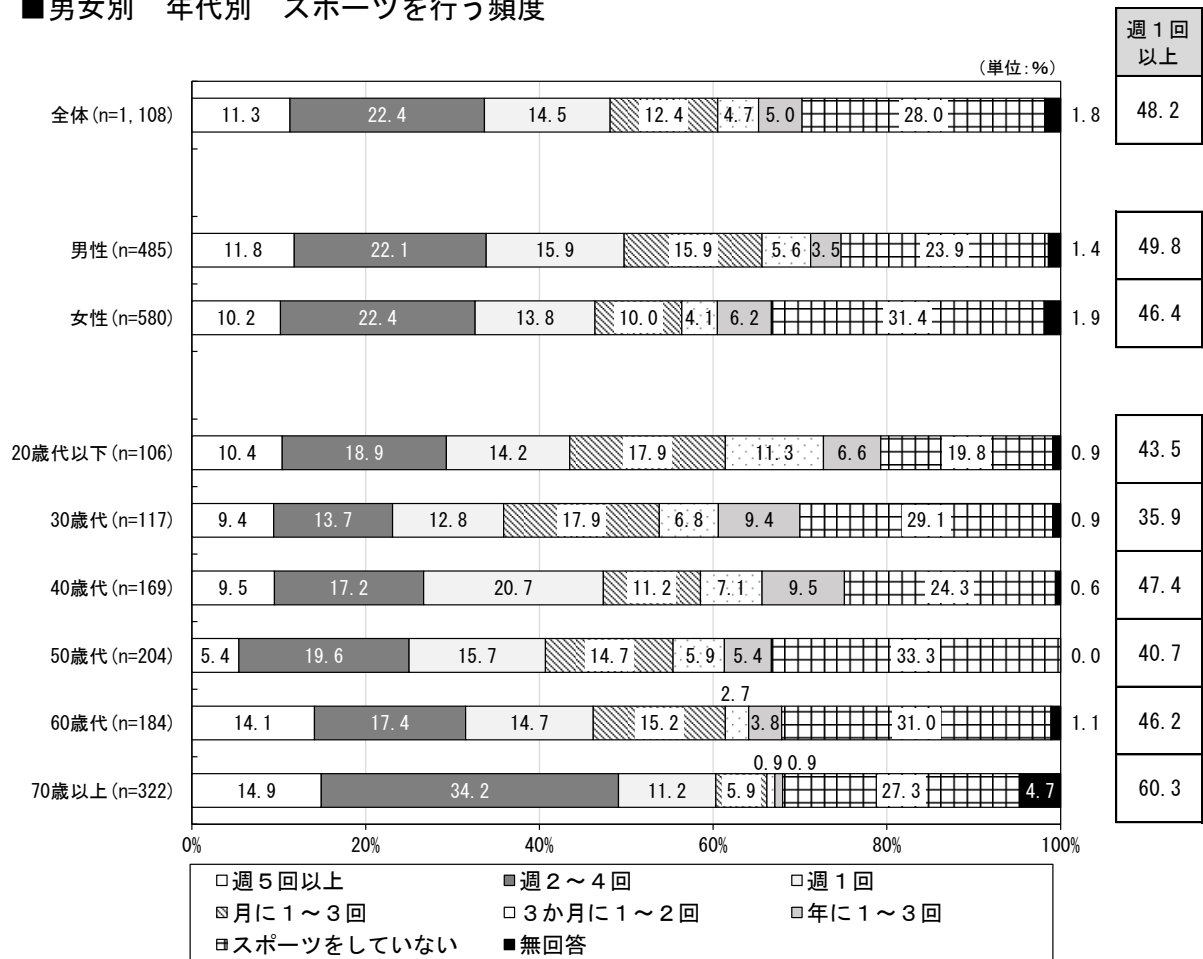
■スポーツを行う頻度



スポーツを行う頻度については、「スポーツをしていない」が 28.0%と最も高く、次いで「週 2 ～ 4 回」が 22.4%、「週 1 回」が 14.5%の順となっている。

「週 5 回以上」と「週 2 ～ 4 回」と「週 1 回」を合わせた“週 1 回以上”は、48.2%と 5 割近くとなっている。

■男女別 年代別 スポーツを行う頻度



※ “週1回以上” = 「週5回以上」 + 「週2~4回」 + 「週1回」

男女別にみると、“週1回以上”は男性が49.8%、女性が46.4%と男性の方が3.4ポイント高くなっている。

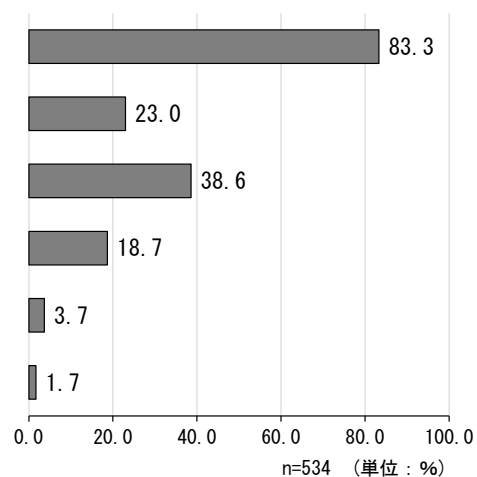
年代別にみると、“週1回以上”は70歳以上が約6割となっている。

問 25 で「1. 週 5 回以上」「2. 週 2 ～ 4 回」「3. 週 1 回」と答えられた方におたずねします。

問 26 定期的にスポーツをする理由は何ですか。(○はいくつでも)

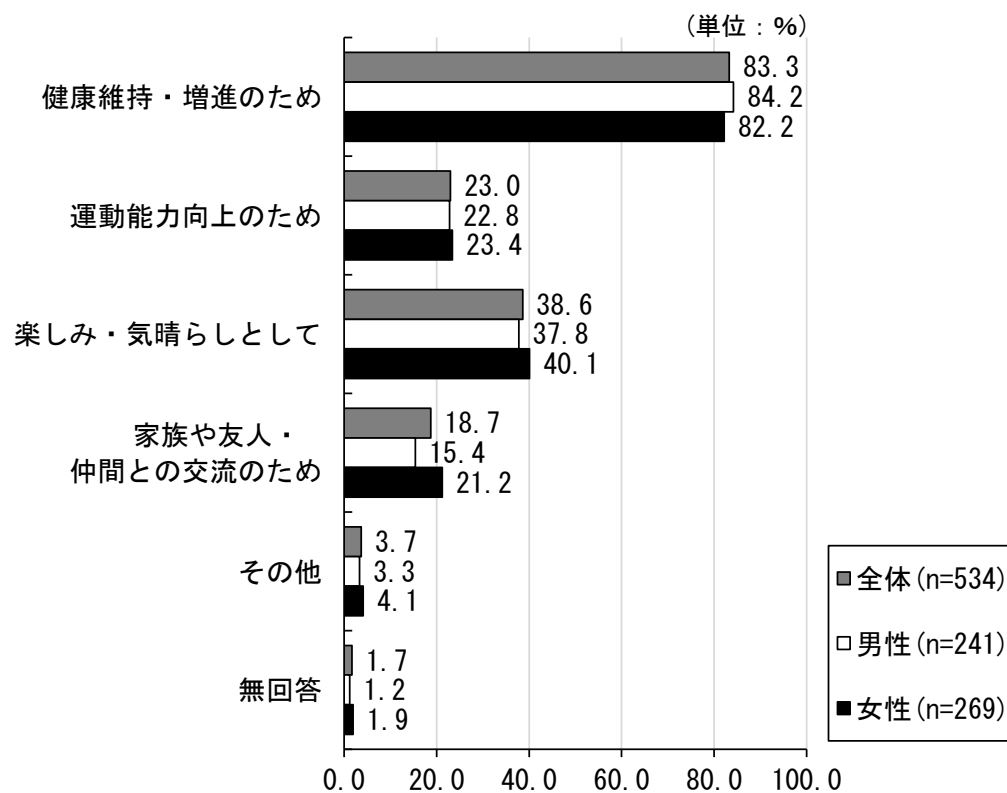
番号	選択肢	回答数
1	健康維持・増進のため	445
2	運動能力向上のため	123
3	楽しみ・気晴らしとして	206
4	家族や友人・仲間との交流のため	100
5	その他	20
	無回答	9
回答総数		903
全体		534

■定期的にスポーツを行う理由



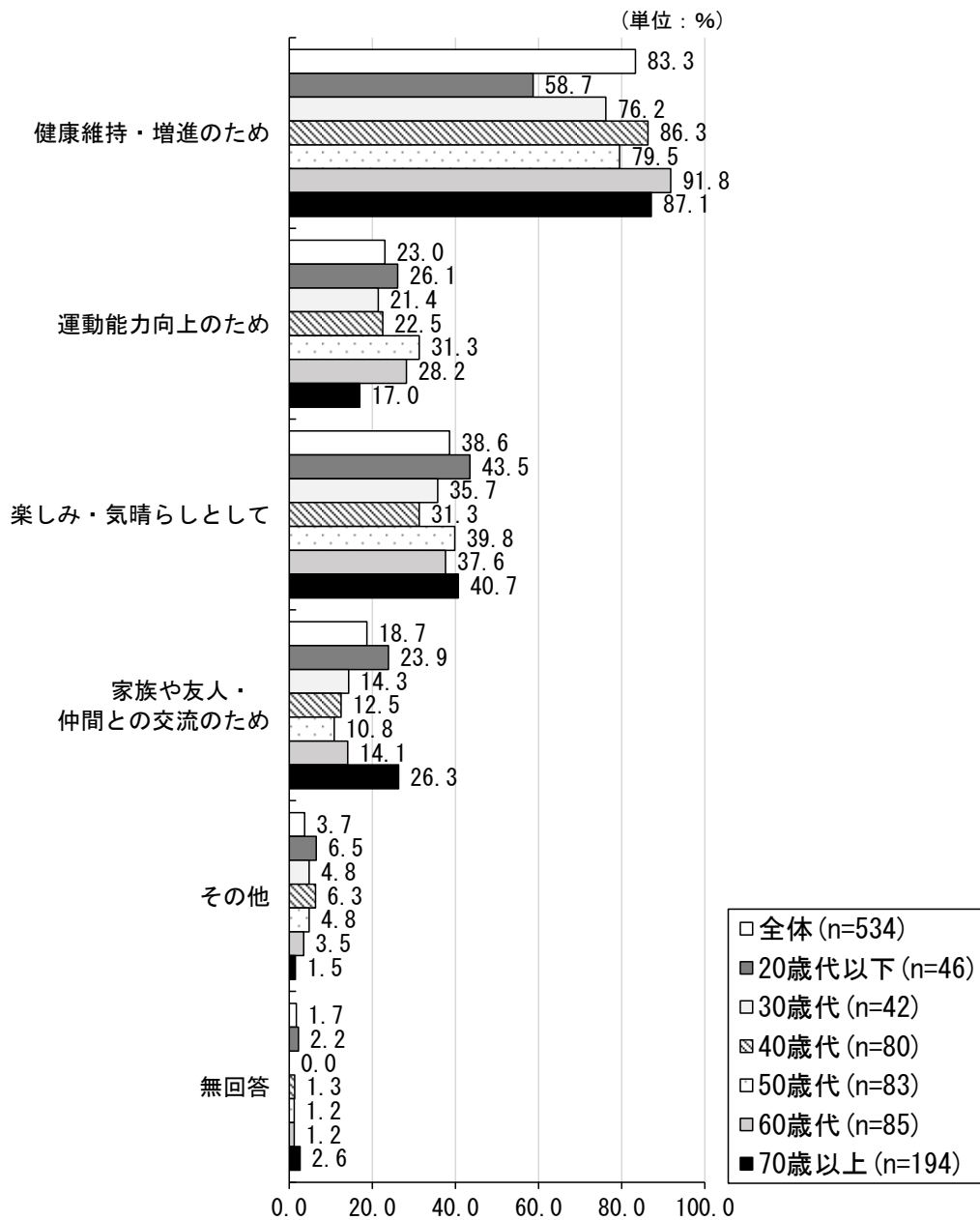
定期的にスポーツを行う理由については、「健康維持・増進のため」が 83.3%と最も高く、次いで「楽しみ・気晴らしとして」が 38.6%、「運動能力向上のため」が 23.0%の順となっている。

■男女別 定期的にスポーツを行う理由



男女別にみると、「健康維持・増進のため」は男性が 84.2%、女性が 82.2%とどちらも 8 割を超えている。また、「家族や友人・仲間との交流のため」は、男性が 15.4%、女性が 21.2%と女性の方が 5.8 ポイント高くなっている。

■年代別 定期的にスポーツを行う理由



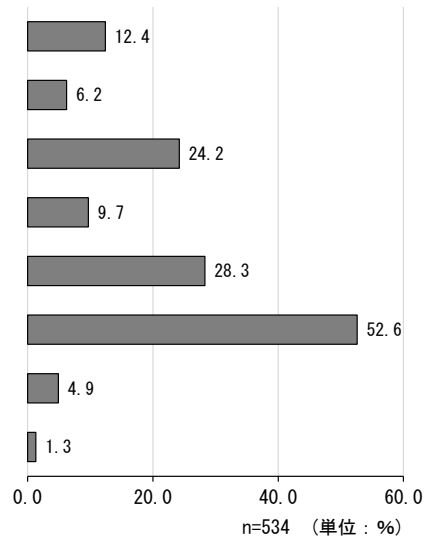
年代別にみると、「健康維持・増進のため」は60歳代で91.8%と9割を超えている。

問 25 で「1. 週 5 回以上」「2. 週 2～4 回」「3. 週 1 回」と答えられた方におたずねします。

問 27 普段スポーツをする場所はどこですか。(〇はいくつでも)

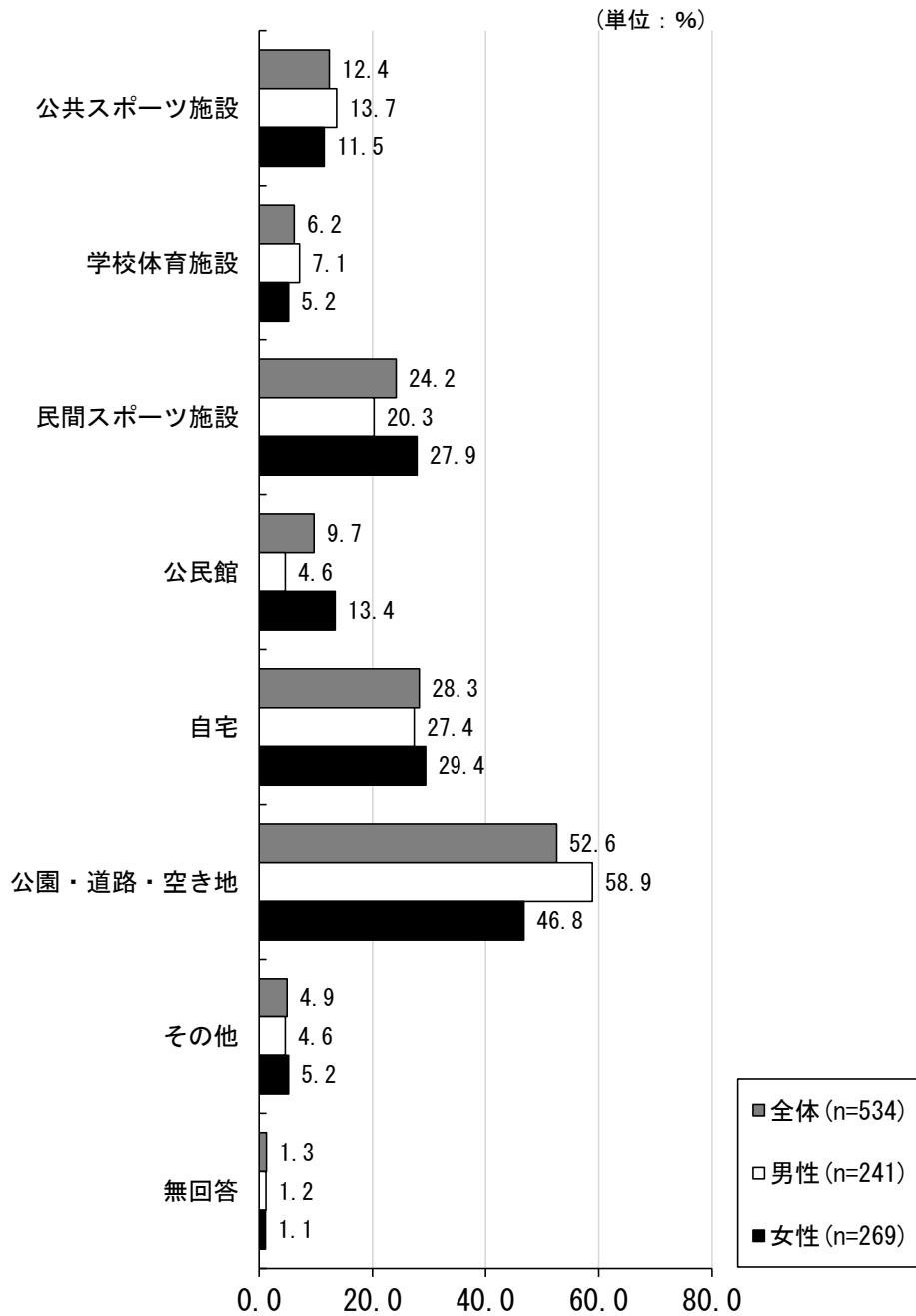
番号	選択肢	回答数
1	公共スポーツ施設	66
2	学校体育施設	33
3	民間スポーツ施設	129
4	公民館	52
5	自宅	151
6	公園・道路・空き地	281
7	その他	26
	無回答	7
回答総数		745
全体		534

■ 普段スポーツをする場所



普段スポーツをする場所については、「公園・道路・空き地」が 52.6%と最も高く、次いで「自宅」が 28.3%、「民間スポーツ施設」が 24.2%の順となっている。

■男女別 普段スポーツをする場所

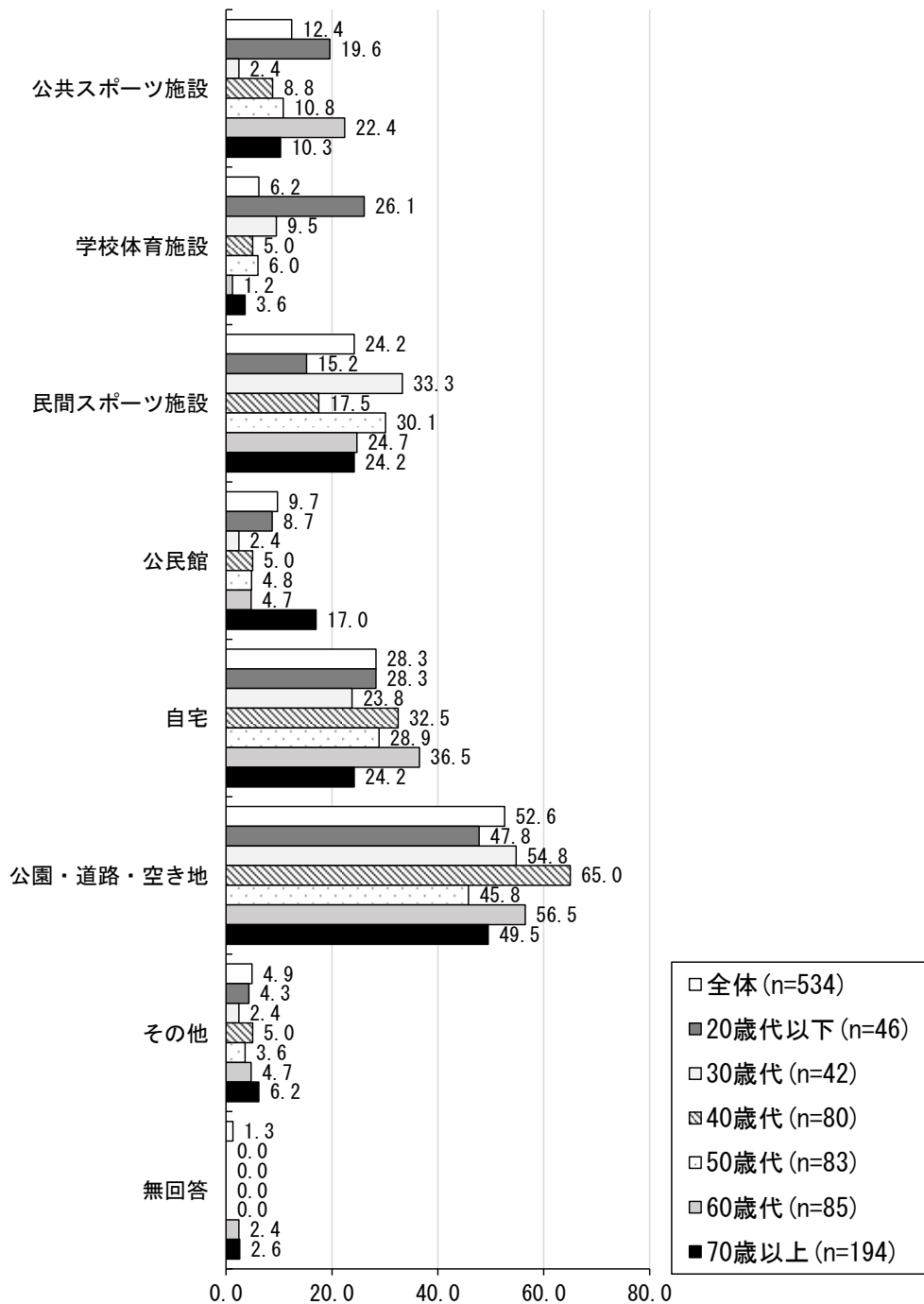


男女別にみると、「公園・道路・空き地」は男性が58.9%、女性が46.8%と男性が12.1ポイント高くなっている。

一方、「公民館」は男性が4.6%、女性が13.4%と女性が8.8ポイント高くなっている。

■年代別 普段スポーツをする場所

(単位：%)



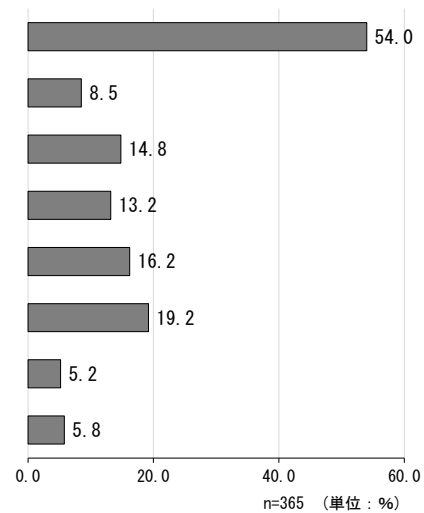
年代別にみると、「公園・道路・空き地」は40歳代で65.0%と6割を超えている。

問 25 で「6. 年 1～3 回」「7. スポーツをしていない」と答えられた方におたずねします。

問 28 定期的にスポーツをしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

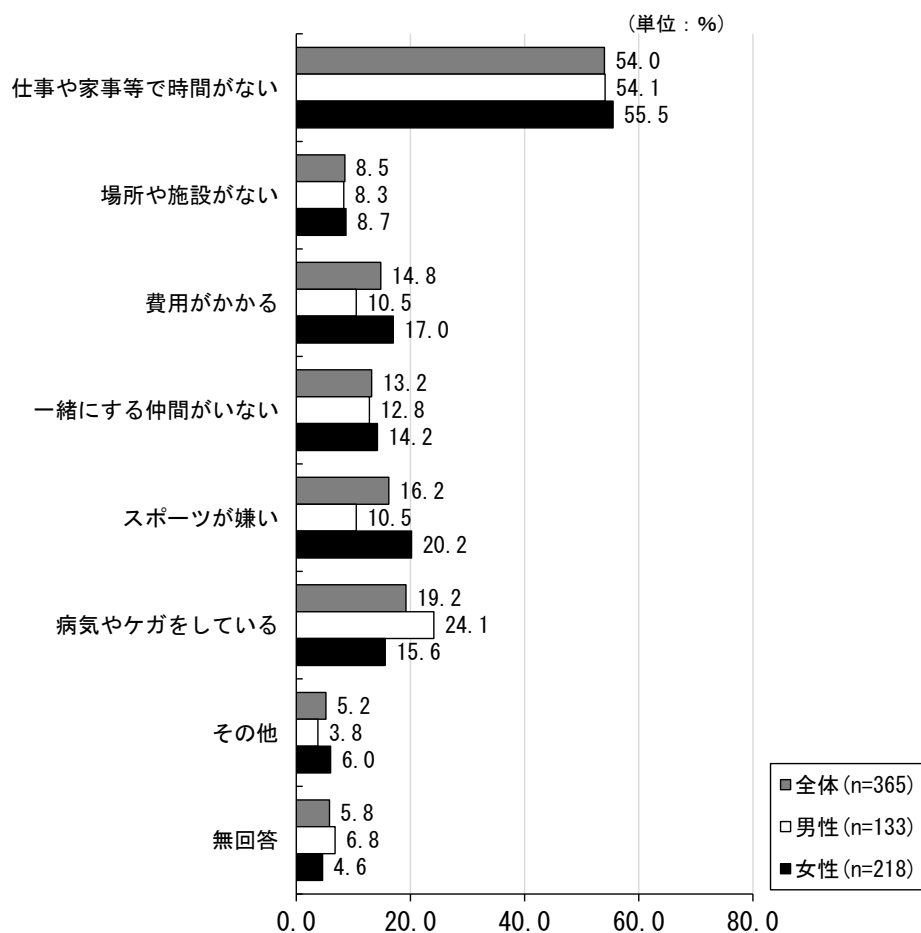
番号	選択肢	回答数
1	仕事や家事等で時間がない	197
2	場所や施設がない	31
3	費用がかかる	54
4	一緒にする仲間がいない	48
5	スポーツが嫌い	59
6	病気やケガをしている	70
7	その他	19
	無回答	21
回答総数		499
全体		365

■定期的にスポーツをしていない理由



定期的にスポーツをしていない理由については、「仕事や家事等で時間がない」が 54.0%と最も高く、次いで「病気やケガをしている」が 19.2%、「スポーツが嫌い」が 16.2%の順となっている。

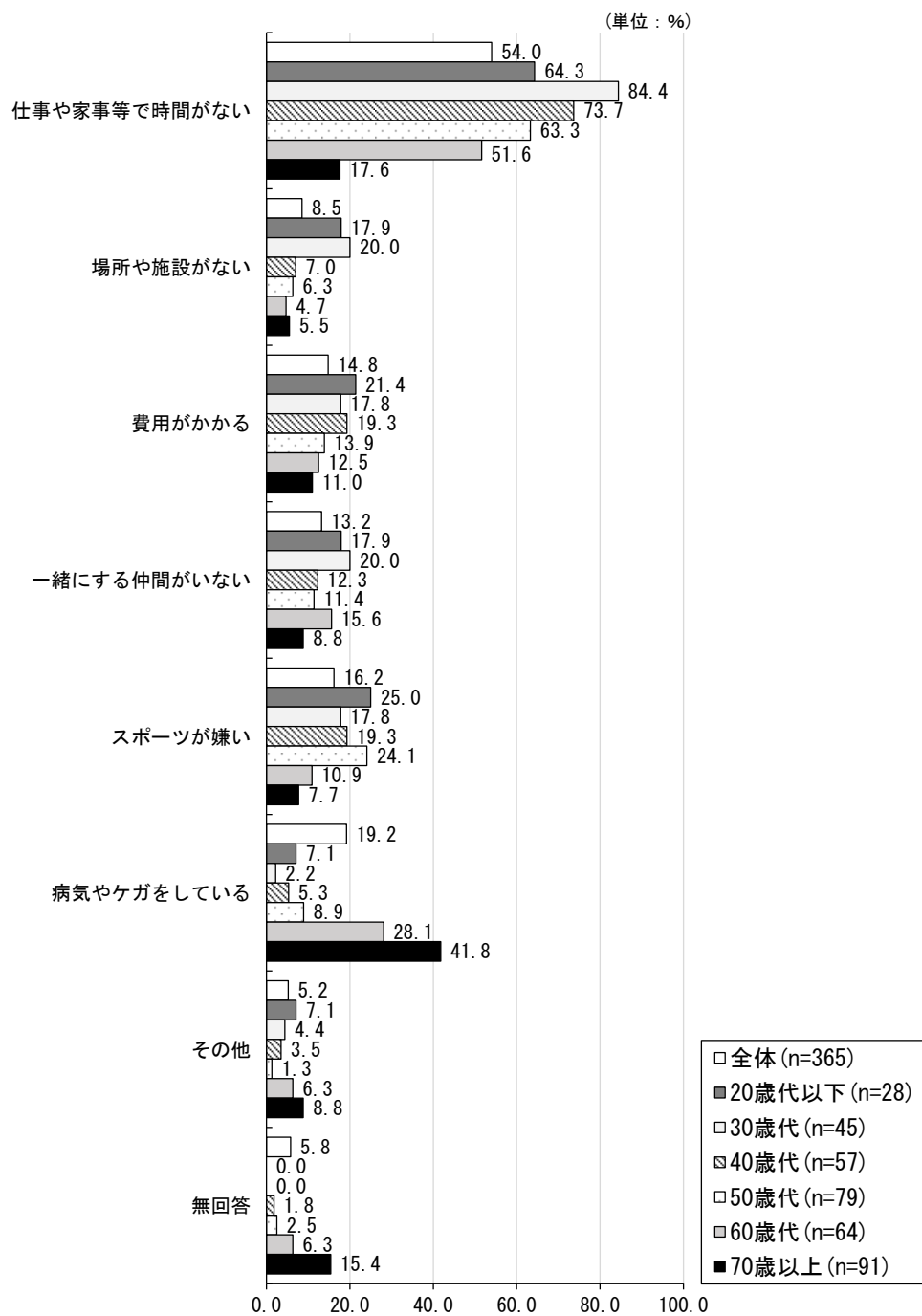
■男女別 定期的にスポーツをしていない理由



男女別にみると、「仕事や家事等で時間がない」は男性が 54.1%、女性が 55.5%とそれぞれ 5 割を超えている。

また、「病気やけがをしている」は男性が 24.1%、女性が 15.6%と男性の方が 8.5 ポイント高くなっている。

■年代別 定期的にスポーツをしていない理由

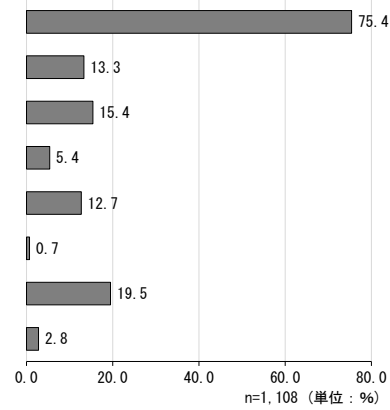


年代別にみると、「仕事や家事等で時間がない」は30歳代が84.4%、40歳代が73.7%と7割を超えている。

問 29 あなたは、市内のスポーツ施設でのイベントについて知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

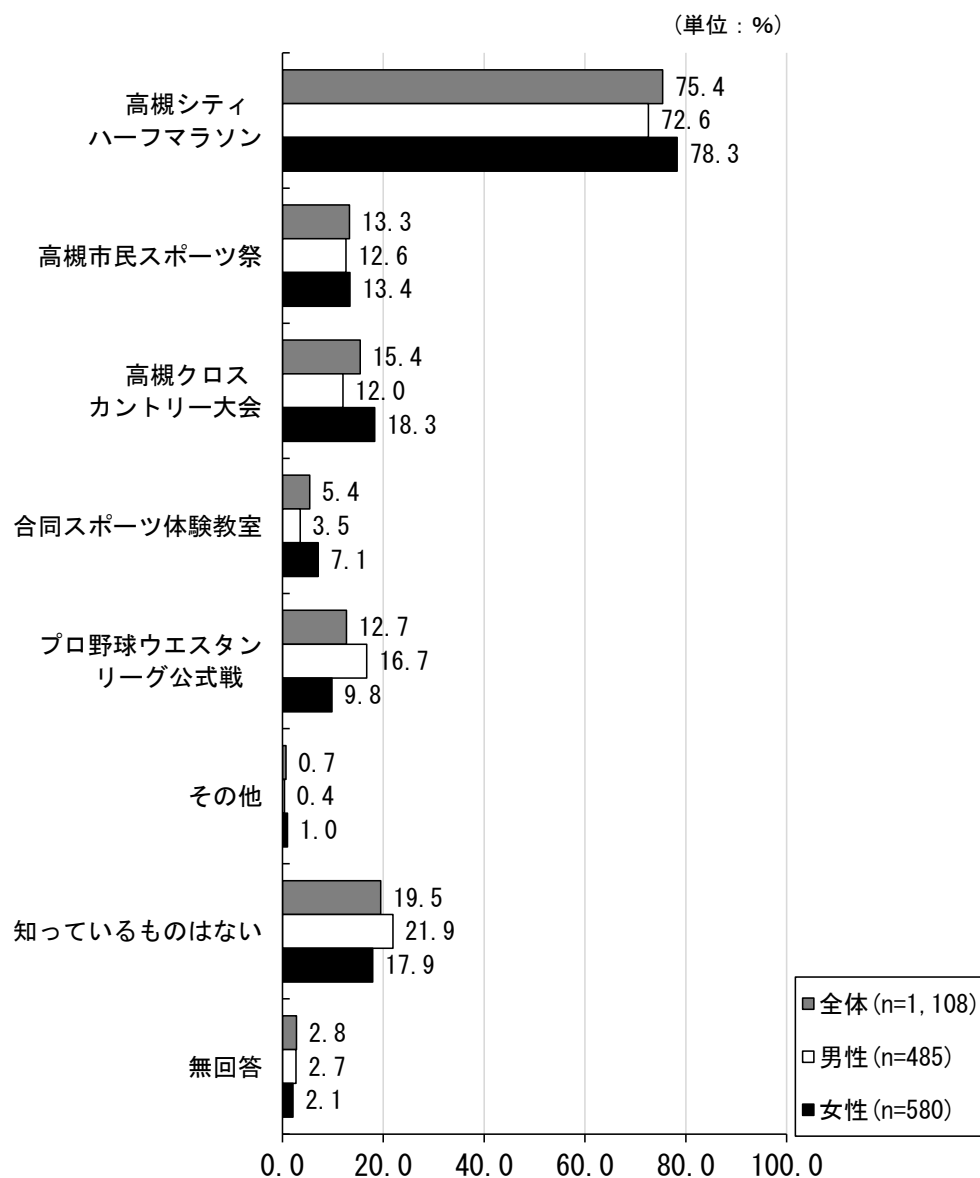
番号	選択肢	回答数
1	高槻シティハーフマラソン	835
2	高槻市民スポーツ祭	147
3	高槻クロスカントリー大会	171
4	合同スポーツ体験教室	60
5	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦	141
6	その他	8
7	知っているものはない	216
	無回答	31
回答総数		1,609
全体		1,108

■市内スポーツ施設での知っているイベント



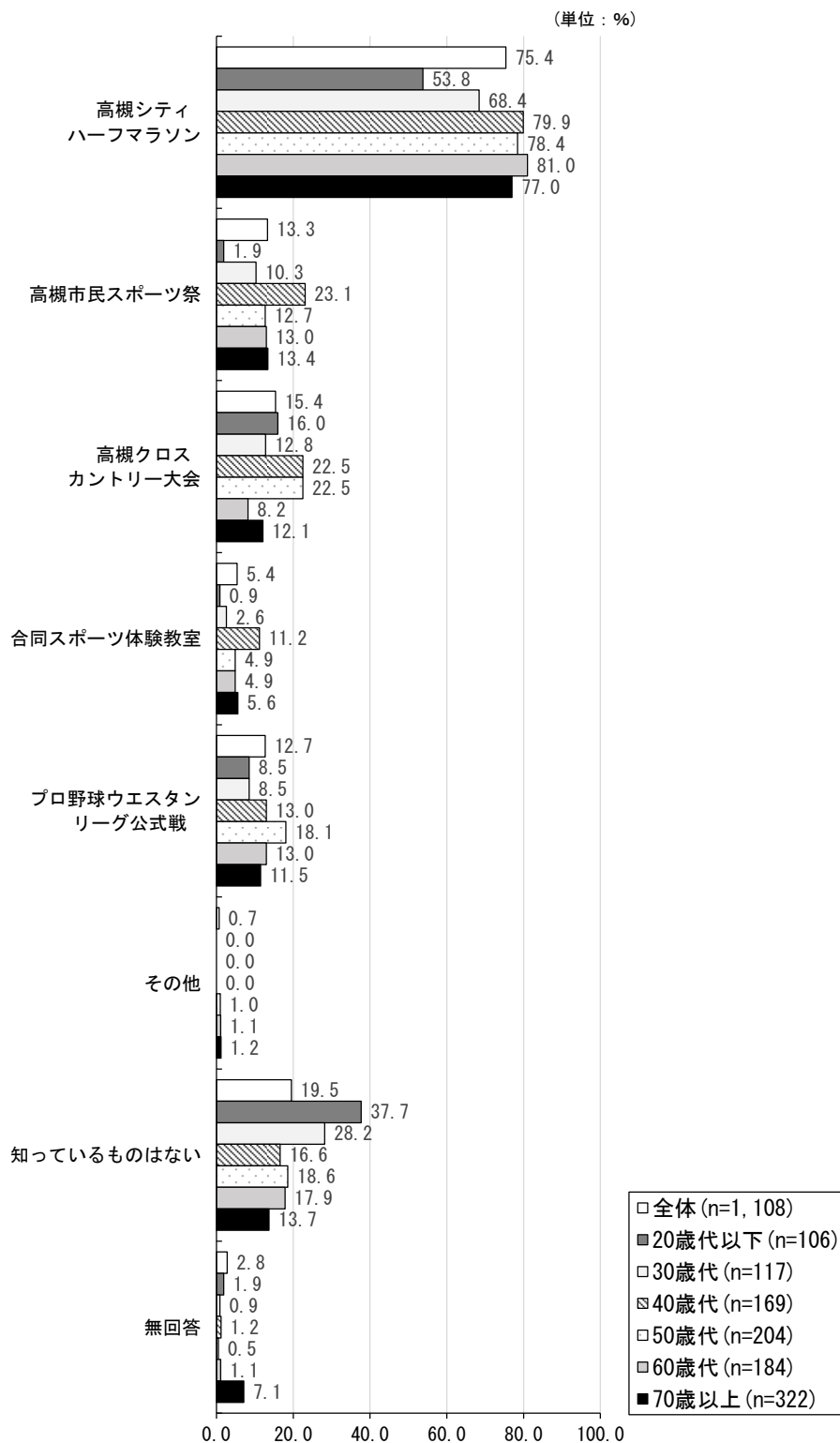
市内スポーツ施設での知っているイベントについては、「高槻シティハーフマラソン」が75.4%と最も高く、次いで「知っているものはない」が19.5%、「高槻クロスカントリー大会」が15.4%の順となっている。

■男女別 市内スポーツ施設での知っているイベント



男女別にみると、「高槻シティハーフマラソン」は男性 72.6%、女性 78.3%と女性が 5.7ポイント高くなっている。

■年代別 市内スポーツ施設での知っているイベント

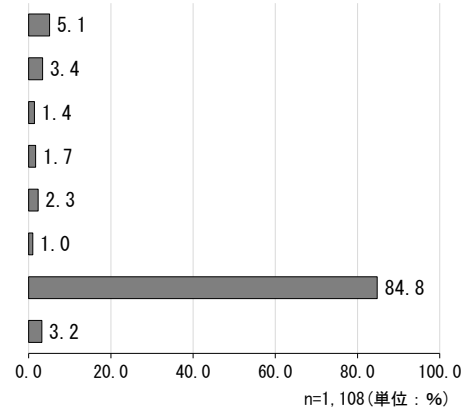


年代別にみると、「高槻シティハーフマラソン」は 40 歳代以上において 7 割を超えている。

問 30 あなたは、市内のスポーツ施設でのイベントについて参加したことがあるものはどれですか。（○はいくつでも）

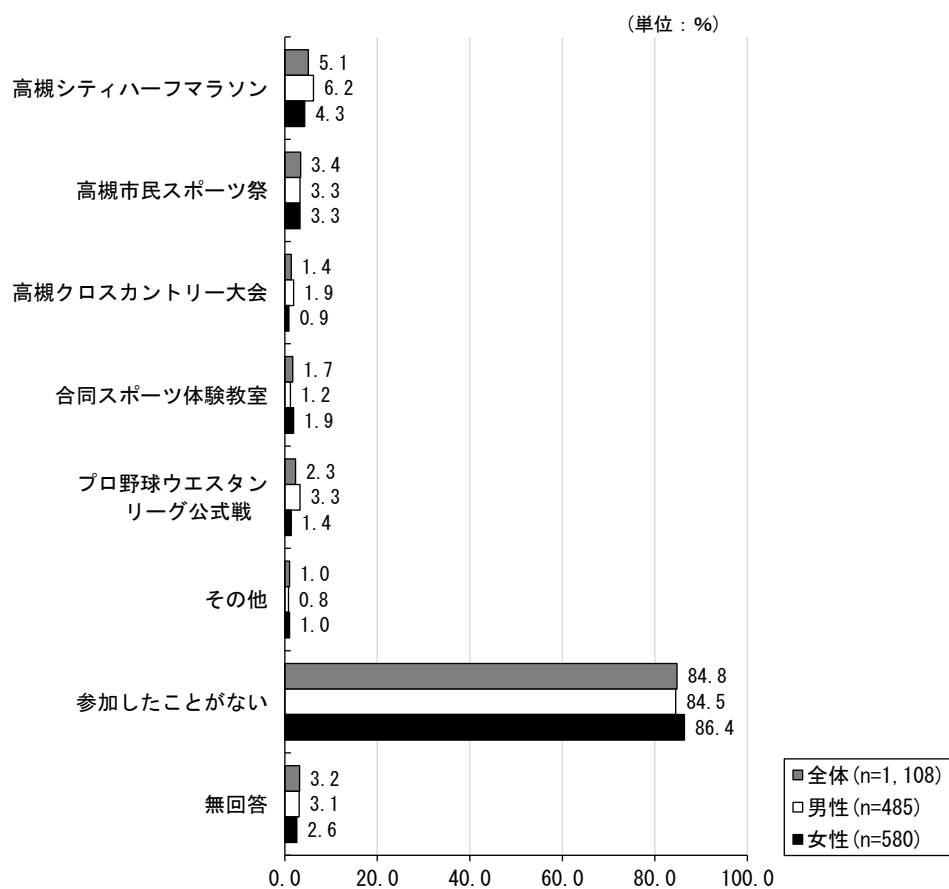
番号	選択肢	回答数
1	高槻シティハーフマラソン	56
2	高槻市民スポーツ祭	38
3	高槻クロスカントリー大会	15
4	合同スポーツ体験教室	19
5	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦	26
6	その他	11
7	参加したことがない	940
	無回答	35
回答総数		1,140
全体		1,108

■市内のスポーツ施設での参加したイベント



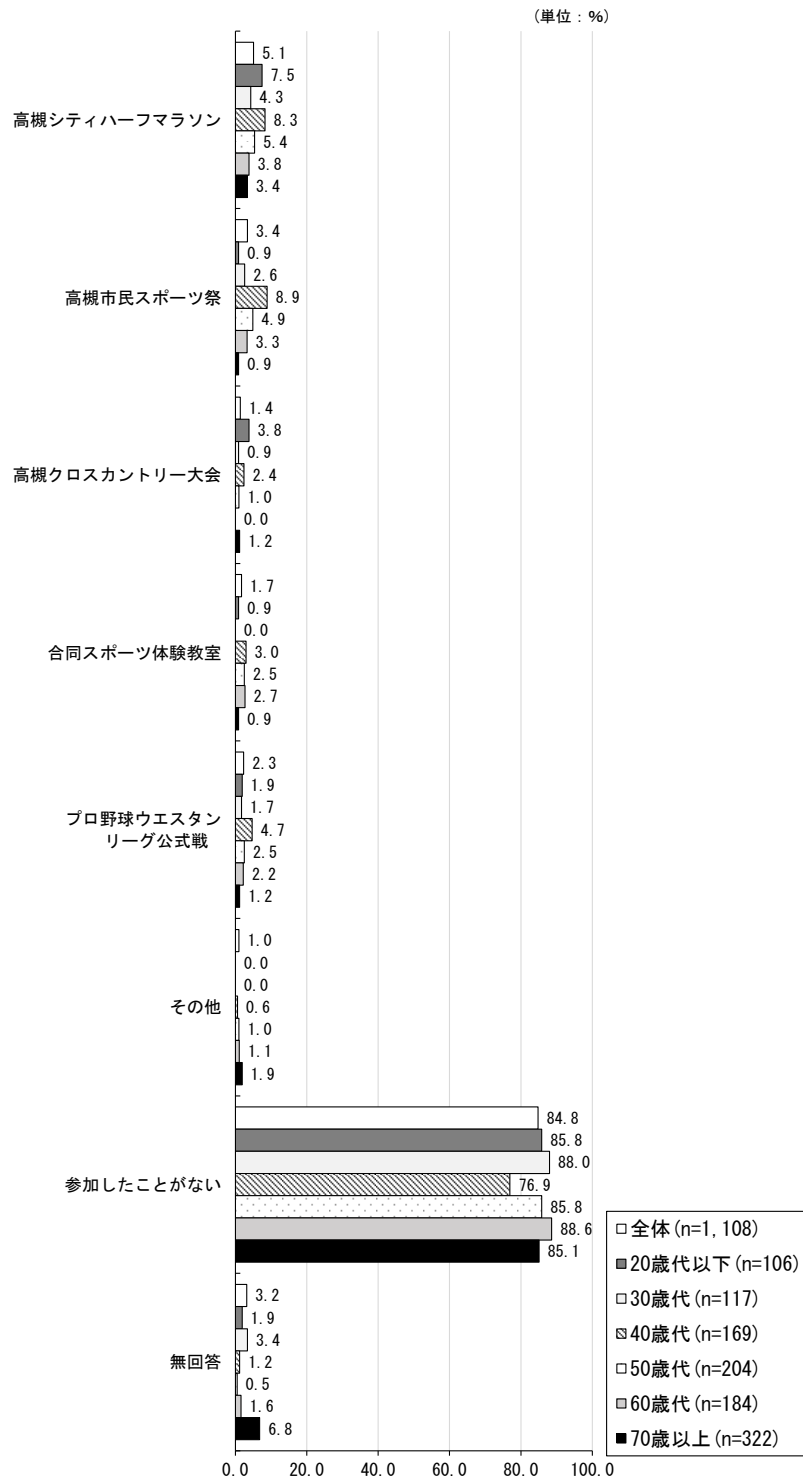
市内のスポーツ施設での参加したイベントについては、「参加したことがない」が84.8%と最も高く、次いで「高槻シティハーフマラソン」が5.1%、「高槻市民スポーツ祭」が3.4%の順となっている。

■男女別 市内のスポーツ施設での参加したイベント



男女別にみると、「参加したことがない」は男性が 84.5%、女性が 86.4%とどちらも 8 割を超えている。

■年代別 市内のスポーツ施設での参加したイベント

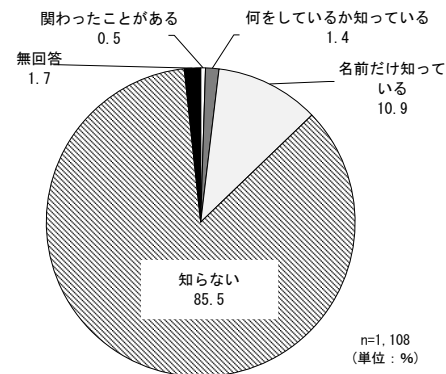


年代別にみると、「高槻シティハーフマラソン」は40歳代で8.3%、「高槻市民スポーツ祭」は40歳代で8.9%と他の年代と比べて高くなっている。

問 31 あなたは、スポーツ推進委員を知っていますか。(○は1つだけ)

番号	選択肢	回答数
1	関わったことがある	6
2	何をしているか知っている	15
3	名前だけ知っている	121
4	知らない	947
	無回答	19
全体		1,108

■スポーツ推進委員の認知度



スポーツ推進委員の認知度については、「知らない」が85.5%と最も高く、次いで「名前だけ知っている」が10.9%、「何をしているか知っている」が1.4%の順となっている。

「関わったことがある」と「何をしているか知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた“知っている”は、12.8%となっている。

■男女別 年代別 スポーツ推進委員の認知度



※知っている＝「関わったことがある」＋「何をしているか知っている」＋「名前だけ知っている」

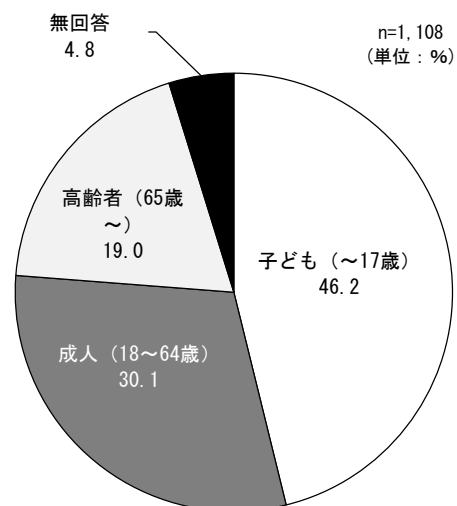
男女別にみると、“知っている”は男性が12.1%、女性が13.3%と女性が1.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、“知っている”は30歳代から60歳代まで年齢が上がるにつれて高くなっている。

問 32 スポーツ振興のために、どの年代に対して力を入れるべきと思いますか。
(○は1つだけ)

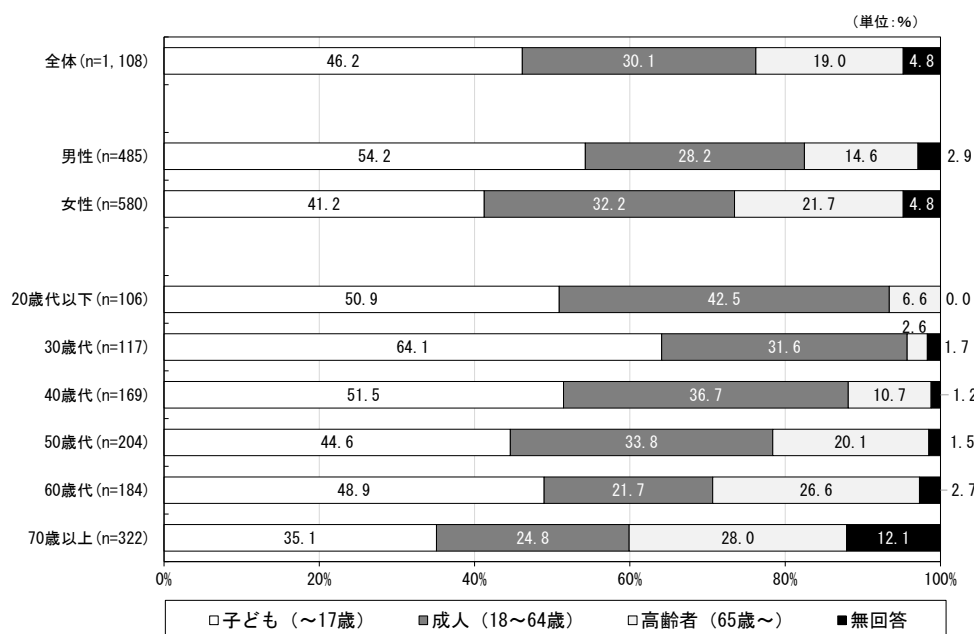
番号	選択肢	回答数
1	子ども（～17歳）	512
2	成人（18～64歳）	333
3	高齢者（65歳～）	210
	無回答	53
全体		1,108

■スポーツ振興のために力を入れるべき年代



スポーツ振興のために力を入れるべき年代については、「子ども（～17歳）」が46.2%と最も高く、次いで「成人（18～64歳）」が30.1%、「高齢者（65歳～）」が19.0%の順となっている。

■男女別 年代別 スポーツ振興のために力を入れるべき年代



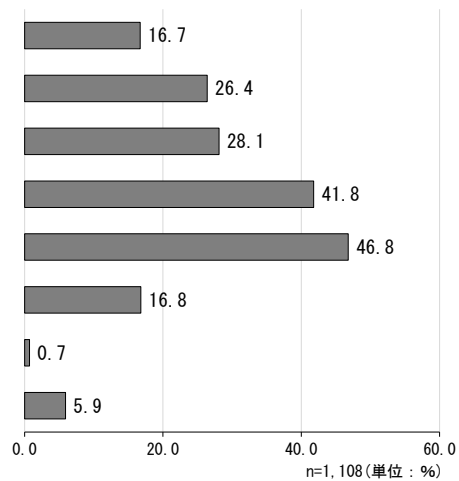
男女別にみると、「子ども（～17歳）」は男性が54.2%、女性が41.2%と男性が13.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「子ども（～17歳）」は30歳代が6割を超えている。

問 33 スポーツ振興のために力を入れるべき施策はどれだと思いますか。
(○はいくつでも)

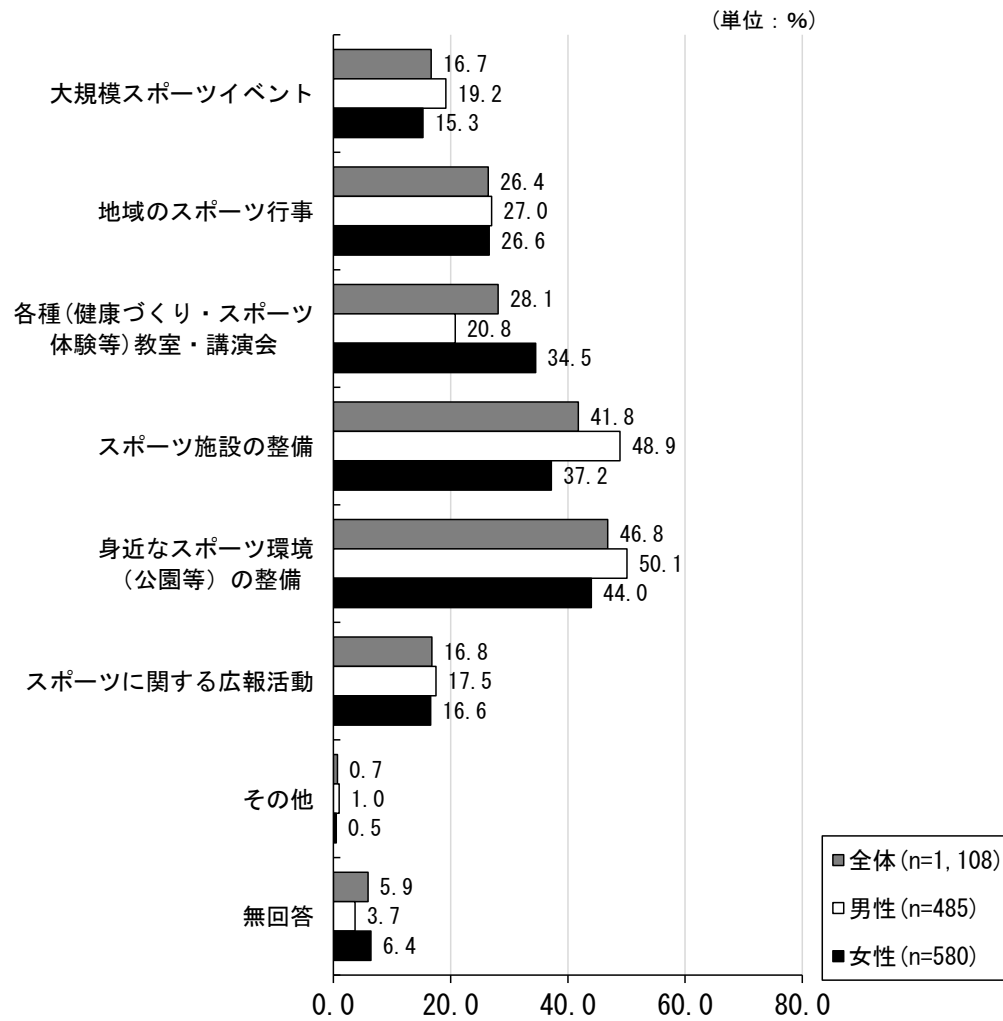
番号	選択肢	回答数
1	大規模スポーツイベント	185
2	地域のスポーツ行事	293
3	各種（健康づくり・スポーツ体験等） 教室・講演会	311
4	スポーツ施設の整備	463
5	身近なスポーツ環境（公園等）の整備	518
6	スポーツに関する広報活動	186
7	その他	8
	無回答	65
回答総数		2,029
全体		1,108

■スポーツ振興のために力を入れるべき施策



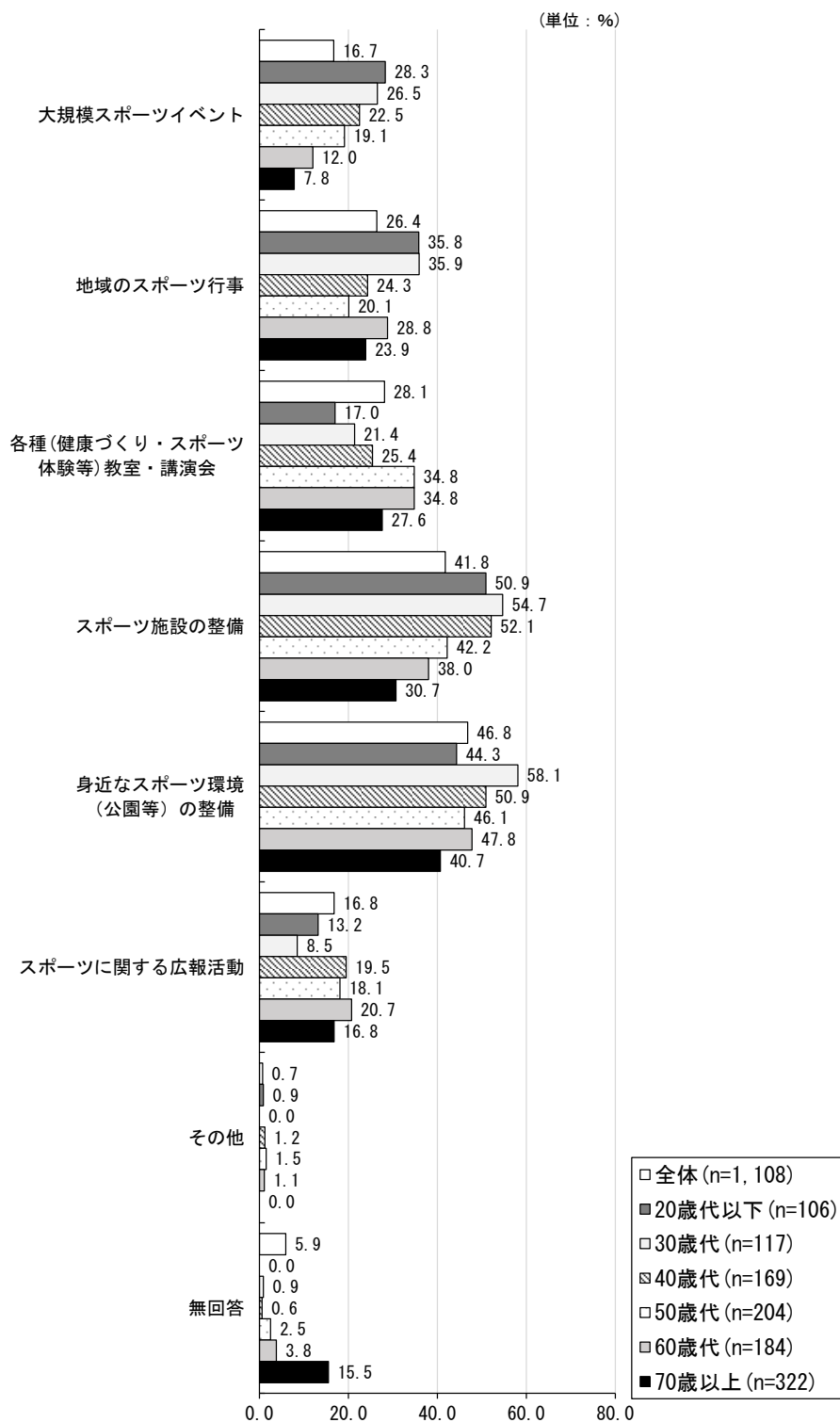
スポーツ振興のために力を入れるべき施策については、「身近なスポーツ環境(公園等)の整備」が46.8%と最も高く、次いで「スポーツ施設の整備」が41.8%、「各種(健康づくり・スポーツ体験等)教室・講演会」が28.1%の順となっている。

■男女別 スポーツ振興のために力を入れるべき施策



男女別にみると、「スポーツ施設の整備」では男性 48.9%、女性が 37.2%と男性が 11.7 ポイント高くなっている。

■年代別 スポーツ振興のために力を入れるべき施策



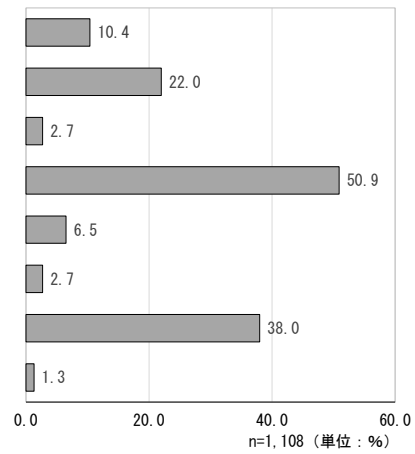
年代別にみると、「身近なスポーツ環境(公園等)の整備」は30歳代と40歳代が5割を超えている。

7 自転車の安全利用について

問 34 あなたは、どのような目的で自転車を利用しますか。(〇はいくつでも)

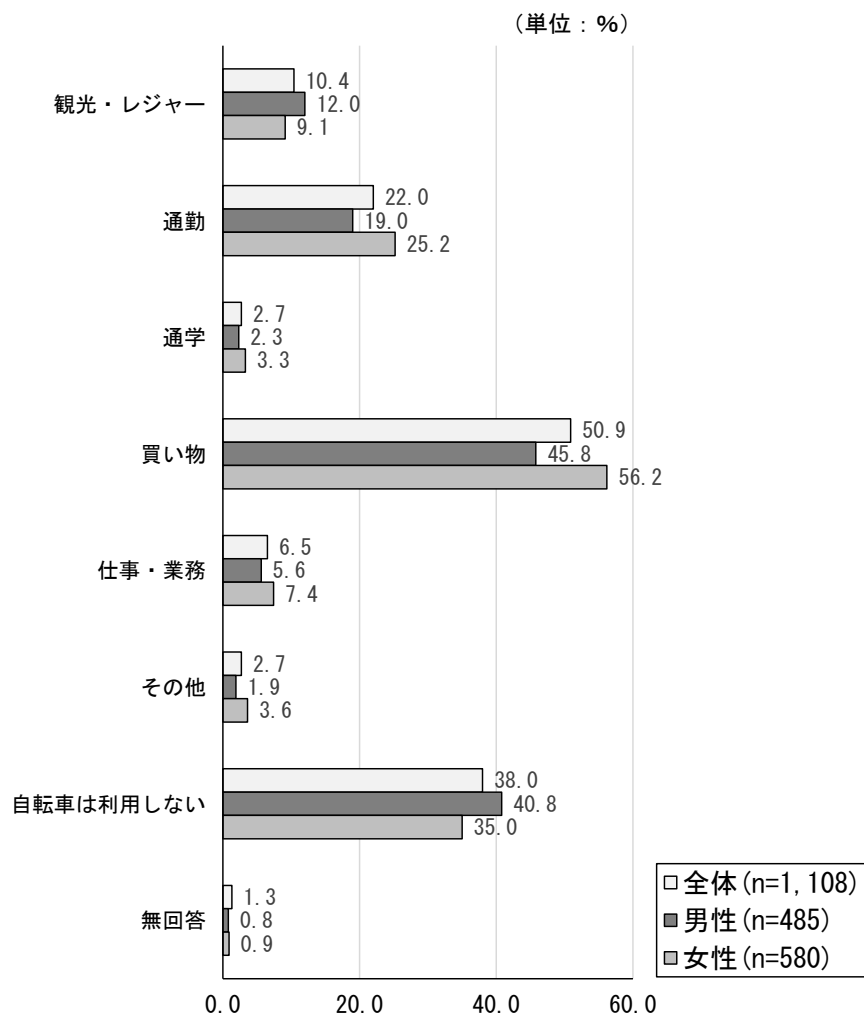
番号	選択肢	回答数
1	観光・レジャー	115
2	通勤	244
3	通学	30
4	買い物	564
5	仕事・業務	72
6	その他	30
7	自転車は利用しない	421
	無回答	14
回答総数		1,490
全体		1,108

■ 自転車を利用する目的



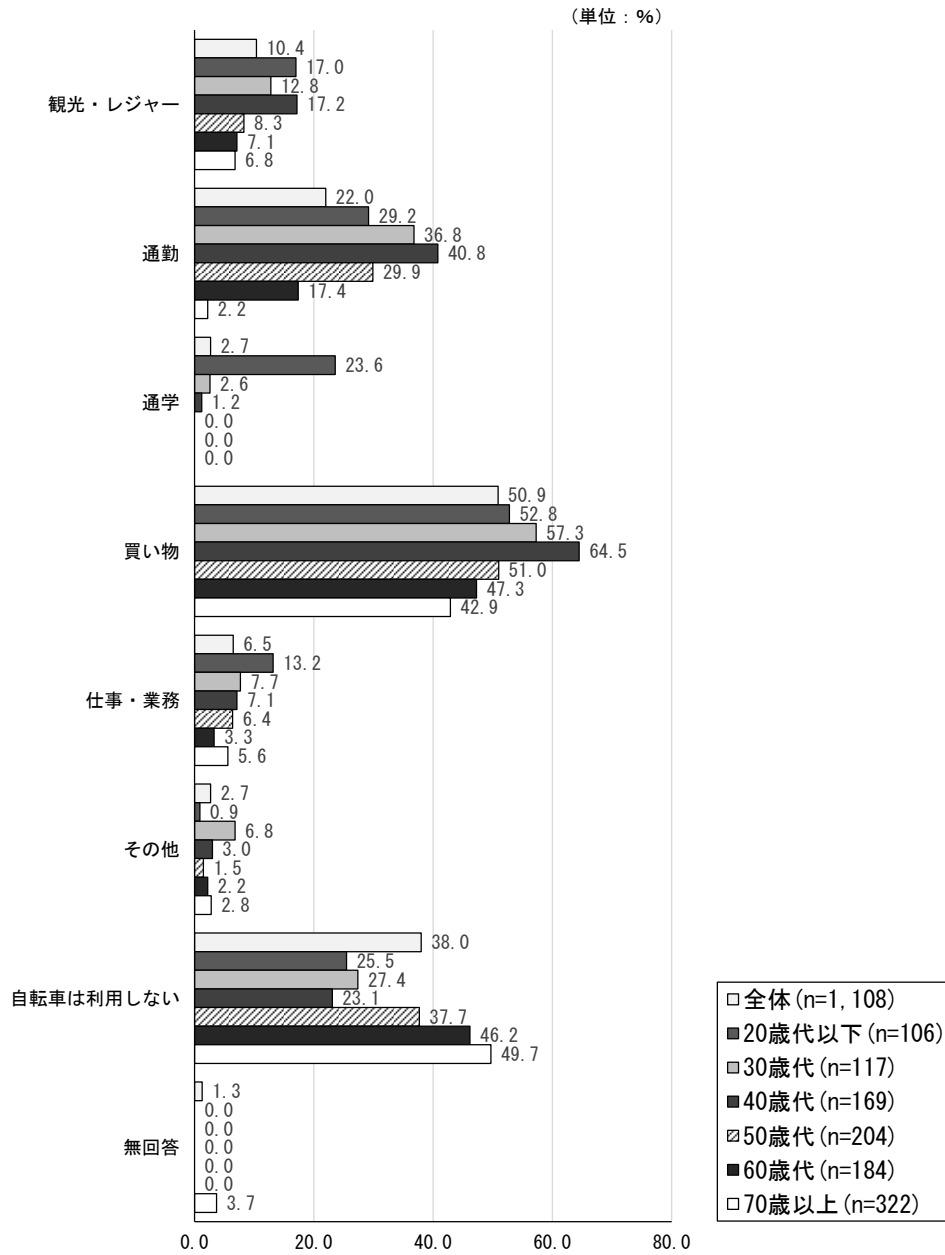
自転車を利用する目的については、「買い物」と回答した割合が 50.9%と最も高く、次いで「自転車は利用しない」が 38.0%、「通勤」が 22.0%の順となっている。

■男女別 自転車を利用する目的



男女別にみると、「観光・レジャー」では男性が2.9ポイント高くなっているのに対し、「買い物」では女性が10.4ポイント高くなっている。

■年代別 自転車を利用する目的

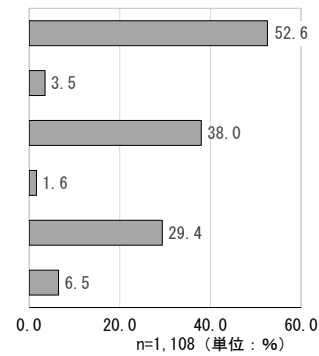


年代別にみると、「通学」は20歳代以下が23.6%と他の年代に比べて圧倒的に高く、「買い物」は20歳代以下から50歳代までの年代で5割以上となっている。

問 35 あなたは、自転車を利用する時、主にどこを通行していますか。
(○はいくつでも)

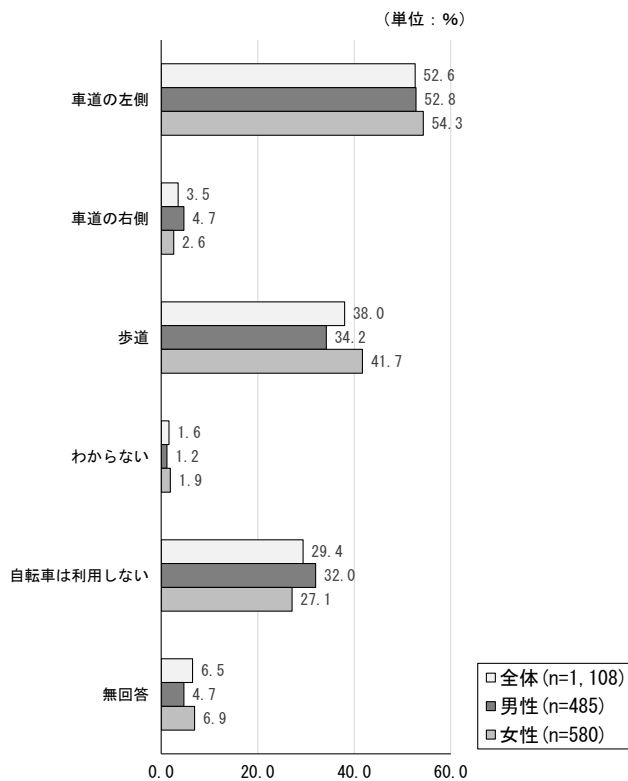
番号	選択肢	回答数
1	車道の左側	583
2	車道の右側	39
3	歩道	421
4	わからない	18
5	自転車は利用しない	326
	無回答	72
回答総数		1,459
全体		1,108

■ 自転車を利用する時の通行場所



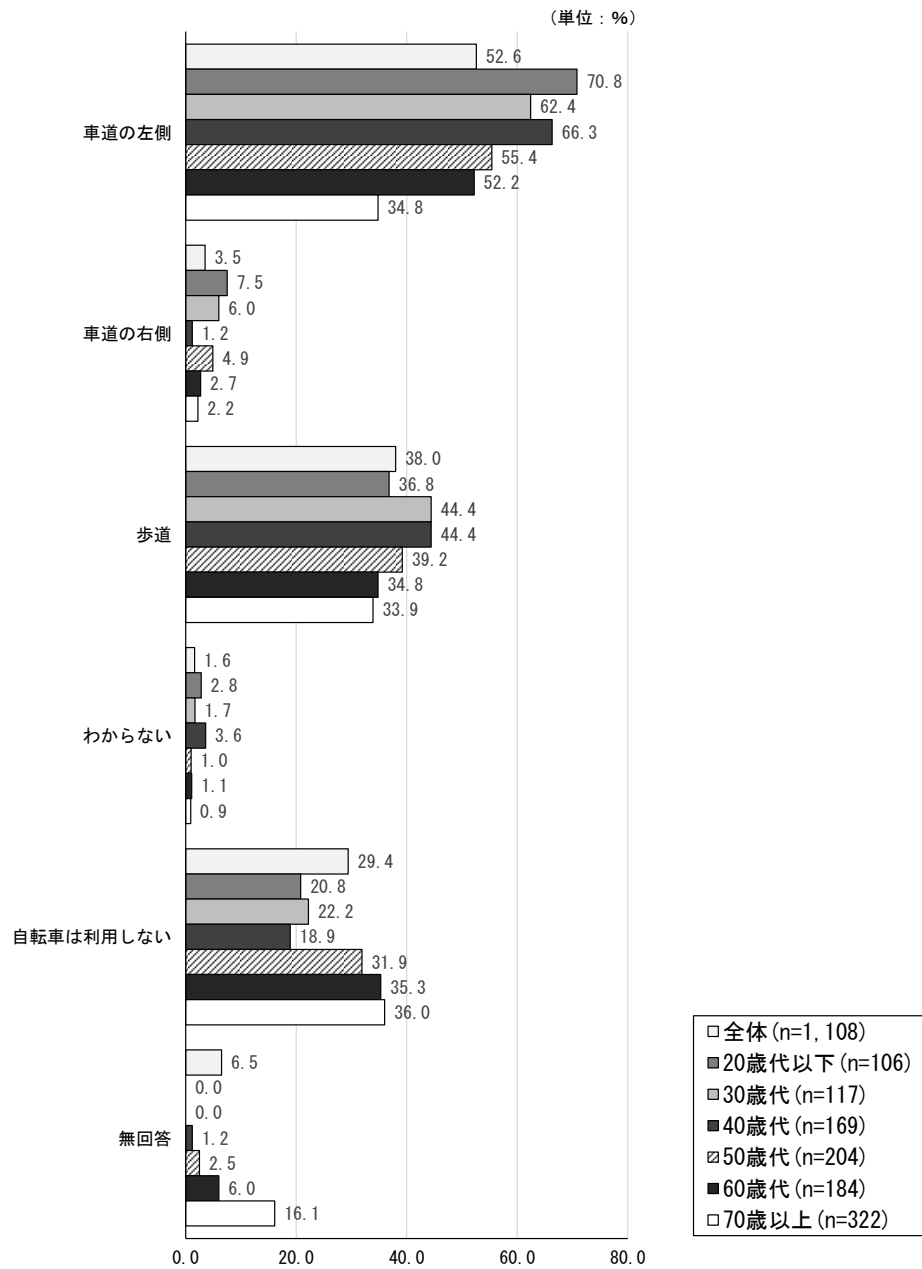
自転車を利用する時の通行場所については、「車道の左側」と回答した割合が 52.6%と最も高く、次いで「歩道」が 38.0%、「自転車は利用しない」が 29.4%の順となっている。

■ 男女別 自転車を利用する時の通行場所



男女別にみると、「歩道」では男性が 34.2%、女性が 41.7%と女性が 7.5 ポイント高くなっている。

■年代別 自転車を利用する時の通行場所



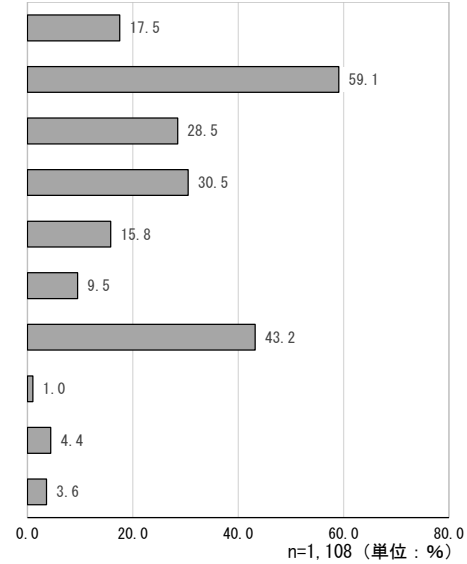
年代別にみると、「車道の左側」は20歳代以下が70.8%と最も高く、次いで40歳代が66.3%、30歳代が62.4%となっている。

また、「歩道」は30歳代と40歳代が44.4%で最も高くなっている。

問 36 駅前周辺の放置自転車を減らすために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

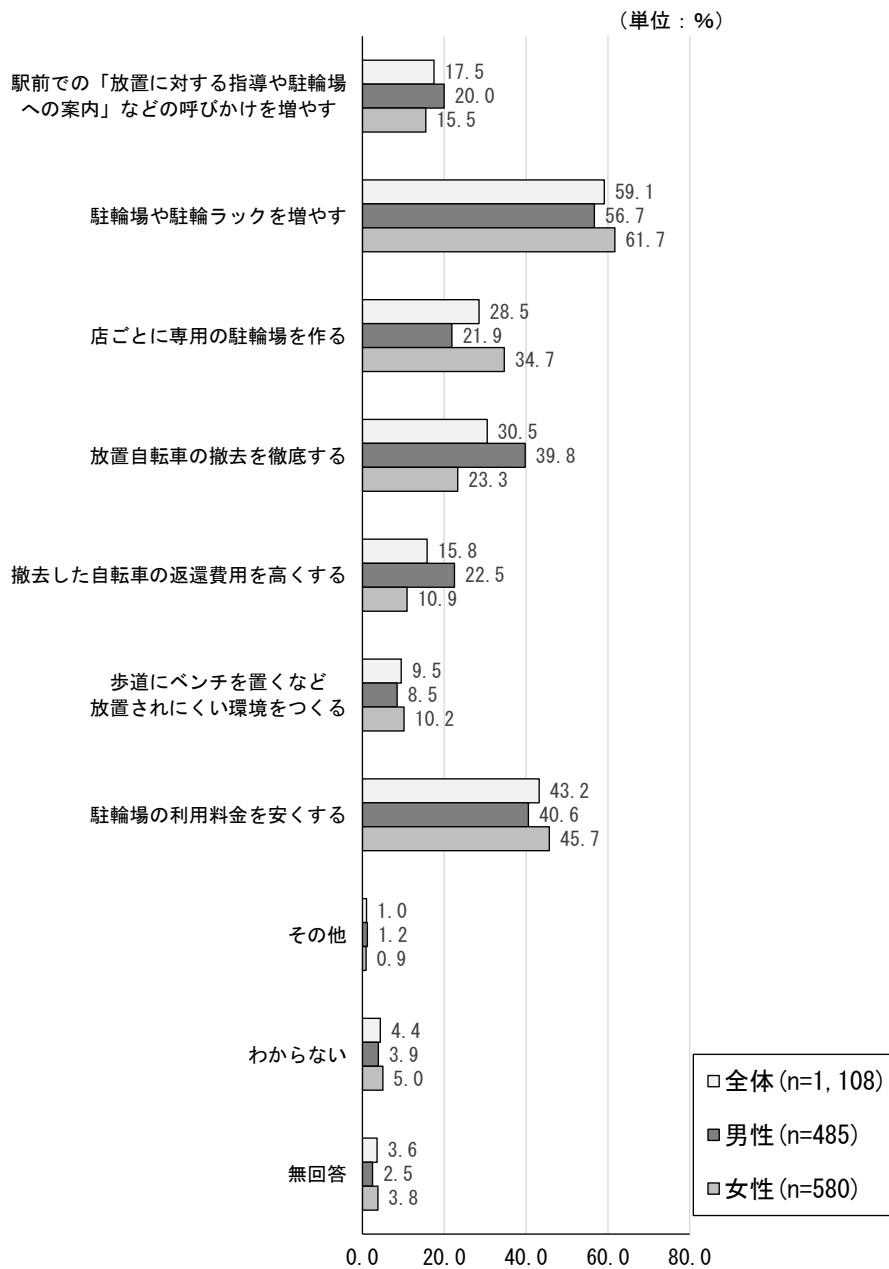
番号	選択肢	回答数
1	駅前での「放置に対する指導や駐輪場への案内」などの呼びかけを増やす	194
2	駐輪場や駐輪ラックを増やす	655
3	店ごとに専用の駐輪場を作る	316
4	放置自転車の撤去を徹底する	338
5	撤去した自転車の返還費用を高くする	175
6	歩道にベンチを置くなど放置されにくい環境をつくる	105
7	駐輪場の利用料金を安くする	479
8	その他	11
9	わからない	49
	無回答	40
回答総数		2,362
全体		1,108

■ 駅前の放置自転車対策に必要なこと



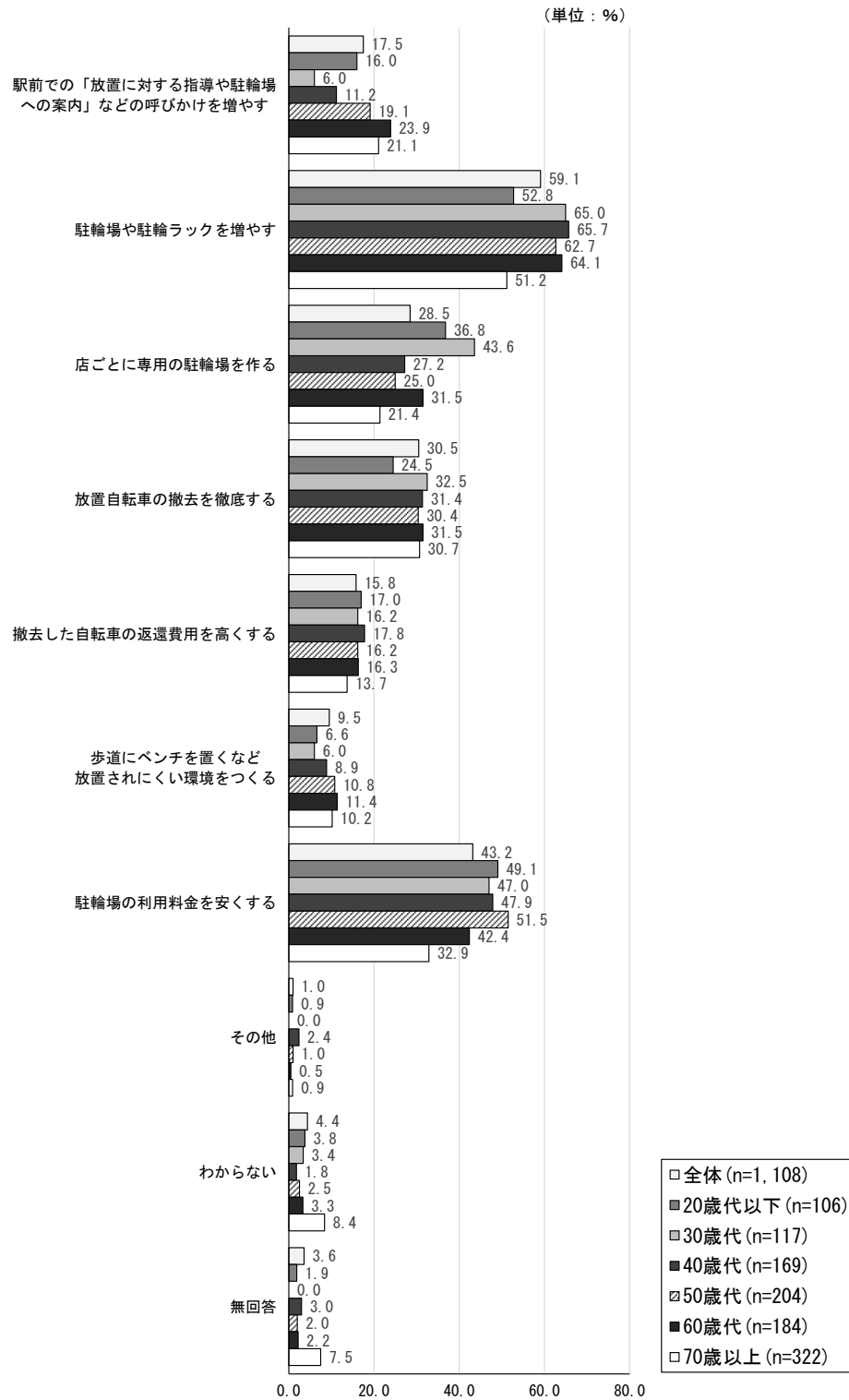
駅前の放置自転車対策に必要なことは、「駐輪場や駐輪ラックを増やす」と回答した割合が59.1%と最も高く、次いで「駐輪場の利用料金を安くする」が43.2%、「放置自転車の撤去を徹底する」が30.5%の順となっている。

■男女別 駅前の放置自転車対策に必要なこと



男女別にみると、「駐輪場や駐輪ラックを増やす」、「駐輪場の利用料金を安くする」はどちらも男性と女性で大きな差はないが、「店ごとに専用の駐輪場を作る」では女性が男性より12.8ポイント高く、「放置自転車の撤去を徹底する」では男性が女性より16.5ポイント高くなっている。

■年代別 駅前の放置自転車対策に必要なこと

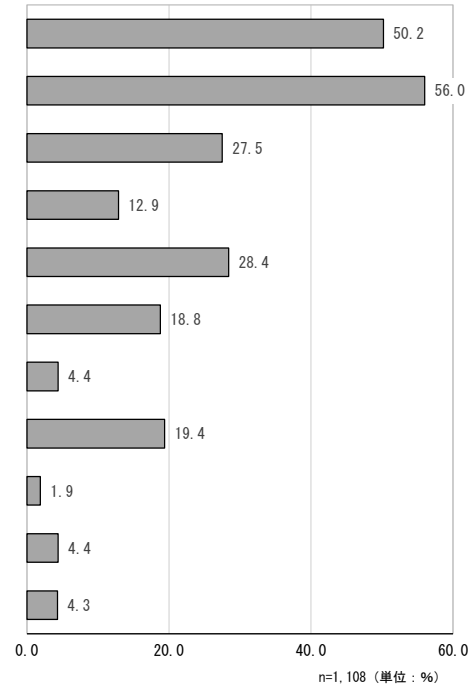


年代別にみると、「駐輪場の利用料金を安くする」では50歳代が51.5%、「店ごとに専用の駐輪場を作る」では30歳代が43.6%と他の年代と比べて高くなっている。

問 37 あなたは、市内を自転車で走りやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

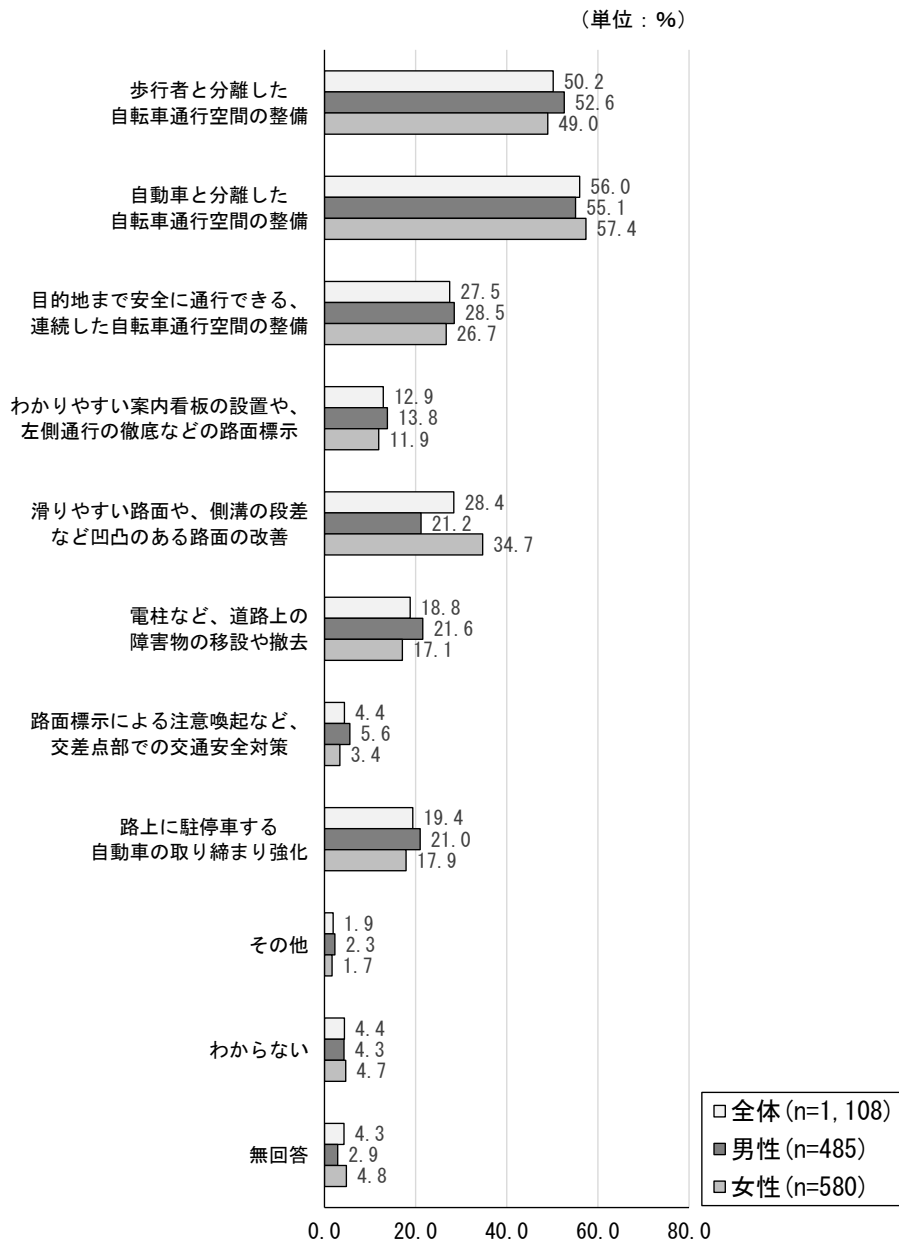
番号	選択肢	回答数
1	歩行者と分離した自転車通行空間の整備	556
2	自動車と分離した自転車通行空間の整備	621
3	目的地まで安全に通行できる、連続した自転車通行空間の整備	305
4	わかりやすい案内看板の設置や、左側通行の徹底などの路面標示	143
5	滑りやすい路面や、側溝の段差など凹凸のある路面の改善	315
6	電柱など、道路上の障害物の移設や撤去	208
7	路面標示による注意喚起など、交差点部での交通安全対策	49
8	路上に駐停車する自動車の取り締まり強化	215
9	その他	21
10	わからない	49
	無回答	48
回答総数		2,530
全体		1,108

■市内の自転車走行に必要なこと



市内の自転車走行に必要なことについては、「自動車と分離した自転車通行空間の整備」と回答した割合が 56.0%と最も高く、次いで「歩行者と分離した自転車通行空間の整備」が 50.2%、「滑りやすい路面や、側溝の段差など凹凸のある路面の改善」が 28.4%の順となっている。

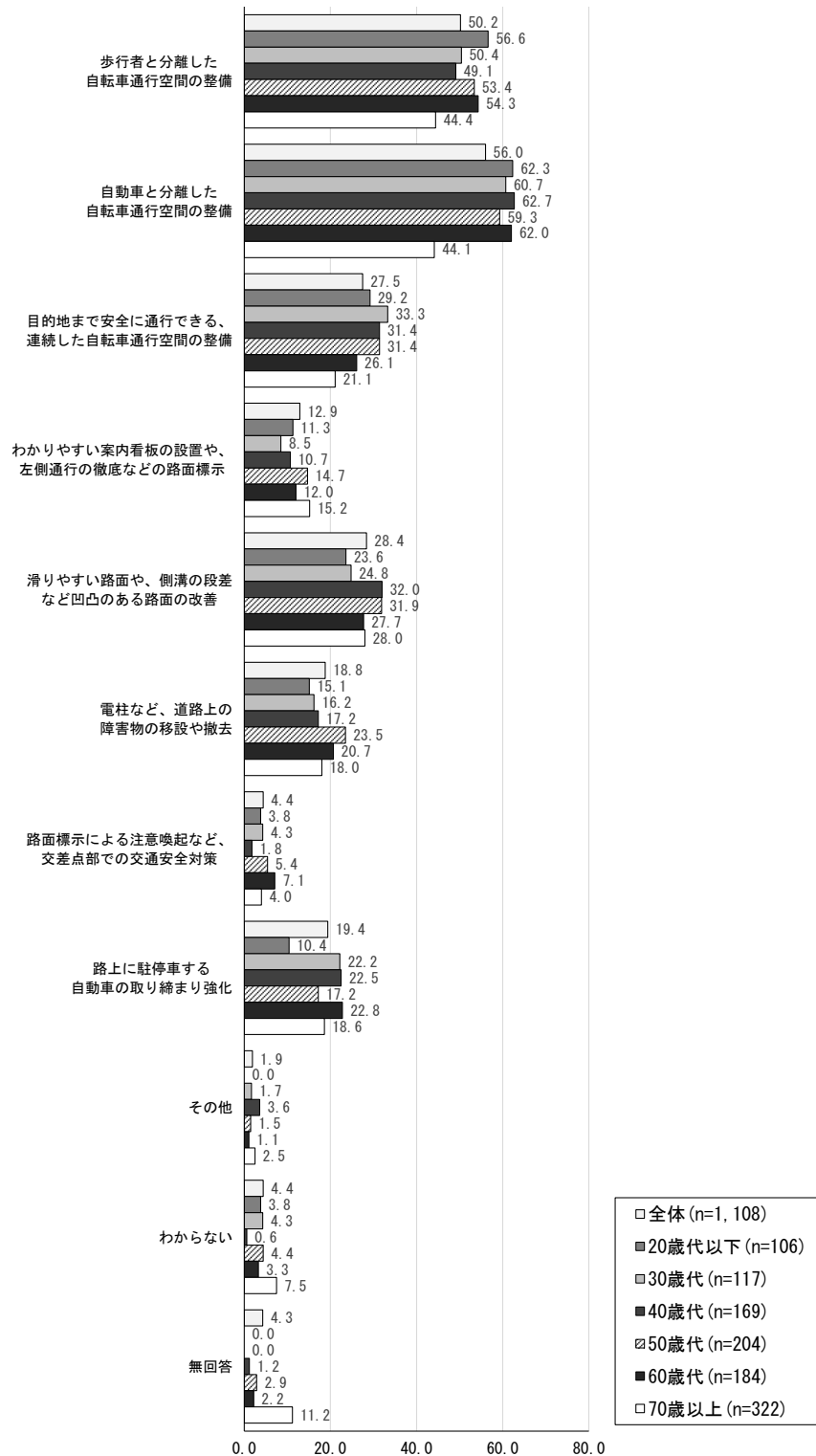
■男女別 市内の自転車走行に必要なこと



男女別にみると、「滑りやすい路面や、側溝の段差など凹凸のある路面の改善」は、男性が21.2%、女性が34.7%と女性が13.5ポイント高くなっている。

■年代別 市内の自転車走行に必要なこと

(単位：%)

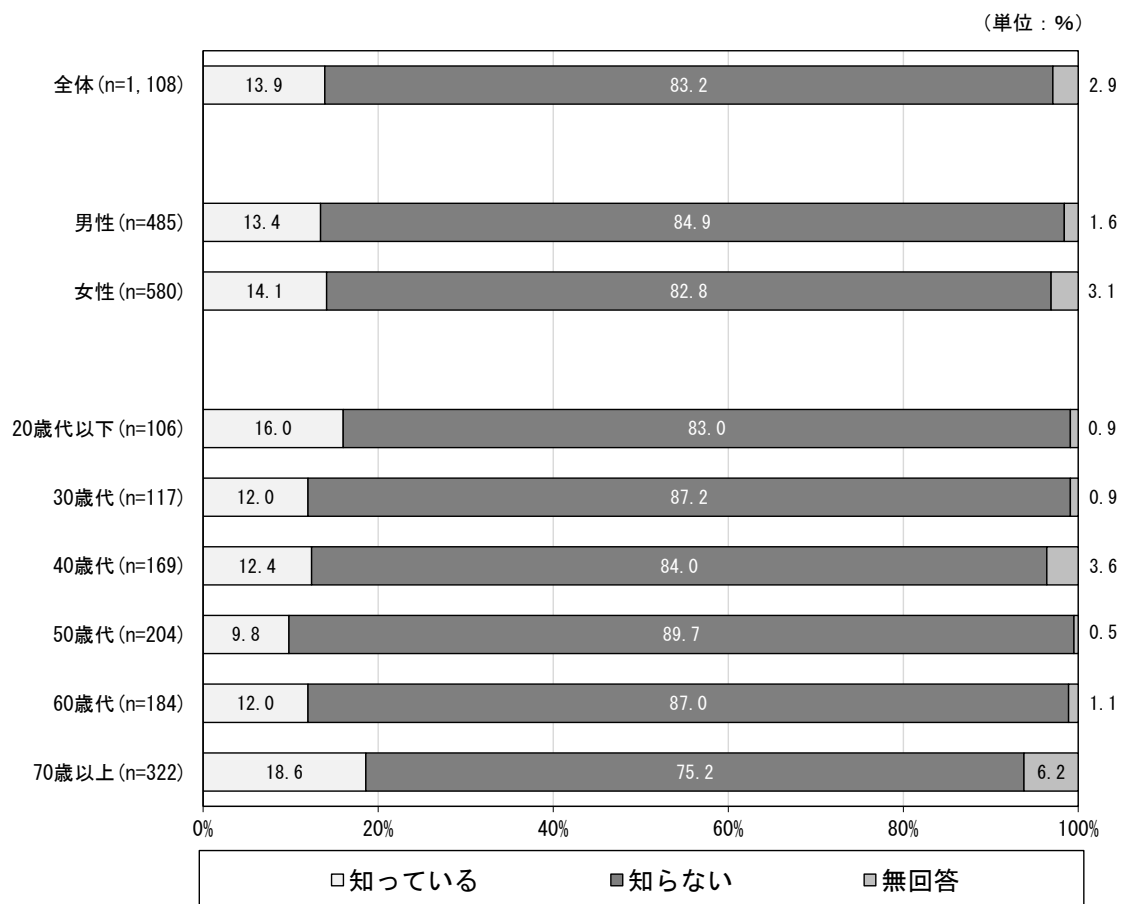


年代別にみると、「自動車と分離した自転車通行空間の整備」が70歳以上を除くすべての年代において最も高くなっている。

問 38 あなたは、自転車の安全利用に関する次の条例や計画を知っていますか。

	n 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
A. 高槻市自転車安全利用条例	1,108 100.0	154 13.9	922 83.2	32 2.9
B. たかつき自転車まちづくり 向上計画及び実行計画	1,108 100.0	50 4.5	989 89.3	69 6.2

■男女別 年代別 A. 高槻市自転車安全利用条例の認知度



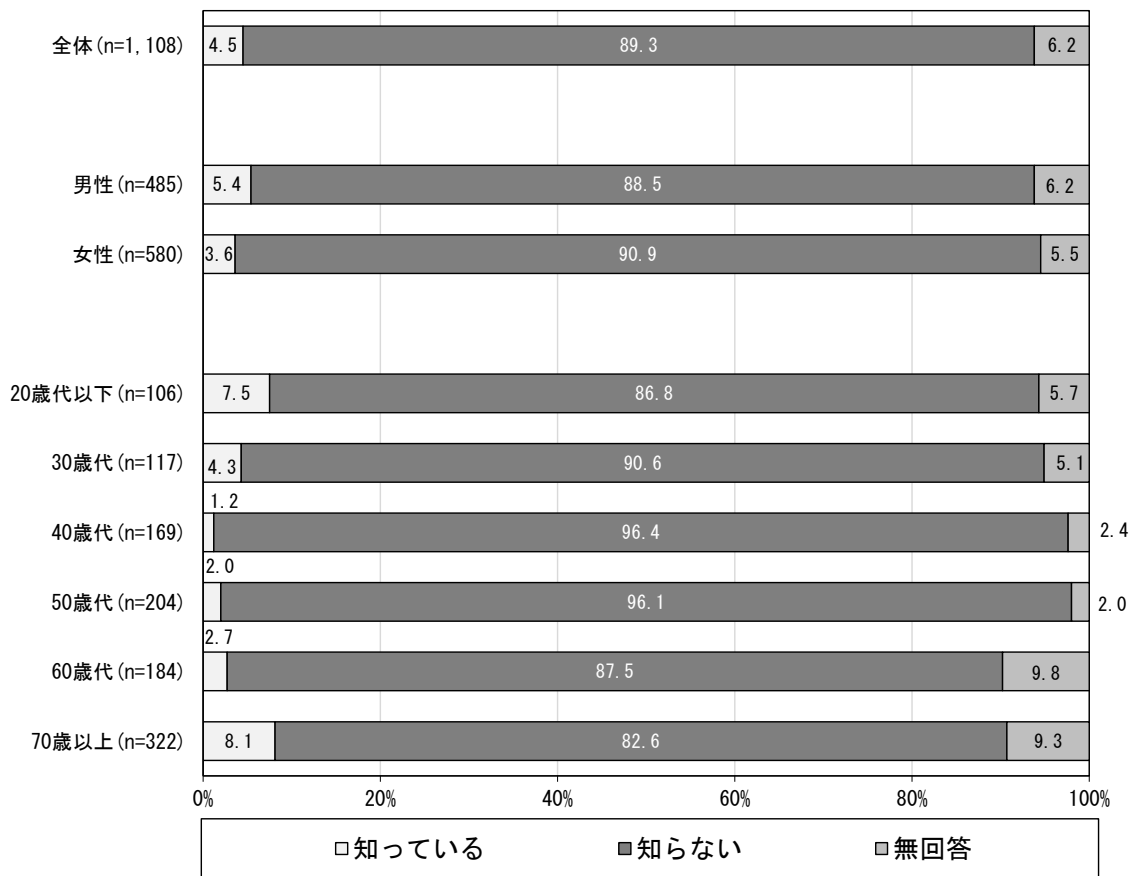
『高槻市自転車安全利用条例』の認知度は、「知っている」が13.9%、「知らない」が83.2%となっている。

男女別に見ると、「知っている」は男性が13.4%、女性が14.1%と女性がやや高くなっている。

年代別にみると、「知っている」は70歳以上が18.6%と最も高く、次いで20歳代以下が16.0%となっており、50歳代が9.8%と最も低くなっている。

■男女別 年代別 B. たかつき自転車まちづくり向上計画及び実行計画の認知度

(単位：％)



『たかつき自転車まちづくり向上計画及び実行計画』の認知度では「知っている」が4.5%、「知らない」が89.3%となっている。

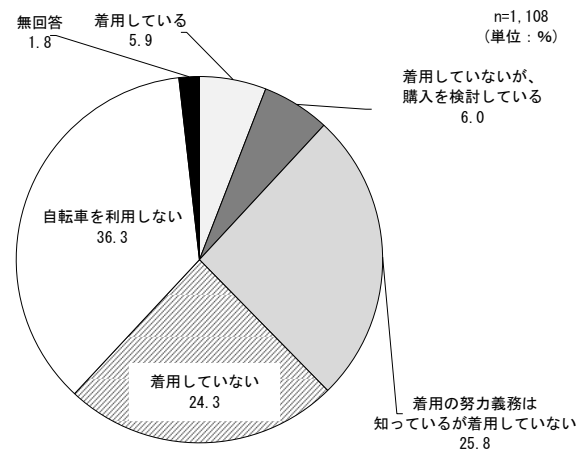
男女別にみると、「知っている」は男性が5.4%、女性が3.6%と男性が1.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知っている」は70歳以上が8.1%と最も高く、次いで20歳代以下が7.5%の順となっている。

問 39 「高槻市自転車安全利用条例」では、自転車乗車用のヘルメットの着用を努力義務としています。あなたは、自転車乗車時にヘルメットを着用していますか。（○は1つだけ）

番号	選択肢	回答数
1	着用している	65
2	着用していないが、購入を検討している	66
3	着用の努力義務は知っているが、着用していない	286
4	着用していない	269
5	自転車を利用しない	402
	無回答	20
全体		1,108

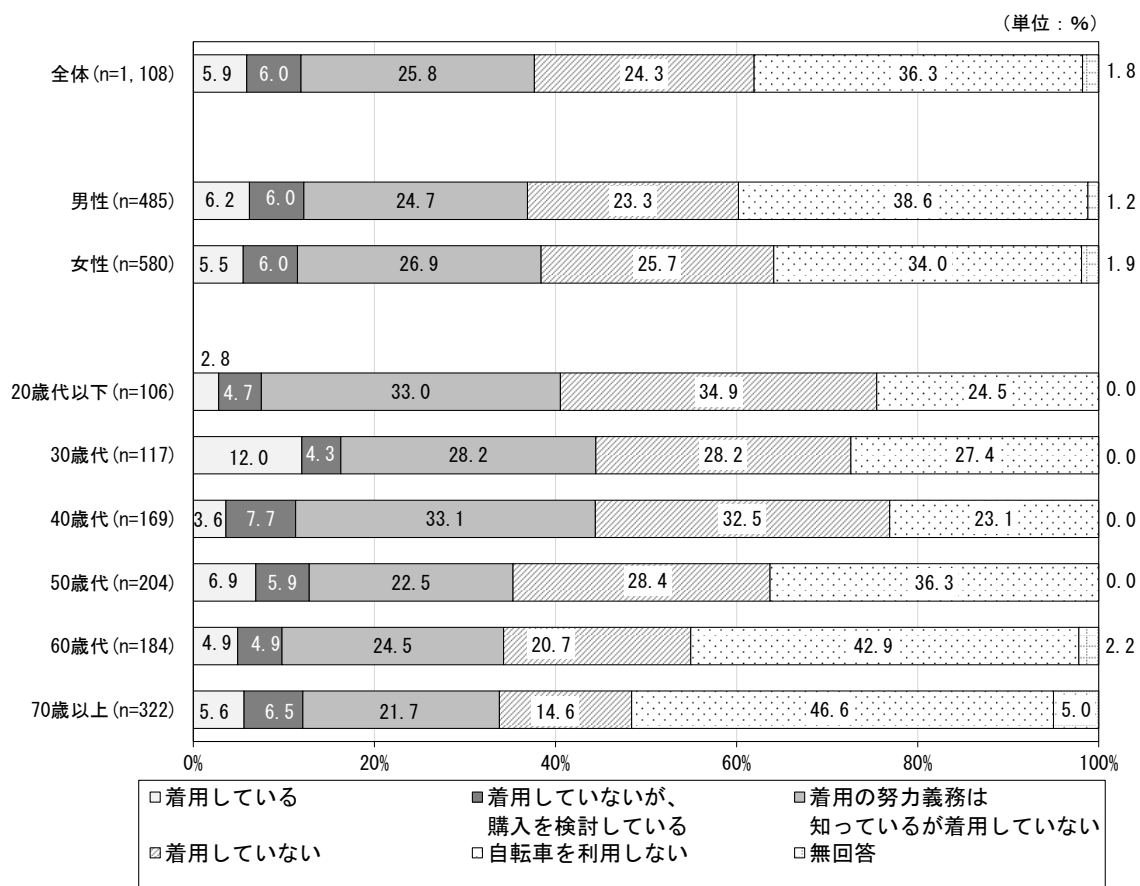
■ 自転車乗車時のヘルメット着用



自転車乗車時のヘルメット着用については、「自転車を利用しない」が 36.3%と最も高く、次いで「着用の義務は知っているが、着用していない」が 25.8%、「着用していない」が 24.3%の順となっている。

「着用している」は 5.9%と 1 割以下となっている。

■男女別 年代別 自転車乗車時のヘルメット着用



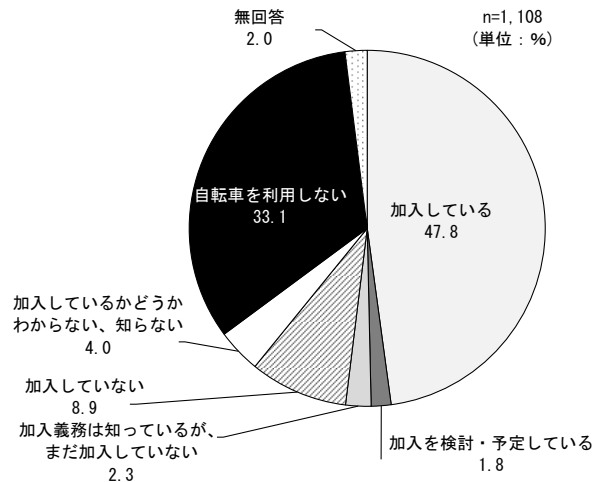
男女別にみると、「着用している」では男性が6.2%、女性が5.5%と男性がやや高くなっている。

年代別にみると、「着用している」では30歳代で12.0%と他の年代に比べて高くなっている。

問 40 「大阪府自転車条例」では、自転車利用中に他人にケガをさせた場合などに備える保険等に参加することを義務としています。あなたは、自転車に関する保険や共済に参加していますか。(○は1つだけ)

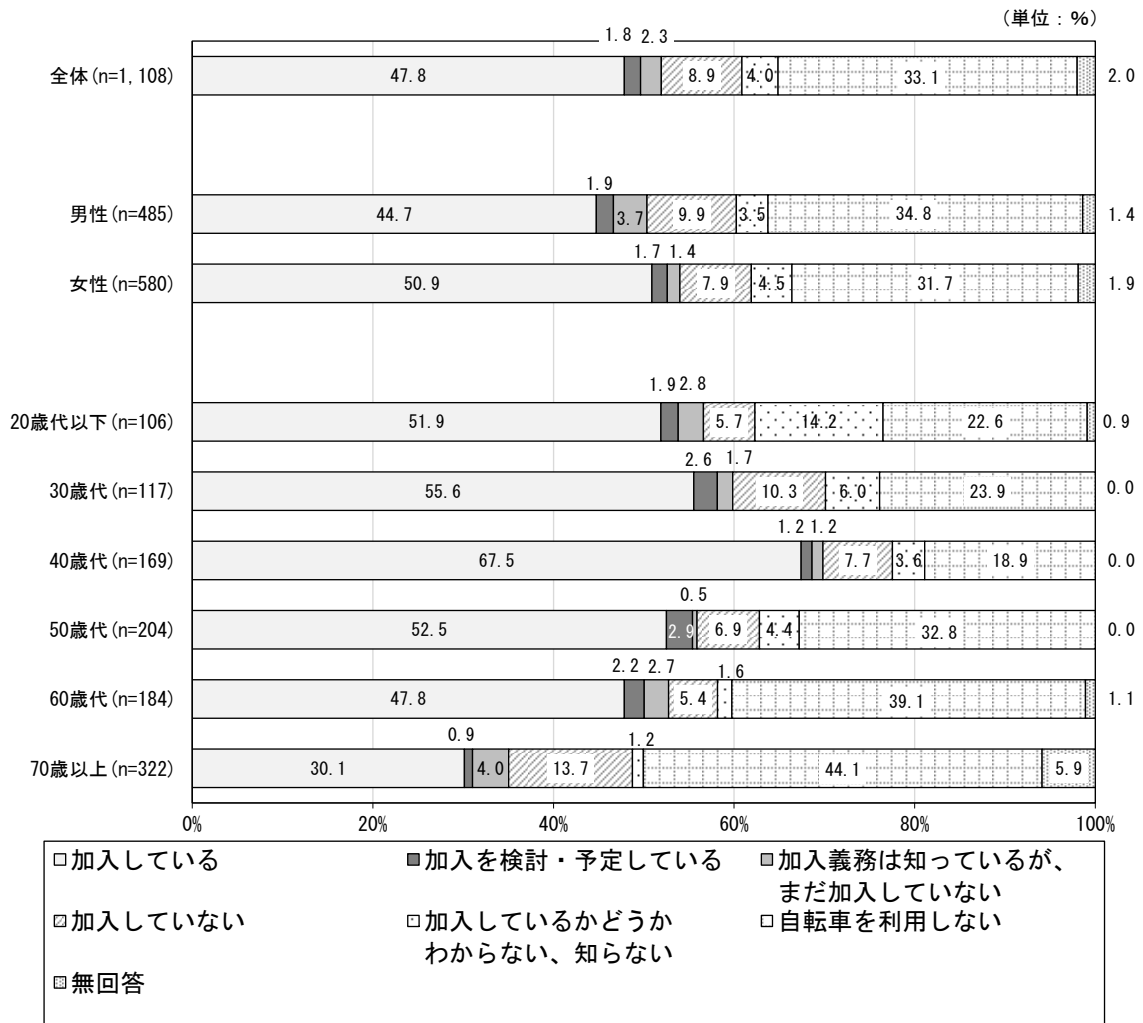
番号	選択肢	回答数
1	加入している	530
2	加入を検討・予定している	20
3	加入義務は知っているが、まだ加入していない	26
4	加入していない	99
5	加入しているかどうかわからない、知らない	44
6	自転車を利用しない	367
	無回答	22
全体		1,108

■ 自転車に関する保険や共済の加入



自転車に関する保険や共済の加入については、「加入している」と回答した割合が 47.8%と最も高く、次いで「自転車を利用しない」が 33.1%、「加入していない」が 8.9%の順となっている。

■男女別 年代別 自転車に関する保険や共済の加入



男女別にみると、「加入している」では男性が 44.7%、女性が 50.9%で女性が 6.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「加入している」では 40 歳代が 67.5%と最も高く、70 歳以上が 30.1%と最も低くなっている。

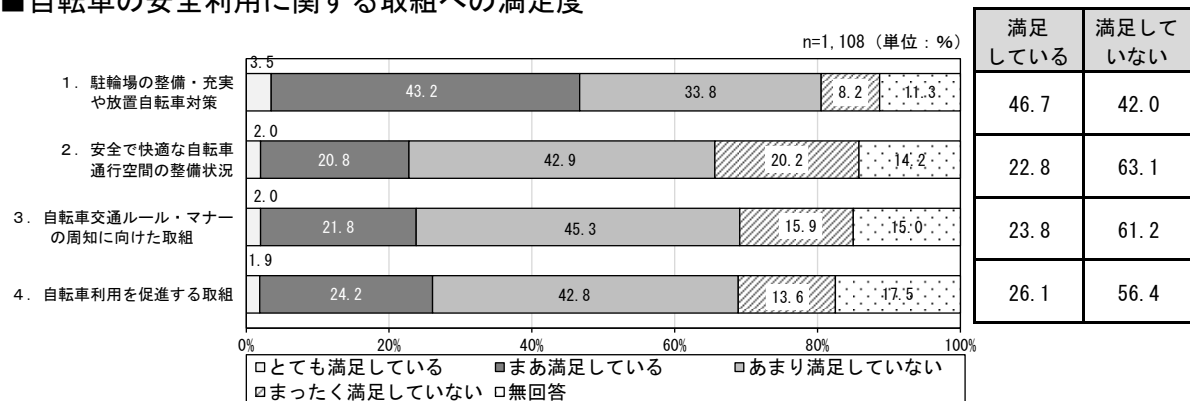
問 41 あなたは、本市の自転車の安全利用などに関する取組に満足していますか。
各項目について、お考えに近い番号に○をつけてください。
(○はそれぞれ1つだけ)

	n 数	と と も 満 足 し て い る	ま あ 満 足 し て い る	あ ま り 満 足 し て い ない	ま っ た く 満 足 し て い ない	無 回 答
1. 駐輪場の整備・充実や 放置自転車対策	1,108 100.0	39 3.5	479 43.2	374 33.8	91 8.2	125 11.3
2. 安全で快適な自転車 通行空間の整備状況	1,108 100.0	22 2.0	230 20.8	475 42.9	224 20.2	157 14.2
3. 自転車交通ルール・マナー の周知に向けた取組※1	1,108 100.0	22 2.0	242 21.8	502 45.3	176 15.9	166 15.0
4. 自転車利用を促進する 取組※2	1,108 100.0	21 1.9	268 24.2	474 42.8	151 13.6	194 17.5

※1：自転車安全利用教室、街頭・駅頭での
啓発活動 など

※2：レンタサイクル（シェアサイクル）、
サイクルイベントの開催など

■自転車の安全利用に関する取組への満足度



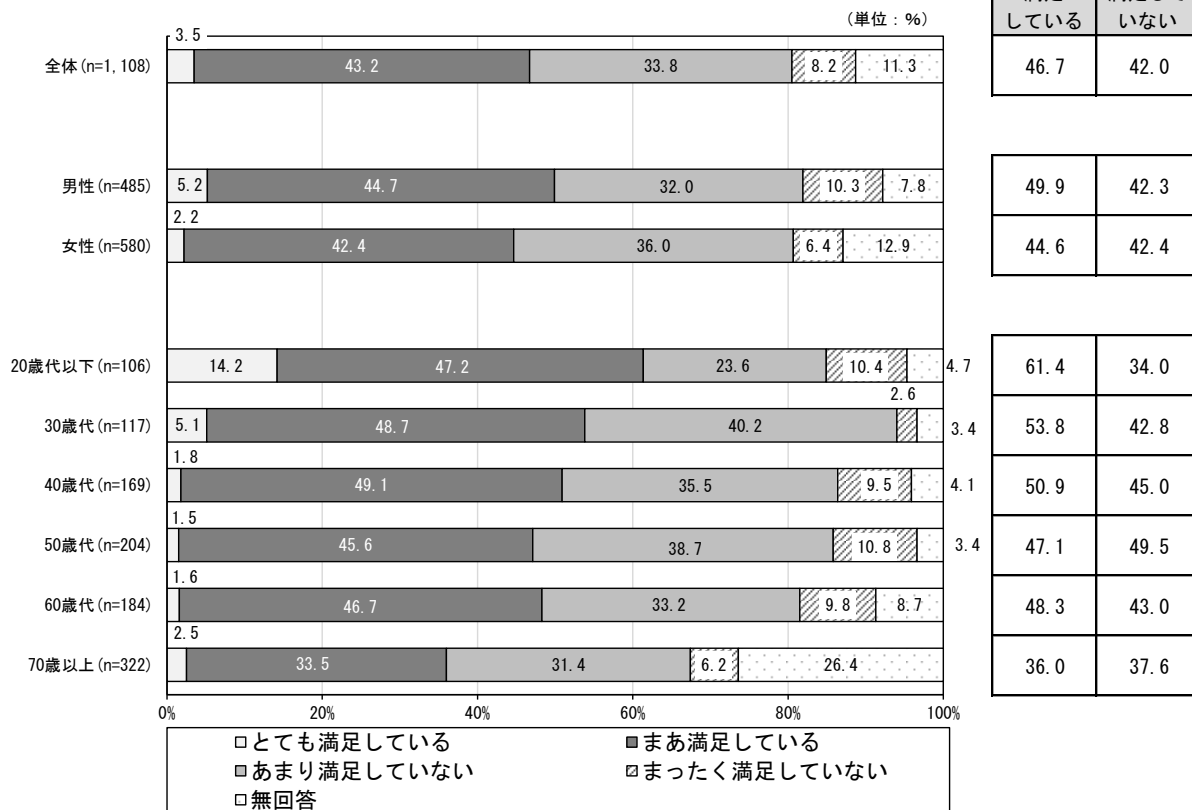
※ “満足している” = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

“満足していない” = 「あまり満足していない」 + 「まったく満足していない」

自転車の安全利用に関する取組への満足度については、「駐輪場の整備・充実や放置自転車対策」は「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた“満足している”が46.7%、「安全で快適な自転車通行空間の整備状況」は“満足している”が22.8%、「自転車交通ルール・マナーの周知に向けた取組」は“満足している”が23.8%、「自転車利用を促進する取組」は“満足している”が26.1%となっている。

■男女別 年代別 自転車の安全利用に関する取組への満足度

1. 駐輪場の整備・充実や放置自転車対策



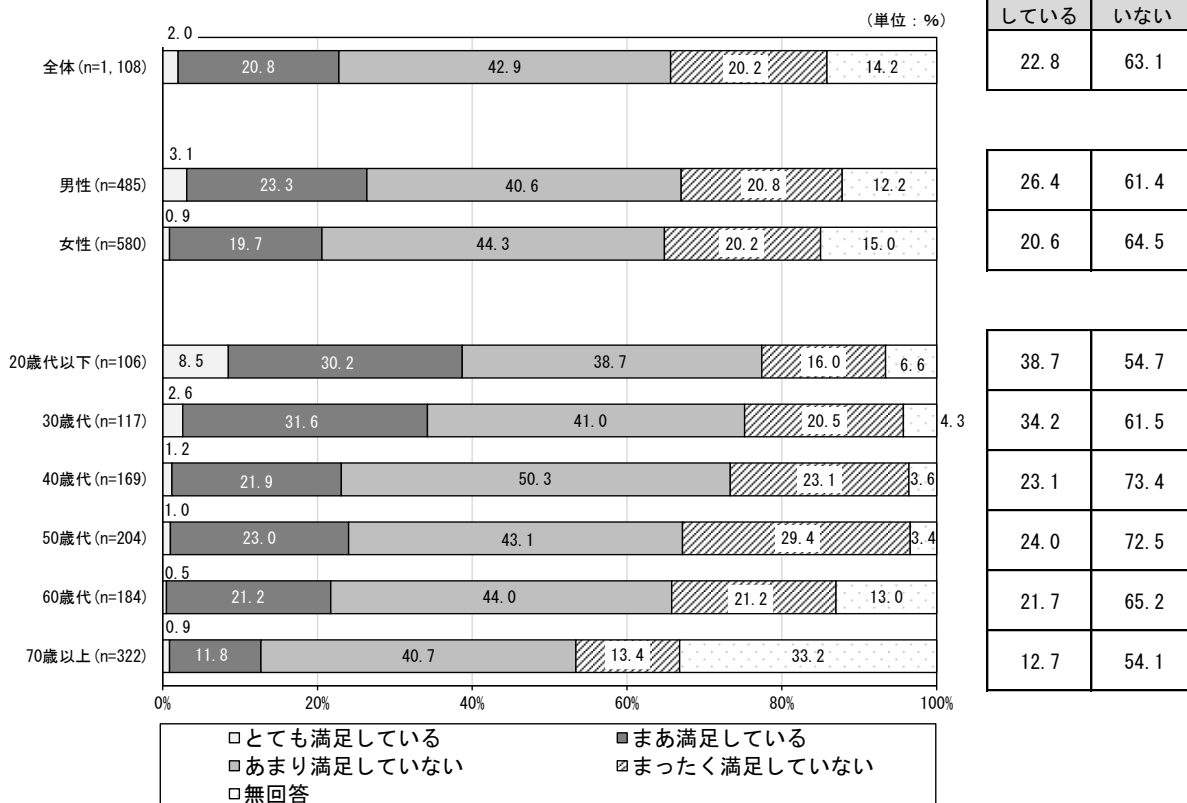
※ “満足している” = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

“満足していない” = 「あまり満足していない」 + 「まったく満足していない」

駐輪場の整備・充実や放置自転車対策の満足度について、男女別にみると、“満足している”が男性では49.9%、女性では44.6%と男性が5.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、20歳代以下は“満足している”が61.4%と6割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。

2. 安全で快適な自転車通行空間の整備状況



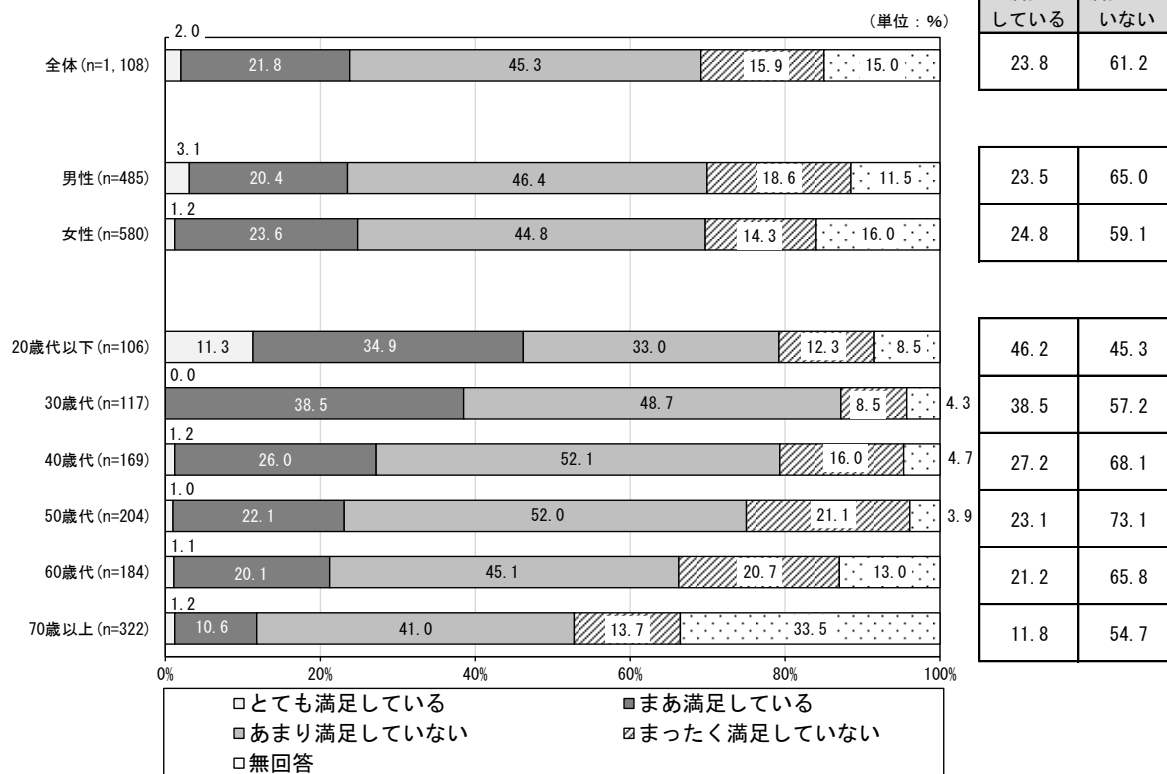
※ “満足している” = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

“満足していない” = 「あまり満足していない」 + 「まったく満足していない」

安全で快適な自転車通行空間の整備状況の満足度について、男女別にみると、“満足している”は男性が26.4%、女性が20.6%と男性が5.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、20歳代以下では“満足している”が38.7%と他の年代に比べて高くなっている。

3. 自転車交通ルール・マナーの周知に向けた取組

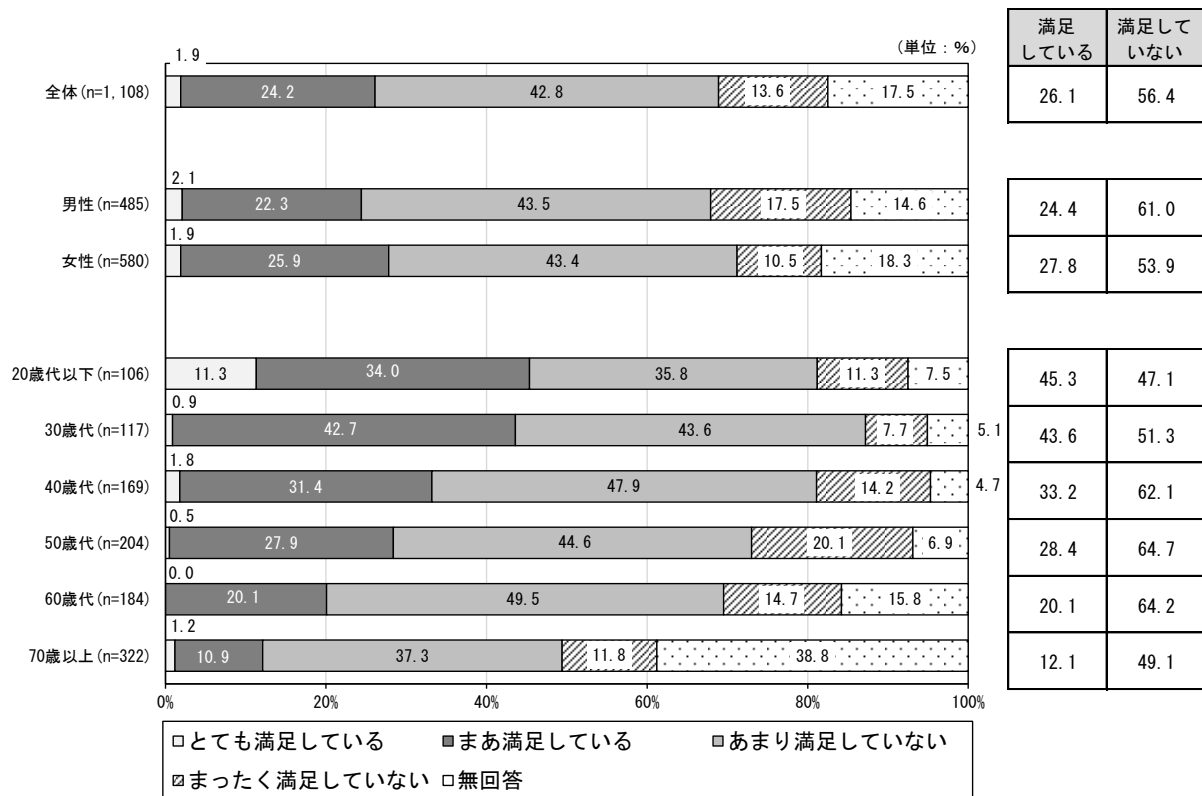


※ “満足している” = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

“満足していない” = 「あまり満足していない」 + 「まったく満足していない」

自転車交通ルール・マナーの周知に向けた取組の満足度について、男女別にみると、“満足している”は男性が23.5%、女性が24.8%と女性の方が1.3ポイント高くなっている。年代別にみると、30歳代以下では“満足している”が3割を超えている。

4. 自転車利用を促進する取組



※ “満足している” = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

“満足していない” = 「あまり満足していない」 + 「まったく満足していない」

自転車利用を促進する取組の満足度について、男女別にみると、“満足している”が男性では24.4%、女性では27.8%と女性の方が3.4ポイント高くなっている。

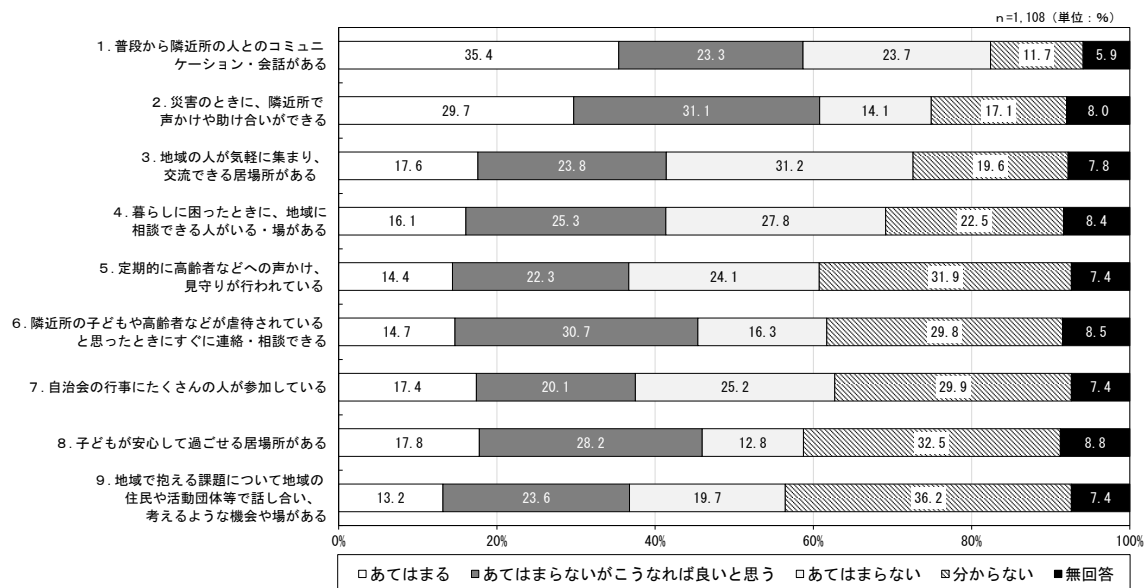
年代別にみると、30歳代以下では“満足している”が4割を超えている。

8 地域でのつながりや支え合いに関する取組について

問 42 あなたの住んでいる地域（概ね小学校区程度の範囲）の状況として、あなたのお考えに近いのはどれですか。（各項目について、○は1つだけ）

	n 数	あて はまる	あて はまらないが こうなれば良い と思う	あて はまらない	分 か ら ない	無 回 答
1. 普段から隣近所の人とのコミュニケーション・会話がある	1,108 100.0	392 35.4	258 23.3	263 23.7	130 11.7	65 5.9
2. 災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる	1,108 100.0	329 29.7	345 31.1	156 14.1	189 17.1	89 8.0
3. 地域の人が気軽に集まり、交流できる居場所がある	1,108 100.0	195 17.6	264 23.8	346 31.2	217 19.6	86 7.8
4. 暮らしに困ったときに、地域に相談できる人がいる・場がある	1,108 100.0	178 16.1	280 25.3	308 27.8	249 22.5	93 8.4
5. 定期的に高齢者などへの声かけ、見守りが行われている	1,108 100.0	159 14.4	247 22.3	267 24.1	353 31.9	82 7.4
6. 隣近所の子どもや高齢者などが虐待されていると思ったときにすぐに連絡・相談できる	1,108 100.0	163 14.7	340 30.7	181 16.3	330 29.8	94 8.5
7. 自治会の行事にたくさんの人が参加している	1,108 100.0	193 17.4	223 20.1	279 25.2	331 29.9	82 7.4
8. 子どもが安心して過ごせる居場所がある	1,108 100.0	197 17.8	312 28.2	142 12.8	360 32.5	97 8.8
9. 地域で抱える課題について地域の住民や活動団体等で話し合い、考えるような機会や場がある	1,108 100.0	146 13.2	261 23.6	218 19.7	401 36.2	82 7.4

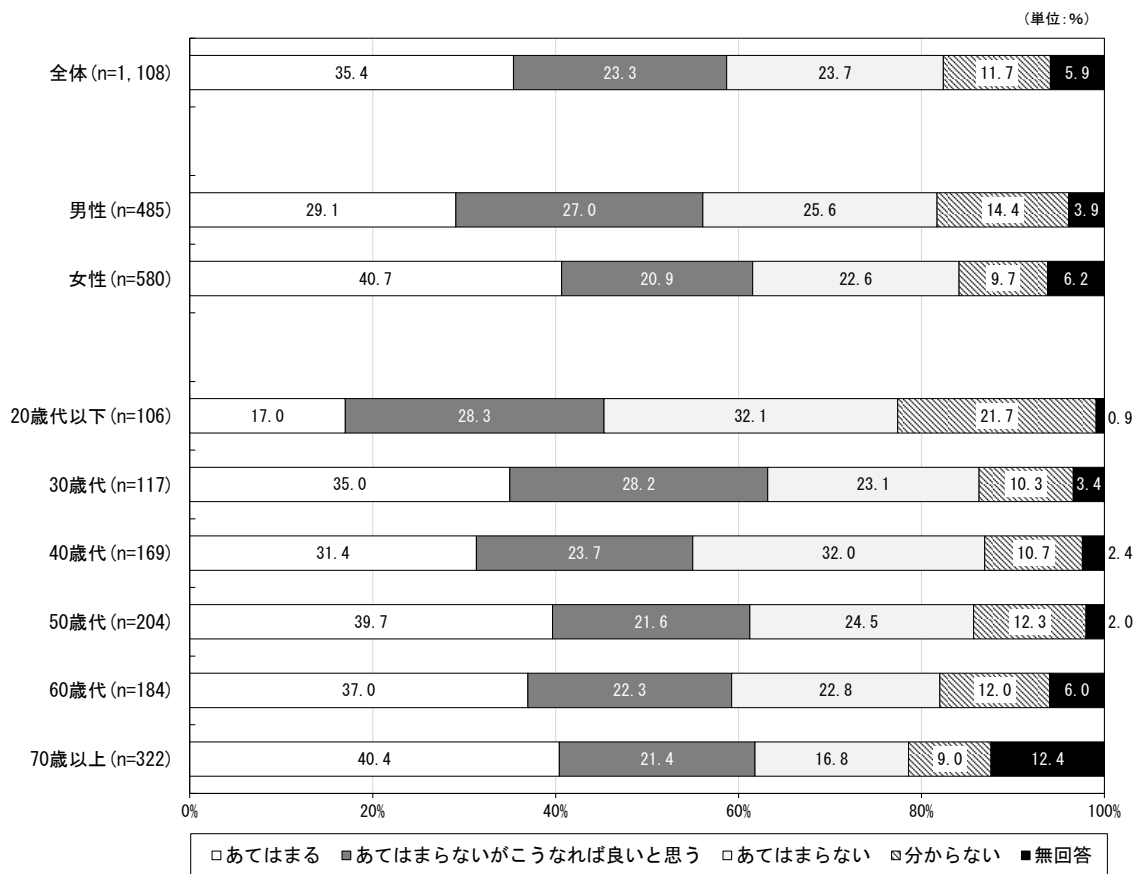
■住んでいる地域（概ね小学校区程度の範囲）の状況として、あなたの考えに近いもの



住んでいる地域の状況として、「あてはまる」は『普段から隣近所の人とのコミュニケーション・会話がある』が35.4%と最も高く、次いで『災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる』が29.7%、『子どもが安心して過ごせる居場所がある』が17.8%の順となっている。

「あてはまらないがこうなれば良いと思う」は、ほとんどが20%台で推移しているが、『災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる』と『隣近所の子どもや高齢者などが虐待されていると思ったときにすぐに連絡・相談できる』が30%を上回っている。

■男女別 年代別 1. 普段から隣近所の人とのコミュニケーション・会話がある

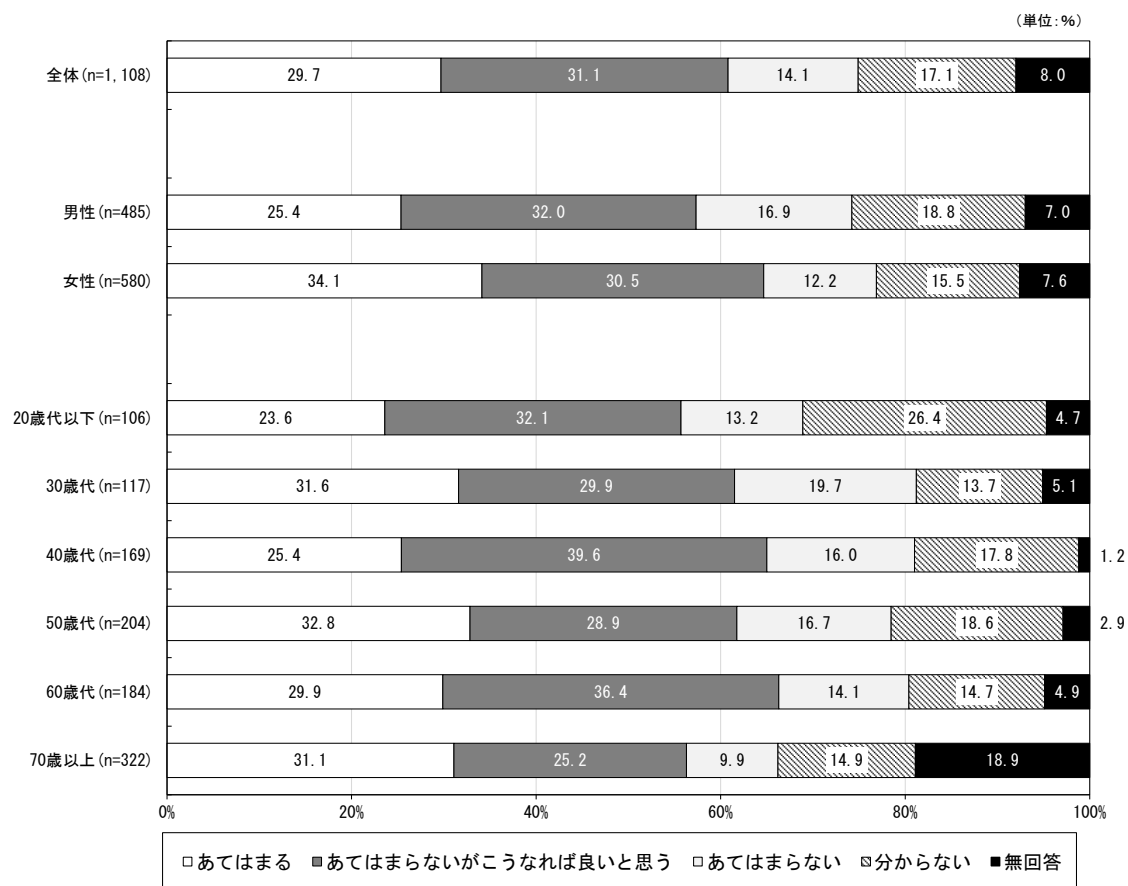


『普段から隣近所の人とのコミュニケーション・会話がある』については、「あてはまる」が35.4%と最も高く、次いで「あてはまらない」が23.7%、「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が23.3%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまる」は男性が29.1%、女性が40.7%と女性が11.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「あてはまる」は70歳以上が40.4%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 2. 災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる

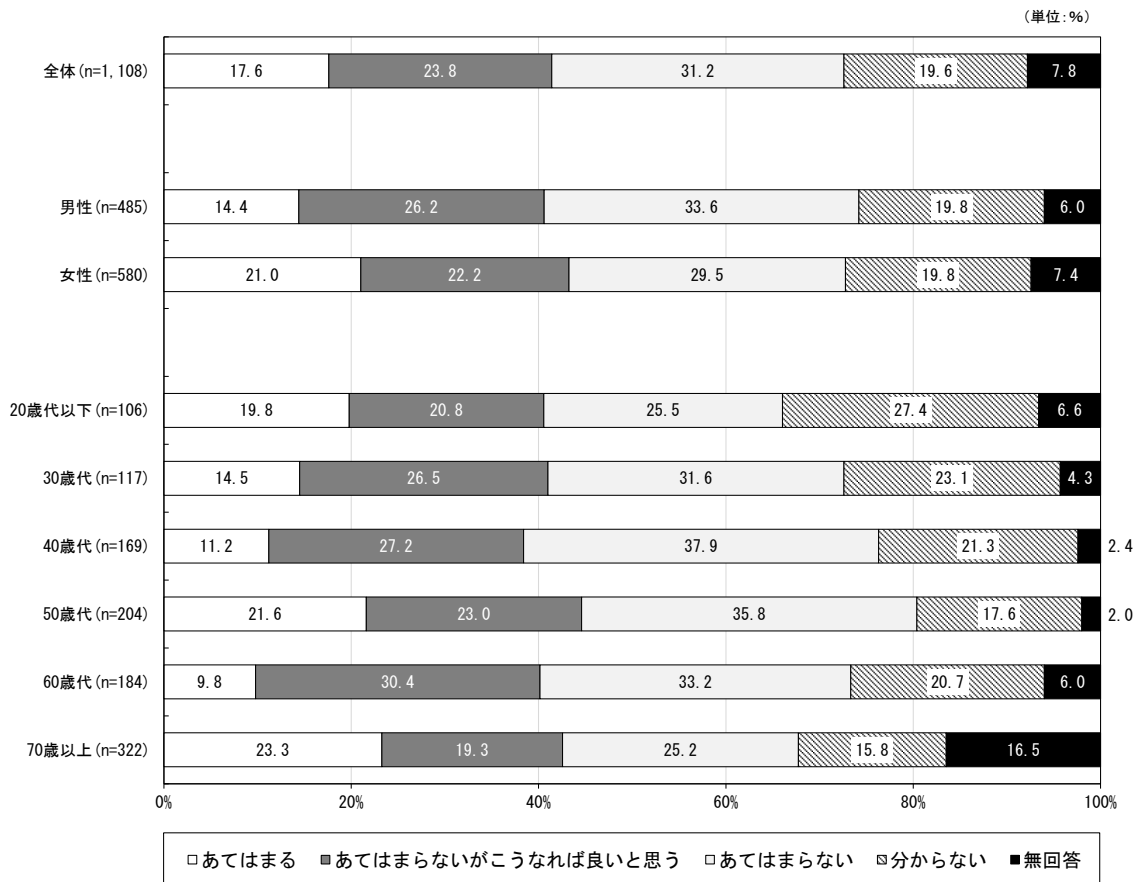


『災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる』については、「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が31.1%と最も高く、次いで「あてはまる」が29.7%、「分からない」が17.1%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまる」は男性が25.4%、女性が34.1%と女性が8.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「あてはまらないがこうなれば良いと思う」は40歳代が39.6%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 3. 地域の人が気軽に集まり、交流できる居場所がある

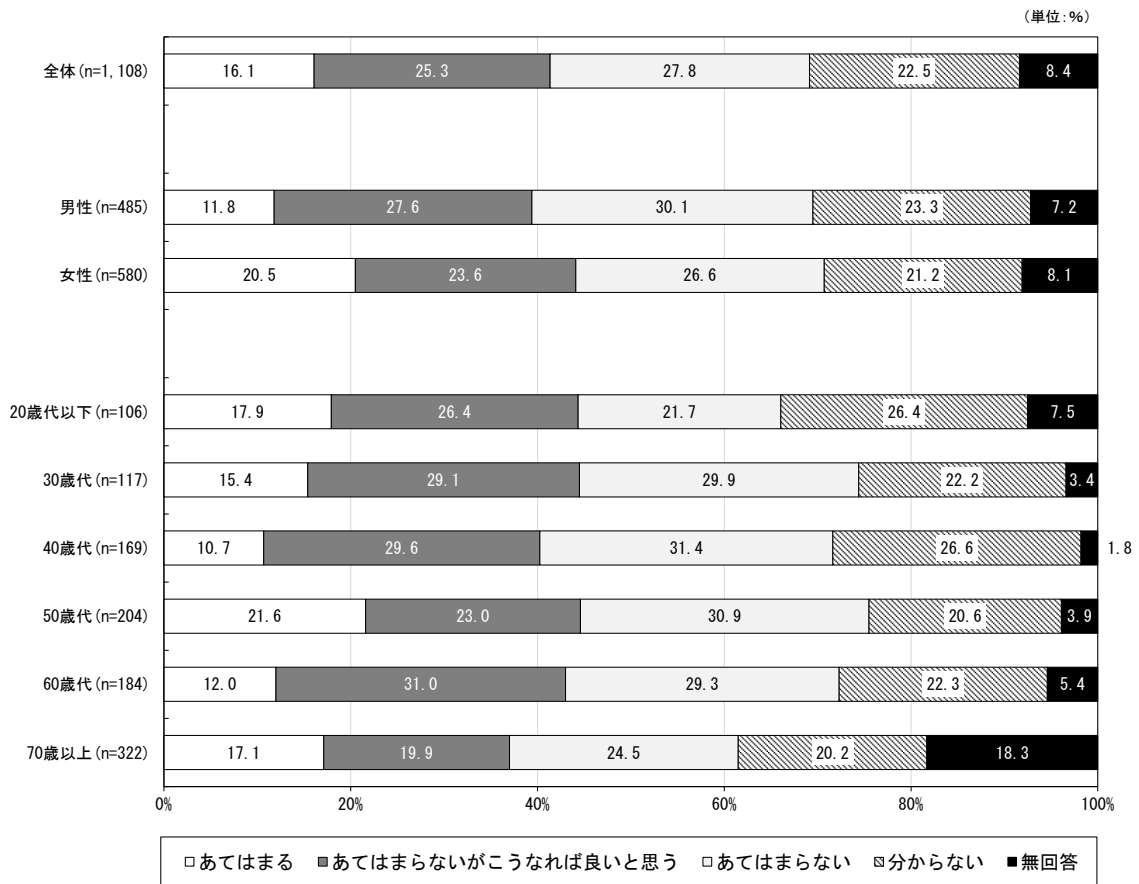


『地域の人が気軽に集まり、交流できる居場所がある』については、「あてはまらない」が31.2%と最も高く、次いで「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が23.8%、「分からない」が19.6%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまる」は男性が14.4%、女性が21.0%と女性が6.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「あてはまらない」は40歳代で37.9%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 4. 暮らしに困ったときに、地域に相談できる人がいる・場がある

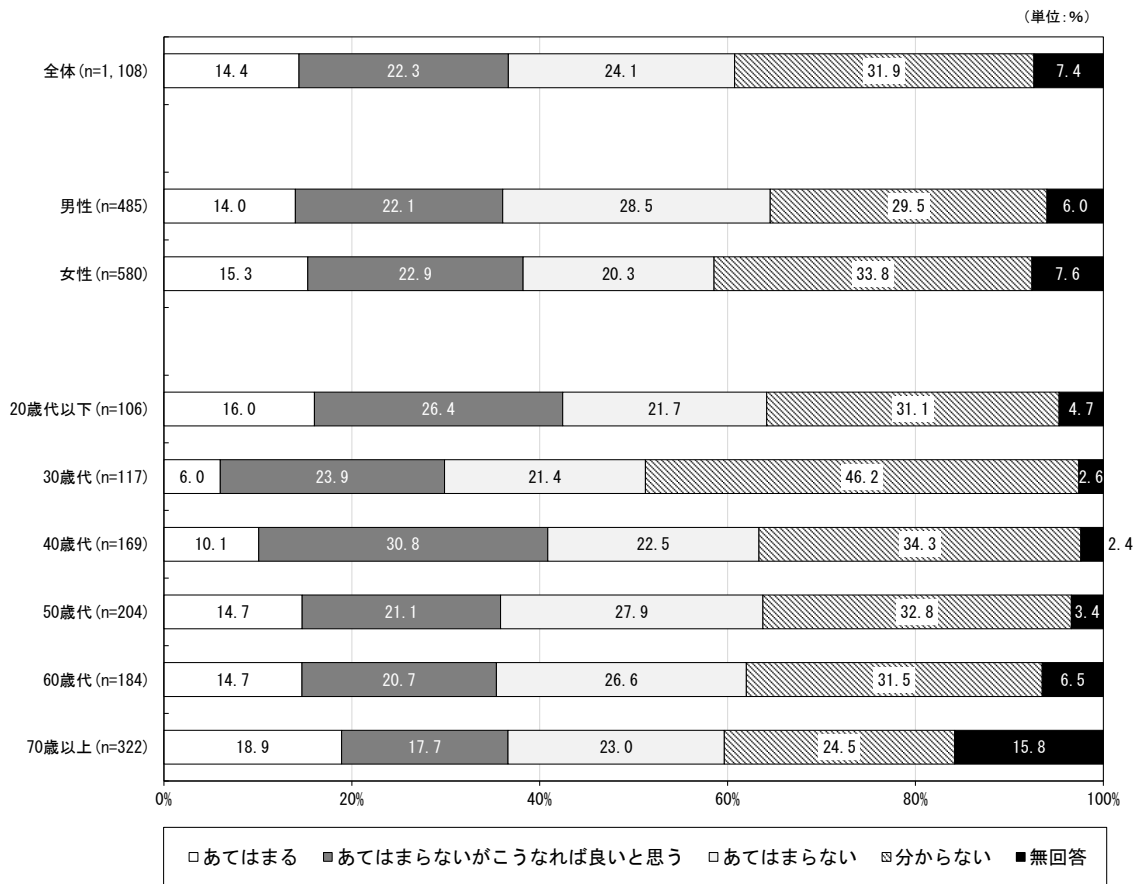


『暮らしに困ったときに、地域に相談できる人がいる・場がある』については、「あてはまらない」が27.8%と最も高く、次いで「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が25.3%、「分からない」が22.5%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまる」は男性が11.8%、女性が20.5%と女性が8.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「あてはまらない」は40歳代で31.4%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 5. 定期的に高齢者などへの声かけ、見守りが行われている

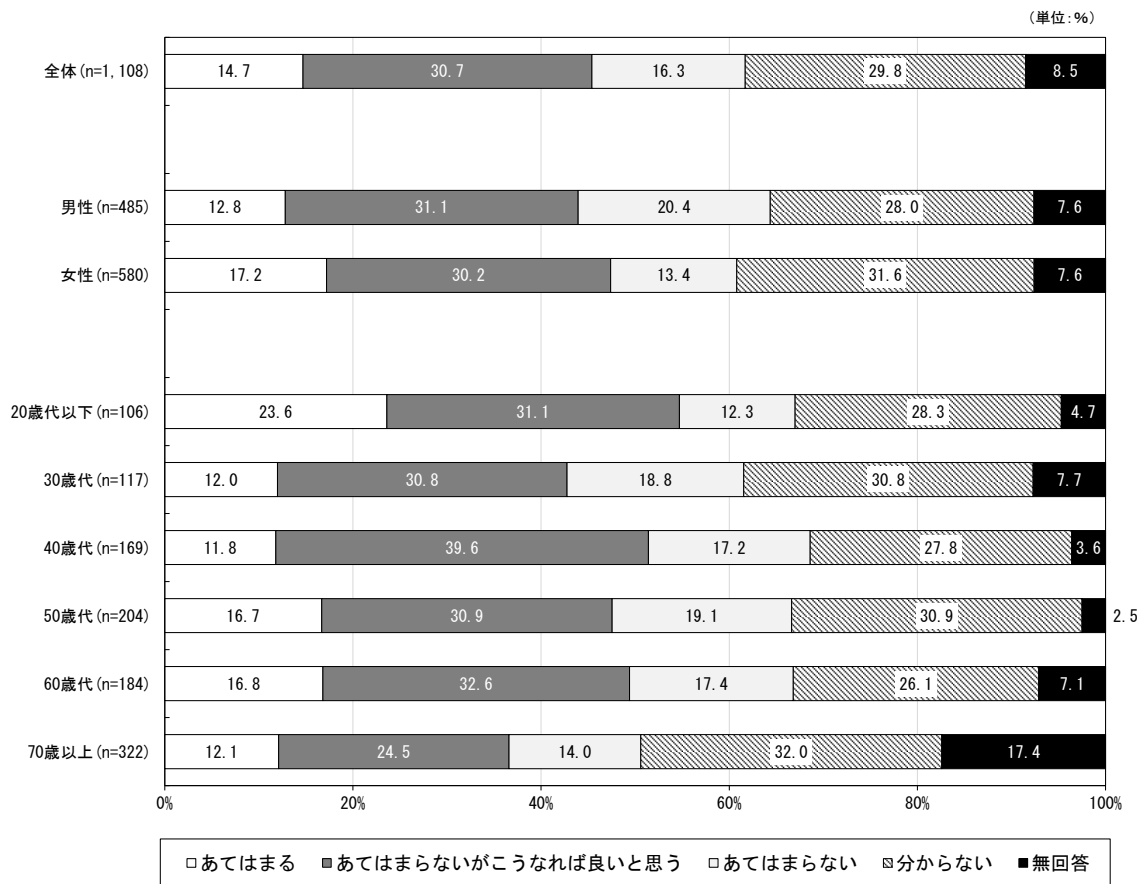


『定期的に高齢者などへの声かけ、見守りが行われている』については、「分からない」が31.9%と最も高く、次いで「あてはまらない」が24.1%、「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が22.3%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまらない」は男性が28.5%、女性が20.3%と男性が8.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「分からない」は全ての年代において最も高くなっている。

■男女別 年代別 6. 隣近所の子どもや高齢者などが虐待されていると思ったときに
すぐに連絡・相談できる

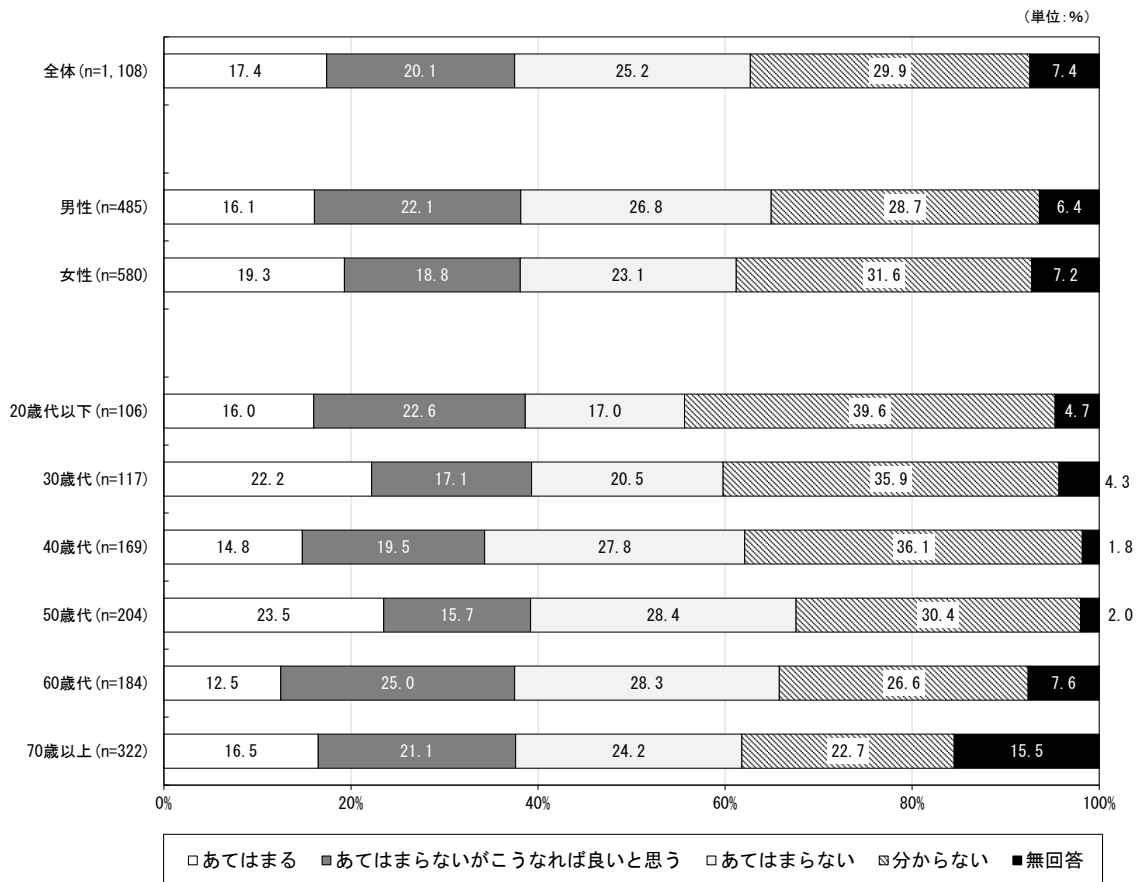


『隣近所の子どもや高齢者などが虐待されていると思ったときにすぐに連絡・相談できる』については、「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が30.7%と最も高く、次いで「分からない」が29.8%、「あてはまらない」が16.3%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまらない」は男性が20.4%、女性が13.4%と男性が7.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「あてはまらないがこうなれば良いと思う」は40歳代が39.6%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 7. 自治会の行事にたくさんの人が参加している

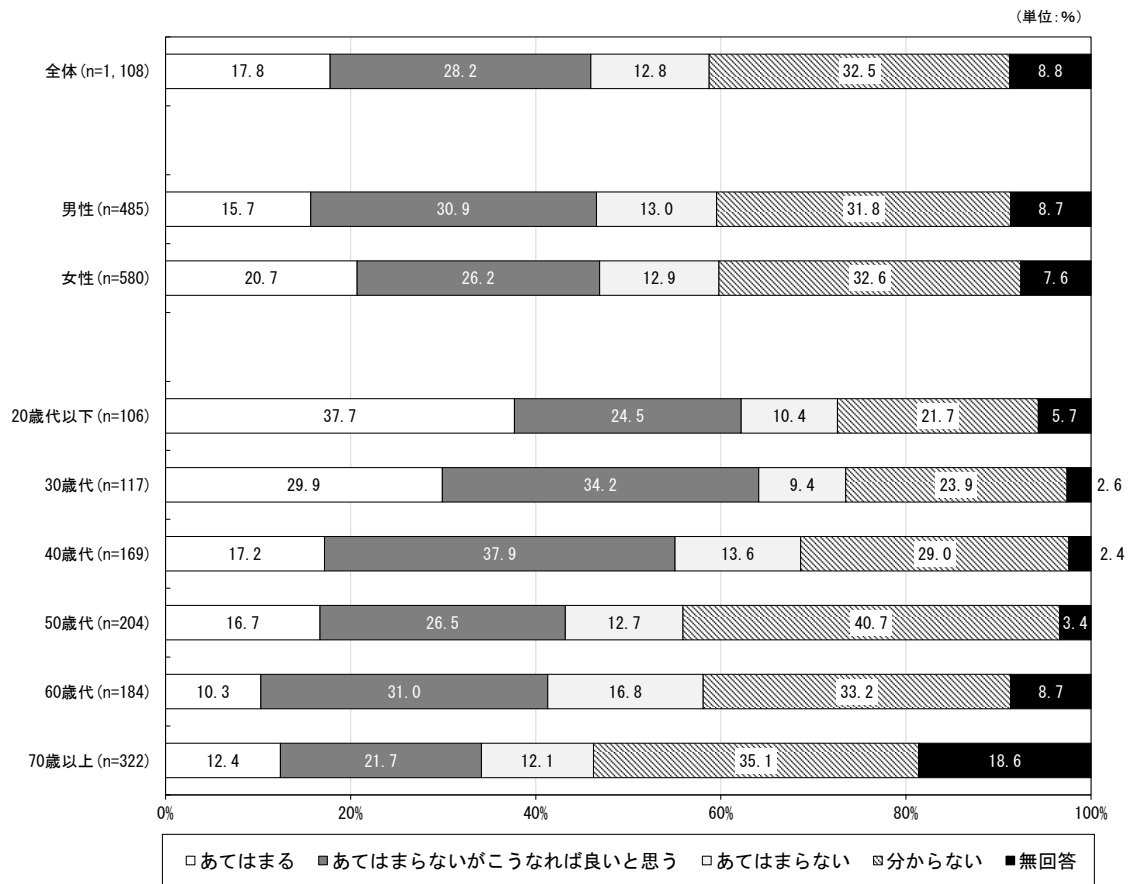


『自治会の行事にたくさんの人が参加している』については、「分からない」が29.9%と最も高く、次いで「あてはまらない」が25.2%、「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が20.1%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまらない」は男性が26.8%、女性が23.1%と男性が3.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「分からない」は20歳代が39.6%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 8. 子どもが安心して過ごせる居場所がある

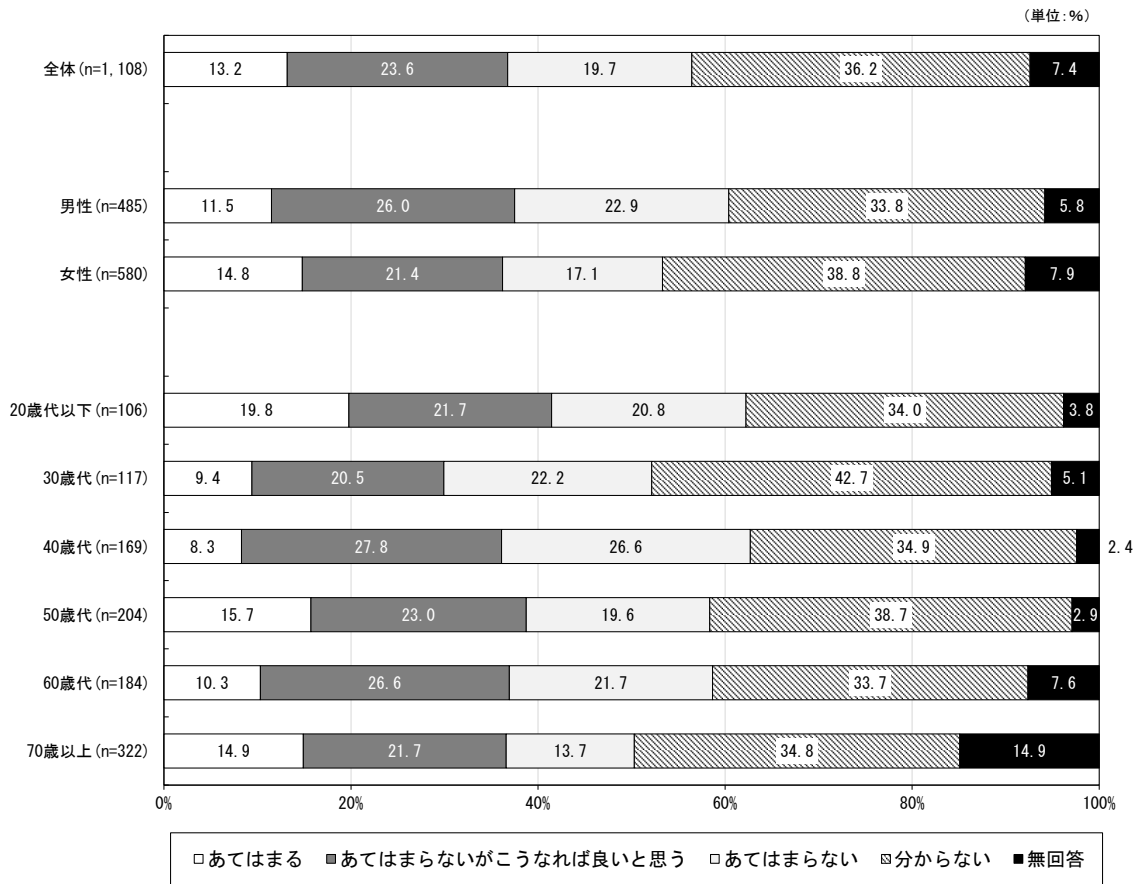


『子どもが安心して過ごせる居場所がある』については、「分からない」が32.5%と最も高く、次いで「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が28.2%、「あてはまる」が17.8%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまる」は男性が15.7%、女性が20.7%と女性が5.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「分からない」は50歳代が40.7%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 9. 地域で抱える課題について地域の住民や活動団体等で話し合い、考えるような機会や場がある



『地域で抱える課題について地域の住民や活動団体等で話し合い、考えるような機会や場がある』については、「分からない」が36.2%と最も高く、次いで「あてはまらないがこうなれば良いと思う」が23.6%、「あてはまらない」が19.7%の順となっている。

男女別にみると、「あてはまらない」は男性が22.9%、女性が17.1%と男性が5.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「分からない」は30歳代が42.7%と最も高くなっている。

問 43 あなたの住んでいる地域の状況について、問 42 の 1～9 以外に「こうなれば良いと思う」ことがあれば簡潔に書いてください。

あなたの住んでいる地域の状況について、問 42 以外でこうなれば良いと思うことについて聞いたところ、次のような意見があった。

- ・高齢化によって自治会活動に参加される方が減少しているので、若い方の積極的な参加があれば良いと思う。
- ・地域みんなが助け合って協力しやすく明るい楽しい生活が送れたらいい。
- ・いつでも気軽に全ての世代の人が居られる居場所があれば良いと思う。
- ・近所付き合いが少ないので地域交流の場が必要。
- ・子どもから高齢まで気軽に行けるようなサロンのようなものがあれば良いと思う。
- ・地域で趣味や簡単な運動・スポーツなどを気軽に楽しめる場所と環境があれば良いと思う。
- ・子ども食堂や、子どもがいつでも利用できる場、勉強できる場、不登校の子どもの居場所作りなど。
- ・祭りなどの伝統行事が復活すれば参加しやすいと思う。それぞれの年代が役割を持って連携し、それぞれが生き生き参加できるような行事となれば横のつながりが生まれるのでは。
- ・障がい者が気軽に利用できる場所があればうれしい。

上記意見を含め、項目別の集計については以下のとおりである。

地域の取組(69 件)

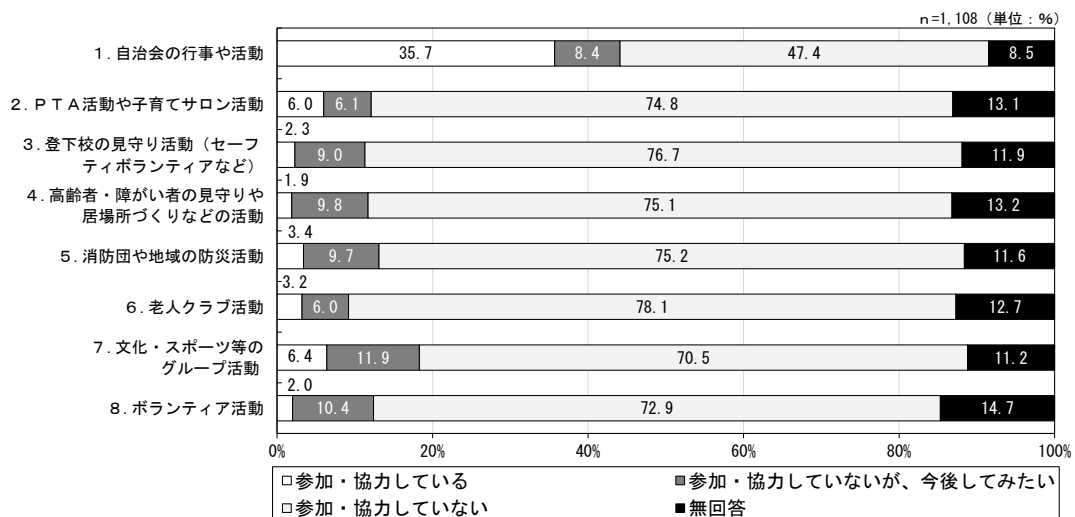
項目	件数	内容
自治会	27	自治会のありかた等の見直し(8)、幅広い世代の活動参加(4)、加入率の向上(4)、自治会の立ち上げ(3)、自治会活動の活性化(3)、自治会活動が負担(3) など
集える場	15	気軽に参加できるイベントや機会(5)、近隣住民で交流できる場(4)、趣味や簡単なスポーツが楽しめる場所(3)、子ども食堂(2)、行事ごとの復活
身近な交流	13	交流が増えてほしい(9)、積極的にイベント等に参加してほしい など
挨拶や声掛け、助け合いができる環境	10	挨拶や声掛け、助け合いができる環境(10)
世代間交流	4	子どもや若者と高齢者の交流(3)、全世代が魅力に感じる環境

施設 (29 件)		
項目	件数	内容
公園	18	公園の整備・増加 (13)、ボール遊びができる場所 (5)
その他施設等	11	公共施設等の充実 (6)、コンビニやスーパーなどの増加 (3) など
道路、交通 (33 件)		
項目	件数	内容
道路・歩道	18	自転車通行帯の整備 (5)、交通の利便性向上 (4)、道路の整備 (3)、歩道の整備 (3) など
交通規制等	8	車両の取締強化 (4)、交通ルールの遵守 (3) など
バスなど	7	バス路線・停留所の増設 (5) など
防災・防犯 (20 件)		
項目	件数	内容
防犯対策の強化	13	防犯カメラの設置 (5)、治安が良く安心して住める街 (4) など
防災対策	4	防災意識の向上 (2)、避難所の整備、防災無線が聞こえにくい
街灯の設置	3	街灯の設置 (3)
子ども (12 件)		
項目	件数	内容
子育て環境	8	子どもが過ごしやすい環境・場所 (8)
教育	4	通学路の安全確保 (3)、不登校支援の充実
生活環境 (7 件)		
項目	件数	内容
ごみ収集	4	分別の徹底 (2) など
公共マナーの向上	3	ポイ捨て等の減少 など
その他 (14 件)		
項目	件数	内容
その他	14	高齢者福祉の充実 (2)、市への投書箱を設置、現在のままでいい など
わからない (6 件)		

問 44 あなたは、地域のどのような活動に参加したり、協力したりしていますか。
(各項目について、○は1つだけ)

	全 体	参 加 ・ 協 力 し て い る	今 参 加 ・ 協 力 し て い な い が、 今 後 し て み た い	参 加 ・ 協 力 し て い な い	無 回 答
1. 自治会の行事や活動	1,108 100.0	396 35.7	93 8.4	525 47.4	94 8.5
2. P T A活動や子育てサロン活動	1,108 100.0	66 6.0	68 6.1	829 74.8	145 13.1
3. 登下校の見守り活動（セーフティボランティアなど）	1,108 100.0	26 2.3	100 9.0	850 76.7	132 11.9
4. 高齢者・障がい者の見守りや居場所づくりなどの活動	1,108 100.0	21 1.9	109 9.8	832 75.1	146 13.2
5. 消防団や地域の防災活動	1,108 100.0	38 3.4	108 9.7	833 75.2	129 11.6
6. 老人クラブ活動	1,108 100.0	35 3.2	67 6.0	865 78.1	141 12.7
7. 文化・スポーツ等のグループ活動	1,108 100.0	71 6.4	132 11.9	781 70.5	124 11.2
8. ボランティア活動	1,108 100.0	22 2.0	115 10.4	808 72.9	163 14.7

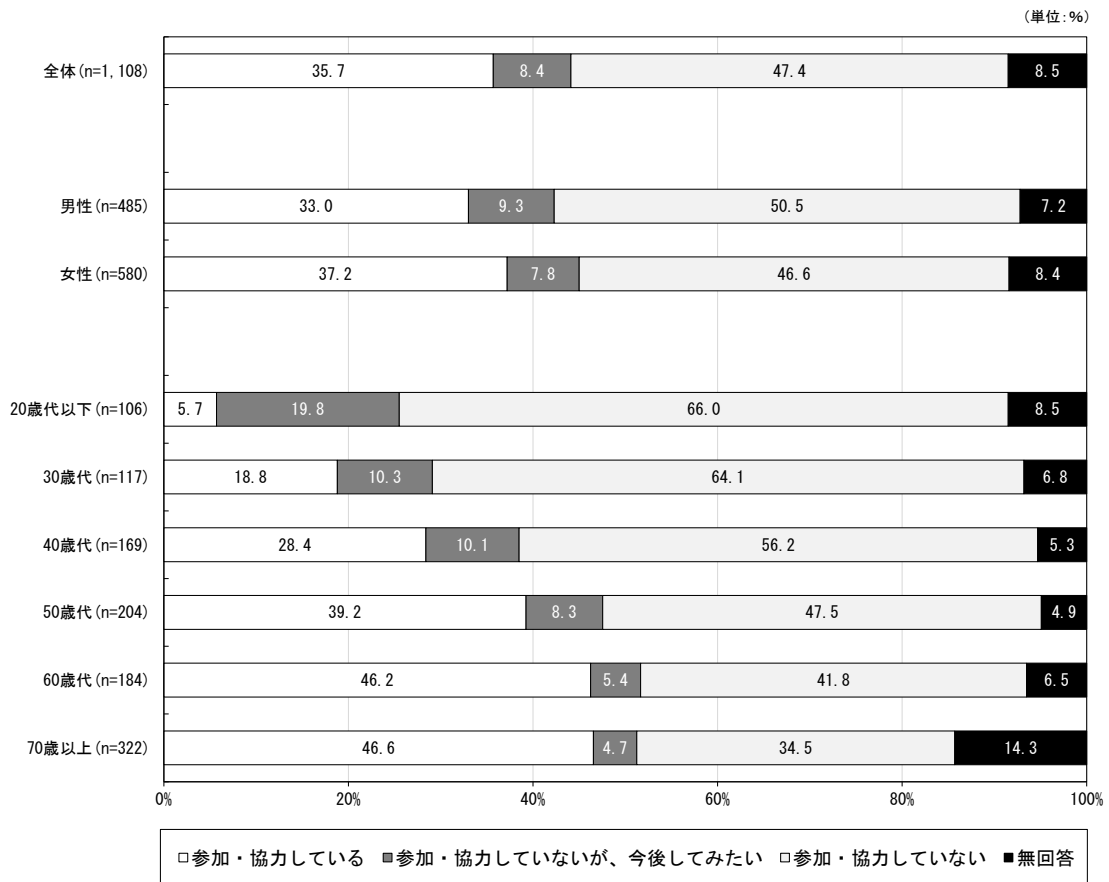
■地域の活動への参加・協力の有無



地域活動に「参加、協力している」は、『自治会の行事や活動』が35.7%と最も高く、次いで『文化・スポーツ等のグループ活動』が6.4%、『P T A活動や子育てサロン活動』が6.0%となっている。

「参加・協力していないが、今後してみたい」は、『文化・スポーツ等のグループ活動』が11.9%と最も高く、次いで『ボランティア活動』が10.4%、『高齢者・障がい者の見守りや居場所づくりなどの活動』が9.8%となっている。

■男女別 年代別 1. 自治会の行事や活動

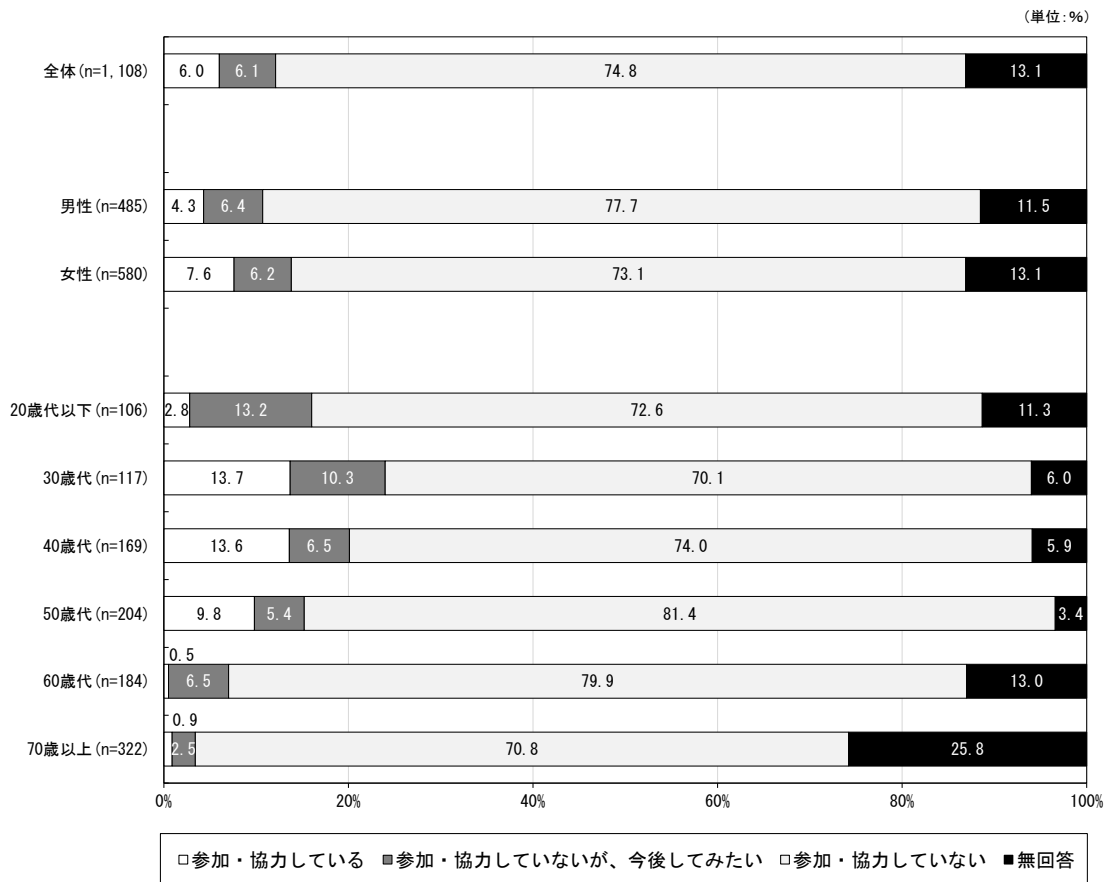


『自治会の行事や活動』については、「参加・協力していない」が47.4%と最も高く、次いで「参加・協力している」が35.7%、「参加・協力していないが、今後してみたい」が8.4%の順となっている。

男女別にみると、「参加・協力している」は男性が33.0%、女性が37.2%と女性が4.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は年代が高くなるにつれて低くなっている一方、「参加・協力している」は年代が高くなるにつれて高くなっている。

■男女別 年代別 2. P T A活動や子育てサロン活動

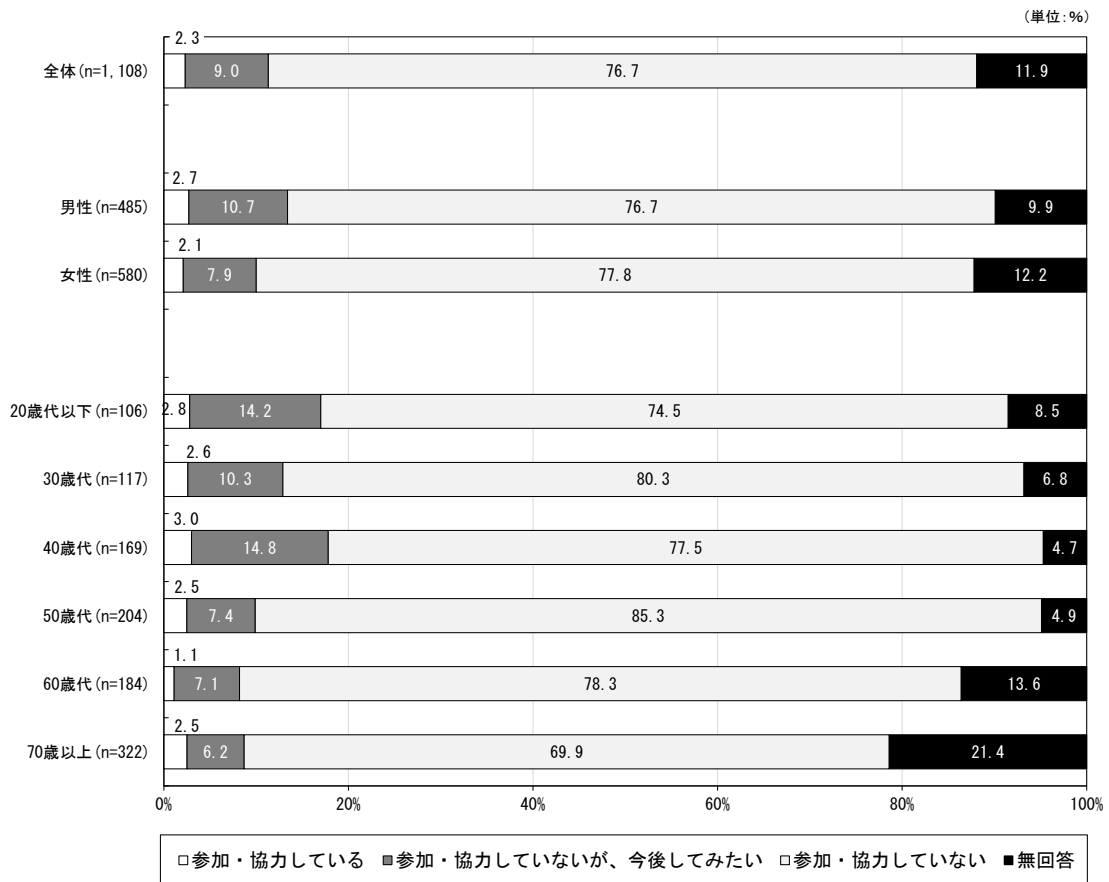


『P T A活動や子育てサロン活動』については、「参加・協力していない」が74.8%と最も高く、次いで「参加・協力していないが、今後してみたい」が6.1%、「参加・協力している」が6.0%の順となっている。

男女別にみると、「参加・協力していない」は男性が77.7%、女性が73.1%と男性が4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は50歳代が81.4%と8割を超えている。

■男女別 年代別 3. 登下校の見守り活動（セーフティボランティアなど）

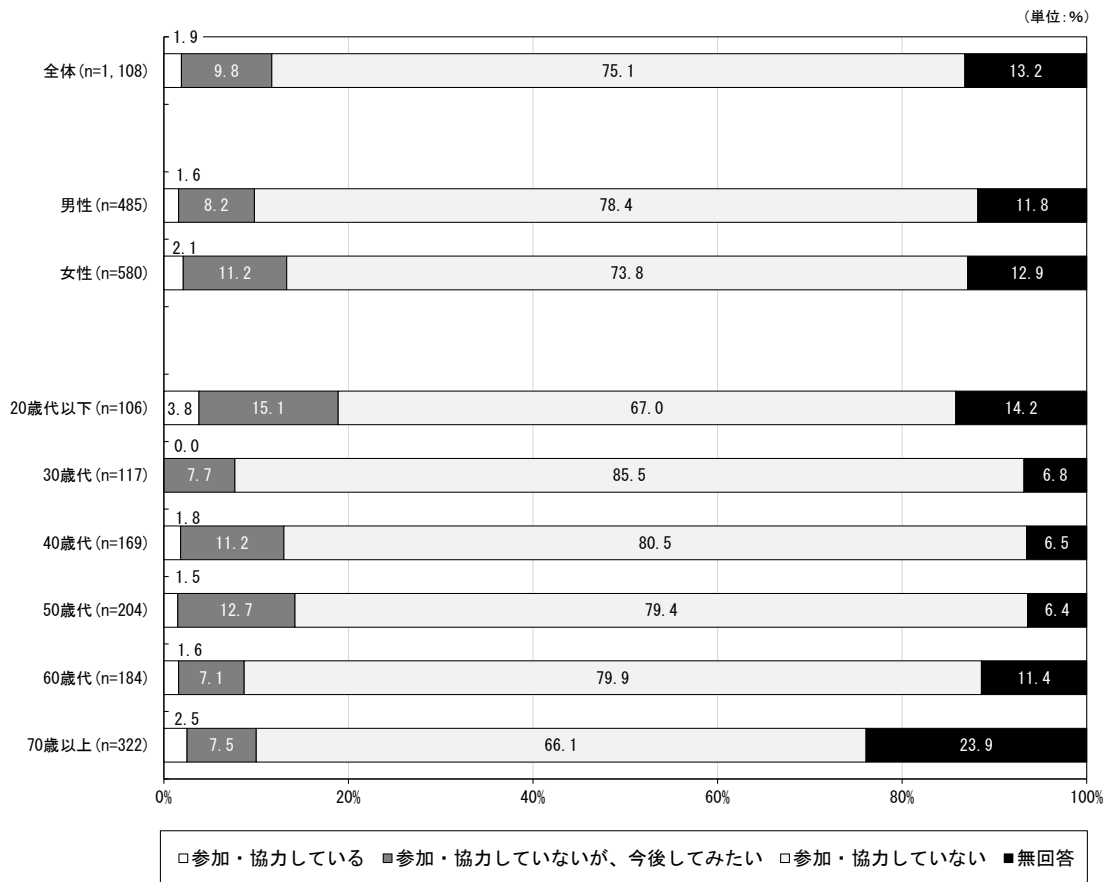


『登下校の見守り活動（セーフティボランティアなど）』については、「参加・協力していない」が76.7%と最も高く、次いで「参加・協力していないが、今後してみたい」が9.0%、「参加・協力している」が2.3%の順となっている。

男女別にみると、「参加・協力していないが、今後してみたい」は男性が10.7%、女性が7.9%と男性が2.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は30歳代が80.3%、50歳代が85.3%と8割を超えている。

■男女別 年代別 4. 高齢者・障がい者の見守りや居場所づくりなどの活動

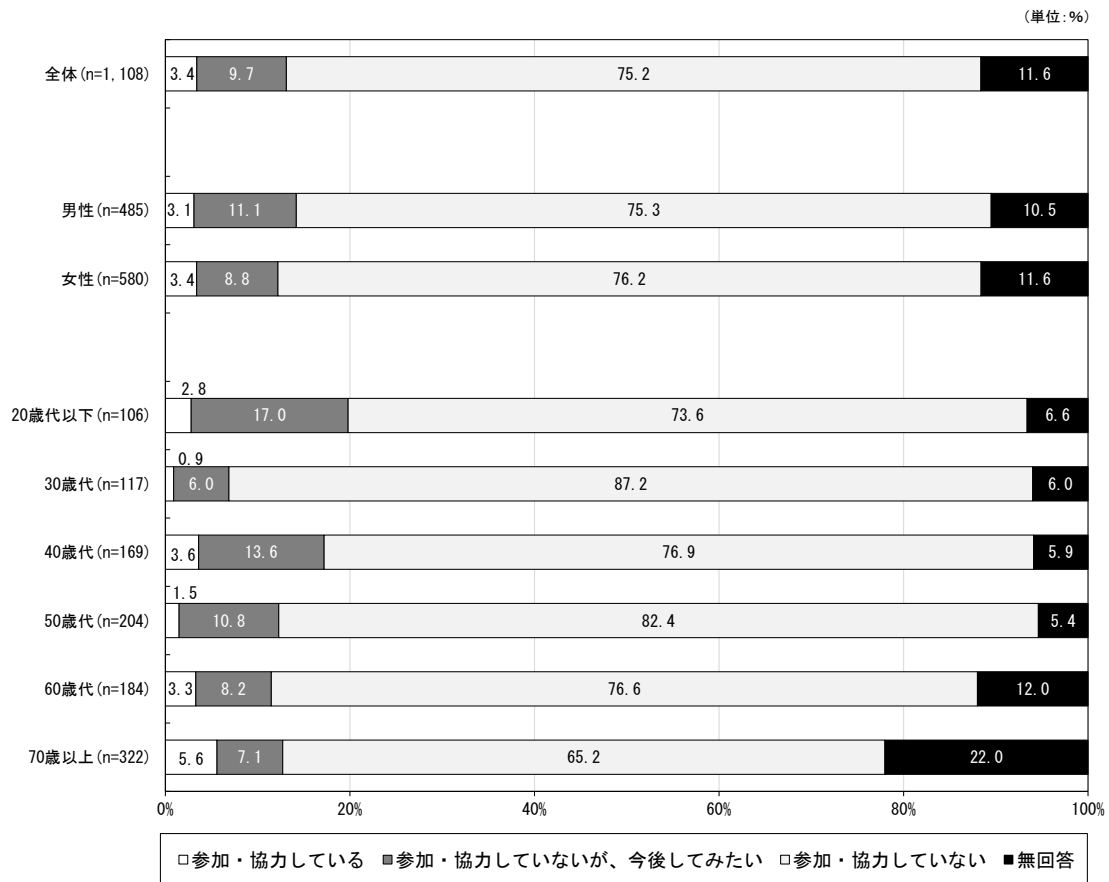


『高齢者・障がい者の見守りや居場所づくりなどの活動』については、「参加・協力していない」が75.1%と最も高く、次いで「参加・協力していないが、今後してみたい」が9.8%、「参加・協力している」が1.9%の順となっている。

男女別にみると、「参加・協力していない」は男性が78.4%、女性が73.8%と男性が4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は30歳代と40歳代で8割を超えている。

■男女別 年代別 5. 消防団や地域の防災活動

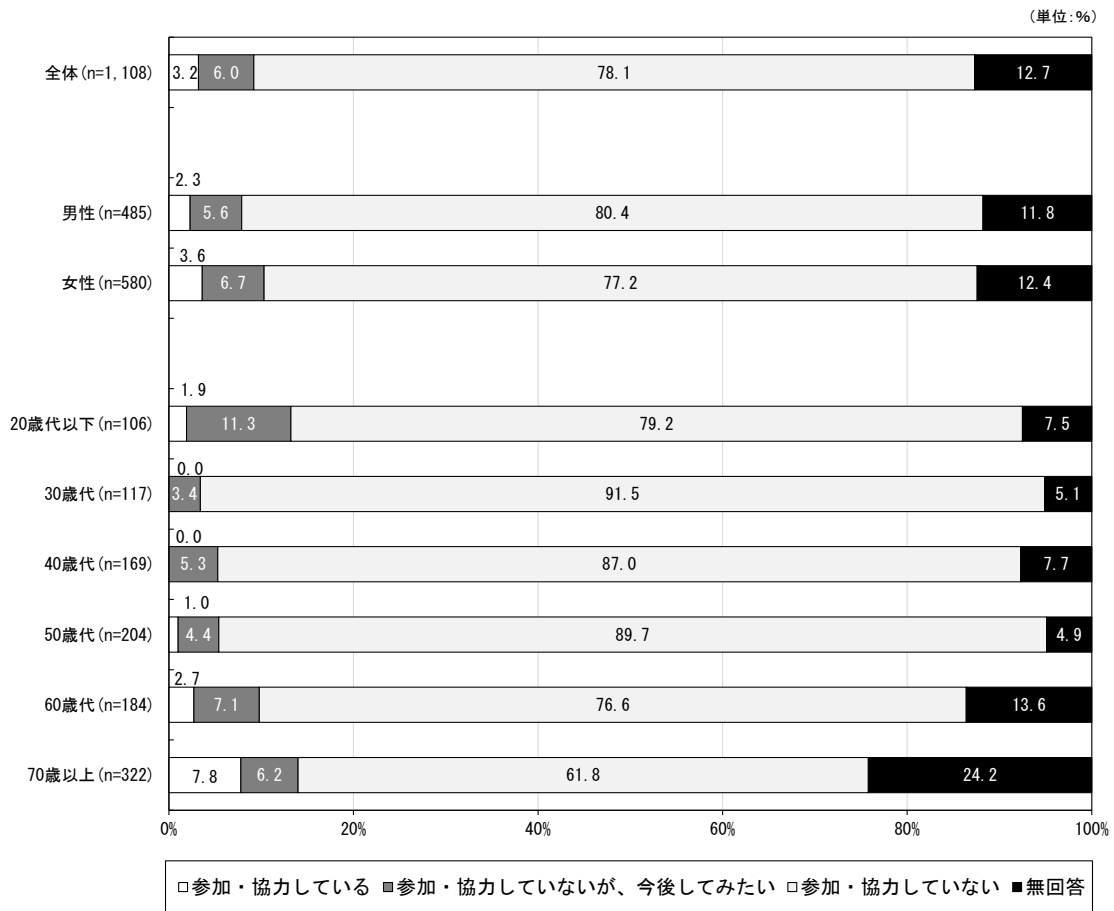


『消防団や地域の防災活動』については、「参加・協力していない」が75.2%と最も高く、次いで「参加・協力していないが、今後してみたい」が9.7%、「参加・協力している」が3.4%の順となっている。

男女別にみると、「参加・協力していないが、今後してみたい」は男性が11.1%、女性が8.8%と男性が2.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は30歳代と50歳代が8割を超えている。

■男女別 年代別 6. 老人クラブ活動

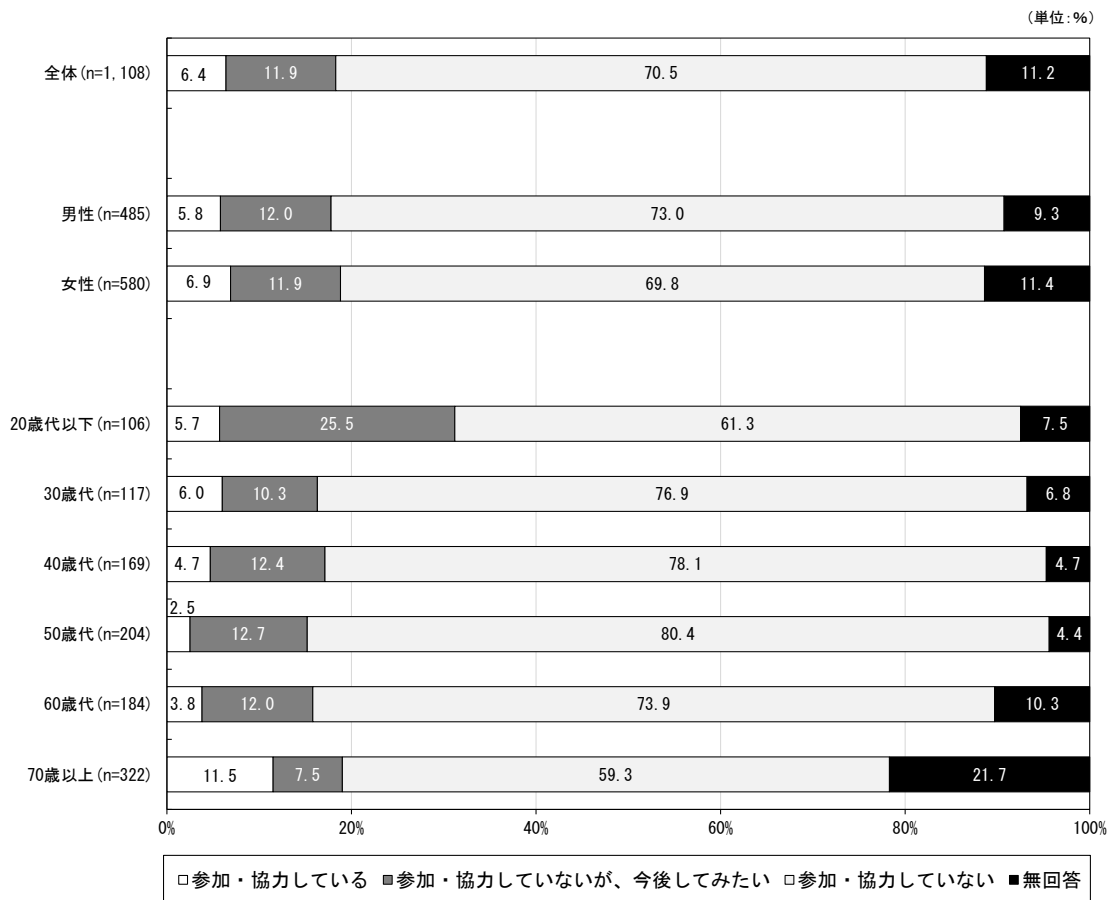


『老人クラブ活動』については、「参加・協力していない」が78.1%と最も高く、次いで「参加・協力していないが、今後してみたい」が6.0%、「参加・協力している」が3.2%の順となっている。

男女別にみると、「参加・協力していない」は男性が80.4%、女性が77.2%と男性が3.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は30歳代が9割を超えている。

■男女別 年代別 7. 文化・スポーツ等のグループ活動

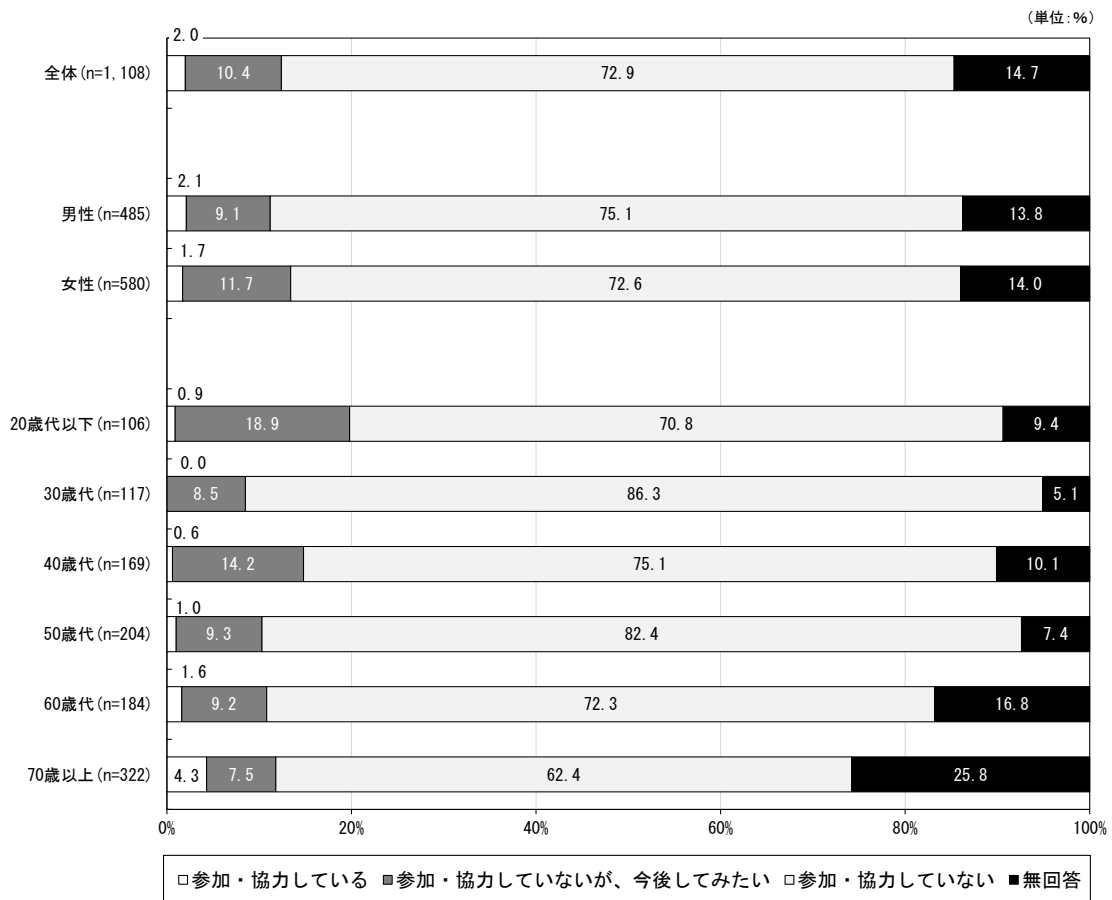


『文化・スポーツ等のグループ活動』については、「参加・協力していない」が70.5%と最も高く、次いで「参加・協力していないが、今後してみたい」が11.9%、「参加・協力している」が6.4%の順となっている。

男女別にみると、「参加・協力していない」は男性が73.0%、女性が69.8%と男性が3.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は50歳代が8割を超えている。

■男女別 年代別 8. ボランティア活動



『ボランティア活動』については、「参加・協力していない」が72.9%と最も高く、次いで「参加・協力していないが、今後してみたい」が10.4%、「参加・協力している」が2.0%の順となっている。

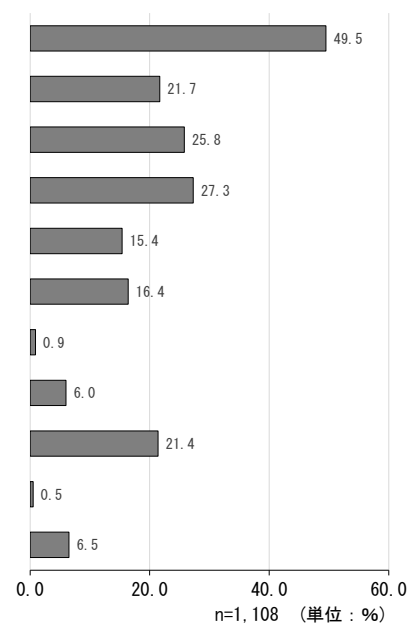
男女別にみると、「参加・協力していないが、今後してみたい」は男性が9.1%、女性が11.7%と女性が2.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加・協力していない」は30歳代、50歳代で8割を超えている。

問 45 あなたが、地域での活動に参加する際に苦勞すること、または参加できない要因になっていることは、どんなことですか。(〇はいくつでも)

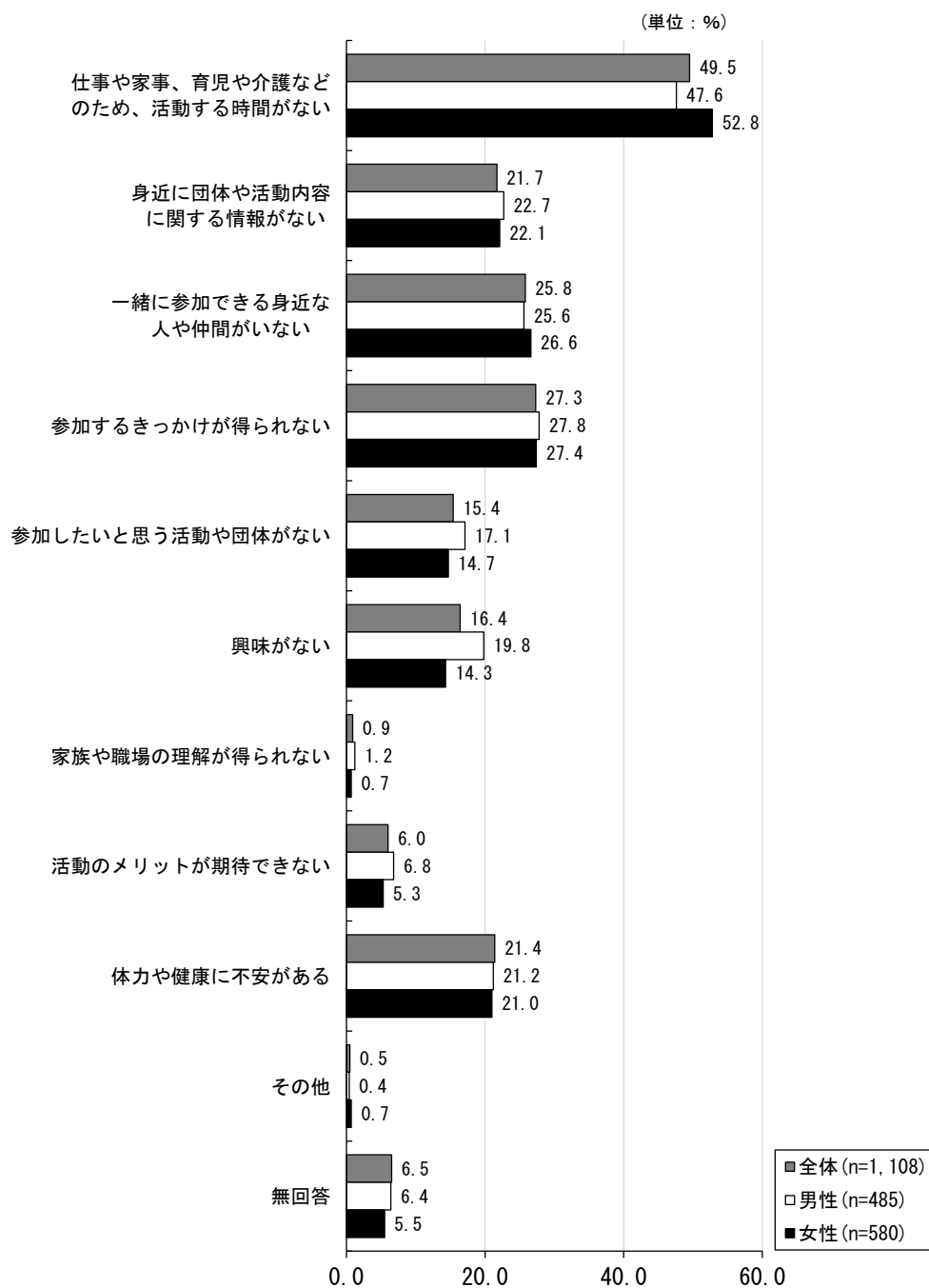
番号	選択肢	回答数
1	仕事や家事、育児や介護などのため、活動する時間がない	549
2	身近に団体や活動内容に関する情報がない	240
3	一緒に参加できる身近な人や仲間がない	286
4	参加するきっかけが得られない	302
5	参加したいと思う活動や団体がない	171
6	興味がない	182
7	家族や職場の理解が得られない	10
8	活動のメリットが期待できない	66
9	体力や健康に不安がある	237
10	その他	6
	無回答	72
回答総数		2,121
全体		1,108

■地域での活動に参加する際に苦勞すること、参加できない要因になっていること



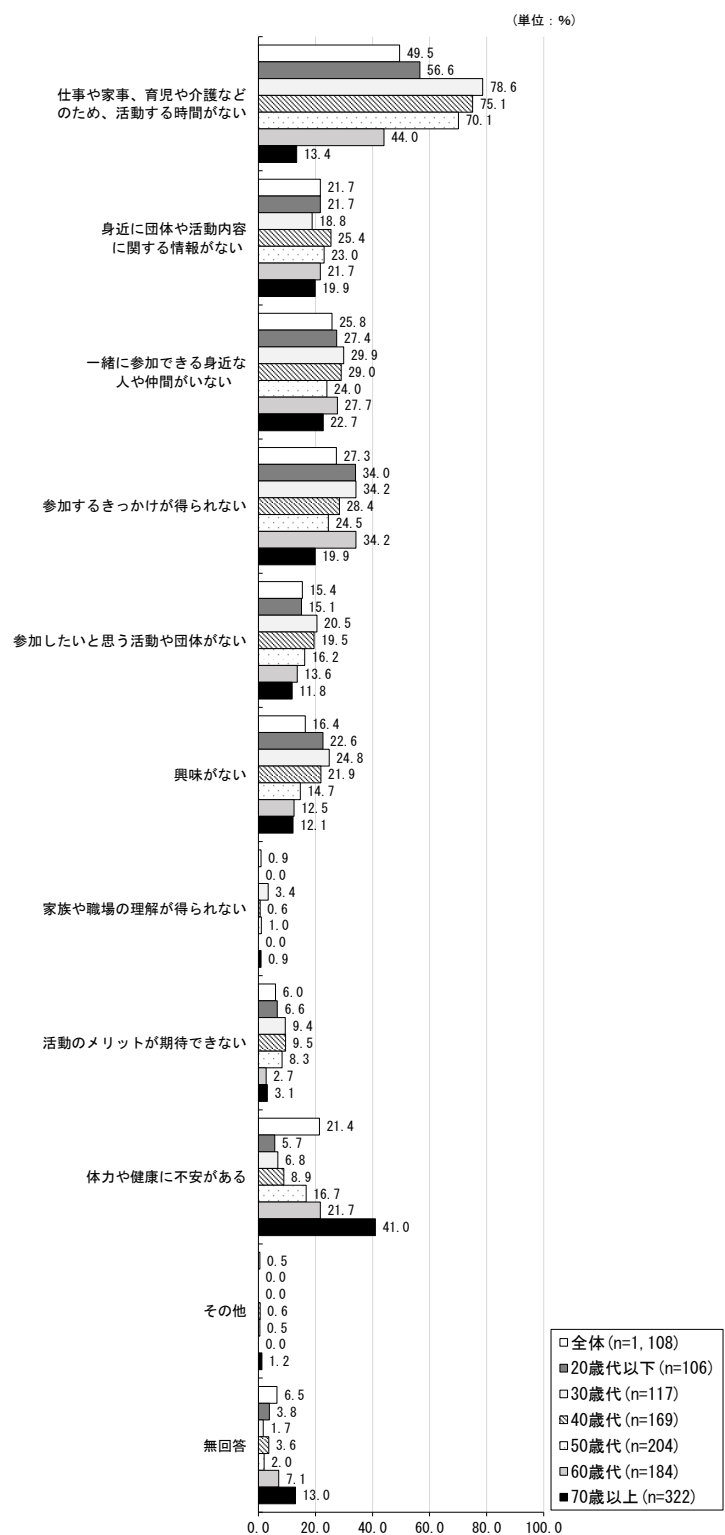
地域での活動に参加する際に苦勞すること、参加できない要因になっていることについては、「仕事や家事、育児や介護などのため、活動する時間がない」が 49.5%と最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」が 27.3%、「一緒に参加できる身近な人や仲間がない」が 25.8%の順となっている。

■男女別 地域での活動に参加する際に苦労すること、参加できない要因になっていること



男女別にみると、「仕事や家事、育児や介護などのため、活動する時間がない」は男性が47.6%、女性が52.8%と女性が5.2ポイント高くなっている。

■年代別 地域での活動に参加する際に苦勞すること、参加できない要因になっていること



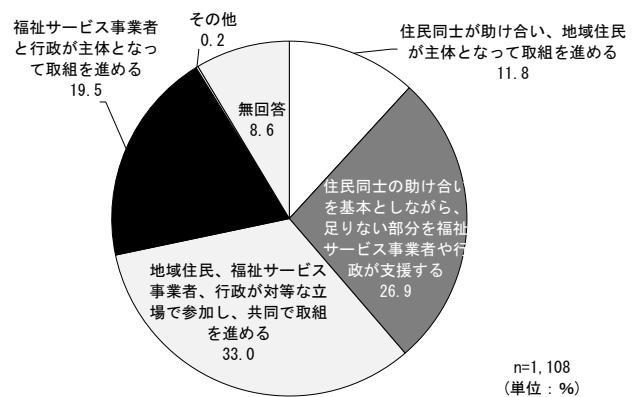
年代別にみると、「仕事や家事、育児や介護などのため、活動する時間がない」は30歳代が78.6%と最も高くなっている。

問 46 あなたは、地域でのつながりや支え合いに関する取組を進めるにあたって、地域住民、福祉サービス事業者（※）、行政の役割分担のあり方として、最も望ましいと思うのは次のどれですか。（○は1つだけ）

※福祉サービス事業者：高齢者支援、障がい者支援、子育て支援などの福祉サービスを提供する事業者や団体

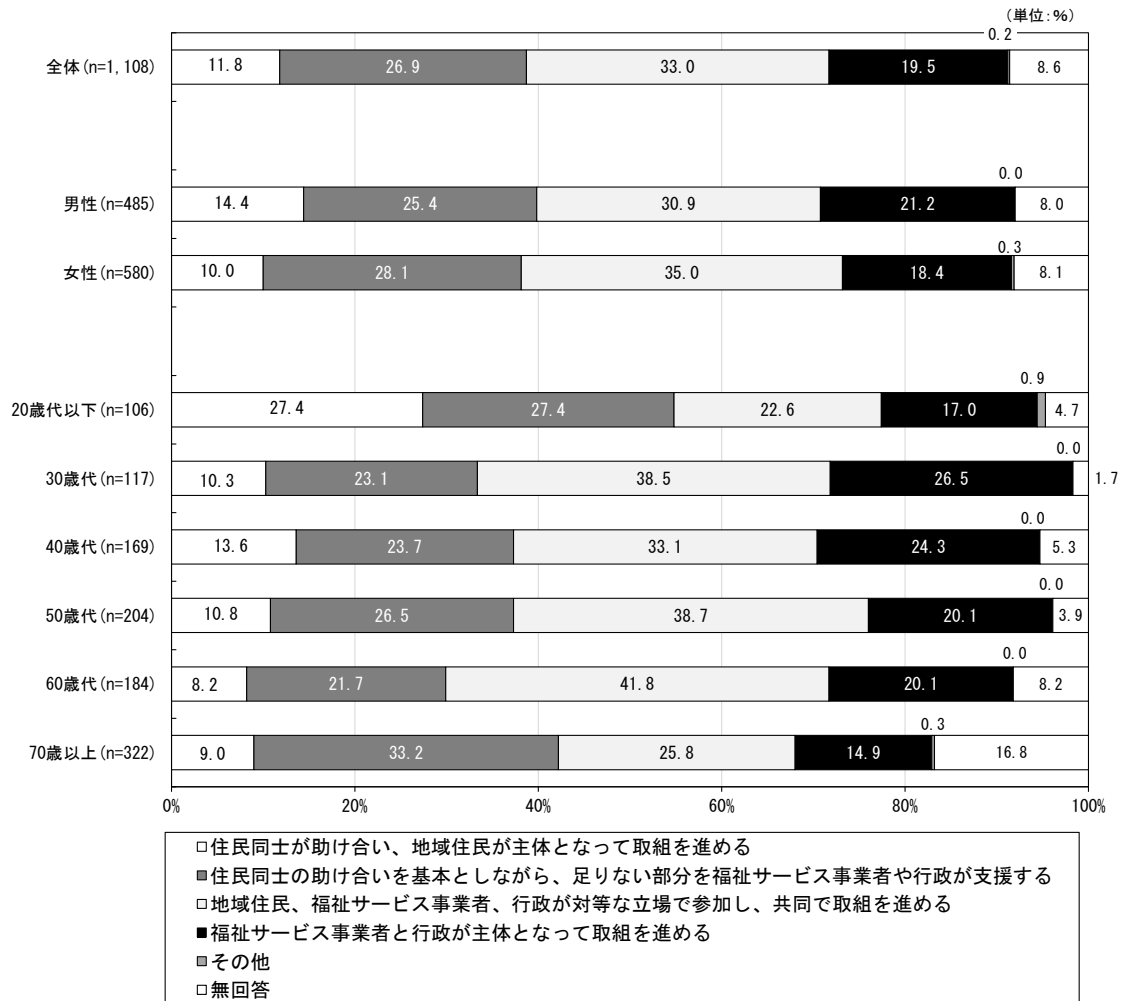
番号	選択肢	回答数
1	住民同士が助け合い、地域住民が主体となって取組を進める	131
2	住民同士の助け合いを基本としながら、足りない部分を福祉サービス事業者や行政が支援する	298
3	地域住民、福祉サービス事業者、行政が対等な立場で参加し、共同で取組を進める	366
4	福祉サービス事業者と行政が主体となって取組を進める	216
5	その他	2
	無回答	95
	全体	1,108

■地域住民、福祉サービス事業者、行政の役割分担のあり方



地域住民、福祉サービス事業者、行政の役割分担のあり方については、「地域住民、福祉サービス事業者、行政が対等な立場で参加し、共同で取組を進める」が33.0%と最も高く、次いで「住民同士の助け合いを基本としながら、足りない部分を福祉サービス事業者や行政が支援する」が26.9%、「福祉サービス事業者と行政が主体となって取組を進める」が19.5%の順となっている。

■男女別 年代別 地域住民、福祉サービス事業者、行政の役割分担のあり方



男女別にみると、「地域住民、福祉サービス事業者、行政が対等な立場で参加し、共同で取組を進める」は男性が 30.9%、女性が 35.0%と女性が 4.1 ポイント高くなっている。

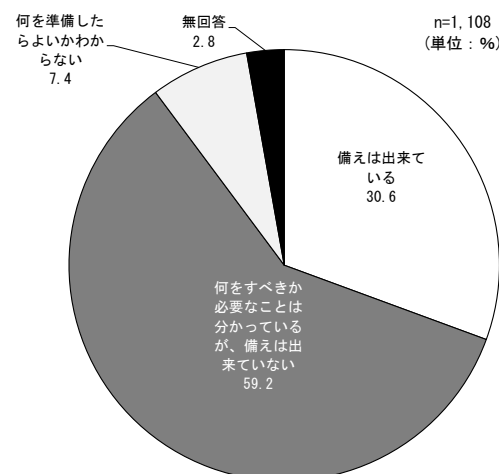
年代別にみると、「住民同士が助け合い、地域住民が主体となって取組を進める」「住民同士の助け合いを基本としながら、足りない部分を福祉サービス事業者や行政が支援する」は 20 歳代以下が 27.4%で同率となっている。70 歳以上は「住民同士の助け合いを基本としながら、足りない部分を福祉サービス事業者や行政が支援する」が 33.2%と最も高くなっている。

9 災害への備えについて

問 47 あなたは、災害への備え(家庭での備蓄や非常持出袋の準備、避難行動の確認など)はできていますか。(○は1つだけ)

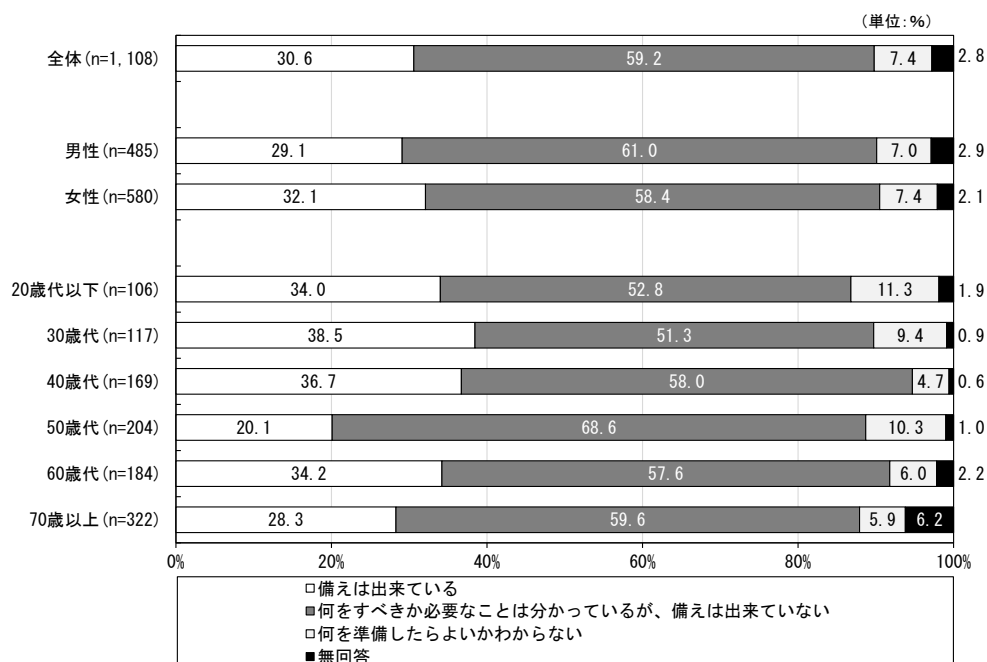
番号	選択肢	回答数
1	備えは出来ている	339
2	何をすべきか必要なことは分かっているが、備えは出来ていない	656
3	何を準備したらよいかわからない	82
	無回答	31
全体		1,108

■災害への備えの有無



災害への備えの有無については、「備えが出来ている」が30.6%に対し「何をすべきか必要なことは分かっているが、備えは出来ていない」が59.2%と最も高くなっている。

■男女別 年代別 災害への備えの有無



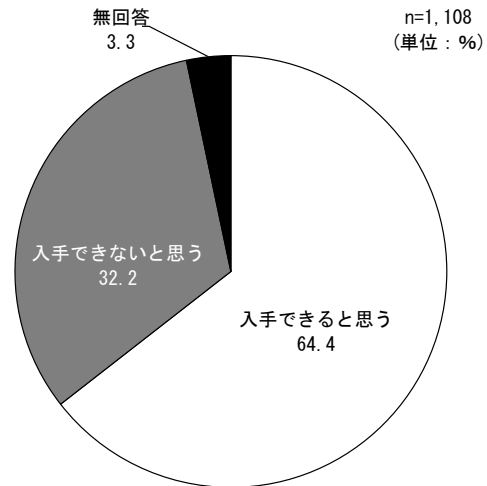
男女別にみると、「備えは出来ている」は男性が29.1%、女性が32.1%と女性が3.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「備えは出来ている」は30歳代が38.5%と最も高く、「何をすべきか必要なことは分かっているが、備えは出来ていない」は50歳代が68.8%と最も高く、次いで70歳以上、40歳代が高くなっている。

問 48 土砂災害や河川の氾濫などによる避難情報が発令された場合、あなたは情報を速やかに入手できると思いますか。（○は 1 つだけ）

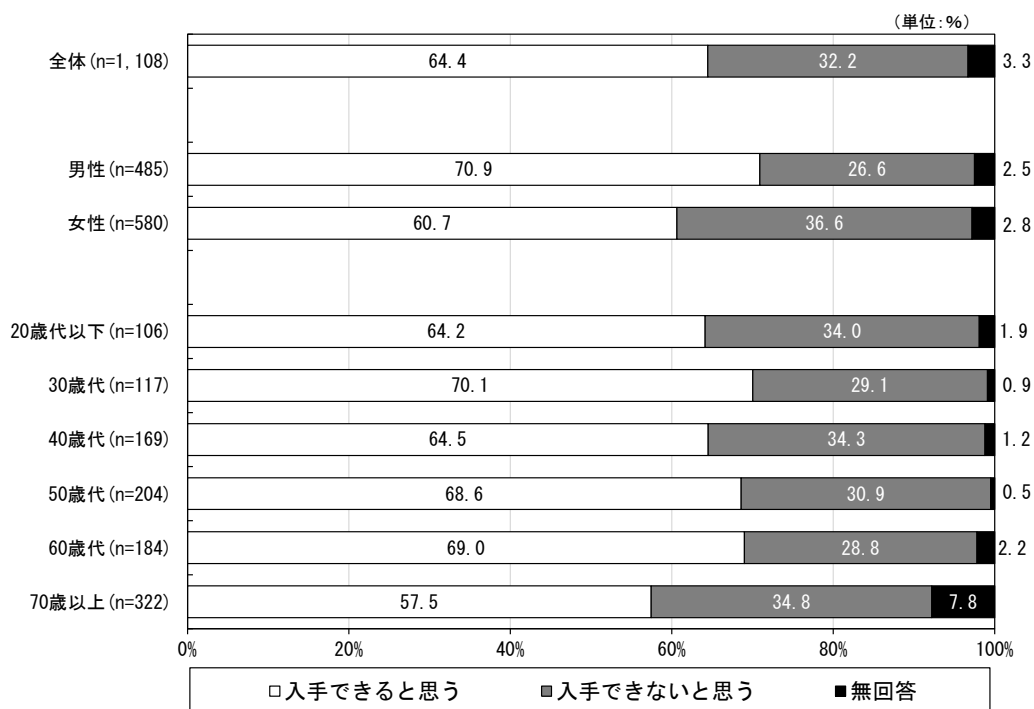
番号	選択肢	回答数
1	入手できると思う	714
2	入手できないと思う	357
	無回答	37
全体		1,108

■避難情報が発令された場合の情報の入手



避難情報が発令された場合の情報の入手については、「入手できると思う」が 64.4%、「入手できないと思う」が 32.2%となっている。

■男女別 年代別 避難情報が発令された場合の情報の入手



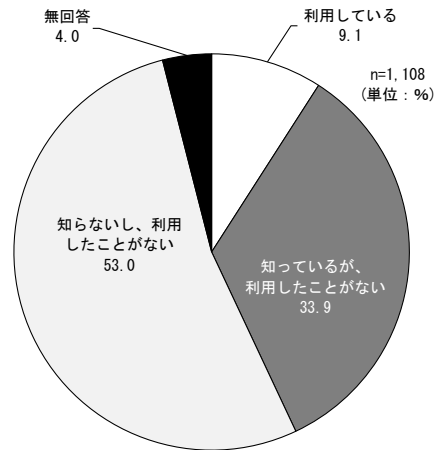
男女別にみると、「入手できると思う」は男性が 70.9%、女性が 60.7%と男性が 10.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「入手できると思う」は 70 歳代以上を除き 6 割を超えている。

問 49 高槻市では、各種防災情報ホームページへのリンク先を掲載した防災ポータルサイト「高槻防災」を運用していますが、あなたは利用したことがありますか。（○は1つだけ）

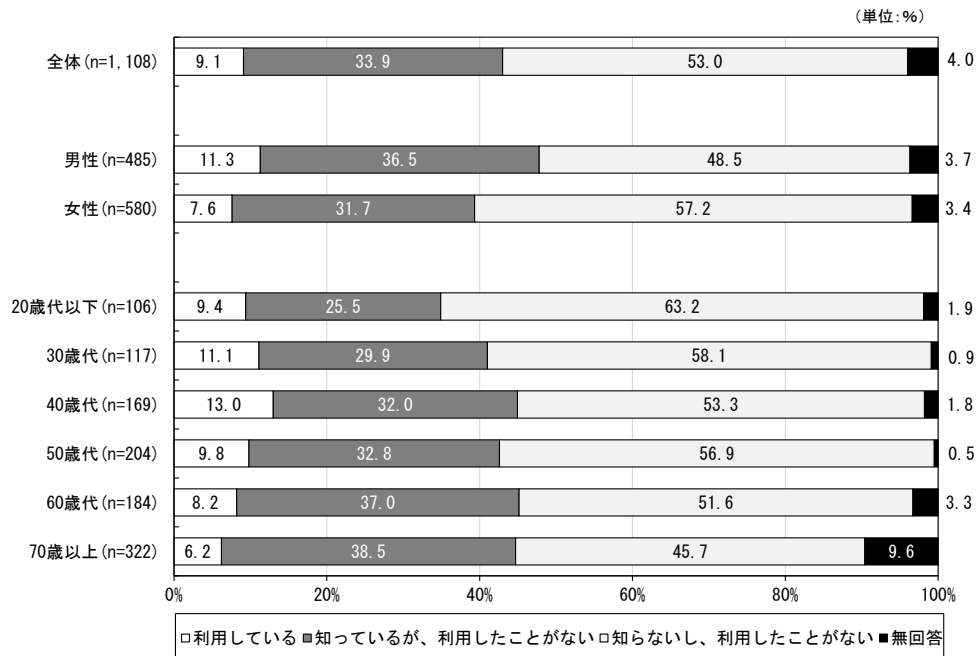
番号	選択肢	回答数
1	利用している	101
2	知っているが、利用したことがない	376
3	知らないし、利用したことがない	587
	無回答	44
全体		1,108

■防災ポータルサイト「高槻防災」の利用



防災ポータルサイト「高槻防災」の利用については、「利用している」が9.1%にとどまったが、「知っているが、利用したことがない」と合わせて約4割は「高槻防災」を認識している。

■男女別 年代別 防災ポータルサイト「高槻防災」の利用

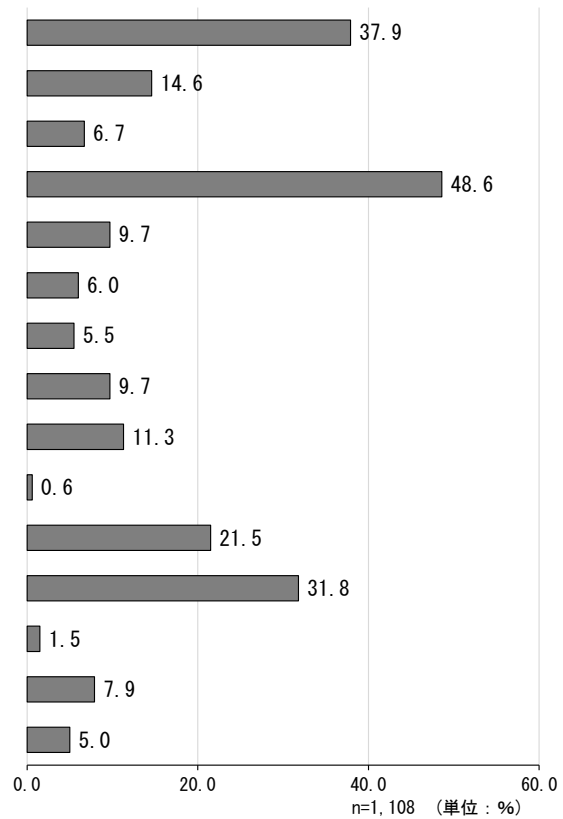


年代別にみると、「利用している」は40歳代が13.0%と最も高く、70歳以上は6.2%と最も低くなっている一方、「知っているが、利用したことがない」は70歳以上が38.5%と最も高くなっている。

問 50 あなたは、防災情報の確認のために、利用したことがある（又は利用しようと思っている）手段はありますか。（○はいくつでも）

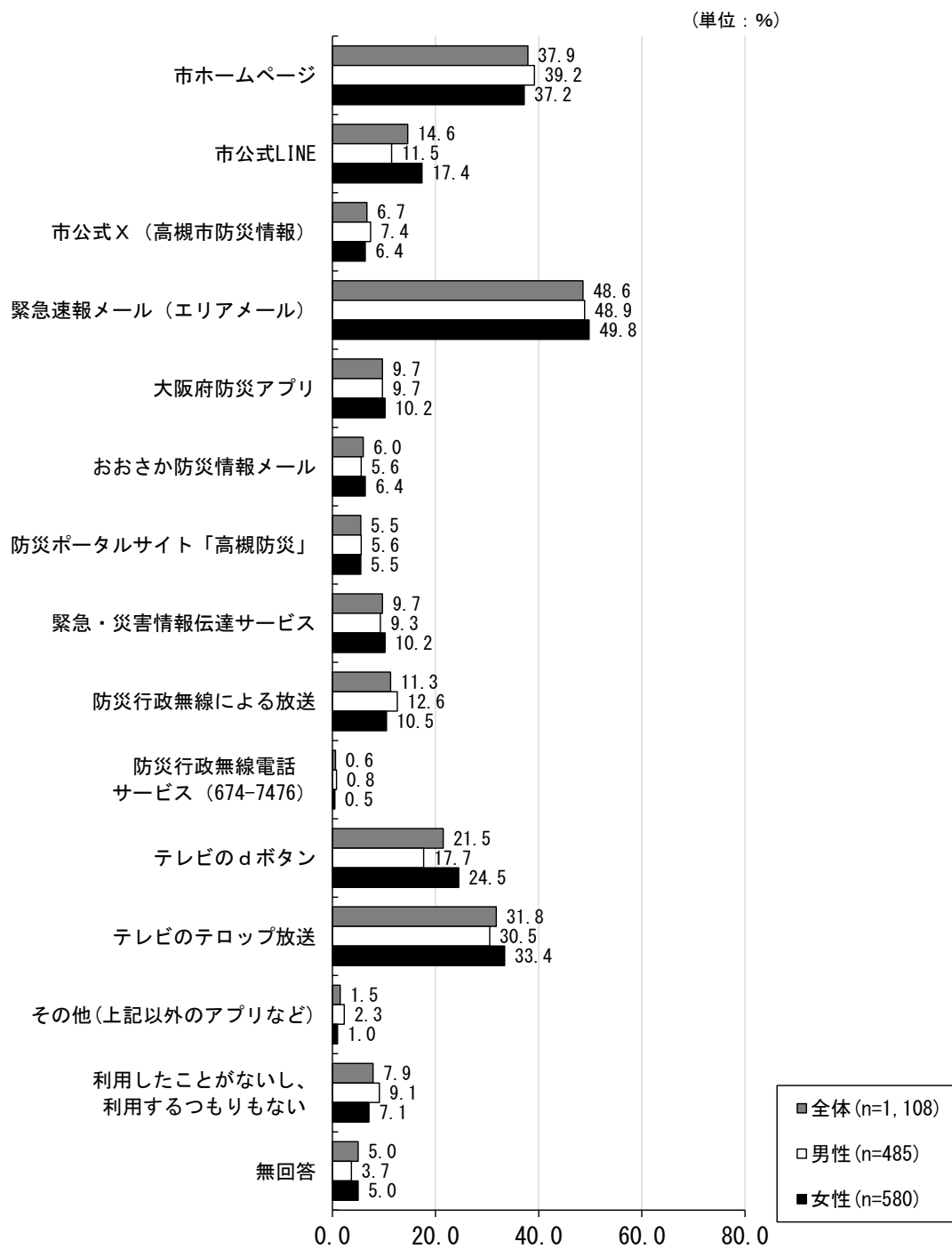
番号	選択肢	回答数
1	市ホームページ	420
2	市公式LINE	162
3	市公式×（高槻市防災情報）	74
4	緊急速報メール（エリアメール）	539
5	大阪府防災アプリ	108
6	おおさか防災情報メール	67
7	防災ポータルサイト「高槻防災」	61
8	緊急・災害情報伝達サービス	108
9	防災行政無線による放送	125
10	防災行政無線電話サービス（674-7476）	7
11	テレビのdボタン	238
12	テレビのテロップ放送	352
13	その他（上記以外のアプリなど）	17
14	利用したことがないし、利用するつもりもない	88
	無回答	55
回答総数		2,421
全体		1,108

■防災情報の確認のために利用したことがある手段



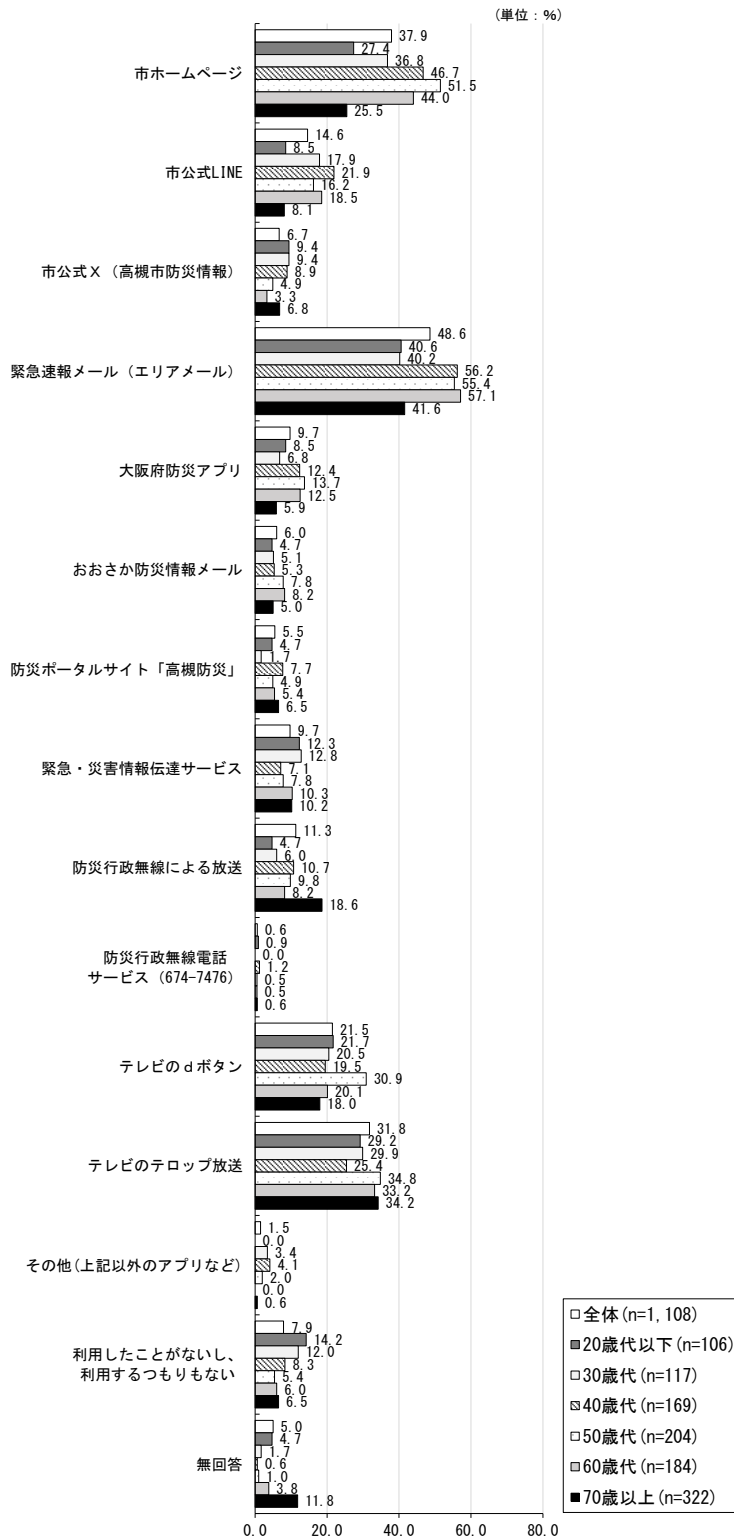
防災情報の確認のために利用したことがある手段については、「緊急速報メール(エリアメール)」が48.6%と最も高く、次いで「市ホームページ」が37.9%、「テレビのテロップ放送」が31.8%の順となっている。

■男女別 防災情報の確認のために利用したことがある手段



男女別にみると、多くの手段で大きな差はみられなかった。

■年代別 防災情報の確認のために利用したことがある手段



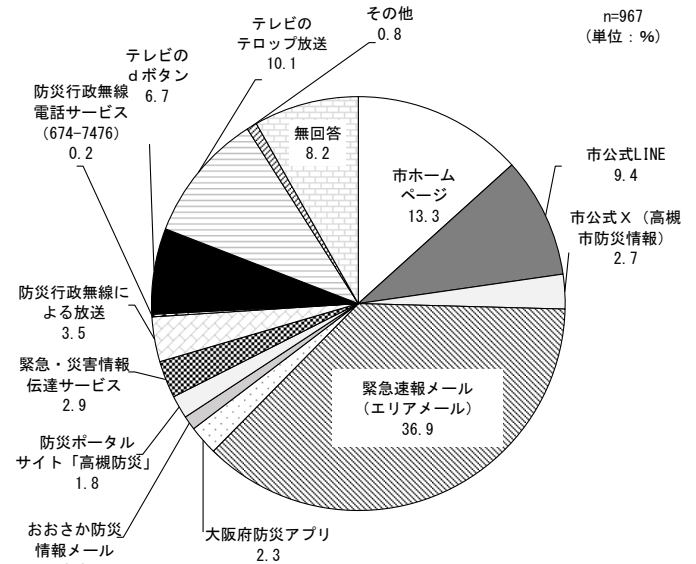
年代別にみると、「緊急速報メール(エリアメール)」は60歳代が57.1%で最も高く、約6割となっている。

問50で「1～13」と答えられた方におたずねします。

問51 あなたが最も便利だと感じる手段を選んでください。(○は1つだけ)

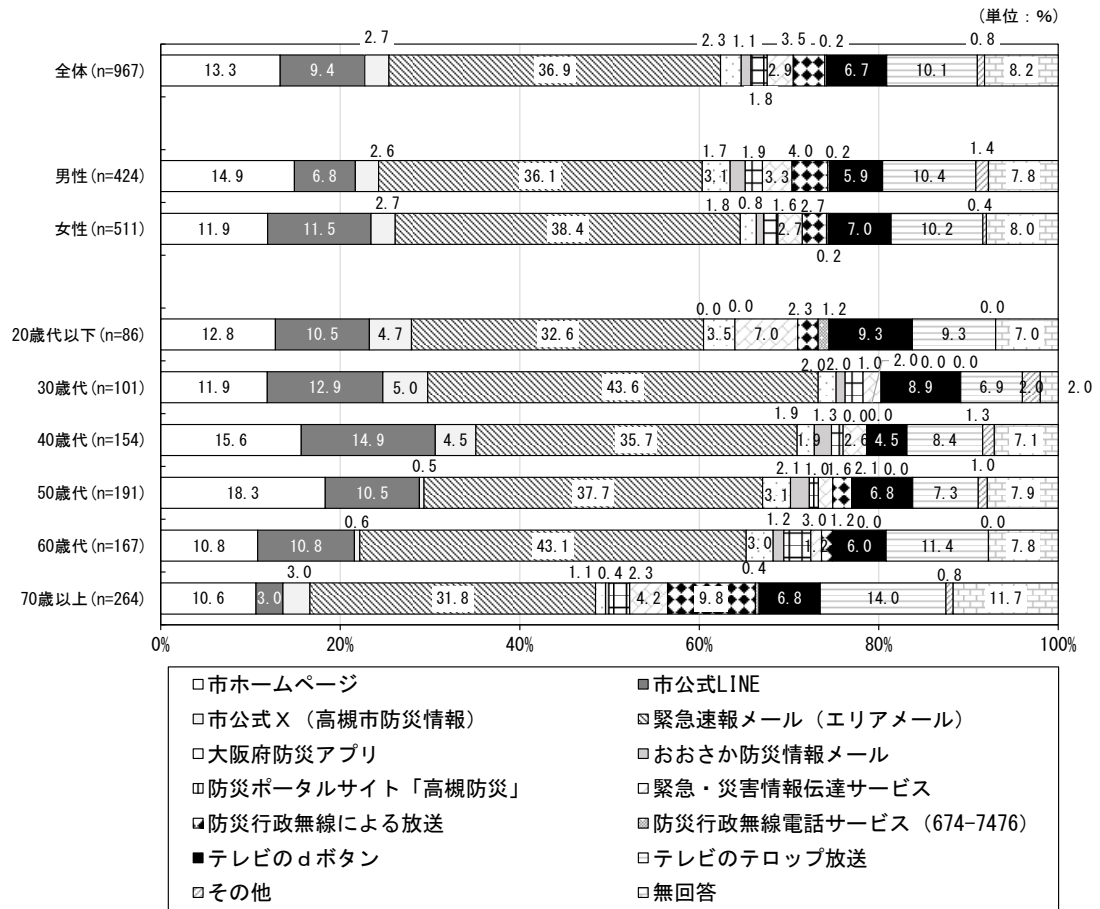
番号	選択肢	回答数
1	市ホームページ	129
2	市公式LINE	91
3	市公式防災X（旧Twitter）	26
4	緊急速報メール（エリアメール）	357
5	大阪府防災アプリ	22
6	おおさか防災情報メール	11
7	防災ポータルサイト「高槻防災」	17
8	緊急・災害情報伝達サービス	28
9	防災行政無線による放送	34
10	防災行政無線電話サービス（674-7476）	2
11	テレビのdボタン	65
12	テレビのテロップ放送	98
13	その他	8
	無回答	79
全体		967

■防災情報の確認のために最も便利だと感じる手段



防災情報の確認のために最も便利だと感じる手段については、「緊急速報メール(エリアメール)」が36.9%と最も高く、次いで「市ホームページ」が13.3%、「テレビのテロップ放送」が10.1%の順となっている。

■男女別 年代別 防災情報の確認のために最も便利だと感じる手段



男女別にみると、「市公式 LINE」は男性が 6.8%、女性が 11.5%と女性が 4.7 ポイント高くなっている。

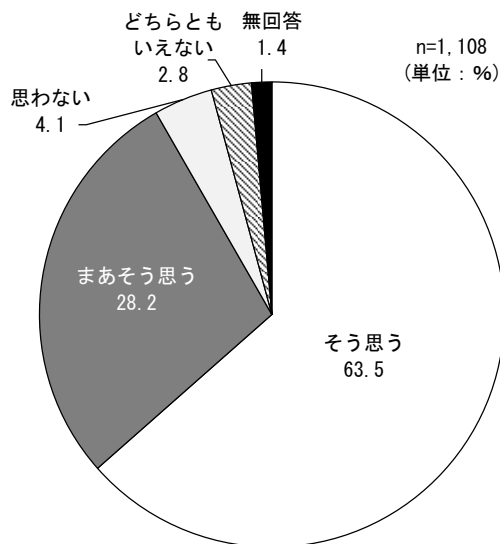
年代別にみると、「緊急速報メール(エリアメール)」は 30 歳代が 43.6%で他の年代と比べて高くなっている。

10 水道について

問 52 あなたは、安全な水道水が安定して供給されており、安心して水道を利用できていると思いますか。(○は1つだけ)

	選択肢	回答数
1	そう思う	704
2	まあそう思う	312
3	思わない	45
4	どちらともいえない	31
	無回答	16
全体		1,108

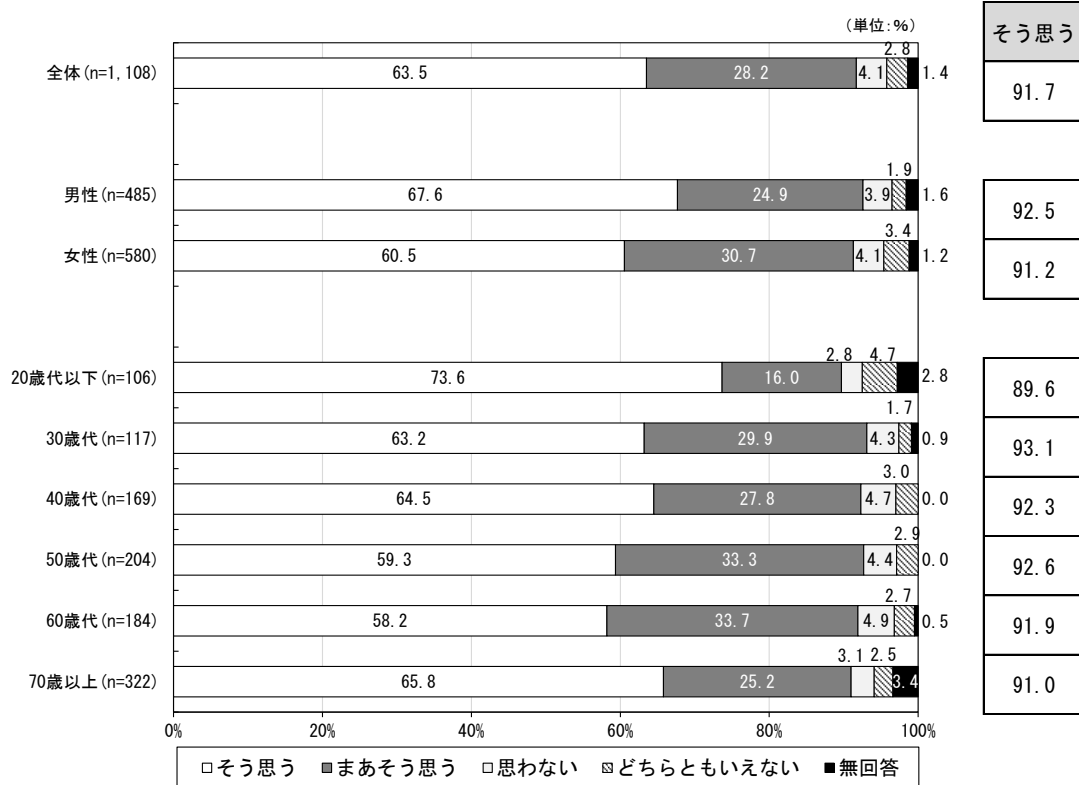
■安全な水道水が安定して供給され安心して利用できるか



安全な水道水が安定して供給され安心して利用できるかについては、「そう思う」が63.5%と最も高く、次いで「まあそう思う」が28.2%、「思わない」が4.1%の順となっている。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”は、91.7%と9割を超えている。

■男女別 年代別 安全な水道水が安定して供給され安心して利用できているか



※ “そう思う” = 「そう思う」 + 「まあそう思う」

男女別にみると、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”は男性が92.5%、女性が91.2%とそれぞれ9割を超えている。

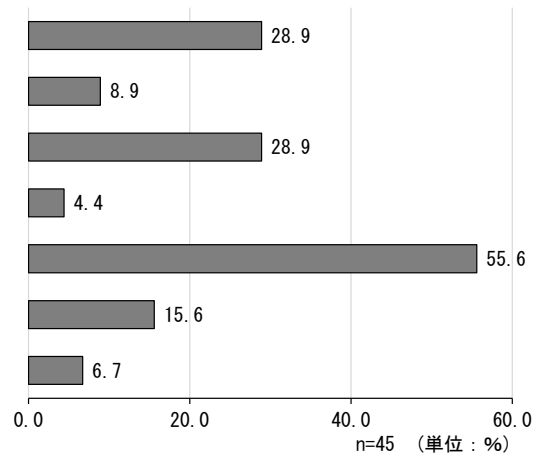
年代別にみると、“そう思う”はすべての年代で8割を超えており、なかでも30歳代では93.1%と最も高くなっている。

問52で「3. 思わない」と答えられた方におたずねします。

問53 安心して水道を利用できない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

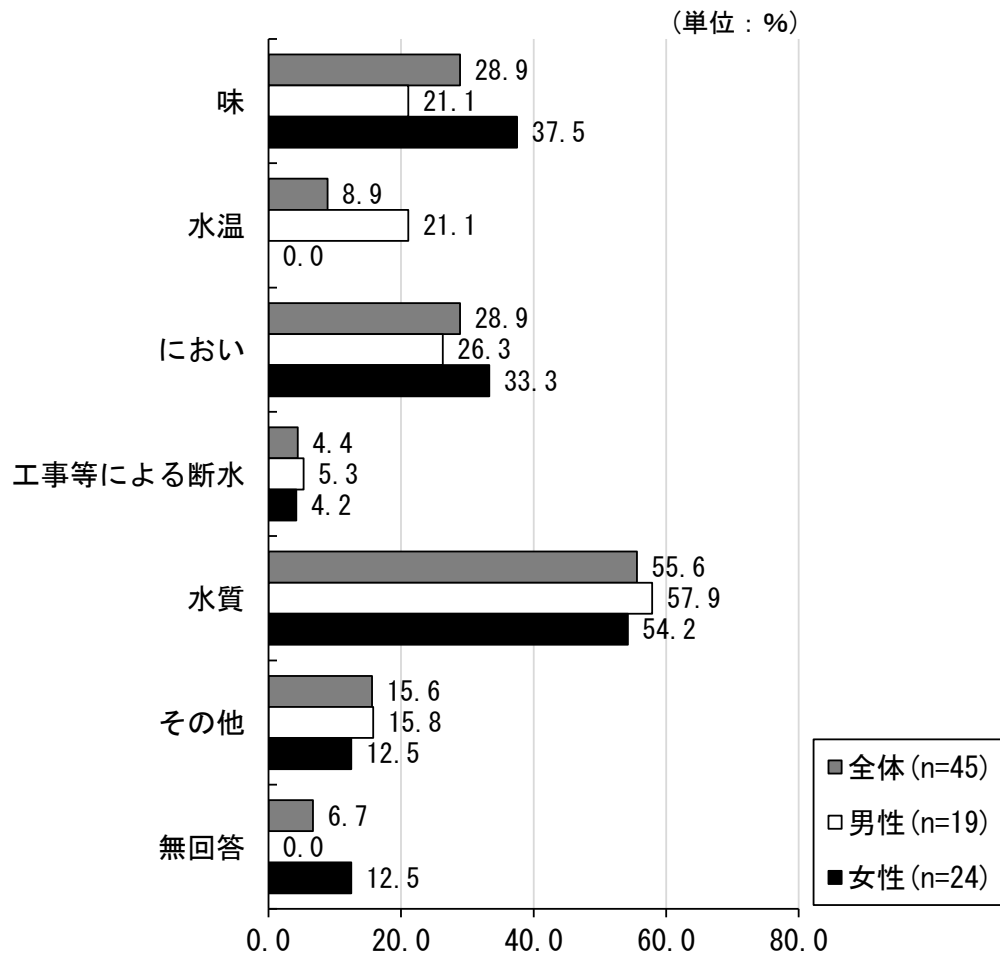
番号	選択肢	回答数
1	味	13
2	水温	4
3	におい	13
4	工事等による断水	2
5	水質	25
6	その他	7
	無回答	3
回答総数		67
全体		45

■安心して水道を利用できない理由



安心して水道を利用できない理由については、「水質」が55.6%と最も高く、次いで「味」と「におい」が同率の28.9%、「水温」が8.9%の順となっている。

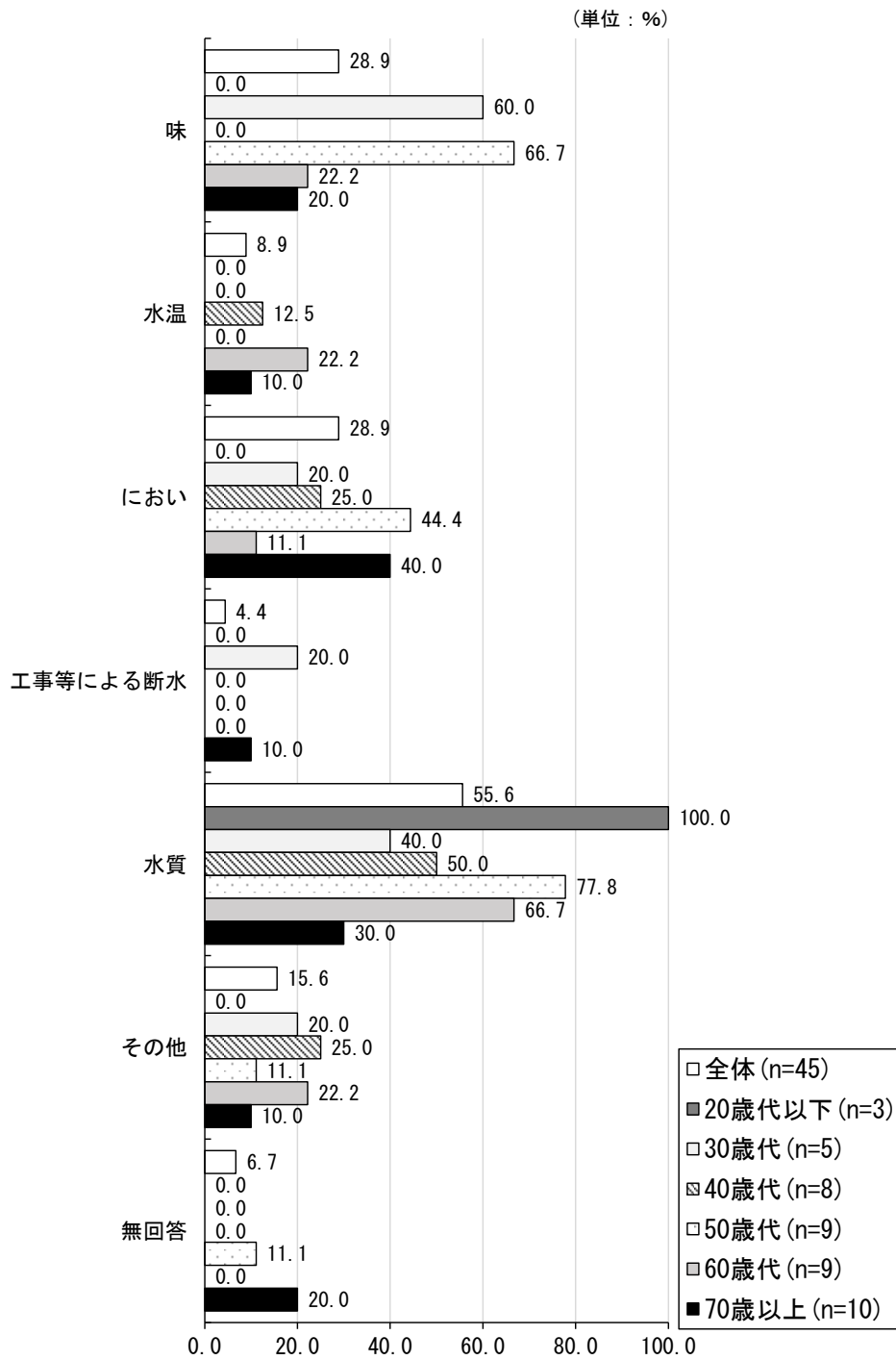
■男女別 安心して水道を利用できない理由



男女別にみると、「水質」は男性が 57.9%、女性が 54.2%と男性が 3.7 ポイント高くなっている。

「味」は男性が 21.1%、女性が 37.5%と女性が 16.4 ポイント高く、「におい」は男性が 26.3%、女性が 33.3%と女性が 7.0 ポイント高くなっている。

■年代別 安心して水道を利用できない理由

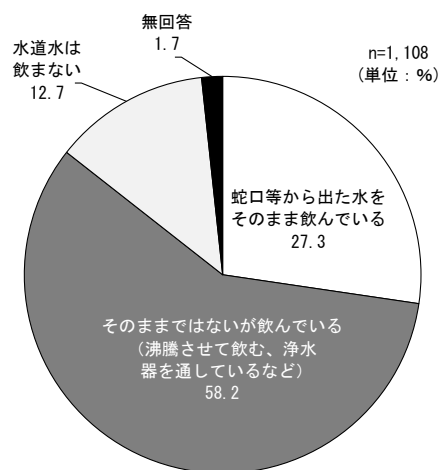


年代別にみると、「水質」は20歳代以下が100.0%、50歳代が77.8%、「味」は50歳代が66.7%となっている。

問 54 あなたは水道水をどのように飲んでいきますか。(○は1つだけ)

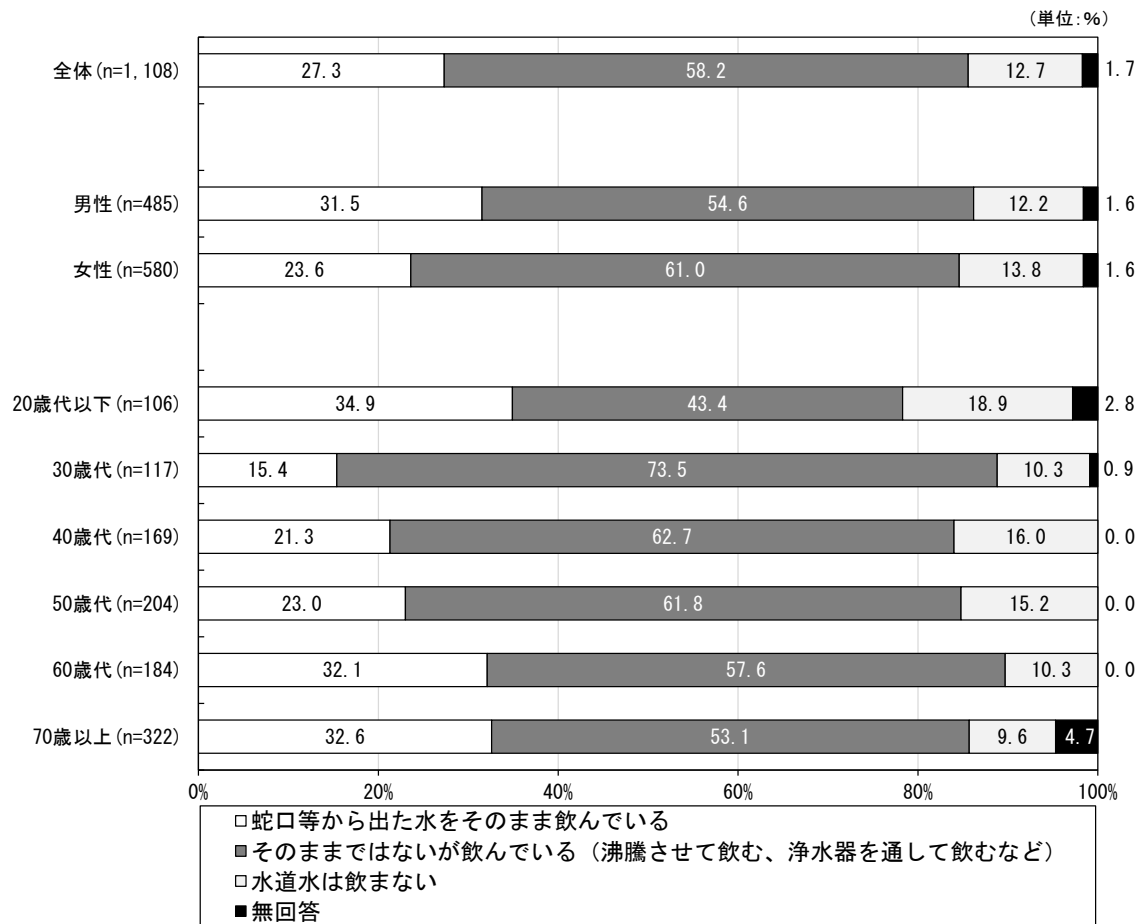
番号	選択肢	回答数
1	蛇口等から出た水をそのまま飲んでいる	303
2	そのままではないが飲んでいる（沸騰させて飲む、浄水器を通して飲むなど）	645
3	水道水は飲まない	141
	無回答	19
全体		1,108

■ 水道水の飲み方



水道水の飲み方については、「そのままではないが飲んでいる（沸騰させて飲む、浄水器を通して飲むなど）」が 58.2%と最も高く、次いで「蛇口等から出た水をそのまま飲んでいる」が 27.3%、「水道水は飲まない」が 12.7%の順となっている。

■男女別 年代別 水道水の飲み方



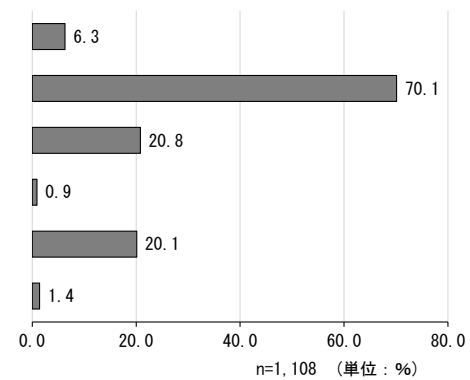
男女別にみると、「そのままではないが飲んでいる（沸騰させて飲む、浄水器を通して飲むなど）」は男性が54.6%、女性が61.0%と女性の方が6.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「そのままではないが飲んでいる（沸騰させて飲む、浄水器を通して飲むなど）」は30歳代で7割を超えている。

問 55 あなたは、地震などの緊急時にご家庭で非常用飲料水を確保するために、
何らかの準備をしていますか。(〇はいくつでも)

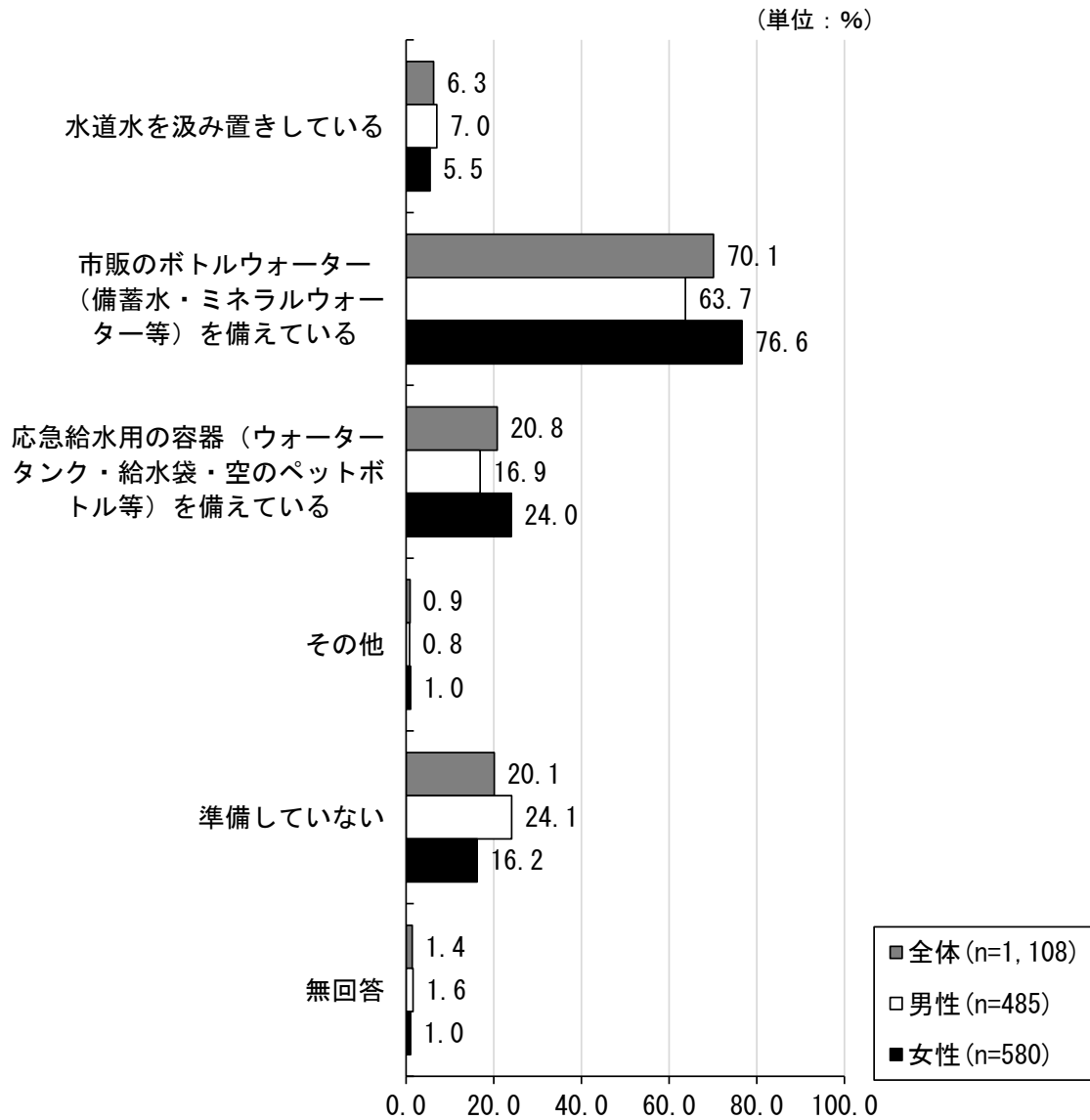
番号	選択肢	回答数
1	水道水を汲み置きしている	70
2	市販のボトルウォーター（備蓄水・ミネラルウォーター等）を備えている	777
3	応急給水用の容器（ウォータータンク・給水袋・空のペットボトル等）を備えている	231
4	その他	10
5	準備していない	223
	無回答	16
回答総数		1,327
全体		1,108

■非常用飲料水確保のための準備



非常用飲料水確保のための準備については、「市販のボトルウォーター（備蓄水・ミネラルウォーター等）を備えている」が70.1%と最も高く、次いで「応急給水用の容器（ウォータータンク・給水袋・空のペットボトル等）を備えている」が20.8%、「準備していない」が20.1%の順となっている。

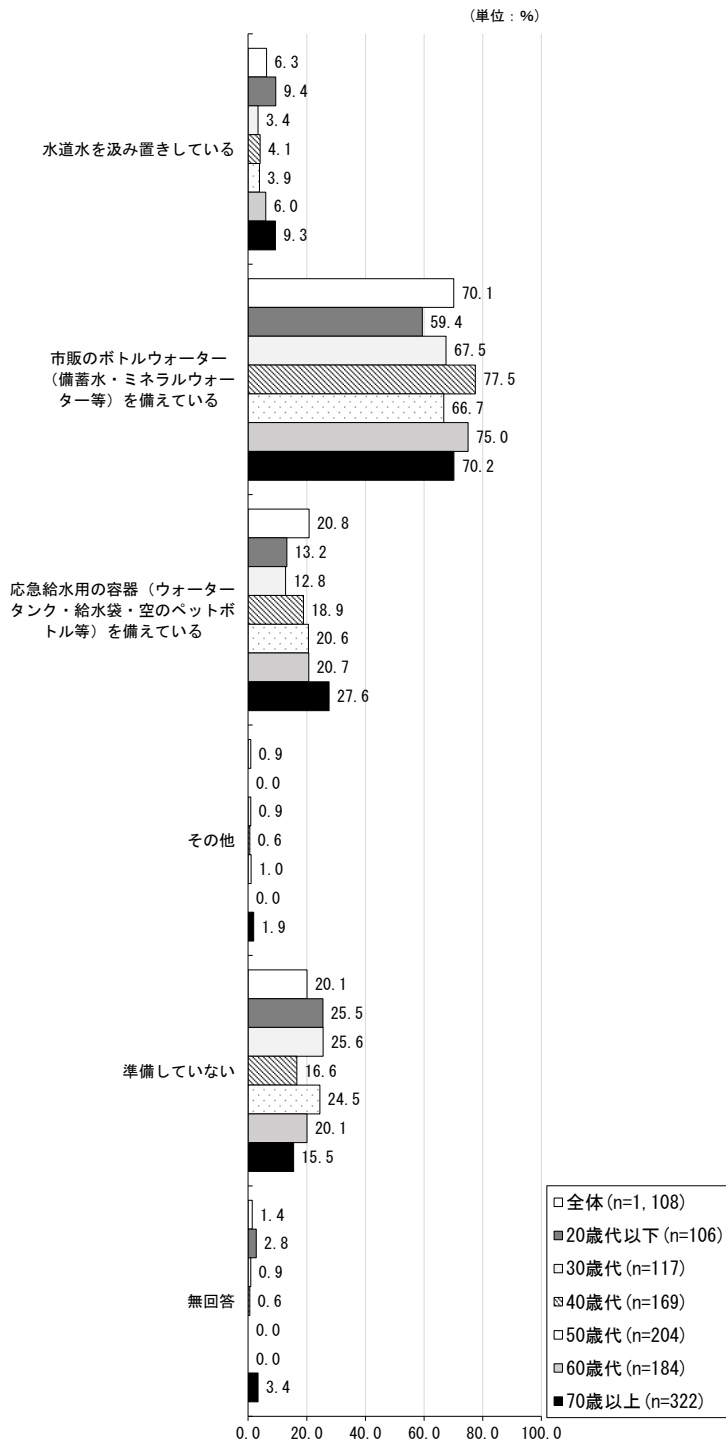
■男女別 非常用飲料水確保のための準備



男女別にみると、「市販のボトルウォーター（備蓄水・ミネラルウォーター等）を備えている」は男性が63.7%、女性が76.6%と女性の方が12.9ポイント高くなっている。

また、「応急給水用の容器（ウォータータンク・給水袋・空のペットボトル等）を備えている」でも男性が16.9%、女性が24.0%と女性の方が7.1ポイント高くなっている。

■年代別 非常用飲料水確保のための準備



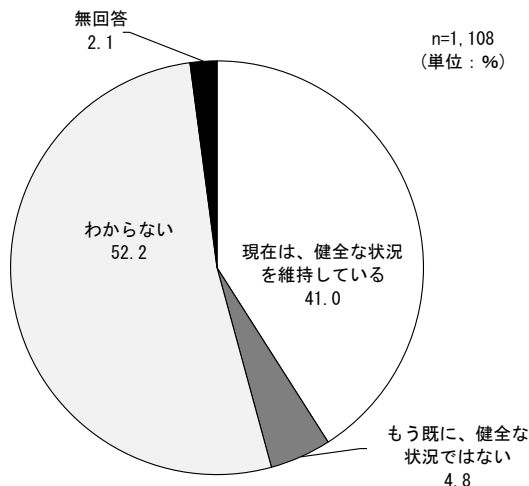
年代別にみると、「市販のボトルウォーター（備蓄水・ミネラルウォーター等）を備えている」は40歳代と60歳代以上で7割を超えている。

11 市の財政状況等について

問 56 あなたは、高槻市の財政状況をどのように感じていますか。(○は1つだけ)

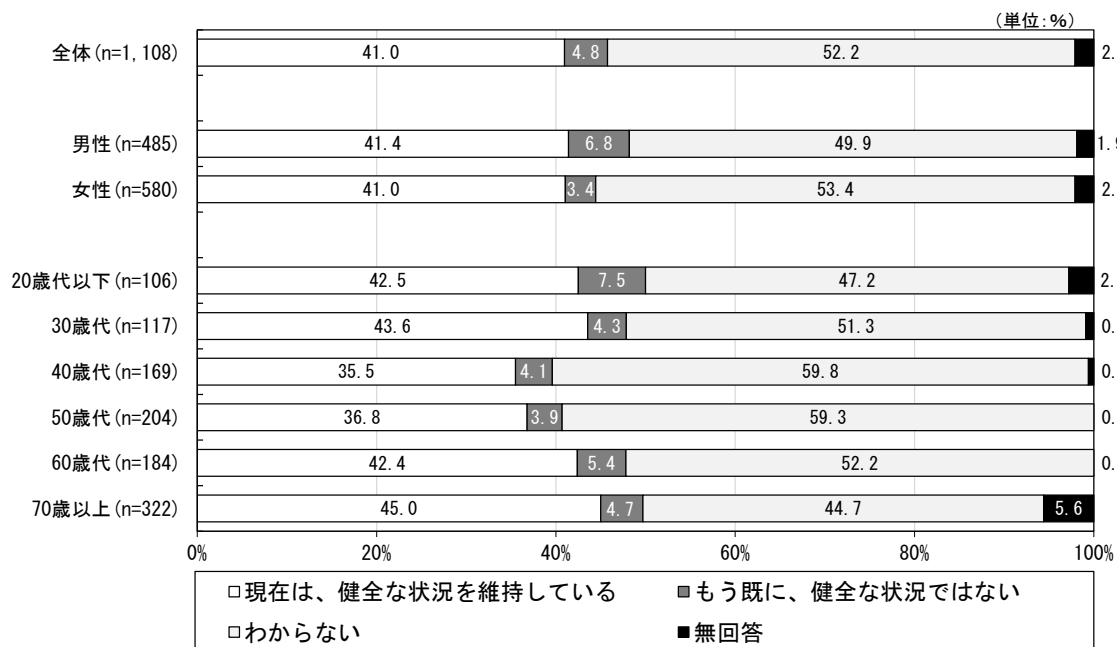
番号	選択肢	回答数
1	現在は、健全な状況を維持している	454
2	もう既に、健全な状況ではない	53
3	わからない	578
	無回答	23
全体		1,108

■市の財政状況をどのように感じているか



市の財政状況をどのように感じているかについては「わからない」が 52.2%と最も高く、次いで「現在は、健全な状況を維持している」が 41.0%、「もう既に、健全な状況ではない」が 4.8%の順となっている。

■男女別 年代別 市の財政状況をどのように感じているか



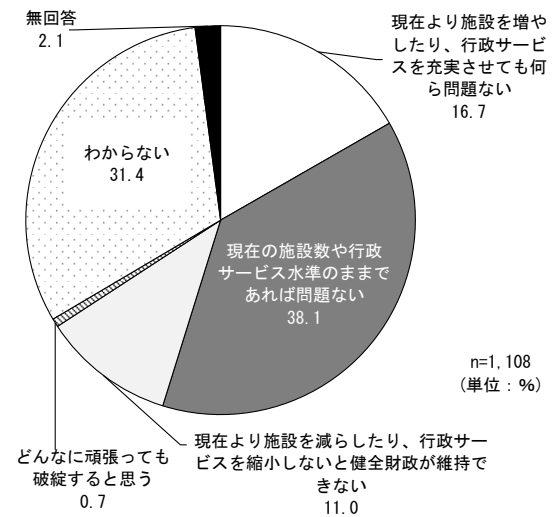
男女別にみると、「わからない」は男性が 49.9%、女性が 53.4%と女性の方が 3.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「現在は、健全な状況を維持している」は 40 歳代で 35.5%と最も低くなっている。

問 57 あなたは、高槻市の行政サービスの在り方と利用者負担について、今後（10年先程度）はどのような状況だと思いますか。（○は1つだけ）

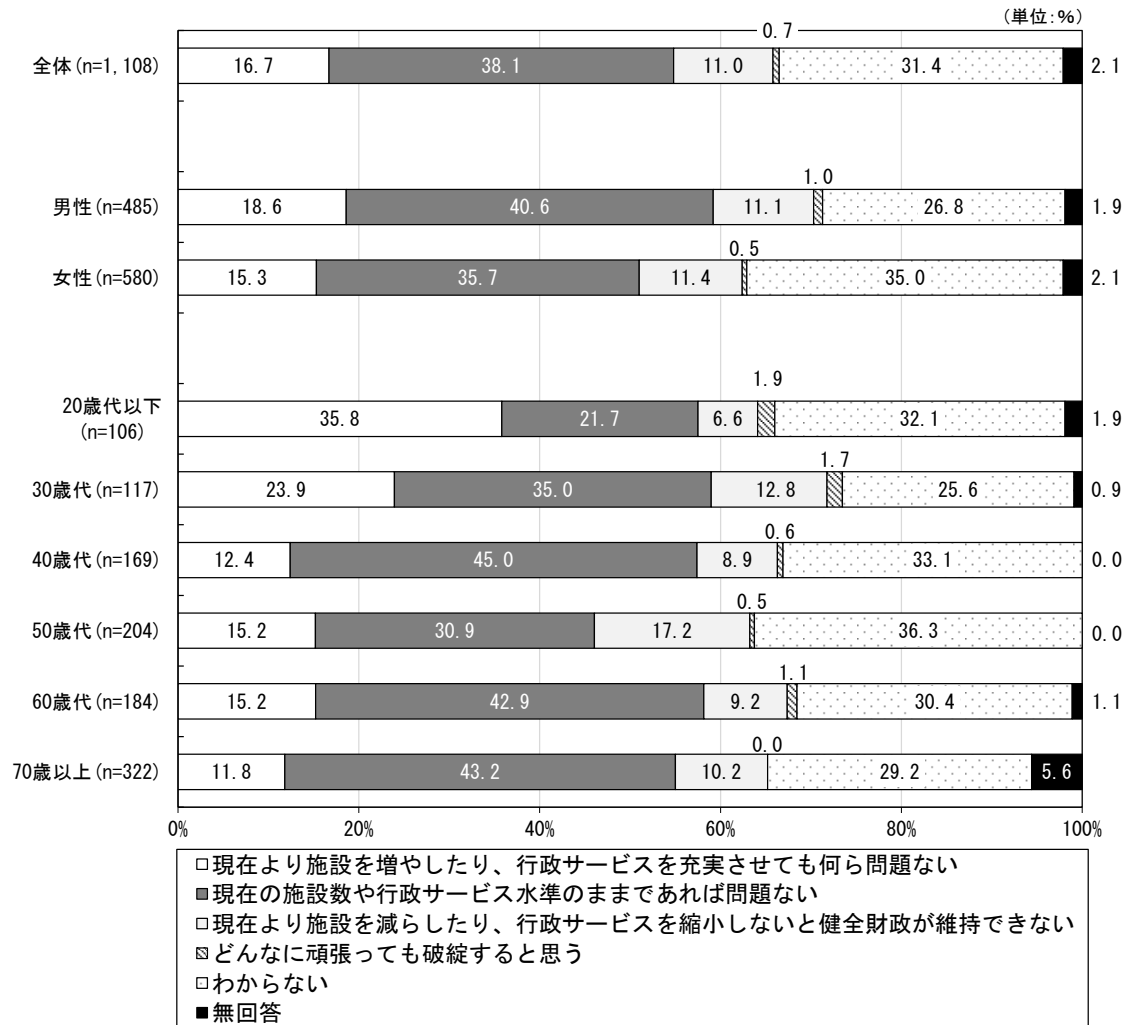
番号	選択肢	回答数
1	現在より施設を増やしたり、行政サービスを充実させても何ら問題ない	185
2	現在の施設数や行政サービス水準のままであれば問題ない	422
3	現在より施設を減らしたり、行政サービスを縮小しないと健全財政が維持できない	122
4	どんなに頑張っても破綻すると思う	8
5	わからない	348
	無回答	23
全体		1,108

■市の行政サービスの在り方と利用者負担についての今後の見通し



市の行政サービスの在り方と利用者負担についての今後の見通しについては、「現在の施設数や行政サービス水準のままであれば問題ない」が38.1%と最も高く、次いで「わからない」が31.4%、「現在より施設を増やしたり、行政サービスを充実させても何ら問題ない」が16.7%の順となっている。

■男女別 年代別 市の行政サービスの在り方と利用者負担についての今後の見通し



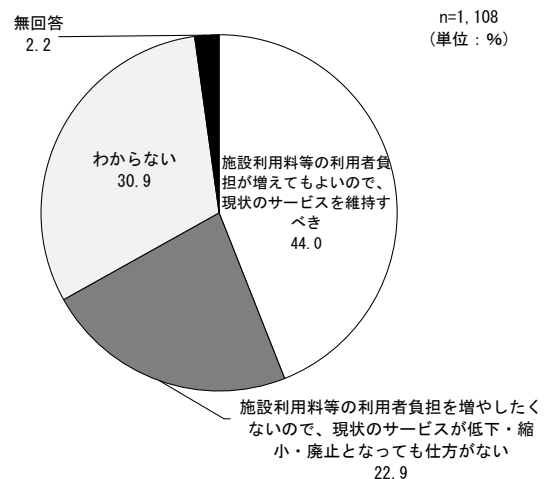
男女別にみると、「現在の施設数や行政サービス水準のままであれば問題ない」は男性が40.6%、女性が35.7%と男性の方が4.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「現在より施設を増やしたり、行政サービスを充実させても何ら問題ない」は20歳代以下で35.8%と最も高くなっている。

問 58 近い将来、人口減少による市税収入の減少や超高齢化による社会保障費の増大等により、行政サービス(施設の管理運営、イベント、相談業務等)の水準の維持が困難となることが見込まれます。あなたは、今後の行政サービスの在り方と利用者負担について、どのように考えますか。(○は1つだけ)

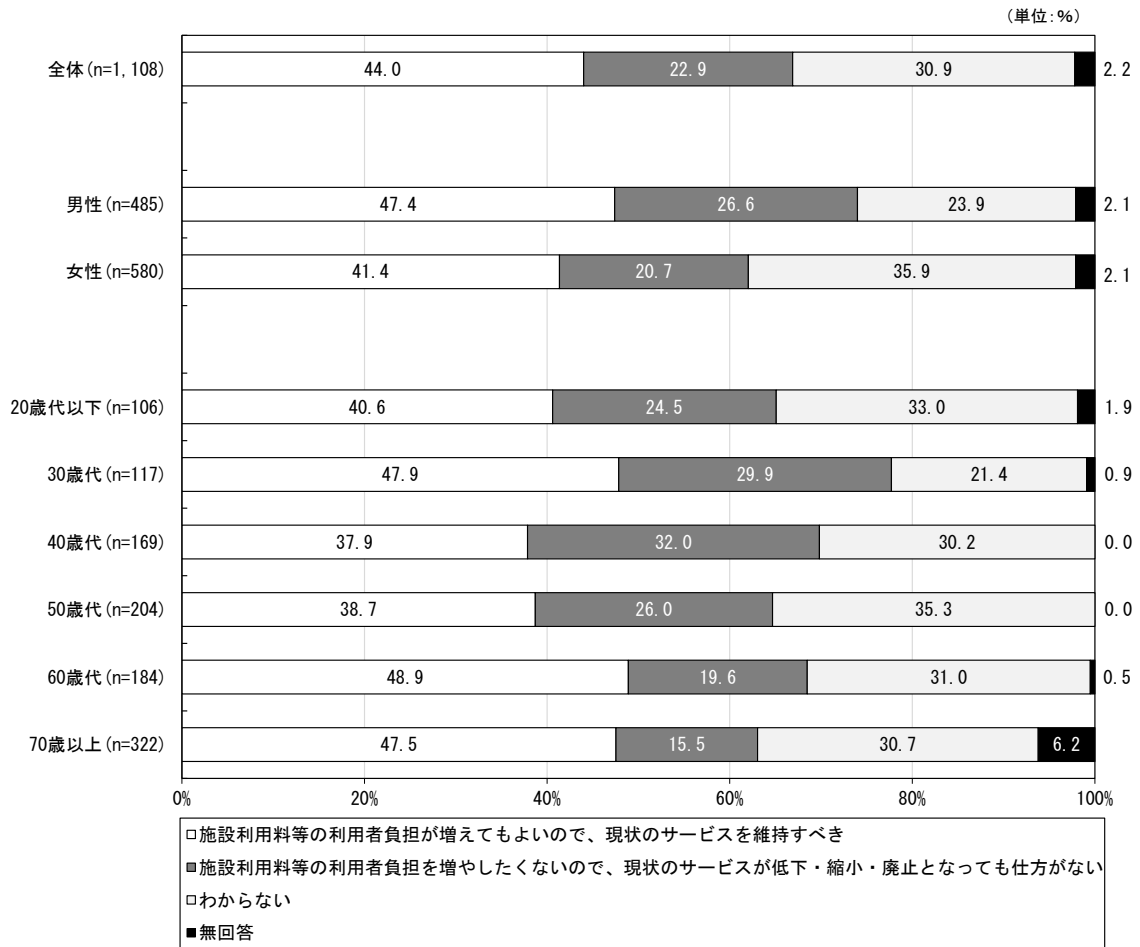
番号	選択肢	回答数
1	施設利用料等の利用者負担が増えてもよいので、現状のサービスを維持すべき	488
2	施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止となっても仕方がない	254
3	わからない	342
	無回答	24
全体		1,108

■今後の行政サービスの在り方と利用者負担への考え



今後の行政サービスの在り方と利用者負担への考えについては、「施設利用料等の利用者負担が増えてもよいので、現状のサービスを維持すべき」が44.0%と最も高く、次いで「わからない」が30.9%、「施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止となっても仕方がない」が22.9%の順となっている。

■男女別 年代別 今後の行政サービスの在り方と利用者負担への考え



男女別にみると、「施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止となっても仕方がない」は男性が 26.6%、女性が 20.7%と男性の方が 5.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「施設利用料等の利用者負担が増えてもよいので、現状のサービスを維持すべき」が全ての年代において最も高くなっている。

IV 調査票

IV 調査票

高槻市民意識調査（令和7年度） ご協力 の お 願 い

日ごろから高槻市政にご協力いただき、ありがとうございます。

この調査は、市民の皆様の実情やご意向を把握し、今後の市政に反映する基礎資料とするため、市内にお住まいの18歳以上の方2,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただき、毎年実施しているものです。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようお願いいたします。

令和7年10月 高 槻 市

インターネットでの回答が とても便利です

インターネットでの回答方法

- ◇パソコンやスマートフォンから、下記 URL（または2次元コード）にアクセス後、ユーザIDとパスワードでログインし、回答して下さい（ユーザIDとパスワードは無作為に付与しており、回答された方が特定されることはありません）。
- ◇高槻市ホームページのキーワード検索に「市民意識調査」と入れて検索することもできます。

【URL】 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/takatsuki/shimin2025/>

ユーザID・パスワード

スマートフォン用



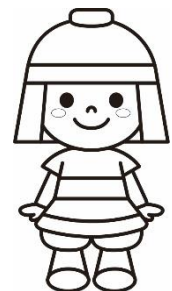
郵送での回答方法

- ◇当てはまる選択肢を選んで、番号に○をつけてください。○の数に指定がある場合は、設問文に従ってください。
- ◇記入後、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、締切日までに投函して下さい。
調査票・封筒には、住所や名前を書かないでください。

回答にあたって

- ◇封筒のあて名のご本人がお答えください（長期出張や入院治療などでご本人が回答できない場合は、回答いただく必要はありません）。
- ◇調査票は統計的に処理し、調査目的以外には一切利用しません。
回答内容が外部に漏れることはありませんので、安心してお答えください。

◇回答締切日 **11月14日（金）** までにお願ひします。



TAKATSUKI
HANITAN

<お問合せ先> 高槻市 市民生活環境部 市民生活相談課

電話：072-674-7130 FAX：072-674-7722

最初に、**あなたご自身**についてお聞かせ下さい。

(答えたくない質問や答えにくい質問は、空欄のままでも構いません。)

問1 あなたの性別 (○は1つだけ)

1. 男性

2. 女性

3. どちらでもない

問2 令和7年1月1日現在のあなたの年齢 (○は1つだけ)

1. 18歳・19歳

5. 50歳代

2. 20歳代

6. 60歳代

3. 30歳代

7. 70歳以上

4. 40歳代

問3 あなたと現在同居されている家族構成 (○は1つだけ)

1. 単身

4. 親と同居

2. 夫婦のみ

5. 3世代同居

3. 子どもと同居

6. その他 (具体的に:

問4 あなたは、どちらの地域にお住まいですか。()の小学校区を参考にしてお答えください。(○は1つだけ)

1. 檜田地区(檜田小学校)

2. 高槻北地区(芥川・真上・磐手・奥坂・清水・北清水・安岡寺・日吉台・北日吉台小学校)

3. 高槻南地区(高槻・桃園・大冠・北大冠・松原・桜台・竹の内・西大冠・若松・南大冠・冠小学校)

4. 五領地区(五領・上牧小学校)

5. 高槻西地区(郡家・赤大路・阿武野・南平台・川西・土室・阿武山小学校)

6. 如是・富田地区(芝生・丸橋・寿栄・富田・柳川・玉川・如是・津之江・五百住小学校)

7. 三箇牧地区(三箇牧・柱本小学校)

問5 あなたは、高槻市内に通算で何年住んでいますか。(○は1つだけ)

1. 3年未満

4. 10年以上 15年未満

2. 3年以上 5年未満

5. 15年以上 20年未満

3. 5年以上 10年未満

6. 20年以上

問6 あなたの職業をお聞きます。複数の職業についている場合は、主なものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 農林漁業

2. 商工・サービス業などの自営業、またはその家族従事者

3. 自由業(開業医、開業弁護士、芸術家など)

4. 事務系の勤め人(管理職、教員、勤務医師などの専門職も含む)

5. 技能・労務系の勤め人(販売・サービス、技能・作業職など)

6. パート、アルバイト

7. 家事専業

8. 学生

9. 無職

10. その他(具体的に:

(1) 高槻市のイメージについてお聞かせ下さい。

問7 あなたは、今後も高槻市に住み続けたいと思いますか（交通の利便性、住環境、子育て・教育・医療環境、街への愛着などを評価したうえでお答えください）。（○は1つだけ）

1. 今後も住み続けたい
2. 現在の住まいは移りたいが、高槻市内に住みたい
3. 市外に移りたい
4. 今のところわからない

問8 あなたは、高槻市の街が商業、工業または観光により「にぎわっている」と思いますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|---|---------------|
| 1. そう思う | } | →問9へお進みください。 |
| 2. ややそう思う | | |
| 3. どちらとも言えない | } | →問10へお進みください。 |
| 4. あまりそう思わない | | |
| 5. そう思わない | | |

問8で「1. そう思う」「2. ややそう思う」と答えられた方におたずねします。

問9 どういった点について、にぎわっていると思いますか。（○はいくつでも）

1. 商店街が人でにぎわっている
2. なじみのお店や老舗の名店が多い
3. 新規出店が増えている
4. 企業や工場が多いまたは、企業活動が活発
5. 企業間交流が盛ん
6. 将棋タイトル戦や将棋イベントなどで街が盛り上がっている
7. お祭りなどの大型イベントが多い
8. まち歩きなどの小規模イベントが多い
9. 大きな公園などの憩いの空間で過ごす人が増えている
10. 遺跡や神社仏閣など、歴史資源を訪れる人が増えている
11. その他（具体的に：.....）

(2) 市の広報についてお聞かせ下さい。

1) 市広報誌について

問 10 あなたは、市広報誌「広報たかつき（たかつき DAYS）」を読んでいますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 毎号読んでいる | } → 問 11、問 13、問 15 へお進みください。 |
| 2. ほとんど毎号読んでいる | |
| 3. 読まないことが多い | |
| 4. 「たかつき DAYS」が発行されていることを知らない | → 問 16 へお進みください。 |

問 10 で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問 11 「たかつき DAYS」について、どのような感想をお持ちになりましたか。

(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. とても良い | } → 問 12 へお進みください。 |
| 2. 良い | |
| 3. あまり良くない | } → 問 13 へお進みください。 |
| 4. 良くない | |
| 5. その他（具体的に：.....） | |

問 11 で「1. とても良い」「2. 良い」と答えられた方におたずねします。

問 12 「たかつき DAYS」について、良いと思う点はどういうところですか。

(○はいくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1. カラーできれい |
| 2. 写真が魅力的 |
| 3. レイアウトが見やすい |
| 4. 巻頭に雑誌のような特集がある |
| 5. コーナー分けされていて記事が探しやすい |
| 6. その他（具体的に：.....） |

問 10 で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問 13 巻頭の特集（表紙から続く7ページの特集）について、どのような感想をお持ちになりましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. とても良い | } → 問 14 へお進みください。 |
| 2. 良い | |
| 3. あまり良くない | } → 問 15 へお進みください。 |
| 4. 良くない | |
| 5. その他（具体的に：.....） | |

問 13 で「1. とても良い」「2. 良い」と答えられた方におたずねします。

問 14 巻頭の特集で、良いと思う点はどういうところですか。

(○はいくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1. 写真が魅力的 |
| 2. 内容や情報が分かりやすい |
| 3. 市内の新しい魅力を知ることができる |
| 4. 市民が登場している |
| 5. 内容の企画が面白い |
| 6. その他（具体的に：.....） |

問 10 で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問 15 「たかつき DAYS」は大きく以下の記事に分けられます。どの記事をよく読んでいますか。(○はいくつでも)

1. 巻頭特集（表紙から続く特集）
2. フォトアルバム（目次の隣）
3. クローズアップ（目次のあとの特集）
4. NEWS Pick Up（市からの重要なお知らせ）
5. イベントナビ
6. キラリカルチャー
7. ヘルスケア
8. 市政インフォ（市からのお知らせ）
9. すくすくタイム
10. おでかけ DAYS
11. その他（具体的に：.....）
12. 読むような記事がない

2)市広報番組について

問 16 あなたは、ケーブルテレビ（J：COM）の広報番組「情報 BOX ワイドたかつき」を見ていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|------------------------------------|
| 1. よく見る（週 1 回以上） | } → <u>問 17、問 18 へお進み</u>
ください。 |
| 2. ときどき見る（月 1 回以上） | |
| 3. たまに見る（2～3 か月に 1 回程度） | |
| 4. 見たことはある | } → <u>問 19 へお進み</u> ください。 |
| 5. ケーブルテレビが映らないので、見たことがない | |
| 6. ケーブルテレビは映るが、見たことはない | |

問 16 で「1～3」と答えられた方におたずねします。

問 17 「情報 BOX ワイドたかつき」について、どのように感じましたか。
(○は1つだけ)

1. とても良い
2. 良い
3. あまり良くない
4. 良くない
5. その他（具体的に：.....）

問 18 「情報 BOX ワイドたかつき」の番組でどのような内容を紹介してほしいですか。(○はいくつでも)

1. 市政や行政サービスに関する情報
2. イベントや講座、教室などの案内情報
3. 子育てや教育に関する情報
4. 高齢者などの福祉に関する情報
5. 歴史や自然、文化財に関する情報
6. 市民の活動に関する情報
7. その他（具体的に：.....）
8. 特にない、思いつかない

3) 市政情報の入手方法について

すべての方におたずねします。

問 19 あなたは、市政の動きや市内のイベント・行事などの情報を何から入手していますか。
(○はいくつでも)

■高槻市の広報媒体

1. 広報誌「たかつき DAYS」
2. ホームページ
3. ケーブルテレビ (J:COM) で放送している広報番組「情報 BOX ワイド たかつき」
4. YouTube の公式アカウント
5. facebook の公式アカウント (はにたん)
6. Instagram の公式アカウント (高槻市公式・高槻市立子育て総合支援センターカンガルーの森公式)
7. LINE の公式アカウント
8. X の公式アカウント (【高槻市】公式アカウント・(公式) 高槻市防災情報 など)
9. 自治会等の回覧や配布文書

■上記以外の民間広報媒体

10. 新聞
11. ラジオ
12. テレビ
13. インターネット
14. SNS
15. 地域情報誌

■その他

16. 家族や知人
17. その他 (具体的に:)
18. 情報を必要としていない

問 20 LINE の【高槻市】公式アカウントでは、市の事業・イベントをはじめ災害情報などを発信していますが、あなたは市公式 LINE を利用していますか。(○は 1 つだけ)

1. 利用している
2. 市公式 LINE があることは知っているが、利用していない
3. 市公式 LINE があることを知らないので、利用していない
4. スマートフォンは持っているが、LINE アプリ自体を利用していない
5. スマートフォンを持っていない

(3) スマートフォンなどの利用についてお聞かせ下さい。

問 21 あなたは、ふだんスマートフォンやタブレット端末を利用していますか。
(○は 1 つだけ)

1. 利用している
2. どちらも利用していない

(4) 「将棋のまち 高槻」についてお聞かせ下さい。

問 22 あなたは、高槻市が「将棋のまち」であると感じる機会がありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---|----------------|
| 1. ある | } | 問 23 へお進みください。 |
| 2. ややある | | |
| 3. ない | → | 問 24 へお進みください。 |

問 22 で「1. ある」「2. ややある」と答えられた方におたずねします。

問 23 どのような取組で、高槻市が「将棋のまち」であると感じますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 「王将戦」や「名人戦」等、タイトル戦の開催
2. 小学1年生への将棋駒やノートの配付等、学校での取組
3. 「高槻将棋ライナー」等、ラッピングバスの運行
4. 「高槻将棋まつり」や「桐山清澄杯将棋大会」等、将棋イベントの開催
5. テレビや新聞、交通広告といったマスメディア等への情報発信
6. 関西将棋会館の本市への移転
7. その他(具体的に:)) |
|--|

(5) スポーツについてお聞かせ下さい。

問 24 あなたがこの1年間にしたスポーツはどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. 散歩・ウォーキング
ランニング・ジョギング
野外活動(登山・ハイキング等) | 10. バレーボール
11. バスケットボール・3×3
12. 屋内球技/その他
(具体的に:)) |
| 2. 健康体操(ラジオ体操等)
ダンス・体操・ヨガ等 | 13. 柔道
14. 空手
15. 武道/その他
(具体的に:)) |
| 3. トレーニング
4. 水泳
5. 野球・ソフトボール
(キャッチボール含む) | 16. 障がい者スポーツ
(具体的に:))
17. その他
(具体的に:)) |
| 6. テニス・ソフトテニス
7. サッカー・フットサル
8. 屋外球技/その他
(具体的に:)) | 18. この1年間に運動・スポーツは
しなかった |
| 9. 卓球 | |

問 25 あなたは、どれぐらいの頻度でスポーツをしますか。(○は1つだけ)

※スポーツには、ウォーキング・登山・ラジオ体操等の体力・健康づくりを目的としたものを含みます。

- | | | |
|--------------------------------|---|---------------------|
| 1. 週5回以上
2. 週2～4回
3. 週1回 | } | 問 26、問 27 へお進みください。 |
| 4. 月に1～3回
5. 3か月に1～2回 | | |
| 6. 年に1～3回
7. スポーツをしていない | | |
| | } | 問 29 へお進みください。 |
| | | |
| | } | 問 28 へお進みください。 |
| | | |

問 25 で「1. 週 5 回以上」「2. 週 2～4 回」「3. 週 1 回」と答えられた方におたずねします。

問 26 定期的にスポーツをする理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 健康維持・増進のため
2. 運動能力向上のため
3. 楽しみ・気晴らしとして
4. 家族や友人・仲間との交流のため
5. その他（具体的に：.....）

問 27 普段スポーツをする場所はどこですか。(〇はいくつでも)

1. 公共スポーツ施設
2. 学校体育施設
3. 民間スポーツ施設
4. 公民館
5. 自宅
6. 公園・道路・空き地
7. その他（具体的に：.....）

問 25 で「6. 年 1～3 回」「7. スポーツをしていない」と答えられた方におたずねします。

問 28 定期的にスポーツをしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事や家事等で時間がない
2. 場所や施設がない
3. 費用がかかる
4. 一緒にする仲間がいない
5. スポーツが嫌い
6. 病気やケガをしている
7. その他（具体的に：.....）

すべての方におたずねします。

問 29 あなたは、市内のスポーツ施設でのイベントについて知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 高槻シティハーフマラソン
2. 高槻市民スポーツ祭
3. 高槻クロスカントリー大会
4. 合同スポーツ体験教室
5. プロ野球ウエスタンリーグ公式戦
6. その他（具体的に：.....）
7. 知っているものはない

問 30 あなたは、市内のスポーツ施設でのイベントについて参加したことがあるものはどれですか。(○はいくつでも)

1. 高槻シティハーフマラソン
2. 高槻市民スポーツ祭
3. 高槻クロスカントリー大会
4. 合同スポーツ体験教室
5. プロ野球ウエスタンリーグ公式戦
6. その他(具体的に:
7. 参加したことがない

問 31 あなたは、スポーツ推進委員を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 関わったことがある
2. 何をしているか知っている
3. 名前だけ知っている
4. 知らない

問 32 あなたは、スポーツ振興のために、どの年代に対して最も力を入れるべきと思いますか。(○は1つだけ)

1. 子ども(～17歳)
2. 成人(18～64歳)
3. 高齢者(65歳～)

問 33 あなたは、スポーツ振興のために力を入れるべき施策はどれだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 大規模スポーツイベント
2. 地域のスポーツ行事
3. 各種(健康づくり・スポーツ体験等)教室・講演会
4. スポーツ施設の整備
5. 身近なスポーツ環境(公園等)の整備
6. スポーツに関する広報活動
7. その他(具体的に:

(6) 自転車の安全な利用についてお聞かせ下さい。

問 34 あなたは、どのような目的で自転車を利用しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 観光・レジャー | 5. 仕事・業務 |
| 2. 通勤 | 6. その他 |
| 3. 通学 | (具体的に: |
| 4. 買い物 | 7. 自転車は利用しない |

問 35 あなたは、自転車を利用する時、主にどこを通行していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 車道の左側 | 4. わからない |
| 2. 車道の右側 | 5. 自転車は利用しない |
| 3. 歩道 | |

問 36 駅前周辺の放置自転車を減らすために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 駅前での「放置に対する指導や駐輪場への案内」などの呼びかけを増やす
2. 駐輪場や駐輪ラックを増やす
3. 店ごとに専用の駐輪場を設ける
4. 放置自転車の撤去を徹底する
5. 撤去した自転車の返還費用を高くする
6. 歩道にベンチを置くなど放置されにくい環境をつくる
7. 駐輪場の利用料金を安くする
8. その他(具体的に:)
9. わからない

問 37 あなたは、市内を自転車で走りやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 歩行者と分離した自転車通行空間の整備
2. 自動車と分離した自転車通行空間の整備
3. 目的地まで安全に通行できる、連続した自転車通行空間の整備
4. わかりやすい案内看板の設置や、左側通行の徹底などの路面標示
5. 滑りやすい路面や、側溝の段差など凹凸のある路面の改善
6. 電柱など、道路上の障害物の移設や撤去
7. 路面標示による注意喚起など、交差点部での交通安全対策
8. 路上に駐停車する自動車の取り締まり強化
9. その他(具体的に:)
10. わからない

問 38 あなたは、自転車の安全利用に関する次の条例や計画を知っていますか。
(各項目について、○は1つだけ)

A. 高槻市自転車安全利用条例

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

B. たかつき自転車まちづくり向上計画及び実行計画

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 39 「高槻市自転車安全利用条例」では平成27年から、「改正道路交通法」では令和5年から自転車乗車用のヘルメットの着用を努力義務としています。
あなたは、自転車乗車時にヘルメットを着用していますか。(○は1つだけ)

1. 着用している
2. 着用していないが、購入を検討している
3. 着用の努力義務は知っているが、着用していない
4. 着用していない
5. 自転車を利用しない

問 40 「大阪府自転車条例」では、平成 28 年から自転車利用中に他人にケガをさせた場合などに備える保険等に参加することを義務としています。

あなたは、自転車に関する保険や共済に参加していますか。(○は 1 つだけ)

1. 加入している	4. 加入していない
2. 加入を検討・予定している	5. 加入しているかどうか分からない、
3. 加入義務は知っているが、まだ	知らない
加入していない	6. 自転車を利用しない

問 41 あなたは、本市の自転車の安全利用などに関する取組に満足していますか。

各項目について、お考えに近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ 1 つだけ)

	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない
1. 駐輪場の整備・充実や放置自転車対策	1	2	3	4
2. 安全で快適な自転車通行空間の整備状況	1	2	3	4
3. 自転車交通ルールの周知に向けた取組※1	1	2	3	4
4. 自転車利用を促進する取組※2	1	2	3	4

※1：自転車安全利用教室、街頭・駅頭での啓発活動 など

※2：レンタサイクル（シェアサイクル）、サイクルイベントの開催 など

(7) 地域でのつながりや支え合いに関する取組についてお聞かせ下さい。

問 42 あなたの住んでいる地域（概ね小学校区程度の範囲）の状況として、あなたのお考えに近いのはどれですか。(各項目について、○は 1 つだけ)

	あてはまる	あてはまらないが こうなれば良いと思う	あてはまらない	分からない
1. 普段から隣近所の人とのコミュニケーション・会話がある	1	2	3	4
2. 災害のときに、隣近所で声かけや助け合いができる	1	2	3	4
3. 地域の人気が気軽に集まり、交流できる居場所がある	1	2	3	4
4. 暮らしに困ったときに、地域に相談できる人がいる・場がある	1	2	3	4
5. 定期的に高齢者などへの声かけ、見守りが行われている	1	2	3	4
6. 隣近所の子どもや高齢者などが虐待されていると思ったときに すぐに連絡・相談できる	1	2	3	4
7. 自治会の行事にたくさんの人が参加している	1	2	3	4
8. 子どもが安心して過ごせる居場所がある	1	2	3	4
9. 地域で抱える課題について地域の住民や活動団体等で話し合い、 考えるような機会や場がある	1	2	3	4

問 43 あなたの住んでいる地域の状況について、問 42 の 1～9 以外に「こうなれば良いと思う」ことがあれば簡潔に書いてください。

--

問 44 あなたは、地域のどのような活動に参加したり、協力したりしていますか。
(各項目について、○は 1 つだけ)

	参 加 ・ 協 力 し て い る	参 加 ・ 協 力 し て い ない が、 今 後 し て い たい	参 加 ・ 協 力 し て い ない
1. 自治会の行事や活動	1	2	3
2. PTA活動や子育てサロン活動	1	2	3
3. 登下校の見守り活動（セーフティボランティアなど）	1	2	3
4. 高齢者・障がい者の見守りや居場所づくりなどの活動	1	2	3
5. 消防団や地域の防災活動	1	2	3
6. 老人クラブ活動	1	2	3
7. 文化・スポーツ等のグループ活動	1	2	3
8. ボランティア活動（内容：.....）	1	2	3

問 45 あなたが、地域での活動に参加する際に苦勞すること、または参加できない要因になっていることは、どんなことですか。(○はいくつでも)

1. 仕事や家事、育児や介護などのため、活動する時間がない 2. 身近に団体や活動内容に関する情報がない 3. 一緒に参加できる身近な人や仲間がない 4. 参加するきっかけが得られない 5. 参加したいと思う活動や団体がない 6. 興味がない 7. 家族や職場の理解が得られない 8. 活動のメリットが期待できない 9. 体力や健康に不安がある 10. その他（具体的に：.....）

問 46 あなたは、地域でのつながりや支え合いに関する取組を進めるにあたって、地域住民、福祉サービス事業者（※）、行政の役割分担のあり方として、最も望ましいと思うのは次のどれですか。(○は 1 つだけ)

1. 住民同士が助け合い、地域住民が主体となって取組を進める 2. 住民同士の助け合いを基本としながら、足りない部分を福祉サービス事業者や行政が支援する 3. 地域住民、福祉サービス事業者、行政が対等な立場で参加し、共同で取組を進める 4. 福祉サービス事業者と行政が主体となって取組を進める 5. その他（具体的に：.....）

※福祉サービス事業者：高齢者支援、障がい者支援、子育て支援などの福祉サービスを提供する事業者や団体

(8) 災害への備えについてお聞かせ下さい。

問 47 あなたは、災害への備え（家庭での備蓄や非常持出袋の準備、避難行動の確認など）はできていますか。（○は1つだけ）

1. 備えは出来ている
2. 何をすべきか必要なことは分かっているが、備えは出来ていない
3. 何を準備したらよいかわからない

問 48 土砂災害や河川の氾濫などによる避難情報が発令された場合、あなたは情報を速やかに入手できると思いますか。（○は1つだけ）

1. 入手できると思う
2. 入手できないと思う

問 49 高槻市では、各種防災情報ホームページへのリンク先を掲載した防災ポータルサイト「高槻防災」を運用していますが、あなたは利用したことがありますか。（○は1つだけ）

1. 利用している
2. 知っているが、利用したことがない
3. 知らないし、利用したことがない

問 50 あなたは、防災情報の確認のために、利用したことがある（又は利用しようと思っている）手段はありますか。（○はいくつでも）

1. 市ホームページ
 2. 市公式 LINE
 3. 市公式 X（高槻市防災情報）
 4. 緊急速報メール（エリアメール）
 5. 大阪府防災アプリ
 6. おおさか防災情報メール
 7. 防災ポータルサイト「高槻防災」
 8. 緊急・災害情報伝達サービス
 9. 防災行政無線による放送
 10. 防災行政無線電話サービス（674-7476）
 11. テレビの d ボタン
 12. テレビのテロップ放送
 13. その他（上記以外のアプリなど）
（具体的に：.....）
 14. 利用したことがないし、利用するつもりもない → 問52へお進みください。
- 問51へお進みください。

問50で「1～13」と答えられた方におたずねします。

問 51 あなたが最も便利だと感じる手段を選んでください。（○は1つだけ）

1. 市ホームページ
2. 市公式 LINE
3. 市公式 X（高槻市防災情報）
4. 緊急速報メール（エリアメール）
5. 大阪府防災アプリ
6. おおさか防災情報メール
7. 防災ポータルサイト「高槻防災」
8. 緊急・災害情報伝達サービス
9. 防災行政無線による放送
10. 防災行政無線電話サービス（674-7476）
11. テレビの d ボタン
12. テレビのテロップ放送
13. その他
（具体的に：.....）

(9) 水道についてお聞かせ下さい。

問 52 あなたは、安全な水道水が安定して供給されており、安心して水道を利用できていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. そう思う | } → 問 54 へお進みください。 |
| 2. まあそう思う | |
| 3. 思わない | → 問 53 へお進みください。 |
| 4. どちらともいえない | → 問 54 へお進みください。 |

問 52 で「3. 思わない」と答えられた方におたずねします。

問 53 安心して水道を利用できない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------|
| 1. 味 |
| 2. 水温 |
| 3. におい |
| 4. 工事等による断水 |
| 5. 水質 |
| 6. その他(具体的に: |

すべての方におたずねします。

問 54 あなたは、水道水をどのように飲んでいますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 蛇口等から出た水をそのまま飲んでいる |
| 2. そのままではないが飲んでいる(沸騰させて飲む、浄水器を通して飲むなど) |
| 3. 水道水は飲まない |

問 55 あなたは、地震などの緊急時にご家庭で非常用飲料水を確保するために、何らかの準備をしていますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 水道水を汲み置きしている |
| 2. 市販のボトルウォーター(備蓄水・ミネラルウォーター等)を備えている |
| 3. 応急給水用の容器(ウォータータンク・給水袋・空のペットボトル等)を備えている |
| 4. その他(具体的に: |
| 5. 準備していない |

(10) 市の財政状況等についてお聞かせ下さい。

問 56 あなたは、高槻市の財政状況をどのように感じていますか。(○は1つだけ)

1. 現在は、健全な状況を維持している
2. もう既に、健全な状況ではない
3. わからない

問 57 あなたは、高槻市の行政サービスの在り方と利用者負担について、今後(10年先程度)はどのような状況だと思いますか。(○は1つだけ)

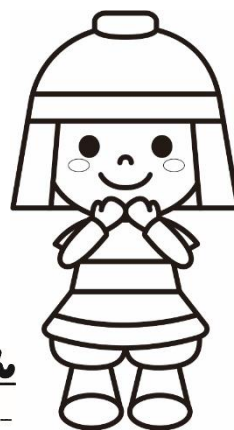
1. 現在より施設を増やしたり、行政サービスを充実させても何ら問題ない
2. 現在の施設数や行政サービス水準のままであれば問題ない
3. 現在より施設を減らしたり、行政サービスを縮小しないと健全財政が維持できない
4. どんなに頑張っても破綻すると思う
5. わからない

問 58 近い将来、人口減少による市税収入の減少や超高齢化による社会保障費の増大等により、行政サービス(施設の管理運営、イベント、相談業務等)の水準の維持が困難となることが見込まれます。

あなたは、今後の行政サービスの在り方と利用者負担について、どのように考えますか。(○は1つだけ)

1. 施設利用料等の利用者負担が増えてもよいので、現状のサービスを維持すべき
2. 施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止となっても仕方がない
3. わからない

はにたん
高槻市
マスコットキャラクター



◆以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。◆

令和 7 年度
高槻市市民意識調査報告書

発 行 高槻市 市民生活環境部 市民生活相談課
発行年月 令和 8 年 2 月

この冊子は、再生紙と植物性インクを使用しています。